科目ナンバリング： UGH001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 人生と哲学
担当教員： 相馬　宗胤(SOMA　Munetane)

【授業の紹介】
　哲学に魅力を感じる者もいれば、敬遠したくなる者もいると思います。哲学は人生に必要なものだと期待感を持つ者もいれば、そんなものは自分には不要だと考える者もいると思います。そのような「哲学」とは一体何であり、「哲学」とは何をすることで、どう役に立つものなのでしょうか。こういった問いをめぐりつつ、自分自身で「哲学をする」経験を積むことが本授業科目のめざすところです。
　授業では、たとえば、哲学の役割、哲学教育、哲学の歴史などのテーマに関する講義を行いますが、演習的活動を多く計画しています。「考え続ける」ということを指針に、哲学的に考えるための技法を取り上げます。そして、授業で学んだアイデアを駆使して、受講者には、日常の出来事やふと思いついた事柄について考え、それを継続的に書き留めていくことを求めます。そして、自分が積み重ねてきた思索の記録を手掛かりに、最終的には「哲学エッセイ」を書いていきます。
　本科目は、課題の連絡や資料の共有にあたり、Webベースのサービス（たとえば、GoogleClassroomやSlackなど）を使用する予定です。具体的な使用方法は、第1回授業時に連絡します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
1．自分自身や周囲の出来事にアンテナを張り、それについて考え続けることができる。
2．哲学的思考の特徴を理解し、それを駆使することができる。
3．授業で紹介された哲学の知（哲学史、哲学者の思想など）を理解することができる。
4．哲学とは何かという問いに対して、自分なりの考え（答え）を述べることができる。

【成績の評価】
・授業後の課題の提出状況及びその質（60%）
・哲学エッセイ（40%）

※　提出されたエッセイについては、適宜フィードバックを行う。フィードバックにあたっては、Google Classroomを使用する。

【使用テキスト】
テキストは指定しません。授業資料は適宜配布します。

【参考文献】
・『概念と歴史がわかる――西洋哲学小事典』（生松敬三・木田元・伊東俊太郎・岩田靖夫編、筑摩書房、2011年）。
・『物語　哲学の歴史――自分と世界を考えるために』(伊藤邦武著、中央公論新社、2012年)
・『はじめての哲学的思考』（苫野一徳、筑摩書房、2017年）
・『思考の用語辞典――生きた哲学のために』（中山元著、筑摩書房、2007年）

※その他、授業時に適宜紹介します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／哲学の対象	【授業後】提示された授業後の課題に取り組む（1時間）。	
2	「哲学を学ぶ」と「哲学をする」	【授業後】提示された授業後の課題に取り組む（1時間）。	
3	哲学教育	【授業前】考えたことをメモする（4時間） 【授業後】提示された授業後の課題に取り組む（1時間）。	
4	考え続けるための技法①――対話	同上。	
5	考え続けるための技法②――事実と意味	同上。	
6	考え続けるための技法③――問い	同上。	
7	考え続けるための技法④――言語の分析	同上。	
8	考え続けるための技法⑤――論理	同上。	
9	哲学的思考の具体例①――古代の哲学	同上。	
10	哲学的思考の具体例②――中世、近代の哲学	同上。	
11	哲学的思考の具体例③――現代の哲学	同上。	
12	思考の整理①――これまで考えてきたことの振り返り	【授業前】考えたことをメモする（4時間） 【授業後】哲学エッセイを作成する（3時間）。	
13	思考の整理②――哲学エッセイの説明	【授業後】哲学エッセイを作成する（3時間）。	
14	思考の整理③――哲学エッセイの作成	同上。	
15	思考の整理④――哲学エッセイの検討	同上。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS002
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 日本国憲法
担当教員： 金子　匡良(KANEKO　Masayoshi)

【授業の紹介】
この授業では、日本国憲法の土台をなす立憲主義およびそれを生み出した歴史的背景について理解した上で、日本国憲法の構造および主要な規定内容について学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
この授業は、以下の事項を修得することを目標とする。
①憲法の土台をなす立憲主義の内容について理解し、それを説明することができる。
②立憲主義が誕生した歴史的背景と立憲主義の変遷について理解し、それを説明することができる。
③日本国憲法の制定経緯について理解し、それを説明することができる。
④日本国憲法の構造および主要な規定内容について理解し、それを説明することができる。
⑤憲法の知識を通じて現代社会の諸問題を分析することができる。

【成績の評価】
成績評価は、授業最終回に行う試験の点数に基づいて行う（100%）。試験後に試験内容についてフィードバックを行う。

【使用テキスト】
なし。毎回の授業時に配布するプリントに基づいて授業を進める。

【参考文献】
長谷部恭男(解説)『日本国憲法』（岩波文庫、2019年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【憲法の意義と機能】 立憲主義の意義と憲法の規範構造について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【憲法の歴史①：近代憲法の成立】 近代憲法が成立した経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【憲法の歴史②：近代憲法の変遷と現代憲法の成立】 近代憲法の変遷と現代憲法の成立について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【日本国憲法の概要】 日本国憲法の全体構造と特徴について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【国民主権】 国民主権の意義、およびその規範的意味について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【天皇制】 象徴天皇制の概要と天皇の国事行為について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【平和主義】 平和主義の意義と憲法9条に関する解釈・判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【平等権】 平等権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【表現の自由】 表現の自由の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【参政権】 参政権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【社会権】 社会権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【権力分立】 権力分立の意義およびその現代的変容について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【違憲審査制】 違憲審査制の意義とその限界について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【司法権の独立】 司法権の独立の意義とそれを脅かす要因につ	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	いて学ぶ。	復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【授業のまとめ】 授業内容を振り返るとともに、試験を行った上でフィードバックを行う。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGI001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 人権教育
担当教員： 高倉　和弘(TAKAKURA　Kazuhiro)

【授業の紹介】
人権といえば「特別なもの」というイメージをもつかもしれませんが、実際は誰にとっても非常に身近なものであって、気づかないうちに自身の人権が侵害されていたり、他者の人権を侵害していたりすることがあります。本講義では、人権とは何かを明確にしたうえで、現存する人権課題やその社会的背景を考察するとともに、人権問題に対する向き合い方を身につけることを目的としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
①人権の意味や役割を理解し、他人の権利や人格を尊重することができる。
②様々な人権問題の内容や沿革を正しく理解し、自分なりの言葉で説明することができる。
③現代社会を人権という観点から分析し、問題点を発見し、自分でその解決策を考案することができる。

【成績の評価】
課題の提出状況（40%）、プレゼンテーション等を含めた質疑応答（30%）、授業への取り組み（30%）について総合的に評価します。課題等についてはその都度フィードバックを行います。

【使用テキスト】
アジア・太平洋人権情報センター（編）『人権ってなんだろう？』（解放出版社・2018年）

【参考文献】
適宜指示します。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
教育委員会事務局の人権教育担当課での勤務経験をもとに、人権についての具体的事例を提示しながら、各課題のより深い理解につなげていきます。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	人権とは何か　人権の定義と自分とのかかわりについて	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
2	人権の歴史１　近代を中心に	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
3	人権の歴史２　現代を中心に	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
4	差別と平等　それぞれの定義と差別解消に向けた取り組み	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
5	個別人権課題１　女性	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
6	個別人権課題２　子ども	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
7	個別人権課題３　外国人	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
8	個別人権課題４　障碍者	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
9	個別人権課題５　ハンセン病	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
10	個別人権課題６　性的マイノリティ	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）	
11	個別人権課題７　部落問題１	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
12	個別人権課題７　部落問題２	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
13	個別人権課題７　部落問題３	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
14	個別人権課題８　その他の人権課題と演習	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
15	まとめ　概念理解と人権への向き合い方	予習：使用テキストや指示した参考文献の該当箇所を読み、内容を把握するとともに疑問点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、気づいた点や疑問点を確認し、ノートにまとめる。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGO301
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 総合科目
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro),澤田　文男(SAWADA　Fumio)

【授業の紹介】
　現代の企業経営を、地域、産業、社会の立場で、深くかつ広い視野から探求するため、学外の権威ある指導者から企業経営観、企業文化論あるいは専門分野の先端情報等のテーマを中心に講義を願い、近代経営のあり方を考えます。講師陣の豊富な人生経験に触れることにより幅広い教養に裏付けられた知識や能力を身に付け、地域社会の中での自身の役割や係わりについて学習します。
　本講義は、経営・情報・会計などの知識を、組織においてどの様に活用しているか、グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通して貢献しているかなどを、講師陣の体験談を交え聴講することが出来ます。
　特にこの授業は実社会でも、また講演会でもなかなかお目にかかれない、各界トップの講師陣が直接皆さんに語りかける講座で、本学特有のスペシャルメニューです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
1.講師陣のお話しを聞き、社会人としての豊かな人間性を高めることができる。
2.講師陣の経営観や人生観などを吸収し、多様な考え方を取入れることができる。

【成績の評価】
　随時課するレポートにより100%評価します。提出物は、評価して返却することでフィードバックします。

【使用テキスト】
　ありません。

【参考文献】
　「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画（令和5年10月、香川県）
　「第7次高松市総合計画」（令和6年9月、高松市）など

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、各回の講師の方の講義内容の要点等をコメントしながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 以下の「授業計画」は前年度の実績であり、今年度は決まり次第連絡する。	人生観や職業観、社会全般の動き等に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 講義の終盤では質疑応答の時間を設けるほか、講義で学んだこと、感想などをまとめて提出すること。また、疑問点や気づいたことなどは、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
2	高松丸亀街商店街振興組合 理事長　古川　康造　氏 持続可能な社会の構築～丸亀町商店街を題材に	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
3	特定非営利活動法人わははネット 理事長　中橋　恵美子　氏 「社会を変える」を仕事に	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
4	日本銀行高松支店 支店長　大塚　竜　氏 日本銀行の仕事とお金の話	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
5	香川県教育委員会 教育長　淀谷　圭三郎　氏 教育委員会の仕事とこれからの地域社会	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
6	ジェトロ香川 地域統括センター長（四国） 石原　孝志　氏 世界と香川	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
7	株式会社香川銀行 専務取締役　有木　浩　氏 地域経済の課題と当行の取組み	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
8	香川県 交流推進部長　多田　仁　氏 香川の交流推進　瀬戸内地域の「気候」「自然」「文化」「食」	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
9	四国旅客鉄道株式会社 相談役　泉　雅文　氏	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	人流・交通雑感～四国新幹～	再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	株式会社四電工 社外取締役　佐野　正　氏 出会い・夢・挑戦	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
11	内閣府公正取引委員会事務総局 四国支所長　清水　敬　氏 競争政策と公正取引委員会	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
12	香川証券株式会社 代表取締役社長　中條　博之　氏 証券会社の役割りと今後求められる人材	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
13	（一社）香川県中小企業家同友会 代表理事　林　哲也　氏 生きる、暮らしを守る、人間らしく生きる	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
14	香川経済同友会 代表幹事　松村　英幹　氏 香川経済同友会の取組み	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
15	株式会社百十四銀行 代表取締役専務執行役員　豊嶋　正和　氏 金融の基礎知識と地方銀行の役割	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井　明博 担当：澤田　文男
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGH002
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 芸術文化
担当教員： 辻野　栄一(TSUJINO Eiichi)

【授業の紹介】
文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画、アニメーション、漫画等の芸術文化は、人間の感性を豊かにする知的で創造的な活動です。また、人間が人間らしく生きるための糧ともなり、社会全体が活性化できる大きな力にもなります。本授業では、西洋美術史・日本美術史を中心として、歴史を辿りながら多くの芸術作品を図版や映像で鑑賞します。時代背景を学びながら、その時代の美術・文化の特徴についてレポート提出があります。
なお、学生への連絡等は、Google Classroomを通じて行います。クラスコードは、swswwkv4です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
1．美術の歴史や流れの中に継承された伝統がどのように取り組まれ、形として表れているかを理解することができる。
2．美術作品に対して作者との心の交流を深め価値を見出したりすることができる。
3．作品を鑑賞して自分に語りかけ自己の感じ方を学ぶことができる。
4．様々な美術作品を鑑賞することで表現方法や技法を学ぶことができる。

【成績の評価】
各授業で講義内容についてのレポート提出があります。
レポート提出（80%）、授業態度・意欲（20%）で評価します。
提出されたレポートに対して、次の授業で講評することでフィードバックします。

【使用テキスト】
『いちばん親切な西洋美術史』　(池上英洋他 著、新生出版社、2016年)

【参考文献】
『すぐわかる日本の美術 改訂版』（田中 日佐夫 監修、東京美術、2009年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、芸術と芸術文化の意義 「洞窟壁画」	予習として、テキスト全体に目を通しておこと。そして、高校以前の世界史で出てきたラスコーやアルタミラの洞窟壁画をインターネット等で検索して、なぜクロマニョン人は、後期旧石器時代に真っ暗な洞窟の壁面に数多くの絵を描き残したのか考え、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（3時間） 復習として、授業で説明した内容を自分なりにまとめて他者に説明できるようにしておくこと。（1時間）	
2	西洋美術（エジプト・メソポタミア文明） 「ツタンカーメン王のマスク」他	予習として、テキストの20～25ページを読み込み、またインターネット等で検索して、古代4大文明の中で特にメソポタミア文明、エジプト文明についてどのような文明であったかを理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介したメソポタミア文明、エジプト文明で作られた彫刻や絵などの美術品の特徴について、他者に説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
3	西洋美術（エーゲ・ギリシャ・ローマ文明） 「ミロのビーナス」 他	予習として、テキストの26～43ページを読み込み、またインターネット等で検索して地中海沿岸で花開いたそれぞれの文明の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した建造物や彫刻等の中で特に古代ギリシャで大きく様式が変わった3つの期に作られた彫刻等の様式の特徴について、他者に説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
4	西洋美術（ルネサンス） 「モナ・リザ」ダ・ビンチ 他	予習として、テキストの44～93ページを読み込み、またインターネット等で検索して、3世紀頃から14世紀に花開いた文化運動のルネサンスまでの時代の流れや特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した建造物や彫刻、絵画等の中で特にルネサンスで活躍した作家、作品について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
5	西洋美術（北方ルネサンス・バロック・ロココ） 「真珠の耳飾りの少女」フェルメール 他	予習として、テキストの94～139ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画等の中で特に北方ルネサンス、バロック美術の特徴と活躍した作家、作品について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
6	西洋美術（新古典主義・ロマン主義・印象派） 「印象・日の出」モネ 他	予習として、テキストの140～179ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画等の中で特に印象派の特徴や印象派に属する作家・作品について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
7	西洋美術（世紀末美術） 「ユディット」クリムト 他	予習として、テキストの180～199ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸、建築等の中で特にアール・ヌーヴォーとアール・デコのそれぞれの特徴や違いについ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		て、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
8	西洋美術（近代美術） 「アヴィニョンの娘たち」ピカソ他	予習として、テキストの200～215ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻等の中で特に近代美術の考え方やそれぞれの作家と作品について特徴や考え方を説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
9	日本美術（縄文～天平時代） 「法隆寺金堂釈迦三尊像」他	予習として、日本の美術の中で縄文時代から天平時代についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した出土品、絵画、彫刻、工芸等の中で特に1万年以上続いた縄文時代について、世界に類を見ない1万年以上も続いた時代の生活や出土した土器等の特徴について、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
10	日本美術（平安～鎌倉時代）「 金剛力士像」運慶　他	予習として、平安時代から鎌倉時代についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸等の中で特に平安時代に発達した日本独自の絵画である大和絵の特徴的な表現技法について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
11	日本美術（室町～江戸時代初期）「 唐獅子図」狩野永徳 他	予習として、室町時代から江戸時代初期についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸等の中でその時代に活躍した絵画の流派である土佐派、狩野派、琳派のそれぞれの特徴と代表とされる画家について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
12	日本美術（江戸中期～江戸後期）「 富嶽三十六景」葛飾北斎 他	予習として、江戸時代中期から江戸時代後期についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画等の中で特に元禄文化の美術、化政文化の美術について、それぞれそれぞれの特徴と代表とされる画家について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
13	日本美術（明治～昭和初期）「 霊峰飛鶴」横山大観 他	予習として、明治時代から昭和初期についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻等の中で特に明治の美術、大正の美術について、それぞれそれぞれの特徴と代表とされる画家について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
14	現代美術「 ナンバー１」ジャクソン・ポロック他	予習として、テキストの216～218ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解して	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		おくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻等の中で特に戦後多様化していった現代美術の考え方やそれぞれの作家と作品の特徴や考え方について、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
15	西洋・日本美術以外の美術 アフリカ大陸、中国、オセアニア、南アメリカ大陸の美術他	予習として、インターネット等で検索して、これまで紹介した西洋美術、日本美術以外の世界で発展した文明、文化から生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸等の中でそれぞれの地域・文化の特徴や違いについて、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGO001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： うどん学
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi)

【授業の紹介】
香川県では、半夏の日にうどんを食べる習慣があるそうです。お祝にもうどんはつきものです。サラリーマンは昼食の多くをうどん屋で食べ、一人あたりのうどんの消費量も日本一です。近年香川県をうどん県と名うち全国に情報発信するようになり、香川県におけるうどんの認知度は益々上がる一方です。うどん県ならではの授業として、うどん学を開講し、うどんの歴史、製法、材料、販売など様々な角度からうどんを学習していきます。そして、うどんを通して、地域の文化や産業、観光などの観点から、うどんの特徴や今後の課題について学んでいきます。
また、調理実習時では、白衣またはエプロン・三角巾の着用が必要です。また、材料費を徴収します。
なお、材料費は受講している全員から徴収します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
うどんの文化、地理、歴史、経営商学に至る様々な角度からうどんについて考えてみることができる。
うどんの特徴が説明でき、うどん打ちをすることができる。
うどんを統計的に分析することにより、うどんを定量的に見ることができるようになる。この様な経験を基に、地域の課題に気づいて解決することができる。

【成績の評価】
授業内レポート（20%）、課題レポート（50%）、定期試験（30%）の評価を行う。
授業内レポート、課題レポート等は添削して返却します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
必要に応じて、その都度指定する。
たとえば、うどん統計データであれば、香川県のホームページを参照するなど

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	うどんとは	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
2	うどんの歴史	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
3	うどんを広めた人々	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
4	全国のうどん地図	予習：うどん店の調査（4時間）	
5	うどん店を調査する	予習：うどんと行事の調査（4時間）	
6	うどんと祭事、行事	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
7	さぬきにうどん屋が多いわけ	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
8	小麦とうどん	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
9	うどんとだし、薬味	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
10	うどんの消費と動向	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
11	うどんを打つ	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
12	うどんを食べる	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
13	うどんと文学・川柳・落語、うどんと経済学	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
14	うどんと音楽、映画	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
15	うどんと香川	復習：授業で示された課題を解く（4時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UGO102
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 香川学【経】
担当教員： 西岡　達哉(NISHIOKA　Tatsuya),佐々木　千嘉(SASAKI　Chihiro)

【授業の紹介】
　授業の趣旨は、香川県の地理、歴史、人物、文化芸術などを教材として、香川県で生まれたこと、香川県で育ったこと、香川県で学んでいること、これから香川県で暮らし続けることなどの意味について理解させるとともに、職業人として必須の香川県に関する深層的な知識を身に付けさせることです。
　まずは、香川県の特徴ある風土や、香川県人の優れた知恵や技術、日本の歴史における香川県の位置などについての「気付き」の機会をつくります。
　そして、個々の事象について深く教授することにより、学生自らが将来にわたってこれらを継承するために必要な感性や創造・企画力などを育成していきます。
　さらに、令和７年度は瀬戸内国際芸術祭の開催年であるため、さぬき市内の会場ボランティアに従事することにより、香川県の東部地区の風土や人間性などを体得させます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．現代人の暮らしが先人の知恵や工夫によってかたちづくられていることを知ることができる。
２．香川県の風土や人々の知恵や技術などが全国に誇れるものであることを知ることができる。
３．将来の職業人として、香川県出身であることや香川県で働くことに大いなる意義を実感するとともに、香川県らしさを発揮した創意や工夫が生まれる素質を身に付けることができる。

【成績の評価】
授業における発表（10%）、授業におけるレポート（10%）、定期試験（80%）
成績の評価については、個人面談などを行うことにより口頭でフィードバックを行う。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
１．大学的香川ガイド（守田逸人編、昭和堂、2022年）
２．忘れられた日本人（宮本常一著、岩波文庫、1984年）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
教育委員会における文化財保護や文化財調査、博物館及び美術館における文化芸術活動などの経験を活かして、香川県の気候、地形、人物、産業、美術工芸、建築、交通、歴史上の出来事などについて、具体的な事例を紹介します。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○オリエンテーション ○香川の地名・人名	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
2	○香川の地形（内海、阿讃山脈、メサ、扇状地、川、出水、ため池）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
3	○大学の歴史的・自然的環境（春日神社の現地見学）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
4	○香川の人物（空海、菅原道真、崇徳院、細川頼之、松平頼重、平賀源内、中野武営）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
5	○香川の産業の歴史的及び文化史的特徴（漁業、農業の副産物（麦稈真田、円座）、石（臼、墓石、鳥居））	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
6	○香川の建築１（古建築・モダニズム建築）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
7	○香川の建築２（大学建築の現地見学）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	○香川の文化芸術１（工芸）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
9	○香川の文化芸術２（美術）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
10	○日本史における香川の重大事件	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話を聞いてみてください。（２時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
11	○香川県の東部地区の文化芸術（瀬戸内国際芸術祭ボランティア）	瀬戸内海の自然や歴史などについて、図書館、博物館、資料館などで調べてみてください。また、祖父母などから宇高連絡船や別府航路などの船の話を聞いてみてください。（２時間） 瀬戸内国際芸術祭に関するガイドブックを読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	※１１～１５回を夏季休業中の１日に実施
12	○香川県の東部地区の歴史（瀬戸内国際芸術祭ボランティア）	瀬戸内海の自然や歴史などについて、図書館、博物館、資料館などで調べてみてください。また、祖父母などから宇高連絡船や別府航路などの船の話を聞いてみてください。（２時間） 瀬戸内国際芸術祭に関するガイドブックを読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	※１１～１５回を夏季休業中の１日に実施
13	○香川県の東部地区の自然（瀬戸内国際芸術祭ボランティア）	瀬戸内海の自然や歴史などについて、図書館、博物館、資料館などで調べてみてください。また、祖父母などから宇高連絡船や別府航路などの船の話を聞いてみてください。（２時間） 瀬戸内国際芸術祭に関するガイドブックを読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	※１１～１５回を夏季休業中の１日に実施
14	○香川県の東部地区の産業（瀬戸内国際芸術祭ボランティア）	瀬戸内海の自然や歴史などについて、図書館、博物館、資料館などで調べてみてください。また、祖父母などから宇高連絡船や別府航路などの船の話を聞いてみてください。（２時間） 瀬戸内国際芸術祭に関するガイドブックを読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	※１１～１５回を夏季休業中の１日に実施
15	○香川県の東部地区の人間性（瀬戸内国際芸術祭ボランティア）	瀬戸内海の自然や歴史などについて、図書館、博物館、資料館などで調べてみてください。また、祖父母などから宇高連絡船や別府	※１１～１５回を夏季休業中の１日に実施

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		航路などの船の話を聞いてみてください。（２時間） 瀬戸内国際芸術祭に関するガイドブックを読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（２時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UGO003
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 香川のスポーツ
担当教員： 木原　光治(KIHARA　Koji)

【授業の紹介】
四国新聞記者として40年、高校野球解説者として10年。地域密着のニュース、情報を発信してきた体験や人脈から得た香川のスポーツ界の過去、現在を分かりやく考察、未来の地域スポーツのあるべき姿、スポーツメディアの役割などを学生たちとともに考え、総合的に学習する。授業では可能な限り高校野球やサッカー、バスケットボールなどのメジャー競技から、香川ではマイナー競技ながら五輪選手輩出したレスリングやフェンシングなどの指導者らの声を聞き伝え、理想の指導者像を探る。専門はスポーツ報道と災害報道。大震災と関わりのあるスポーツと報道についても災害現場での記者体験をもとに論じ、逃げる勇気、避難する勇気を学んでもらいたい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．地域スポーツの楽しさ、奥深さを語ることができる。
２．地域メディアの現場を知ることでスポーツにとどまらない知識を得ることができる。
３．記者の取材術、文章術を知り、書く力、聞く力、コミケ力が身につく。

【成績の評価】
レポート（50%）、最終レポート（50%）
提出されたレポートを適宜フィードバックする。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
新聞記事など。必要に応じてその都度指定する。
高校野球連盟や県サッカー協会のHPなどを参照にする。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	プロローグ　地域スポーツ報道の表と裏　阪神大震災禍の春の甲子園優勝から考える	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	ミニレポートあり（以下随時）
2	野球王国の栄枯盛衰　130年の香川野球史が生んだ名選手、名伯楽の興亡	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
3	高校野球の現場、甲子園出場校をつくるには公立校の場合、私学の場合	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
4	香川から1世紀ぶりの夏の甲子園優勝校は生まれるのか	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
5	プロ野球ドラフト1位はどうつくられるのか。巨人・浅野選手（高松市出身）の場合	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
6	県サッカーはなぜ王国になれないのか　前県サッカー協会副会長に問う	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
7	カマタマーレ讃岐をＪ２にするには。社長に提言しよう	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
8	ＮＢＡ渡辺雄太はなぜ香川で生まれたのか。雄太パパに聞こう	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
9	国民スポーツ大会（旧国体）を考える　初の２県共催の東四国国体に学ぶ	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
10	五輪メダリスト輩出のレスリング、フェンシングに学ぶ指導者像	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
11	県立アリーナ（あなぶきアリーナ香川）を探る（フィールドワーク）	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
12	提言　200億円の県立アリーナをどう使う	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
13	香川初の公認フルマラソン、かがわマラソンを成功に導くには。	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
14	ハンドボール強国に学ぶスポーツの未来　日本一の香川中央高校、香川銀行の場合	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
15	番外　香川の高潮禍、台風禍、東日本大震災から学ぶ逃げる勇気	授業で浮かんだ疑問を整理し（2時間）、課題を解く（2時間）	
	定期試験(実施しない)		随時実施のミニレポート等で評価。テーマは最新スポーツ動向、学生志向によって臨機応変に変更あり。主な教材は新聞、テレビ等にスポーツ報道。

科目ナンバリング： UGO004
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： おもちゃ学
担当教員： 横川　和章(YOKOGAWA　Kazuaki),佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi)

【授業の紹介】
香川県には、ほうこうさんや獅子頭、大凧など民芸に関連したおもちゃがたくさんあります。また、農閑期を使って作られた竹とんぼや竹馬など生活とともに使われてきたおもちゃもあります。そして、すごろくやカード、動くおもちゃなど商品として開発されたおもちゃや、テレビゲームなどおもちゃの種類も多岐にわたっています。また、おもちゃを使う年代も幼児期から児童、生徒、大人まであらゆる年代や世代間を通してしかわれており、その使い方もいろいろです。この様におもちゃは人間が生きていくうえにおいて、大変重要な物の一つです。そこで、おもちゃをテーマに、おもちゃ学を開講し、おもちゃの歴史や分類、おもちゃと人間との関係、産業としてのおもちゃ、おもちゃ制作、社会とおもちゃなどの観点から、おもちゃの特徴や今後の課題について学んでいきます。
また、おもちゃ制作に必要な費用が発生した場合は、材料費を徴収します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
1.おもちゃの歴史や分類が理解できる
2.おもちゃと人間との関係について理解できる
3.産業としてのおもちゃについて理解できる
4.おもちゃ制作ができる
5.社会とおもちゃが理解できる

【成績の評価】
授業内レポート（30%）、課題レポート（５０%）、提出物（２０%）の評価を行う。
授業内レポート、課題レポート等は添削して返却します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
四国のおもちゃ　加藤増夫著　四国新聞社発行

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	おもちゃの歴史や分類（佃・横川）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
2	おもちゃをみる（おもちゃ美術館見学）（佃・横川）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
3	おもちゃと人間との関係 （横川）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
4	おもちゃと教育 （横川）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
5	知育玩具（横川）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
6	おもちゃ制作 手作りおもちゃ　紙編（佃）	復習：本時の課題作成（４時間）	
7	おもちゃ制作 手作りおもちゃ　自然編（佃）	復習：本時の課題作成（４時間）	
8	おもちゃ制作 手作りおもちゃ　農耕編（佃）	復習：本時の課題作成（４時間）	
9	おもちゃ制作 手作りおもちゃ　家庭編（佃）	復習：本時の課題作成（４時間）	
10	おもちゃ制作 手作りおもちゃ　デジタル編（佃）	復習：本時の課題作成（４時間）	
11	地域社会とおもちゃ（佃）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
12	おもちゃで課題解決　（佃） おもちゃと地域社会について	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
13	おもちゃで課題解決　（佃） おもちゃと文化活動	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
14	産業とおもちゃ　（佃）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
15	おもちゃについてのまとめ　（佃・横川）	復習：本時の内容のまとめ（４時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGO002
授業形態： 演習
単位数： 2
科目名： 香川学演習
担当教員： 西岡　達哉(NISHIOKA　Tatsuya),佐々木　千嘉(SASAKI　Chihiro)

【授業の紹介】
　香川県には、長い歴史に培われた秀逸な「遺産」が多数現存します。これらには、国宝や重要文化財などの著名な物件とともに、地方の小コミュニティなどによって大切に保護されてきた無名の物件も数多く含まれています。
　この授業の趣旨は、全学共通科目の「香川学」の趣旨を理解するとともに、学生自らが身近な物件に気付き、学生自身の五感を駆使することによって、香川県の隠された魅力を体感、体得することです。
　授業の方法は、学生に対して居住地や通学路などの日常の生活圏に存在する地形、植生、動物相、遺跡、神社、寺院、祠、古民家、コンクリート建造物、墓地、石造物、記念碑、美術工芸品、文学作品、人物、祭礼、行事などのさまざまな物件についての調査研究を課し、調査報告書の作成を求めます。
　調査研究の対象物件の選択は学生個々の自由裁量としますが、調査研究の過程において物件の種類別にディスカッションを行い、学生相互に影響し合う機会を設けます。
　さらに学生に対しては、身近な祭礼や行事などへの積極的な参加を促します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
1．学生個々の生活圏において継承すべき「遺産」の存在に気付くことができる。
2．香川県における学生個々の生活圏の存在意義を知ることができる。
3．ふるさとに対する興味や関心を涵養することができる。
4．社会貢献に対する情熱を醸成することができる。

【成績の評価】
調査研究の内容（25%）、口頭報告の内容（25%）、調査報告書の内容（50%）
成績の評価については、調査研究報告書に基づき、個人面談などを行うことにより口頭でフィードバックを行う。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
1．考現学入門（今和次郎著、ちくま文庫、1987年）
2．超芸術トマソン（赤瀬川原平編、ちくま文庫、1987年）
3．路上観察學入門（赤瀬川原平・南伸坊・藤森照信著、ちくま文庫、1986年）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
教育委員会における文化財保護や文化財調査、博物館及び美術館における文化芸術活動などの経験を活かして、香川県の気候、地形、人物、産業、美術工芸、建築、交通、歴史上の出来事などについて、具体的な事例を紹介します。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○オリエンテーション	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
2	○香川県における「遺産」の概説	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
3	○調査研究の方法の概説	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含ま	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		れていることが多くあります。 　実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
4	○学生による調査研究の対象物件についての検討	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 　調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 　次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 　さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 　実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
5	○学生による調査研究の対象物件についての報告	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 　調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 　次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 　さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 　実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
6	○学生による調査研究の対象物件についてのディスカッション	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 　調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
7	○学生による自主的な調査研究１（地形等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
8	○学生による自主的な調査研究２（植生等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
9	○学生による自主的な調査研究３（動物相等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
10	○学生による自主的な調査研究４（遺跡等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
11	○学生による調査研究についての経過報告１（地形等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
12	○学生による自主的な調査研究５（神社等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
13	○学生による自主的な調査研究６（寺院等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
14	○学生による自主的な調査研究７（祠等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
15	○学生による自主的な調査研究８（古民家等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
16	○学生による調査研究についての経過報告２（神社等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
17	○学生による自主的な調査研究９（コンクリート建造物等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
18	○学生による自主的な調査研究10（墓地等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
19	○学生による自主的な調査研究11（石造物等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてくださ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		い。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
20	○学生による自主的な調査研究12（記念碑等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
21	○学生による調査研究についての経過報告３（コンクリート建造物等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
22	○学生による自主的な調査研究13（美術工芸品等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
23	○学生による自主的な調査研究14（文学作品等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
24	○学生による自主的な調査研究15（人物等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
25	○学生による自主的な調査研究16（祭礼）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。こ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		の計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
26	○学生による調査研究についての経過報告４（美術工芸品等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
27	○学生による自主的な調査研究17（行事等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		して保存しておいてください。	
28	○学生による自主的な調査研究18（その他）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
29	○学生による調査研究についての経過報告５（行事等）	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
30	○調査票の作成	この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（１時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手する	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ことに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 　実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査票にまとめておいてください。（１時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGH003
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 歴史
担当教員： 溝渕　利博(MIZOBUCHI　Toshihiro)

【授業の紹介】
グローバル化が進展する中、今、「日本とは何か」が問われています。日本人一人ひとりへの問いかけがなされています。「過去を知らなければ、未来を語ることはできない」とよく言われます。未来は、過去を振り返ることによってのみ明らかになってきます。日本には先人が生み育ててきた長い文化の歴史があり、この授業科目は、文化史の視点に立って改めて日本の歴史を振り返り、日本文化の特質とその歴史的性格について学び理解することができます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
1．日本の身近な文化財や伝統文化を通して、それらが生まれてきた風土や歴史的背景を理解できる。
2．日本や日本文化に対する関心を高め、歴史的なものの見方や考え方を習得できる。
3．新たな時代に相応しい日本文化を創造していく力を身に付けることができる。
4．日本の文化の成り立ちや特色ついて関心を高めるとともに、自らの郷土や国家の歴史・文化及び先人の努力等について理解を深めることができる。

【成績の評価】
授業への参加意欲や受講態度を重視するとともに、質問事項への応答内容・主体的な学習状況の度合い等（10
%）に加え、毎授業後に提出のリフレクションペーパー（10%）、ユニットごとの小テスト（20%）及び学修ノート（20%）・レポート（40%）の成績を総合して評価する。小テストについては、その都度、模範解答を示して講評し、授業時に返却してフィードバックする。遅刻5回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】
尾藤正英著『日本文化の歴史』（岩波新書、2000年）

【参考文献】
家永三郎『日本文化史（第二版）』（岩波新書、1982年）佐々木高明著『日本文化の多重構造』（小学館、1997年）阿部猛・西垣晴次編『日本文化史ハンドブック』（東京堂出版、2002年）村井康彦著『日本の文化』（岩波ジュニア新書、2002年）大久保喬樹著『日本文化論の系譜』（中央新書、2003年）遠山淳他編『日本文化論キーワード』（有斐閣、2009年）ほか、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・文化史とは何か。	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	日本文化の源流（P.1～P.14）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	古代国家の形成と日本神話（P.15～P.39））	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	仏教の受容とその発展（P.41～P.54））	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	漢風文化から国風文化へ（P.55～P.72）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	第1回～第5回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。平安時代の仏教文化（P.73～P.83））	第1回～第5回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
7	鎌倉仏教文化の成立（P.85～P.110）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
8	内乱期の文化（P.111～P.124）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
9	国民的宗教の成立（P.125～P.136）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
10	近世国家の成立と歴史思想（P.137～P.156）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
11	第6回～第10回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。元禄文化（P.157～P.173）	第6回～第10回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
12	儒学の日本的展開（P.175～P.185）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
13	国学と洋学・明治維新における公論尊重の理念（P.187～P.212）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
14	近代日本における西洋化と伝統文化（P.213～P.229）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
15	第11回～第14回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。これまでの授業のまとめと質疑応答～日本文化史から日本文化論へ～	第11回～第14回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。復習として、これまでの授業内容を踏まえて、日本文化史について自ら研究したことを「研究レポート」にまとめて提出すること。（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGH004
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 地理
担当教員： 溝渕　利博(MIZOBUCHI　Toshihiro)

【授業の紹介】
地理学（geography）は空間的な視点から地表上の諸事象についてその実態や要因を研究する学問で、geo（土地）をgraphia（記述する）という語源に発しています。世界遺産は地球の生成や人類の歴史によって生み出された貴重な財産で、地理学の絶好な教科書でもある。現在では地球環境保護への関心が高まり、自然や景観の価値が見直されています。この授業科目は、人類共通の至宝である世界遺産等の学習を通して、世界の自然や民族・文化等の多様性や世界平和・地球環境保護に関する認識を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．世界遺産等の学習を通して、世界の自然や民族・文化等の多様性を理解できる。
２．世界の国や地域に関する知識を広めるとともに、地理学的空間認識能力を高めることができる。
３．世界平和や持続可能な地球環境保護に関する意識を高め、地理学に関する幅広い知見を身に付けることができる。
４．地理学を中心に地質学、生態学、文化人類学、環境学、国際関係学等を総合的学際的に学ぶことができ、広い視野と幅広い知識を身に付けることができる。

【成績の評価】
授業への参加意欲や受講態度を重視するとともに、質問事項への応答内容・主体的な学習状況の度合い等（10%）に加え、毎授業後に提出のリフレクションペーパー（10%）、ユニットごとの小テスト（20%）及び学修ノート（20%）・レポート（40%）の成績を総合して評価する。小テストについては、その都度、模範解答を示して講評し、授業時に返却してフィードバックする。遅刻5回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】
NPO法人世界遺産アカデミー監修『きほんを学ぶ世界遺産100―世界遺産検定3級公式テキスト―第4版』（NPO法人世界遺産アカデミー、2023年3月19日発行）。世界の気候や風土を確認するため、手持ちの地図帳を持参すること。

【参考文献】
奈良大学文学部世界遺産を考える会編『世界遺産学を学ぶ人のために』（世界思想社、2000年）愛川フォール紀子監修・古田陽久・古田真美著『世界遺産入門ーユネスコから世界を学ぶー』（シンクタンクせとうち総合研究機構、2007年）安江則子編『世界遺産学への招待』（法律文化社、2011年）古田陽久著『世界遺産ガイド―ユネスコ遺産の基礎知識―2024改訂版』（シンクタンクせとうち総合研究機構、2022年）ほか、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、地理学と世界遺産、地域別世界遺産地図（P.1～.10）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	地理BASICテスト。世界遺産とは、世界遺産条約、世界遺産登録、世界遺産委員会、世界遺産の概念（P.11～P.18）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	地理BASICテスト。ユネスコ、世界遺産と日本、世界遺産と観光、無形文化遺産/世界の記憶、グラフと数字でみる世界遺産、世界遺産登録基準（P.19～P.24）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	地理BASICテスト。日本の世界遺産、食物連鎖、定住の始まり、隆起を続ける山地、平和を希求、墓所、絹産業、固有の生態系（P.25～P.39）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	地理BASICテスト。近代建築、信仰の山、伝統的集落、古都と激動の歴史、時代を代表する都、文化交流、道の遺産（P.40～P.53）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	第1回～第5回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。古墳群、都市と城郭建築、銀鉱山関連の産業遺産、海に囲まれた遺産、第二次世界大戦の傷跡、産業革命（P.54～P.65）	第1回～第5回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
7	地理BASICテスト。信仰の島、アジア諸国へのキリスト教の広がり、植物の垂直分布、固有種、交易都市、日本の暫定リスト（P.66～P.78）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
8	地理BASICテスト。人類の誕生と古代文明、巨石文明、地中海世界の形成（オリエント、エジプト、ギリシャ）、ローマ帝国（P.79～P.92）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
9	地理BASICテスト。アジア世界の形成と宗教、中華文明の形成、東南・中央アジア世界の形成、仏教、イスラム教、世界三大宗教（P.93～P.110）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
10	地理BASICテスト。ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代、西ヨーロッパ世界の成立、産業と都市、レコンキスタと十字軍、宗教分裂、宗教改革、ルネサンス、海洋都市国家と大航海時代、東ヨーロッパ世界（P.111～P.124）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
11	第6回～第10回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動、アメリカ大陸の文明、東アジアの変動、アフリカの諸王朝、オセアニア（P.125～P.134）	第6回～第10回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
12	地理BASICテスト。近代国家の成立と世界の近代化、絶対王政、啓蒙専制君主、周辺主権国家、ウィーン体制、産業革命、南北アメリカの独立、産業革命と新素材/建築様式のまとめ（P.135～P.146）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
13	地理BASICテスト。テーマでみる世界遺産、文化的景観、戦争・紛争、危機遺産、負の遺産、探究学習の手引き（P.147～P.164）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
14	地理BASICテスト。世界の自然遺産、地球の歴史、火山、評価とフィヨルド、滝、海洋と湖、生物多様性、絶滅危惧種（P.165～P.179）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ}（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
15	世界遺産検定小テストに挑戦。これまでの授業のまとめと質疑応答 ～世界の自然や文化の多様性を学ぶことの意義～	第11回～第14回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。世界遺産を白地図に記入した「世界遺産地図」の完成品を提出すること。（2時間）復習として、これまでの授業内容を踏まえて、世界遺産の現状と今後の課題等について自ら研究したことを「研究レポート」にまとめて提出すること。（4時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS004
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： くらしと経済
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
私たちは日々、生活者として経済活動を行っています。そして、そのくらしの中で、社会・経済に関する様々なニュースに触れています。そこで、本講義では、くらしの中の身近なトピックスを概観するとともに、そのトピックスを「自分事」として捉えることで、自分と地域社会とのつながりを見出し、社会の一員であるとの自覚を促します。また、自らのライフプランを考えることで、計画性をもって生活すること、社会・経済に関する情報や知識を得ることの重要性について学びを深めます。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、この授業科目は、上級情報処理士、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に該当します。
また、授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「htvuhdy」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．日本における社会・経済の課題への関心を深め、自分の考えを述べることができる。
２．個人のくらしが日本国内だけでなくグローバルな経済とつながっていることが理解できる。
３．自らのライフプランを考えるとともに、そのプランを実現させるためには、社会人基礎力の育成が必要であることが理解できる。

【成績の評価】
評価項目は、授業態度（10%）、課題（50%）、後期末筆記試験（40%）とする。
受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。
なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。後期末筆記試験終了後、模範解答を研究室外に掲示する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
川廷昌弘著『未来をつくる道具　わたしたちのSDGs』ナツメ社、2020年.
河口　真理子著『SDGsで「変わる経済」と「新たな暮らし」』生産性出版、2020年.
折笠和文他著『日本経済の基本問題　―事例で学ぶ教養経済―』実教出版株式会社、2001年.
大江英樹著『知らないと損する　経済おかねの超基本１年生』東洋経済新報社、2016年.
池上彰著『政治と経済のしくみがわかるおとな事典』講談社、2012年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード　htvuhdy）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（４時間）。	
2	SDGs①　SDGsの概要	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
3	SDGs②　2030アジェンダ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（４時間）。	
4	SDGs③　SDGsの達成状況	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
5	SDGs④　消費者・生活者とSDGs（食品ロス） 第	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
6	SDGs⑤　消費者・生活者とSDGs（エシカル消費・海洋汚染）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（４時間）。	
7	SDGs⑥　企業とSDGs（ジェンダーを含む）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
8	ライフプランを考える	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
9	国家財政①　令和6年度国家予算	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	国家財政②　危機的な財政状況	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
11	国家財政③　高松税務署による「租税教室」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（４時間）。	
12	社会保障①　社会保障の役割	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
13	社会保障②　公的年金	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
14	香川労働局による講話　―「働くこと」と労働法（仮題）―	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（４時間）。	
15	これまでの講義についてのまとめ（学習した重要項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UGN001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 人間と環境
担当教員： 西本　真(NISHIMOTO Makoto)

【授業の紹介】
現在世界中が気候変動問題について対策を取っていく中、日本でも脱炭素社会の実現に向けて2050年に温室効果ガス排出０を目指す方針が打ち出されました。このことにより、環境に対する国民の関心は、年々高まっており、自然環境への配慮や保全等が強く求められています。

この授業では、地球環境問題の現状とその発生要因やメカニズムを理解し、今後の各個人の生活の在り方を考え、実践できる力と人に伝える力を養成するものです。

具体的には持続可能な開発目標「SDGs」を理解し、それぞれの専門分野の講師から自然環境や気候変動などと人間との関わり等について学び、自分の行動、特に環境への対策がどこに繋がりどう広がっていくかを考え、脱炭素社会を目指した対策を取りながら持続可能な社会に向けた行動ができる力を習得するとともに、学んだことを伝える力を身に付けます。

また、質問等を随時受け付け授業中に回答します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
（１）人間と環境との関わり合いについて理解できる。
（２）持続可能な社会を実現するために、今、私たちが考えなければならないこと、しなければならないことについて、自分なりの見解を持ち、実践できる素養を身に付けるとともに人に伝える力を身につけることができる。
（３）授業は正しい解が教えられるものではなく、考える習慣や感性を身につけるものであることを理解し、実践することができる。

【成績の評価】
成績の評価は、各講義のあとの確認テストとレポート（30分以内で記入）を提出してもらいます。
問題の回答とレポート内容60%、人に伝える資料の内容及びプレゼンテーション30%、授業への参加状況(出席ではなくディスカッションへの参加状況、意見発表、質問など)10%とします。また、レポート・試験答案等は、希望する者に、返却します。
各授業に公社職員が同行し評価をします。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
・新しい環境科学（環境問題の基礎知識をマスターする）　著者　鈴木孝弘

・IPCC第6次評価報告書統合報告書政策決定者向け要約他
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar6/index.html

その他適宜各講師より紹介

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業のガイダンス 　授業の目的・内容・進め方、レポート及びプレゼンテーション等について	無し	公益財団法人香川県環境保全公社　地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
2	SDGs（持続可能な開発目標）について 　社会の様々な課題（特に環境問題）とSDGsとの繋がりを理解し、持続可能な世界を築くために私たちがすべきことなどを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	SDGsコンサルタント 三村 寛
3	脱炭素社会に向けた国の動向等について 　世界中で気候変動対策が実施される中、脱炭素社会に向けて日本が目指す方向性や具体策などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	環境省中国四国環境事務所四国事務所 職員
4	地球温暖化による気候変動について（香川県の気候について） 　地球温暖化の基礎知識や香川県での気候について現在どのように変化が起きているかなど、気象庁の具体的なデータや事例をもとに学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	高松地方気象台 職員
5	地球温暖化と生活防災について 　地球の温暖化の影響はすでに日本でも起きている。地震だけでなく集中豪雨や台風といった気候変動による影響に私たちが備えるべきことを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	香川県地球温暖化防止活動推進員・防災士 古井 秀樹
6	再生可能エネルギーの今とこれから 　今後の脱化石燃料に向けたエネルギー源の転換を念頭に国内の電源構成や再生可能エネルギーの普及等について学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	経済産業省四国経済産業局エネルギー対策課 職員
7	プラスチックごみと食品ロスの問題と対策について 　近年問題になっているプラスチックごみやまだ食べられるのに捨てられている食品ロスを中心に香川県でのごみ対策について学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	香川県循環型社会推進課 職員
8	エシカル消費について 　地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動「倫理的消費(エシカル消費)」について学び自分のことだけでなく、自分以外の人や社会、環境のことを考える	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	香川県地球温暖化防止活動推進員・消費生活アドバイザー 片山 仁子
9	地域を元気にする農業の取組みについて 　地球温暖化で起きている農作物への影響を知ること、また生産者から消費者へ直接供給する産直などで地域を元気にする取組みなどを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	香川県農業協同組合 職員
10	自然環境と持続可能な地域社会について 　県内で自然環境の保全に取り組む事例や自然保護に取組みながら持続可能な地域を目指す具体的な取組みを学び地域活動を考える	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	森林インストラクター・農学博士 横山 昌太郎
11	地球にも、あなたにも優しく　身近で出来る	予習：事前配布した資料の確認（１時間）	香川県地球温暖化防

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	住まいの省エネ 2050年カーボンニュートラルに向け、私たちの生活と切り離せない住まい方である、ZEH住宅や家庭で取り組める省エネ事例について学ぶ	復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	止活動推進員・㈱LIXIL 釘宮 貴志
12	家電の今昔について ここ10年あまりで急激に技術開発されている家電、昔の家電とのエネルギー消費の違いや正しい家電の使い方が省エネにつながることを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	香川県地球温暖化防止活動推進員・省エネ普及指導員 滝口 隆男
13	香川県での環境活動について 環境活動の手法などを学ぶとともに、香川県地球温暖化防止活動推進センター及び香川県地球温暖化防止活動推進員、また、県内の環境団体が取り組んでいる活動の事例等を学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（１時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（２時間）	公益財団法人香川県環境保全公社　地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
14	個人ワークまたはグループワーク（ディスカッション等） 第2～13回の講義テーマを1つ選択し個人もしくは各グループでプレゼンテーション（短時間で人に伝えられる）ができるように各テーマについて資料を作成する	予習：これまでの講義の振り返り（４時間） 復習：伝えるための資料作成（10時間）	公益財団法人香川県環境保全公社　地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
15	学生によるプレゼンテーション及び人間と環境まとめ 個人もしくは各グループ3分程度でプレゼンテーションを行い（人数により時間を変更します）全講座を通しての気づきや学びを振り返る	予習：伝えるための資料作成（10時間）	公益財団法人香川県環境保全公社　地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS001
授業形態： 演習
単位数： 2
科目名： ボランティア
担当教員： 蓮井　孝夫(HASUI　Takao),山本　龍太郎(YAMAMOTO　Ryutaro)

【授業の紹介】
　この授業では、ボランティア活動実施に当たり、活動の意義や社会的な役割などの基礎的知識を、講義やワークショップ、グループワークなどのアクティブラーニングを通じ、対話的・主体的・実践的な深い学修をします。学外でのボランティア活動実施の準備として、様々な活動への情報提供・体験を行います。あわせて各種活動スキルを学びます。学外ボランティア活動を自主的に体験（必須）することは、多くの異世代の人たちと出会い、「対話と実践」を通じ、未来を開く心豊かな社会人の第一歩となるでしょう。積極的なボランティア活動参加を期待しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
1．ボランティア活動を通じて、視野を広げることができる。
2．様々な立場の人と接することで、コミュニケーション能力を向上させることができる。
3．ボランティア活動の実体験から、自らの新しい価値観が生み出され、身につけることができる。
4．社会の構成員としての自覚を認識し、社会的課題解決に取り組めることができる。
5．自ら学び、自ら考え、自ら気づき、自ら表現し、自ら行動し、社会的課題を解決する資質や能力を身につけることができる。

【成績の評価】
　学外ボランティア活動（約30%）、授業ふりかえり・レポート（約30%）、テスト（約40%）などで総合的に評価（添削し返却又は口頭によるフィードバックを行います）

【使用テキスト】
使用テキストなし、随時授業資料を配付（保存のこと・資料持ち込みテスト）

【参考文献】
藤田久美編著「大学生のためのボランティア活動ハンドブック」（ふくろう出版）
岡本栄一・菅井直也・妻鹿ふみ子著「学生のためにボランティア論」（大阪ボランティア協会）
巡静一・早瀬昇著「基礎から学ぶボランティアの理論と実際」（中央出版）
ホールファミリーケア協会編「新傾聴ボランティアのすすめ」～～（三省堂）その他

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
「香川いのちの電話相談員38年、国際協力・ラオス教育支援活動30年（小学校建設13校）、視覚障害者のための朗読ＣＤ作成発送・読み聞かせ（紙芝居・絵本）40年、等の実践を授業を通じて学生を指導出来る。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（ボランティア活紹介（講義・ＤＶＤ視聴）	（予習）これまで体験したボランティア活動を振り返ろう（1時間） （復習）レジュメを読み返そう（2時間）	授業には筆記ノートを持参。すべてのレジュメを保存しよう。
2	「ボランティア活動の理論（1）」ボランティア活動の基礎を学ぼう。	（予習）何のためにボランティア活動をするのかを考えてみよう。（1時間） （復習）レジュメを読み返し、自分が取り組めるボランティア活動を探そう。（2時間）	かつてのボランティア活動の体験から何を得たかを考えよう。
3	「ボランティア活動の理論（2）」ボランティアコミュニケーションを学ぼう。	（予習）ボランティア関係の本を読もう。（1時間） （復習）今できるボランティア活動を具体的プランにしよう。（2時間）	かつてのボランティア活動の体験から何を得たかを考えよう。
4	「子ども食堂」（えびすハッピー子ども食堂）紹介	（予習）県内の「子ども食堂」を調べよう。（1時間） （復習）レジュメを読み返そう。（1時間）	ボランティア体験活動として参加しよう。
5	「フードバンク」（オアシス丸亀）紹介	（予習）県内の「フードバンク」を調べよう。（1時間） （復習）レジュメを読み返そう（1時間）	ボランティア体験活動として参加しよう。
6	「セカンド・ハンド」（活動紹介）	（予習）「セカンド・ハンド」を調べよう。（1時間） （復習）レジュメを読み返そう。（1時間）	ボランティア体験活動として参加しよう。
7	「折り紙の楽しさ」体験	（予習）図書館などで折紙について調べよう。（1時間） （復習）自宅で再度、折紙をして観よう。（1時間）	折紙は大学が用意します。保育所幼稚園の実習に役立つ。
8	「ビーチクリーン」（瀬戸内海）	（予習）海ゴミの実態について調べよう。（1時間） （復習）海ゴミの環境への影響について調べよう。（1時間）	ボランティア体験活動として参加しよう。
9	「自殺予防電話相談活動」から、カウンセリング的コミュニケーション。	（予習）香川県内の自殺者数、年代別数、自殺原因、等を調べよう。（1時間） （復習）「傾聴・受容・共感」を意識して友人らと会話してみよう。（1時間）	レジュメを参考に、仲間の悩みの相談にのろう。
10	「読み聞かせ・朗読活動」（朗読・歌）	（予習）図書館で、何冊かの絵本等を読んでみよう。」（1時間） （復習）授業で体験した紙芝居等を再度挑戦して見よう。（1時間）	仲間と近くの保育所・幼稚園、高齢者施設で、絵本の読み聞かせを体験してみよう。
11	「手記・高松空襲の絵本」制作（高松空襲と絵本）	（予習）高松空襲について調べよう。（1時間） （復習）高松平和記念館を訪ねてみよう。（2時間）	高松市平和記念館は高松市松島町1丁目15番1号ミライエ5階にある。
12	「こどもミュージカル活動」から	（予習）演劇等での子どもの体験について調べてみよう。（1時間） （復習）演劇等での子どもの体験について自分が出来る事を考えよう。（1時間）	保育所・幼稚園・小学校の実習で役立てよう。
13	「ＳＤＧｓ」とは	（予習）ＳＤＧｓについて調べよう。（２時間） （復習）ＳＤＧｓ17項目で取り組める活動を実践しよう。（2時間）	日常活動で実践しよう
14	「ＳＤＧｓ」ゲーム	（予習）ＳＤＧｓについて調べよう。（1時間）	ゲームを通じて学んだ事を実践しよう。

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（復習）ＳＤＧｓ17項目で取り組める活動を実践しよう。（1時間）	
15	ボランティア活動体験発表」「グループワーク」	（予習）グループワークについて調べよう（1時間） （復習）グループワークから気づいたことをノートに書いてみよう。（1時間）	「ボランティア活動体験報告書」は担当教師に提出。
	定期試験(実施する)		（予習）授業レジュメを整理・復習しておこう。（2時間） 「ボランティア活動体験報告書」に締め切りは８月22日正午（夏休み中は教務に提出）までに提出。

科目ナンバリング： UBL001
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語表現基礎Ⅰ
担当教員： 澤田　文男(SAWADA　Fumio)

【授業の紹介】
　○日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けるために、日本語の文章や情報を正確に吸収し、社会人として読み書きできる力を養います。
　○ディスカッションを多く取り入れ、聞く力や話す力を養い、発言力を養います。
　○各種の教育現場の職務に必要な日本語の基礎を内容としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
　○学生が、日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けることができる。
　○学生が、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができる。
　○学生が、今後の様々な社会生活の場で課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができる。

【成績の評価】
　①授業に対する取組み姿勢を評価します。
　②課題の達成度を評価します。
　③上記①と②の合計（３０％）と定期試験の結果（７０％）を合わせて総合的に評価します。

　※フィードバック
　　定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】
　○自作資料集

【参考文献】
　○保育所保育指針（平成２９年３月厚生労働省告示）
　○幼稚園教育要領（平成２９年３文部科学省告示）
　○小学校学習指導要領（平成２９年３月文部科学省告示）
　○関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】
　有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育現場での授業経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業内容オリエンテーション ○教育・ビジネス用語・漢字練習① 保育指針1～4 ○日本語の性格について ○課題発表・評価①具体性	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
2	○教育・ビジネス用語・漢字練習② 保育指針5～8 ○日本語の表記と文字の特徴 ○課題発表・評価②具体的表現	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
3	○教育・ビジネス用語・漢字練習③ 保育指針9～12 ○日本語の文字と表記の特徴 ○課題発表・評価③人と物	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
4	○教育・ビジネス用語・漢字練習④ 保育指針13～16 ○仮名及び仮名遣いの歴史 ○課題発表・評価④視点	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
5	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑤ 保育指針17～20 ○現代仮名遣いの要点 ○課題発表・評価⑤五感の表現	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
6	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑥ 保育指針21～24 ○日本語の音韻 ○課題発表・評価⑥個性	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
7	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑦ 保育指針25～28 ○単語の種類 ○課題発表・評価⑦細部にこだわる	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
8	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑧ 保育指針29～32 ○日本語文法概要 ○課題発表・評価⑧比喩表現	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
9	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑨ 保育指針33～36 ○日本語文法トレーニング ○課題発表・評価⑨擬音語	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
10	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑩ 保育指針37～40 ○敬語表現①尊敬語 ○課題発表・評価⑩書き出し	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
11	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑪ 保育指針50～52 ○敬語表現②尊敬語トレーニング ○課題発表・評価⑪繊細な感覚	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
12	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑫ 保育指針53～56 ○敬語表現③謙譲語 ○課題発表・評価⑫分かり易い表現	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
13	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑬ 保育指針57～61 ○敬語表現④謙譲語トレーニング ○課題発表・評価⑬短文の引用	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
14	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑭	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	幼教要領16～20 ○敬語表現語⑤丁寧語 ○課題発表・評価⑭俳句のルール	○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
15	○教育・ビジネス用語・漢字練習⑮ 保育指針・幼教要領まとめ ○敬語表現⑥敬語3種類トレーニング ○課題発表・評価⑮時間軸 ○定期試験予告	○保育指針該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBL001
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語表現基礎Ⅰ【留】
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
「日本語表現基礎Ⅰ」は「日本語Ⅰ」と同一テキストを用い、「書く・話す・聞く」能力の養成に重点を置きます。「書く」では、読み物に関連したテーマで作文を書く練習をします。「話す」では、２つのモデル会話の会話パターンに沿って、スピーチやディスカッションの練習を行います。「聞く」では、読み物に関連したテーマの話から情報を聞き取る練習を行います。また、各課の学習の最後に、ブラッシュアップとして、語彙力、表現力、漢字力の向上を図ります。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、発表者のスピーチに対しても受講生全員で批評を行います。学習者が「書ける・話せる・聞ける」達成感を感じながら学習を進めていきます。
なお、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語Ⅰ」を履修してください。また、「日本語表現基礎Ⅱ」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
①段落・文章構成を意識した作文を書くことができる。
②情報を正確に聞き取ることができる。
③テーマに沿ってプレゼンテーションやグループディスカッションができる。

【成績の評価】
授業中の発表（ ５０％ ）、レポート・小テスト（ ５０％ ）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『４技能でひろがる　中級日本語カルテットⅡ』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】
『留学生のための ここが大切 文章表現ルール』石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,600円＋税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
2	第７課 書く「経験からの学び」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
3	第７課 話す「国際交流」① 会話１：言いづらいこと	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
4	第７課 話す「国際交流」② 会話２：ディスカッション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
5	第７課 聞く「異文化コミュニケーション」 聴解１：カルチャーショック 聴解２：多文化共生社会	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
6	第７課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：視点 漢字チャレンジ：部首「さんずい」「てへん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
7	第８課 書く「インタビュー記事」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
8	第８課 話す「大切な物」① 会話１：忘れ物	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
9	第８課 話す「大切な物」② 会話２：私のおすすめ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
10	第８課 聞く「温泉事情」 聴解１：温泉旅行 聴解２：温泉の「タトゥー禁止」問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
11	第８課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：四字熟語、ことわざ 漢字チャレンジ：音符、知っている漢字から単語の意味を考える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第９課 書く「小説や映画のレビュー」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
13	第８課 話す「ある日のできごと」 会話１：申し出 会話２：最悪なできごと	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
14	第９課 聞く「ペットに関する社会事情」 聴解１：ペットの殺処分 聴解２：ペットビジネス	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
15	第９課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：オノマトペ 漢字チャレンジ：部首「いとへん」「りっしんべん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBL002
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語表現基礎II
担当教員： 澤田　文男(SAWADA　Fumio)

【授業の紹介】
　○日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けるために、日本語の文章や情報を正確に吸収し、社会人として読み書きできる力を養います。
　○ディスカッションを多く取り入れ、聞く力や話す力を養い、発言力を養います。
　○各種の教育現場の職務に必要な日本語の基礎を内容としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
　○学生が、日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けることができる。
　○学生が、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができる。
　○学生が、今後の様々な社会生活の場で課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができる。

【成績の評価】
　①授業に対する取組み姿勢を評価します。
　②課題の達成度を評価します。
　③上記①と②の合計（３０％）と定期試験の結果（７０％）を合わせて総合的に評価します。

　※フィードバック
　　定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】
　○自作資料集

【参考文献】
　○「言葉の選び方大全」青春出版社　日本語研究会　2017年1月21日
　○「分かりやすい公用文の書き方」　株式会社ぎょうせい　礒崎陽輔　2020年10月15日
　○関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】
　有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育現場での授業経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業・ビジネス内容オリエンテーション ○教育用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領1-3 ○人権を傷つける恐れのある語句 ○課題発表・評価①不適切な語句	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
2	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領3-6 ○アカデミックワードの基礎 ○課題発表・評価②文語体	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
3	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領6-12 ○公用文の書き表し方の基準 ・熟字訓 ○課題発表・評価③標記の基準	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
4	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領13-20 ○文脈による意味と読み方 ○課題発表・評価④文脈と語句	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
5	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領21-25 ○間違えやすい語句 ○課題発表・評価⑤周辺の語句	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
6	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領25-30 ○間違えやすい重言 ○課題発表・評価⑥重言	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
7	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領32-39 ○間違えやすい慣用句 ○課題発表・評価⑦慣用句	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
8	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領39-52 ○間違えやすい類似語 ○課題発表・評価⑧類似語	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
9	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領52-65 ○間違えやすい外来語 ○課題発表・評価⑨外来語の様々	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
10	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領65-75 ○間違えやすい外来語表記 ○課題発表・評価⑩表記と表音	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
11	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領75-89 ○助数詞の使い方 ○課題発表・評価⑪助数詞の例	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
12	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領89-97 ○語彙の増やし方 ○課題発表・評価⑫語彙	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
13	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領97-100	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	○形容詞の多義性 ○課題発表・評価⑬語句の多義性	○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
14	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・小学校学習指導要領101-111 ○簡潔な表現 ○課題発表・評価⑭簡潔さ	○小学校学習指導要領該当頁の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
15	○教育・ビジネス用語・漢字練習 ・教育基本法第1章 ○日本語と漢字・漢文・故事成語 ○課題発表・評価⑮日本語の歴史 ○テスト予告	○教育基本法第1章の用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBL002
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語表現基礎II【留】
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
「日本語表現基礎Ⅱ」は「日本語Ⅱ」と同一テキストを用い、「書く・話す・聞く」能力の養成に重点を置きます。「書く」では、読み物に関連したテーマで作文を書く練習をします。「話す」では、２つのモデル会話の会話パターンに沿って、スピーチやディスカッションの練習を行います。「聞く」では、読み物に関連したテーマの話から情報を聞き取る練習を行います。また、各課の学習の最後に、ブラッシュアップとして、語彙力、表現力、漢字力の向上を図ります。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、発表者のスピーチに対しても受講生全員で批評を行います。学習者が「書ける・話せる・聞ける」達成感を感じながら学習を進めていきます。
なお、関連科目として「日本語表現基礎Ⅰ」が既習であることを前提とします。また「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語Ⅱ」を履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
①段落・文章構成を意識した作文を書くことができる。
②情報を正確に聞き取ることができる。
③テーマに沿ってプレゼンテーションやグループディスカッションができる。

【成績の評価】
授業中の発表（ ５０％ ）、レポート・小テスト（ ５０％ ）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
『４技能でひろがる　中級日本語カルテットⅡ』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】
『留学生のための ここが大切 文章表現ルール』石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,600円＋税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第10課 書く「データ分析」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
2	第10課 話す「学生生活」① 会話１：面接	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
3	第10課 話す「学生生活」② 会話２：学食についての提案	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
4	第10課 聞く「格差社会」 聴解１：所得格差 聴解２：教育格差	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
5	第10課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：カタカナ語 漢字チャレンジ：漢字とコンテクストから意味を考える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
6	第11課 書く「日本語と母語の違い」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
7	第11課 話す「コミュニケーションスタイル」① 会話１：難しいお願い	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
8	第11課 話す「コミュニケーションスタイル」② 会話２：類義語の比較	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
9	第11課 聞く「若者のコミュニケーションスタイル」 聴解１：言葉の変化 聴解２：SNSとコミュニケーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
10	第11課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：接続詞 漢字チャレンジ：部首「うかんむり」「かいへん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
11	第12課 書く「小論文」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第12課 話す「人や社会とのつながり」① 会話１：別れ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
13	第12課 話す「人や社会とのつながり」② 会話２：賛成？　反対？	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
14	第12課 聞く「求めれる人材」 聴解１：企業が求める人材 聴解２：グローバル人材	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
15	第12課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：慣用句 漢字チャレンジ：部首のまとめ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBM001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 数学基礎
担当教員： 土井　理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】
この授業は、身近な生活の中にある課題や古典的話題に対して、数学のさまざまな考え方を用いて、根拠を基に筋道立てて考え、その解決方法を見つけるために、あなたが考え、あなたが解決する時間です。じっくりと考えること、多面的に考えることの面白さを体験し、数学的思考を高めていきましょう。
この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：cway7vi)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．与えられた課題を理解し、解決方法を見つけることができる。
２．各自の考えた解決策を相互に検討し、解答を導くことができる。
３．自分のアイデアや解法をみんなに分かるように説明（証明）することができる。

【成績の評価】
受講態度（10%）　課題レポート（80%）　最終課題レポート（10%）
・毎回の授業の最後に、課題レポートを提出する（解説等を添付して返却します）。
・最終課題（①数学を学ぶ意義　②身近な生活の中にある数学　についてのレポート）を作成し、第15回の最終授業時に提出する。

【使用テキスト】
毎回、授業プリントを配布します。

【参考文献】
・「数学」はこんなところで役に立つ（白取春彦，青春出版社，2005）
・大人のための数学勉強法－どんな問題も解ける10のアプローチ（永野裕之，ダイヤモンド社，2012）
・算数から数学まで　まるごと８時間でわかる本（何森仁，小沢健一，明日香出版社，2014）
・本当はすごい小学算数（小田敏弘，日本実業出版社，２０１５）
・算数少女ミカ　割合なんて，こわくない！（石原清貴，日本評論社，2018）
・改訂版 中学校3年間の数学が1冊でしっかりわかる本（小杉 拓也，かんき出版，2021）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場指導を活かし、具体的な数学に関する事例を示しながら授業していきます。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、はじめの問題	はじめの問題（Google Classroomに提示）を解き、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
2	数と式	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
3	数の性質（１）：倍数と約数	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
4	数の性質（２）：小数と分数、ｎ進数	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
5	方程式と不等式の解法	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
6	方程式と不等式の応用	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
7	割合	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
8	生活の中の数学（１）：お金に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
9	生活の中の数学（２）：濃度に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
10	生活の中の数学（３）：変化に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
11	生活の中の数学（４）：量に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
12	数の規則性	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
13	場合の数と確率	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
14	図形の性質（１）：角度に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	進めるための予習が重要です。
15	図形の性質（２）：面積等に関する話題	次回の授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（２時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（２時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBN001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 自然科学基礎
担当教員： 糸目　真也(ITOME　Shinya)

【授業の紹介】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場での指導を活かし、具体的な科学に関する事例を取り上げながら授業を行います。地球、気象、宇宙を主な対象とするほかに、身近な生活の中にある科学や最先端の科学技術、最近深刻な環境問題にも触れていきます。
自然の事物・現象に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究しようとする態度や資質・能力を育むことを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
1　授業内容を理解し、自然の事物・現象に関する基礎的な知識を身に付けることができる。
2　授業で与えられた課題を理解し、その探究方法を見つけることができる。
3　授業を通して、日常生活においても、自然の事物・現象に主体的に興味を持って関わることができるようになる。

【成績の評価】
受講態度や課題レポートの提出状況及び期末試験の結果により、総合的に評価します。
概ね、受講態度（15%）、課題レポート（25%）、試験（60%）とします。
・授業で配布・使用して、授業中に記入したプリントを毎回の授業の終わりに提出する。
（プリントは次の授業で返却します）
・授業で配布・使用したプリントの中から問題を作成して、試験を実施します。

【使用テキスト】
特にありません。授業中のスライド資料がテキストとなります。

【参考文献】
木村学・大木勇人(2019)図解・プレートテクトニクス（講談社ブルーバックス）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が高等学校で地学の授業をした経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	地球を知る①：地球の内部構造とプレートの運動	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
2	地球を知る②：プレートの運動と地震	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
3	地球を知る③：プレートの運動と火山活動	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
4	地球の歴史を知る①：地球誕生～先カンブリア時代	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
5	地球の歴史を知る②：古生代の古生物と地球環境	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
6	地球の歴史を知る③：中生代～新生代の古生物と地球環境	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
7	地球の大気を知る①：大気の構造、太陽放射と地球放射	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
8	地球の大気を知る②：大気の大循環	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
9	地球の大気を知る③：日本の天気	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
10	宇宙を知る①：太陽系内の天体	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（２時間）	
11	宇宙を知る②：恒星と銀河	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
12	宇宙を知る③：巨大望遠鏡による観測	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
13	身近な科学：光と虹	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
14	現代社会の最先端科学：ＩＰＳ細胞、人工知能	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（２時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（２時間）	
15	現代社会の課題：環境問題	復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（４時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBS002
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 社会科学基礎
担当教員： 高倉　和弘(TAKAKURA　Kazuhiro)

【授業の紹介】
　社会科学とは、自然科学が自然の真理とは何かを探求することに対し、社会の真理を探究する学問です。自然科学に物理学や化学や生物学があるように、社会科学にも政治学や経済学や社会学などがあります。この授業では、現代社会の具体的課題を様々社会科学分野と関連付けながら認識するとともに、他者の考えを知ることを通して多様性に気づくきっかけとなることを想定しています。
　なお、受講者の希望により取り上げる問題を変更する場合があります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．現代社会が直面する様々な問題への視野を広げることができる。
２．情報を収集、検討、議論することで、解決への道筋を見つけ自分が取るべき行動を見極めることができる。

【成績の評価】
課題の提出状況（40%）、プレゼンテーション等を含めた質疑応答（30%）、授業への取り組み（30%）について総合的に評価します。課題等についてはその都度フィードバックを行います。

【使用テキスト】
特になし。授業プリントや資料を配布する。

【参考文献】
見田宗介「社会学入門－人間と社会の未来」（岩波新書）　2006
奥井智之「社会学 第2版」(東京大学出版会)　2014
ﾋﾟｰﾀｰ･L･ﾊﾞｰｶﾞｰ(著)水野節夫･村山研一(訳)「社会学への招待」（ちくま学芸文庫）　2017など
その他、その都度指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス並びにファクトとフェイク	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
2	成人年齢の引き下げ	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
3	選挙と地方自治	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
4	コミュニケーション	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
5	児童虐待といじめ	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
6	ハラスメント	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
7	働き方改革	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
8	インターネットと携帯電話	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
9	景気と物価変動	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
10	南海トラフ地震と防災	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
11	世界の分断と国際協調	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
12	ＳＤＧｓ	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
13	日本や世界が直面する様々な問題に対してあなたが言いたい事①	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
14	日本や世界が直面する様々な問題に対してあなたが言いたい事②	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
15	これからの日本や世界のためにあなたが取る行動	予習：予定されている授業内容を確認し、図書館やインターネット等で調べるなどして、要点をノートにまとめる。（２時間） 復習：講義内容を振り返り、課題を完成させ提出する。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBE101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語基礎Ⅰ
担当教員： 竹田　忠弘(TAKEDA　Tadahiro)

【授業の紹介】
　この授業では、日常生活でよく使われる語句や表現を学ぶことができます。言語活動を多く取り入れるので、受講生は自分自身、家族、友だち、学校、好きなことと嫌いなことなどについて英語で伝えるチャンスがあり、英語の技能を確実に高めることができます。各ユニットには、発音のポイントも配されており、満足な発音を身につけることができます。
　受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。Google Classroom Code: tnp4vhfv

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
1．英語で会話をするための基礎的な語句や表現を身につけることができる。
2．会話文を音読することで英語に慣れ、覚えた表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3．自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】
　「授業への関心・意欲・態度」１０%、「提出物等授業時間外に課す課題」１５%、「小テスト」２０%、「音読テスト」１５%、「定期試験」４０%の５項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
　なお、３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻３回で欠席１回とみなします。

【使用テキスト】
New Getting Into English 始めよう英会話！＜改訂新版＞ （Joseph Cronin, Eric Bray著、南雲堂、2023）

【参考文献】
なし

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
2	Unit 1 Hi, I’m Rina.	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
3	Unit 1 Hi, I’m Rina. Unit 2 How do you spell that?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
4	Unit 2 How do you spell that? Unit 3 What's the time?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
5	Unit 3 What's the time?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
6	Unit 4 Where are you from?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
7	Unit 4 Where are you from? Unit 5 What's your favorite food?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
8	Unit 5 What's your favorite food? Unit 6 How often do you get your hair cut?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
9	Unit 6 How often do you get your hair cut?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
10	Unit 7 What kinds of music do you like?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	Unit 7 What kinds of music do you like? Unit 8 Who's older, you or your sister?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
12	Unit 8 Who's older, you or your sister? Unit 9 How was your weekend?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
13	Unit 9 How was your weekend?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
14	音読テスト練習	予習として、音読テストに使う長文を読んで意味を書いてくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
15	音読テスト及び定期試験に向けての復習	予習として、音読テストに備えて練習してくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBE102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語基礎II
担当教員： 竹田　忠弘(TAKEDA　Tadahiro)

【授業の紹介】
　この授業では、日常生活でよく使われる語句や表現を学ぶことができます。言語活動を多く取り入れるので、受講生は自分自身、家族、友だち、学校、好きなことと嫌いなことなどについて英語で伝えるチャンスがあり、英語の技能を確実に高めることができます。各ユニットには、発音のポイントも配されており、満足な発音を身につけることができます。
　受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。 Google Classroom Codeは、第一回目の授業で知らせる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．英語で会話をするための基礎的な語句や表現を身につけることができる。
２．会話文を音読することで英語に慣れ、覚えた表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。
３．自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】
　「授業への関心・意欲・態度」１０%、「提出物等授業時間外に課す課題」１５%、「小テスト」２０%、「音読テスト」１５%、「定期試験」４０%の５項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
　なお、３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻３回で欠席１回とみなします。

【使用テキスト】
New Getting Into English 始めよう英会話！＜改訂新版＞ （Joseph Cronin, Eric Bray著、南雲堂、2023）

【参考文献】
なし

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
2	Unit 10 Have you ever been abroad?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
3	Unit 10 Have you ever been abroad? Unit 11 What kinds of movies do you like?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
4	Unit 11 What kinds of movies do you like? Unit 12 What's the weather going to be like?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
5	Unit 12 What's the weather going to be like?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
6	Unit 13 What's your favorite coffee shop?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
7	Unit 13 What's your favorite coffee shop? Unit 14 Do you have a part-time job?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
8	Unit 14 Do you have a part-time job? Unit 15 How long have you had your phone?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
9	Unit 15 How long have you had your phone?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
10	Unit 16 What kind of clothes do you like to wear?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
11	Is there a Santa Claus? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
12	Is there a Santa Claus? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
13	Unit 16 What kind of clothes do you like to wear? Conversation Game	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
14	音読テスト練習	予習として、音読テストに使用する長文を読んで意味を書いてくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
15	音読テスト及び定期試験に向けての復習	予習として、音読テストに備えて練習をしてくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UDO101
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 数理データサイエンスと未来【経】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),土井　理裕(DOI Masahiro),三島　啓雄(MISHIMA Yoshio)

【授業の紹介】
Society 5.0社会が到来し、大学での教育も大きく変化しようとしている。様々な課題解決の場においてもビッグデータやAIが活用される社会となっている。この様な状況において数理・データサイエンス・Aの知識や技術は、大変重要なテーマである。本講義では、入学当初に、・ 社会で起きている変化、・ データ・AI利活用の最新動向、・ 社会で活用されているデータ、・データ・AI利活用のための技術、・AI利活用の現場・AIの活用領域を中心に、STEAM教育の観点も含めSociety 5.0を実現するための学習として授業を行う。なお授業にあたっては学習管理システム（LMS）などを活用して授業を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
Society 5.0を実現する社会を理解することができる。
Society 5.0社会においても豊かな人間性を発揮できる。
Society 5.0社会で起きている事柄を理解することができる。
データ・AI利活用の最新動向を理解することができる。
社会で活用されているデータを知ることができる。
データ・AIの活用領域を理解することができる。
データ・AI利活用のための技術を習得することができる。
データ・AI利活用の現場（生成AIの活用含む）を知り、その活用ができる。

【成績の評価】
提出物50%、小テスト50%により評価を行う。
提出物は、評価して返却する。小テストは、模範解答を小テストの次の授業で解説することでフィードバックを行う。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
世界を変えるSTEAM人材　シリコンバレー「デザイン思考」の核心 (朝日新書)ヤング吉原麻里子著朝日新聞出版 2019
東京大学のデータサイエンティスト育成講座　Pythonで手を動かして学ぶデ―タ分析　塚本邦尊，山田典一，大澤文孝　(著)，中山浩太郎 (監修)，松尾 豊[協力] マイナビ出版　2019

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	What’s 数理・データサイエンス・ＡＩ（体験で学ぶSociety5.0）	授業で提出された課題を解く（4時間）	
2	What’s 数理・データサイエンス・ＡＩ（数学、Computer Science、Data Scienceの領域）	授業で提出された課題を解く（4時間）	
3	数理・データサイエンス・ＡＩ（第4次産業革、データ駆動型社会、身近なIoTを体験）	授業で提出された課題を解く（4時間）	
4	身近な生活の中にあるデータを利活用する事を学ぶ	授業で提出された課題を解く（4時間）	
5	数理・データサイエンス・ＡＩて何 数理・データサイエンス・ＡＩの関連とAI研究の歩みについて学ぶ	授業で提出された課題を解く（4時間）	
6	社会で活用されているデータ利活用してみよう オープンデータについて学ぶ	授業で提出された課題を解く（4時間）	
7	社会で活用されているデータ利活用してみよう オープンデータの活用方法について学ぶ	授業で提出された課題を解く（4時間）	
8	データ・AIの活用領域 産業など	授業で提出された課題を解く（4時間）	
9	データ・AIの活用領域 教育など	授業で提出された課題を解く（4時間）	
10	データ・AI利活用のための技術(Technology) ニューロコンピュータについて	授業で提出された課題を解く（4時間）	
11	データ・AI利活用のための技術(Technology) ディープラーニングについて	授業で提出された課題を解く（4時間）	
12	データ・AI利活用の現場（生成AIを含む）香川県内のオープンデータの利活用	授業で提出された課題を解く（4時間）	
13	データ・AI利活用の現場（生成AIを含む）オープンデータを使った地域課題の分析	授業で提出された課題を解く（4時間）	
14	データ・AI利活用の現場（生成AIを含む）オープンデータを使った地域課題への提言	授業で提出された課題を解く（4時間）	
15	数理・データサイエンス・ＡＩの将来	授業で提出された課題を解く（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI101
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報基礎
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko),三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
「AI」、「ビッグデータ」、「IoT」といったデータ利活用に関連する新技術の進展がこれからの社会に大きな変革をもたらしている。これらの新技術によって創出された新たな製品やサービス等を効果的に活用するために、また、社会人になる基礎力として、ITリテラシーに関する知識を身に付けることが必要となっている。この授業はデータやAIといったものを利活用する際に必要となる基本的な知識と習得し、現代社会におけるITへの認識を深めるよう展開していく。この知識や理解を深めるための実習課題を通し、情報技術活用によるメリットやデメリット、情報化社会に参画する態度についても考えることとする。
なお、この授業は国家試験である「ITパスポート試験」の入門としても役立つように配慮していく。また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。さらに、数理データサイエンスAI教育プログラム（リテラシーレベル）の科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１．パソコンなど情報機器を活用するために最低限必要な、情報機器（ハードウェア）およびソフトウェアの仕組み、情報処理の基礎概念を説明できる。
２．情報化社会に参画するための知識を習得できる。

【成績の評価】
授業内レポート（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。レポートおよび、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして期末試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】
かんたん合格 ITパスポート教科書＆必須問題 令和7年度　坂下夕里＆ラーニング編集部　インプレス
2024年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／情報社会で活用されているデータ紹介、データやAIに関する動向	予習として、Googleclassroomで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
2	ハードウェア（CPU、主記憶装置）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
3	ハードウェア（補助記憶装置、入出力装置、入出力インターフェース）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
4	ソフトウェア（OS、ファイルの管理）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
5	ソフトウェア（表計算ソフト、関数）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
6	コンピュータで扱うデータ（2進数）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
7	コンピュータで扱うデータ（マルチメディア）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
8	データベース	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
9	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る課題をレポートにまとめて提出する（２時間）	
10	ネットワーク	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
11	情報セキュリティの実際	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
12	システムの導入	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
13	システム開発とプロジェクトマネジメント	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
14	情報社会における光と影	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
15	データやAIを扱う上での留意事項	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（２時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（２時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報基礎演習【経Ａ】
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
　パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。
　高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
(2)学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
(3)将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 （１）パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作（2）コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)＋Webとメールの基本操作(1)：ワープロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)＋Webとメールの基本操作(2)：ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(1)：罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(2)：長文作成機能＋ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(3)：レポートの作成＋SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル（画像、音声、動画）の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報基礎演習【経Ｂ】
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
　パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。
　高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
(2)学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
(3)将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　Office2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 （１）パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作（2）コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)＋Webとメールの基本操作(1)：ワープロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)＋Webとメールの基本操作(2)：ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(1)：罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(2)：長文作成機能＋ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(3)：レポートの作成＋SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル（画像、音声、動画）の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報基礎演習【経C】
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
　パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。
　高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
(2)学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
(3)将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 （１）パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作（2）コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)＋Webとメールの基本操作(1)：ワープロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)＋Webとメールの基本操作(2)：ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(1)：罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(2)：長文作成機能＋ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(3)：レポートの作成＋SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル（画像、音声、動画）の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報基礎演習【経Ｄ】
担当教員： 山村　孝子(YAMAMURA　Takako)

【授業の紹介】
　パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。
　高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
(2)学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
(3)将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 （１）パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作（2）コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)＋Webとメールの基本操作(1)：ワープロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)＋Webとメールの基本操作(2)：ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(1)：罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(2)：長文作成機能＋ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)＋ネット社会の倫理とセキュリティ(3)：レポートの作成＋SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル（画像、音声、動画）の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報応用演習【経Ａ】
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
　情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
　数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
(2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
(3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
(4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （1）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （2）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピポットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報応用演習【経Ｂ】
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
　情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
　数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
(2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
(3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
(4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （1）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （2）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピポットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報応用演習【経C】
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
　情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
　数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
(2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
(3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
(4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （1）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （2）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピポットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報応用演習【経Ｄ】
担当教員： 山村　孝子(YAMAMURA　Takako)

【授業の紹介】
　情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
　数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
(1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
(2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
(3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
(4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】
　授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】
30時間アカデミック　情報リテラシー　0ffice2021　杉本くみ子他　実教出版　2022年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （1）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （2）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピポットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UDS101
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 数理データサイエンス基礎
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige),三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
　現代の情報化社会において、数理・データサイエンス・AIの重要性が認識され、様々な企業や組織での活動に必要とされるとともに、基礎的な考え方を理解し、日常生活や仕事において使いこなせる人材が必要とされるようになっています。この授業では、そもそも何のために何をどのように計量し、データを取得しようとしているのか、得られたデータをどのように使うのかについて、基礎的な学習を行うとともに、情報やAI(人工知能)の概要について学びます。
　この科目は、数理データサイエンスAI教育プログラムの選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
1. 情報とは何かを理解し、データと情報の違いを説明できる。
2. データの集まりについて、その統計量を把握できる。
3. 数理モデルを考え、その妥当性を確かめることができる。
4. 機械学習の仕組みの概要を把握し、説明できる。

【成績の評価】
授業における取組みとコメント（25%）、小テスト型課題（25%）、定期試験代わりの課題（50%）
コメントについては、優秀なものについて解説を行うことにより、フィードバックを行う。
小テスト型課題および定期試験代わりの課題については、採点結果を返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
資料を配布します。

【参考文献】
伊藤大河ら著「大学基礎　データサイエンス」（実教出版）ISBN978-4-407-36122-3
Kay, Mr.Φ著「楽しいAI体験から始める機械学習 算数・数学をやらせてみたら」（技術評論社）ISBN978-4-297-11276-9, ￥2,180+税
加藤公一監修, 秋庭伸也ら著「見て試してわかる機械学習アルゴリズムの仕組み　機械学習図鑑」（翔泳社）ISBN978-4-7981-5565-4, / 2,680+税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
2	データと情報	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
3	データの特徴を把握する	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
4	和の記号Σと数列の和	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：和の記号Σと数列の和に関する課題(2時間)	
5	物事を数式を使って表す	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
6	データをもとに推測する	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
7	確率の基礎知識	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：確率に関する課題(2時間)	
8	条件付確率とベイズの定理	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：条件付確率に関する課題(2時間)	
9	確率分布と期待値	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：期待値に関する課題(2時間)	
10	全数調査と標本調査	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
11	仮説検定	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
12	推定	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：仮説検定と推定に関する課題(2時間)	
13	AIを使う	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
14	AIは考えているのか	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明と	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	今後の学習活動へのアドバイス	をまとめる(2時間) 課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UDS201
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： データ分析活用法
担当教員： 正岡　利朗(MASAOKA　Toshirou)

【授業の紹介】
　データを処理して分析し、その活用を図るという観点より、企業及び公共組織等が商品の販売促進やサービスの向上などを企図して行うアンケート調査につき、教員が解説を行うかたちで、講義を進めます。アンケートを回答したことがあっても、自ら作る側に回った方は少ないと思われます。ですが、このような知識は、みなさんがさまざまな組織で仕事をするに当たり、身につけておいて決して損はしないものです。慣れてくると、考え方が整理され、アンケート調査の重要性、有用性がだんだんわかってきますので、興味のある方はこの機会にぜひ受講してみてください。
　なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報・商業）取得のための選択科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．企業及び公共組織等が商品の販売やサービスなどを促進させるために行うアンケート調査について、理解を深めることができる。
２．リサーチの技法を確実に身につけることができる。
３．上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身につけることができる。

【成績の評価】
　レポート提出（100%）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
　とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】
　酒井隆『アンケート調査の進め方＜第２版＞』日本経済新聞出版社、2012年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	アンケート調査とは	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
3	企画・設計の手順（調査課題の設定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
4	企画・設計の手順（調査方法の選定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
5	企画・設計の手順（調査期間等の見通し）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
6	アンケート票の作成（言葉遣いについて）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
7	アンケート票の作成（調査ボリューム）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
8	アンケート票の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
9	集計・分析の手順（集計の手順）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
10	集計・分析の手順（集計方法）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
11	集計・分析の手順（集計上の留意点）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
12	報告書の作成（文章、分析内容の検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
13	報告書の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
14	とくにｗｅｂ調査について	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCL001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： コミュニケーション表現【経】
担当教員： 岩澤　健(IWASAWA Takeshi)

【授業の紹介】
この授業では、現代社会に不可欠なコミュニケーションについて、その理論と実践を学び、社会生活で求められるコミュニケーションの力を考え、身につけることを目標にします。聞く力や、正しく読む力などコミュニケーションの力などを身につけることで、問題発見、課題解決能力とは何かを理解し、対人関係の問題や目標に向かって進む思考力を高めることも目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
①社会生活で重要なコミュニケーションを図る能力を身に着けることができる。
②企業社会で必要とされるコミュニケーション能力とは何かが理解できる。
③「話す力」「聞く力」「書く力」「読む力」ができる。
④「考える力」「問題を発見し、解決する思考」が身に着けられる。
⑤コミュニケーションの観点から、経済学、経営学などへの興味が高められるようになる。

【成績の評価】
受講態度（約50%）、小作文・レポート（約50%）などで評価します。作文・リポート等については適宜、フィードバックします。定期試験はなし。

【使用テキスト】
使用テキストなし、随時授業資料を配付

【参考文献】
アクセルロッド「付き合い方の科学」
中川邦夫「問題解決の全体観」
内田和成「論点思考」
内田和成「仮説思考」
グロービス経営大学院「クリティカルシンキング」
照屋華子「ロジカルライティング」
渡辺隆裕「ゼミナールゲーム理論入門」
福田充「リスクコミュニケーション」

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ことば表現：「オリエンテーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
2	ことば表現：「聴く力、共感力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
3	ことば表現：「質問する力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
4	ことば表現：「書く力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
5	ことば表現：「行動経済学とコミュニケーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
6	ことば表現：「ロジカルシンキングで書く、話す」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
7	ことば表現：「様々な思考法」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
8	ことば表現：「詭弁について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（２時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
9	ことば表現：「具体と抽象、比喩表現」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）して	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		もらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
10	ことば表現：「問題解決能力、フェルミ推定」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
11	ことば表現：「クリティカルシンキング」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
12	ことば表現：「言い方の工夫　クッション言葉」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
13	ことば表現：「ゲーム理論へのアプローチ」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
14	ことば表現：「マスメディア論」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
15	ことば表現：「まとめ　人を動かす」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（2時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習（２時間）してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCL002
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： コミュニケーション演習Ⅰ【経】
担当教員： 岩澤　健(IWASAWA Takeshi)

【授業の紹介】
近年、コミュニケーションの重要性が叫ばれています。幸福感、健康、仕事の成功などを導く最大の要因の一つは人間関係だと言われており、それを良好にする力がコミュニケーションです。「聞く」「話す」「読む」「書く」というコミュニケーション能力を高めることで、社会生活を円滑に送ったり、社会に貢献できたりする人間力を高めることが可能になります。より良いコミュニケーションの探求の先に、問題発見や解決に取り組む能力をつけることも目標にします。
関連科目の「コミュニケーション演習Ⅱ」もあわせて履修を希望します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
①コミュニケーション全般についての基礎的概念の理解を深めることができる。
②「聴く技術」を身につけ、対人コミュニケーション能力を高めることができる。
③総合的なコミュニケーションの技術を身につけ、様々な知識を吸収する力、考える力が高められるようになる。
④書く力が身につけられる。

【成績の評価】
受講態度（約50%）、小作文・レポート（約50%）などで評価します。小作文・リポート等については適宜、フィードバックします。定期試験はなし。

【使用テキスト】
使用テキストなし、随時授業資料を配付

【参考文献】
杉原保史「プロカウンセラーの共感の技術」
照屋華子著「ロジカル・シンキング」
ケイト・マーフィー「リッスン」
ロバート・チャルディーニ著「影響力の武器」
ダニエル・カーネマン「ファスト＆スロー」
山崎康司著「考える技術・書く技術」
ジェシカ・ブロディ「セイブザキャットの法則」

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ことば表現演習：「オリエンテーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
2	ことば表現演習：「傾聴する力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
3	ことば表現演習：「共感力を高める」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
4	ことば表現演習：「質問力をつける」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
5	ことば表現演習：「非言語コミュニケーションの重要性を知る」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
6	ことば表現演習：「文章の基本について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
7	ことば表現演習：「アサーティブコミュニケーションを知る」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
8	ことば表現演習：「読解力をつける」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
9	ことば表現演習：「感情をコントロールする」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
10	ことば表現演習：「文章表現について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいま	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		す。必要に応じて、課題も出します。	
11	ことば表現演習：「認知バイアスを理解する」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
12	ことば表現演習：「論理的に書く、話す」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
13	ことば表現演習：「文章を書く　ストーリーテリング」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
14	ことば表現演習：「問題発見、解決能力の基本」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
15	ことば表現演習：「まとめ」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCL003
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： コミュニケーション演習Ⅱ【経】
担当教員： 岩澤　健(IWASAWA Takeshi)

【授業の紹介】
企業が新入社員に求める能力として、毎年上位にあがるのが「コミュニケーション能力」です。一方で、コミュニケーションが苦手と言う若い世代も増えています。
この授業では、社会人として活躍できる力としてコミュニケーション能力を高め、社会生活で良好な対人関係を築けるような方法についても学びます。書く力を身に着けることにも力点を置きます。
「コミュニケーションで説得する力」「人の心を動かすコミュニケーション」「論理的な思考能力」などを身につけることで、問題解決に取り組む力の育成も図ります。
関連科目の「コミュニケーション演習Ⅰ」もあわせて履修を希望します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
①コミュニケーション全般についての基礎的概念の理解を深めることができる。
②「聴く技術」を身につけ、対人コミュニケーション能力を高められる。
③実社会で役立つ「分かりやすい文章」「人の心を動かす文章」を学ぶことができる。
④ビジネスで求められるコミュニケーション力を身につけることができる。
⑤総合的なコミュニケーションの技術を身につけ、様々な知識を吸収する力、考える力を高めることができる。

【成績の評価】
受講態度（約50%）、小作文・レポート（約50%）などで評価します。作文・リポート等については適宜、フィードバックします。定期試験はなし。

【使用テキスト】
使用テキストなし、随時授業資料を配付

【参考文献】
杉原保史「プロカウンセラーの共感の技術」
照屋華子著「ロジカル・シンキング」
ケイト・マーフィー「リッスン」
ロバート・チャルディーニ著「影響力の武器」
ダニエル・カーネマン「ファスト＆スロー」
山崎康司著「考える技術・書く技術」
ジェシカ・ブロディ「セイブザキャットの法則」

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ことば表現演習：「オリエンテーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
2	ことば表現演習：「アクティブリスニング」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
3	ことば表現演習：「説得する力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
4	ことば表現演習：「わかりやすく書く」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
5	ことば表現演習：「交渉術」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
6	ことば表現演習：「言語化する力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
7	ことば表現演習：「書く力を磨く」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
8	ことば表現演習：「敬語について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
9	ことば表現演習：「行動経済学、ナッジ理論について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
10	ことば表現演習：「ビジネスコミュニケーションについて」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいま	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		す。必要に応じて、課題も出します。	
11	ことば表現演習：「心を動かす書き方」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
12	ことば表現演習：「ゴールデンサークル論理」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
13	ことば表現演習：「コピーライティングの技法」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
14	ことば表現演習：「商談の話法」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
15	ことば表現演習：「まとめ」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（１時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCS001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： マスメディアと社会
担当教員： 山下　淳二(YAMASHITA　Junji)

【授業の紹介】
　ネット社会の進展につれ変貌するマスコミュニケーションの実相を新聞を中心としたオールドメディアの側から明らかにし、現代社会において望ましいマスメディアの在り方、市民との関係について学ぶ。情報はどのようにとらえられ、加工され、送られるのか。40年を超える新聞づくりの経験を生かしながら、送り手側の問題点、受け手側の課題を探る。その中で得られるメディア・リテラシーは、自ら考え、判断し、行動する力の基礎となるだろう。言葉を換えれば、「情報化社会を知的に生きる基礎」と言える。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
情報を読むことは単に字面を追うことではない。
１．毎回の授業の冒頭は、最新のニュースを題材に、読み方を議論しながら情報を鵜呑みにしない視点を磨くことができる。
２．情報を主体的に読み解く力、メディア・リテラシーの獲得をめざす。

【成績の評価】
この１週間の出来事の中から、テーマを選び毎週提出するミニ・リポートは、独自の視点を養い、情報の偏りの有無などを発見する作業。
毎授業の初めに、前週のリポートの主な評価をコメント付きで発表し、全員で考える材料とすることでフィードバックします。（50%）
最後に、統一のテーマを設定して締めくくりのリポート提出を求める。（50%）

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
日々の新聞、雑誌など

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
2	マスメディアの興亡（歴史）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
3	ネット社会のマスメディア（現状）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
4	ニュースとは何か	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
5	ニュースの価値判断	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
6	報道と人権（概論）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
7	報道と人権（えん罪の構造）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
8	知る権利と報道の自由	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
9	取材源の秘匿と報道倫理	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
10	マスメディアの構造的問題（記者クラブ）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ア・リテラシーの実践である。	
11	マスメディアの構造的問題（新聞の宅配制度と特殊指定）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
12	マスメディアの構造的問題（クライアントとの距離感）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
13	マスメディアの構造的問題（クロス・オーナー・シップ）	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
14	メディア・リテラシー	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
15	これまでの講義のまとめ及び質疑応答	１週間のうち１本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをリポートする（３時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（１時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCH001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 比較文化
担当教員： 井上　隆史(INOUE Takashi)

【授業の紹介】
　世界は大きく動き始めています。これまで以上に様々な民族や文化と触れる時代になっていくことは間違いありません。ヨーロッパで、そして中国、朝鮮半島、モンゴル、東南アジアなど多くのアジアの国とかかわって、様々なドキュメンタリーを制作してきたジャーナリストの眼から見、肌で感じた文化と歴史、人々の暮らしを紹介します。２１世紀の世界はまさに激動と混迷の時代に入ってしまいました。世界で、アジアの国々で今何が起きているのか？人々はどんな暮らしをしているのか・・・？古代と現代を行き来し、時空を超えた旅をしながら、それぞれの国や地域の魅力にも迫りたいと思います。
　グローバル時代を生き抜くためには、歴史の事象や世界を「複眼」で見ることを心がけなければなりません。まずは世界を知ることです。日本と関係の深い国々や、同じアジア文化圏の歴史や今に触れて実像を知り、日本との繋がりやその違いを見つめ直すことが重要です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】
１，授業で取り上げた国々や事件・事象の中で最も関心を持ったテーマについて、自分なりの意見を１５００字程度で書くことができる。
２，浮かび上がった日本および日本人の問題点・課題を自分なりにわかりやすく述べることができる。

【成績の評価】
レポート（50%）授業への参加状況（50%）レポートは集中講義終了後採点し、コメントをつけて返却することでフィードバックをします。

【使用テキスト】
必要に応じて講義の時に配布します。

【参考文献】
麺の文化史（講談社学術文庫）
みろくへの道（包出版・東京藝術大学）
国際スパイ・ゾルゲの真実（角川書店）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ヨーロッパの国々①イギリスとアイルランドで見た「大英帝国の栄光と挫折」	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
2	ヨーロッパの国々②イタリア・ローマ、ベネチア、フィレンチェを辿るシルクロードの物語	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
3	ヨーロッパの国々③オランダから、ドイツ・北欧ノルウェーへ、ナチスドイツの残影を見る	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
4	ロシアの実像①日露戦争とは何だったのか？旅順要塞と奉天会戦の勝利の謎に迫る	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
5	ロシアの実像②プーチンが「史上最高のスパイ」と讃えるリヒャルト・ゾルゲの東京での活動	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
6	ロシアの実像③クリミア半島の激動の歴史から考えるウクライナ戦争	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
7	麺の道を行く①讃岐うどんの原点である麺文化の源流に迫る。小麦はシルクロードで伝わった。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		と。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
8	麺の道を行く②中国の黄色い大地「黄土高原」で生まれ、育まれた豊かな麺文化。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
9	麺の道を行く③唐の都長安からイタリア・ローマへ。麺食文化はシルクロードを西に辿る。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
10	アジアの国々の素顔に迫る①ベトナム戦争に翻弄された人々と対外開放政策ドイモイによる発展	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
11	アジアの国々の素顔に迫る②韓国、北朝鮮。分断された半島で出会った人々とそれぞれの暮らし。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
12	アジアの国々の素顔に迫る③ミャンマーはどこに向かうのか？日本が支援した独立運動と軍事政権。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
13	アジアの国々の素顔に迫る④マラッカ海峡から世界を俯瞰する。シンガポール・マレーシア	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
14	アジアの国々の素顔に迫る⑤高速鉄道で中国に繋がったタイ・ラオスの今と人々の素顔。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
15	アジアの国々の素顔に迫る⑥中国はどこに向かうのか。シルクロード少数民族の視点から考える。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（２時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙１枚程度にまとめておくこと。（２時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCE101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語Ⅰ【経あ】
担当教員： バテン，ポール(BATTEN, Paul)

【授業の紹介】
本授業では、基礎的な英語文法の定着を図るとともに、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。身近で実用的なトピックを扱いながら、読む・聞く・書く・話すという英語の総合的な運用能力を習得し、社会人としての幅広い教養を身に付け、豊かな人間性の向上を目指します。
また、さらなるリスニング能力の定着に向けて、ディクテーション活動を適宜取り入れます。和訳の練習も行います。
毎回、十分に予習・復習を行った上で授業に臨んで下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	① 豊かな人間性や主体的に生きる力	
		② 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③ 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1．英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2．英文法の基礎を理解することができる。
3．英語語彙および表現を練習し、使うことができる。
4．多文化コミュニケーションに対する知識や理解を深めることができる。

【成績の評価】
小テスト（30%）、定期試験（30%）、授業中の各活動（40%）
フィードバック方法：授業中に行います。
小テストはその都度解答・解説を行う。

【使用テキスト】
柴田真一、神藤理恵、Lindsay Wells 著
『MUST-HAVE English Skills for Global Communication』（金星堂　2018年）

【参考文献】
オンライン英和辞典等を必ず準備してください。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	Introduction and course outline	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
2	Unit 1 May I help you?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
3	初対面の人と会話を続け表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
4	Unit 2 What do you do on the weekend?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
5	ポジティブ・ネガティブな意見を述べる時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
6	Unit 3 That sounds interesting!	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
7	体調を伝える時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	Unit 4 I'm not feeling well.	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
9	注意する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
10	Unit 5 You shouldn't step there!	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
11	提案する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
12	Unit 6 Why don't we buy potatoes?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
13	スケジュールを調整する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
14	Unit 7 Would 5:00 p. m. be convenient for you?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	依頼を断る時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCE101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語Ⅰ【経い】
担当教員： 藤井　昭洋(FUJII　Akihiro)

【授業の紹介】
本授業では、英語の文法力のさらなる定着を図るとともに、卒業後の社会において求められる英語でのコミュニケーション力の強化のために必要となる聴解力と読解力の強化に努めます。家庭では予習と復習が求められ、その確認のため毎回授業のはじめに小テストを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
バランスの取れた英語力の習得のためには、当然のことながら文法・語法の理解は不可欠です。この授業で目指すものは、以下の三つです。

①英語の文法を確実に理解し、使うことができる。
②まとまった長さの英文を読み、内容を理解することができる。
③実用英語技能検定試験準2級程度の英文を聞き、理解することができる。

【成績の評価】
小テスト(40 %)、宿題(10 %)および 定期試験(50 %)の結果を総合的に判断して行ないます。毎時間行なう小テストは、その直後に解答を解説します。また宿題としての提出物は、評価したものをその後の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】
大坂　四郎　First Steps to English Grammar 「カレッジ英文法入門」(南雲堂)

【参考文献】
オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・英語のbe動詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
2	一般動詞（現在）+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
3	一般動詞（過去）+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
4	進行形 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
5	未来形 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
6	助動詞　+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
7	名詞・冠詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
8	代名詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
9	前置詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
10	形容詞・副詞+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分）	
11	比較 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
12	命令文・感嘆文 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
13	接続詞(Ｉ) + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
14	不定詞(Ｉ)・動名詞(Ｉ) + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
15	受動態 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語II【経あ】
担当教員： バテン，ポール(BATTEN, Paul)

【授業の紹介】
英語Ⅰに継続し、本授業では基礎的な英語文法の定着を図るとともに、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。身近で実用的なトピックを扱いながら、読む・聞く・書く・話すという英語の総合的な運用能力を習得し、社会人としての幅広い教養を身に付け、豊かな人間性の向上を目指します。
また、さらなるリスニング能力の定着に向けてディクテーション活動を適宜取り入れます。
毎回、十分に予習・復習を行った上で授業に臨んでください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1．英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2．英文法の基礎を理解することができる。
3．異文化に対する知識や理解を深めることができる。
4．仕事で使う数字、金額、などを正しく書くことということができる。

【成績の評価】
小テスト（30%）、定期試験（30%）、授業中の各活動（40%）
フィードバック方法：授業中に行います。
小テストはその都度解答・解説を行う。

【使用テキスト】
柴田　真一、神藤　理恵、Lindsay Wells 著
『MUST-HAVE English Skills for Global Communication』（金星堂　2018年）

【参考文献】
英和辞典を必ず準備してください（電子辞書可）。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、Unit 8 - I'll have to pass	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
2	Dealing with Diet Restrictionsについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
3	Unit 9 - I have an idea	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
4	The importance of being proactiveについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
5	Unit 10 - Could you do me a favor?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
6	Two ways to ask: Directly or indirectlyについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
7	Unit 11 - I think you could explain this more	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	Giving and accepting criticism in an effective wayについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
9	Unit 12 - I don't get what you mean	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
10	But I still don't understandについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
11	Unit 13 - I'm so sorry to hear that	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
12	Being a good winner ... or loserについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
13	Unit 14 - That's not what I meant	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
14	What should I give them?について	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	Unit 15 - Let's keep in touch	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 ①小テストに向けての復習 ②授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてくること。事前に１時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてくること。復習は毎回２時間程度しておくこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語II【経い】
担当教員： 藤井　昭洋(FUJII　Akihiro)

【授業の紹介】
英語Ⅰに引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力をさらに高め、将来社会人として最低限必要な英語力の涵養に努めます。また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決能力の向上をもめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1. 基本的な英文法を理解し、使うことができる。
2. 平易な英文の読解ができる。
3. 日常的な英文を聞いて、概要をつかむことができる。
4. 英検準2級の問題は、ほぼ解くことができる。

【成績の評価】
小テスト(40 %)、提出物（10%）および 定期試験(50 %)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物は、評価したものを次の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】
前期の進度により、後期に使用するテキストは，前期の最後に指示します。

【参考文献】
オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・前期の復習	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
2	完了形（１）－現在完了－	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
3	完了形（２）－未来完了・過去完了－	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
4	接続詞（２）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
5	５つの基本文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
6	各種疑問文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
7	不定詞（２）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
8	Itの特別用法	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
9	現在分詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
10	過去分詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分）	
11	動名詞（２）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
12	関係代名詞（１）－主格・目的格－	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
13	関係代名詞（２）－所有格－	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
14	仮定法過去	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
15	仮定法過去完了・未来完了	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語III【経あ】
担当教員： 藤井　昭洋(FUJII　Akihiro)

【授業の紹介】
本授業では、中学校・高等学校で習った英語文法力の定着を図るとともに、卒業後の社会において求められる英語でのコミュニケーション力の強化のために必要となる聴解力と読解力の強化に努めます。家庭では予習と復習が求められ、その確認のため毎回授業のはじめに小テストを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
バランスの取れた英語力の習得のためには、当然のことながら文法・語法の理解は不可欠です。この授業で目指すものは、以下の三つです。

①基礎的な文法を確実に理解し、使うことができる。
②まとまった長さの英文を読み、内容を理解することができる。
③実用英語技能検定試験準2級程度の英文を聞き、理解することができる。

【成績の評価】
小テスト(40 %)、宿題(10 %)および 定期試験(50 %)の結果を総合的に判断して行ないます。毎時間行なう小テストは、その直後に解答を解説します。また宿題としての提出物は、評価したものをその後の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】
山田久美　他、　Starting　Gate（「基礎から始める英語演習」）（南雲堂)

【参考文献】
オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・母国語・外国語	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
2	一般動詞（現在・過去）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
3	一般動詞（未来）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
4	進行形	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
5	助動詞（shall,will）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
6	助動詞（can,may,etc.）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
7	名詞・冠詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
8	代名詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
9	前置詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
10	形容詞・副詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分）	
11	比較級	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
12	最上級	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
13	命令文・感嘆文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
14	5文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
15	まとめと質問	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語III【経い】
担当教員： 竹田　忠弘(TAKEDA　Tadahiro)

【授業の紹介】
日本の大学生二人が様々な国からの留学生と共に助け合いながら学生生活を送る様子を英語で学びます。大学の日常生活で起こりやすい話題を扱っているので親しみやすいと思われます。扱う表現は、挨拶、提案、苦情を伝える、依頼を断る、要望を伝えるなどです。英語の４技能を駆使して「英語を使う」授業を心掛けます。また、まとまった英文の音読を繰り返すことで、声に出して読む力の向上を目指します。
受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、英文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。 Google Classroom Code:7x7osaax

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．日常生活でよく使われる英会話独特の表現に慣れ、正しく発音することができる。
２．覚えた表現を用いてクラスメートとコミュニケーションを図ることができる。
３．まとまった英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、概要を伝えることができる。

【成績の評価】
「授業への関心・意欲・態度」１０%、「提出物等授業時間外に課す課題」１５%、「小テスト」２０%、「音読テスト」１５%、「定期試験」４０%の５項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻３回で欠席１回とみなします。

【使用テキスト】
Daily English for College Students Book 1（中西のりこ　平井　愛　Mary Ellis 著、成美堂、2025年）

【参考文献】
なし

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
2	Unit 1 Nice to meet you. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
3	Unit 1 Nice to meet you. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
4	Unit 2 I have an idea. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
5	Unit 2 I have an idea. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
6	Unit 3 There was a mistake in shipping. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
7	Unit 3 There was a mistake in shipping. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
8	音読テストの練習及び音読テスト	予習として、音読テストに備えて練習してくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
9	Unit 4 I need a scholarship. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
10	Unit 4 I need a scholarship. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
11	Unit 5 Vegetarian menu, please. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
12	Unit 5 Vegetarian menu, please. (Reading,	予習として、次回に行うUnitの問題を解いて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	Writing, Grammar Practice)	くること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
13	Unit 6 Could you tell me more about it? (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
14	Unit 6 Could you tell me more about it? (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
15	音読テストの練習及び音読テスト	予習として、音読テストに備えて練習してくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語IV【経あ】
担当教員： 藤井　昭洋(FUJII　Akihiro)

【授業の紹介】
英語IIIに引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力をさらに高め、将来社会人として最低限必要な英語力の涵養に努めます。また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決能力の向上をもめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1. 基本的な英文法を理解し、使うことができる。
2. 平易な英文の読解ができる。
3. 日常的な英文を聞いて、概要をつかむことができる。
4. 英検準2級の問題は、ほぼ解くことができる。

【成績の評価】
小テスト(40 %)、提出物（10%）および 定期試験(50 %)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物は、評価したものを次の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】
前期の進度により、後期に使用するテキストは，前期の最後に指示します。

【参考文献】
オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・前期の復習	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
2	命令・感嘆文 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
3	接続詞 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
4	動名詞 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
5	不定詞（1）名詞的用法 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
6	不定詞（2）形容詞・副詞的用法 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
7	Itの特別用法　+ Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
8	時制 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
9	関係代名詞（1）（基本) + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
10	関係代名詞（2）（発展）+ Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
11	完了形（結果、継続）+ Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
12	完了形（経験）+ Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
13	仮定法 （基本）+ Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
14	仮定法（過去完了）+ Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
15	英語の重要構文と熟語 + Reading & Listening	１．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（１５分） ２．提出物の準備をすること。（１５分） ３．次回の授業の予習をすること。（３０分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語IV【経い】
担当教員： 竹田　忠弘(TAKEDA　Tadahiro)

【授業の紹介】
英語Ⅲに引き続き、日本の大学生二人が様々な国からの留学生と共に助け合いながら学生生活を送る様子を英語で学びます。大学の日常生活で起こりやすい話題を扱っているので親しみやすいと思われます。扱う表現は、謝る、相手を励ます、友達を誘う、相手を説得する、感謝の気持ちを伝えるなどです。英語の４技能を駆使して「英語を使う」授業を心掛けます。また、まとまった英文の音読を繰り返すことで、声に出して読む力の向上を目指します。
受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、英文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。Google Classroom Codeは、第一回目の授業で知らせる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．日常生活でよく使われる英会話独特の表現に慣れ、正しく発音することができる。
２．覚えた表現を用いてクラスメートとコミュニケーションを図ることができる。
３．まとまった英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、概要を伝えることができる。

【成績の評価】
「授業への関心・意欲・態度」１０%、「提出物等授業時間外に課す課題」１５%、「小テスト」２０%、「音読テスト」１５%、「定期試験」４０%の５項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻３回で欠席１回とみなします。

【使用テキスト】
Daily English for College Students Book 1　（中西 のりこ　平井 愛　Mary Ellis 著、成美堂、2025年）

【参考文献】
なし

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第１回　オリエンテーション	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
2	Unit 7 I've forgotten my password. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
3	Unit 7 I've forgotten my password. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
4	Unit 8 I see what you mean. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
5	Unit 8 I see what you mean. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
6	Unit 9 Good job! (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
7	Unit 9 Good job! (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
8	音読テストの練習及び音読テスト	予習として、音読テストに備えて練習してくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
9	Unit 10 Come and join us! (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
10	Unit 10 Come and join us! (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	Unit 11 This will definitely help you. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
12	Unit 11 This will definitely help you. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
13	Unit 12 Thanks for everything. (Listening, Dictation, Useful Expressions)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
14	Unit 12 Thanks for everything. (Reading, Writing, Grammar Practice)	予習として、次回に行うUnitの問題を解いてくること。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
15	音読テストの練習及び音読テスト	予習として、音読テストに備えて練習してくる。（３０分） 復習として、音読テストを３回実施するとともに、小テストを５回実施します。そのためのワークシートを５枚課します。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE203
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語表現法Ⅰ
担当教員： ブルスビーン　アマド　タボアダ

【授業の紹介】
In this course, the students will practice expressing themselves more accurately, fluently and appropriately. There are video clips that can show students how to use target language in real life setting and practice these expressions in a role play with their classmates and peers. This course aims to maximize their opportunity to develop confident conversation skills in addition to improving their listening and speaking skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
By the end of the course, students should have maximized their opportunities to develop confidence in handling real-life conversations. The combination of classroom activities should have helped improve their speaking, pronunciation and listening skills.

【成績の評価】
In-class effort (individual and collaborative work): 45%
Midterm Exam: 25%
Final Exam: 30%

【使用テキスト】
Student Book and Workbook
Speak Now 1 Communicate with Confidence by Jack C. Richards and David Bohlke, Oxford University Press (ISBN 978-0-19-403015-1) (STUDENT BOOK)
Speak Now 1 Communicate with Confidence by Jack C. Richards and David Bohlke, Oxford University Press (ISBN 978-0-19-403052-6) (WORKBOOK)

【参考文献】
https://engoo.jp/app/daily-news
A very useful website for self-study.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	Course explanation and self-introductions. Students will learn about what they need for the course as well as what is expected of them to succeed. Lesson/Unit 1 – How are you?	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
2	Unit 2 – Nice to meet you. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
3	Unit 3 – Can you say that again. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
4	Unit 4 – Nice weather, isn't it? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
5	Unit 5 – I love hip-hop! And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
6	Unit 6 – My favorite movie is… And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
7	Unit 7 – What time is it? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
8	Unit 8 – Would you try kayaking. And MIDTERM EXAM	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
9	Unit 9 – Do you have any brothers? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
10	Unit 10 – She's pretty smart. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
11	Unit 11 – I love your shirt. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
12	Unit 12 – What's she wearing? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
13	Unit 13 – When do you get up? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
14	Unit 14 – When do you get there? And	Students will be expected to complete 60	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	workbook activities.	minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
15	Unit 15 – What do you do first? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE204
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 英語表現法II
担当教員： ブルスビーン　アマド　タボアダ

【授業の紹介】
Building from the previous course, students will continue to participate in different conversation activities ranging from personal to societal matters. Through combination of writing speaking and listening tasks the students will have opportunity to use English to express their own experiences and opinions.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
By the end of the course come on the students will have fair understanding of grammatical rules and expressions used in day-to-day life and should have built up a word bank that can help them converse with English speakers.

【成績の評価】
In-class effort (individual and collaborative work): 45%
Midterm Exam: 25%
Final Exam: 30%

【使用テキスト】
Student Book and Workbook
Speak Now 1 Communicate with Confidence by Jack C. Richards and David Bohlke, Oxford University Press (ISBN 978-0-19-403015-1) (STUDENT BOOK)
Speak Now 1 Communicate with Confidence by Jack C. Richards and David Bohlke, Oxford University Press (ISBN 978-0-19-403052-6) (WORKBOOK)

【参考文献】
https://engoo.jp/app/daily-news
A very useful website for self-study.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	Course explanation and self-introductions. Students will learn about what they need for the course as well as what is expected of them to succeed. Lesson/Unit 17 – What's your place like?	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
2	Unit 18 – Where can I get a lamp? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
3	Unit 19 – Where the mall? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
4	Unit 20 – Take a left. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
5	Unit 21 – How much is the coffee? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
6	Unit 22 – Will you take $20? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
7	Unit 23 – Do you ever buy books? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
8	Unit 24 – Your phone is so cool! And MIDTERM EXAM	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
9	Unit 25 – Do you eat much fruit? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
10	Unit 26 – We need onions. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
11	Unit 27 – Do you eat a big lunch? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
12	Unit 28 – How does it taste? And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
13	Unit 29 – I had a great weekend. And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
14	Unit 30 – What time did you call? And	Students will be expected to complete 60	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	workbook activities.	minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
15	Unit 31 – You won't believe this! And workbook activities.	Students will be expected to complete 60 minutes of homework each week. They are expected to read the next unit in advance, in preparation for the class.	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCF101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： フランス語Ⅰ
担当教員： エラリー　ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】
「フランス語が難しければ、フランス人でも話せません！」という出発点から始まります。赤ちゃんは周りの音から少しずつ意味が取れるようになり、自分から表現できるようになります。このフランス語Ⅰに参加される皆さんは赤ちゃんではありませんが、同じやり方で少しずつフランス語を自分のものにしていきます。ポイントは実際に話される内容を生かせることです。つまり、テキストの登場人物がやっていることを学んでいくのではなく、自分について、自分がやっていることについて、自分がやりたいことについて、そしてそれぞれについて仲間に尋ねる、という覚え方です。

１５回の授業を２つのプロジェクトに分けます。それをさらに３つのテーマに分けて、各テーマに対して２つの授業をします。1つ目の授業は先生の話しているモデルに従った簡単な会話が中心になり（話す力）、そして、その会話について簡単な文書を読みます（読む力）。２つ目の授業は身についた内容について簡単な作文をし（書く力）、それを発表して、会話に戻します（一つの「聞く、話す、読む、書く」循環が完成できました）。テーマを通じて、語彙や使える表現が少しずつ増やしていきます。
プロジェクトごとにまとめ（復習）の授業があります。最後の授業は次のステップにつなげる内容を導入します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
２．総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。

【成績の評価】
授業中の積極的な参加の評価　　８０％
テーマの復習　　２０％　　総合合格点は６０点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
必要な場合はプリント

【参考文献】
https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
2	（初級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
3	（初級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
4	（初級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
5	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
6	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
7	（初級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
8	（中級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
9	（中級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
10	（中級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
11	（中級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
12	（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
13	（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
14	（中級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
15	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCF102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： フランス語II
担当教員： エラリー　ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】
フランス語Ｉを参照。
フランス語Ⅱは、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定５級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
２．総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。
３．独学でフランス語検定５級を受けられる力を身につけることができる。

【成績の評価】
授業中の積極的な参加の評価　　８０％
テーマの復習　　２０％　　総合合格点は６０点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
必要な場合はプリント

【参考文献】
https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
2	（初級）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
3	（中級１）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
4	（中級１）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
5	（中級２）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
6	（中級２）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
7	テーマの復習（第１回～第６回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
8	（初級）最近あったことについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
9	（初級）最近あったことについて、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
10	（初級）これからあることについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
11	（初級）これからあることについて、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
12	（中級）最近あったこと、これからあることについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
13	（中級）最近あったこと、これからあることについて、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
14	テーマの復習（第８回～第１３回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
15	（初級）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCF201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： フランス語III
担当教員： エラリー　ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】
フランス語Ｉを参照。
フランス語Ⅲは、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定４級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
２．総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。

【成績の評価】
授業中の積極的な参加の評価　　８０％
テーマの復習　　２０％　　総合合格点は６０点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
必要な場合はプリント

【参考文献】
https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
2	（初級）自分の好みとその理由について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
3	（中級１）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
4	（中級１）自分の好みとその理由について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
5	（中級２）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
6	（中級２）自分の好みとその理由について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
7	テーマの復習（第１回～第６回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
8	（初級）自分の小さい頃について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
9	（初級）自分の小さい頃について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
10	（中級１）自分の小さい頃について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
11	（中級１）自分の小さい頃について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
12	（中級２）自分の小さい頃について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
13	（中級２）自分の小さい頃について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
14	テーマの復習（第８回～第１３回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
15	（初級）人や場所の描写、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCF202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： フランス語IV
担当教員： エラリー　ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】
フランス語Ｉを参照。
フランス語IVは、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定４級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
２．総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。
３．独学でフランス語検定４級を受けられる力を身につけることができる。

【成績の評価】
授業中の積極的な参加の評価　　８０％
テーマの復習　　２０％　　総合合格点は６０点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
必要な場合はプリント

【参考文献】
https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
2	（初級）人や場所の描写、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
3	（中級１）人や場所の描写、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
4	（中級１）人や場所の描写、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
5	（中級２）人や場所の描写、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
6	（中級２）人や場所の描写、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
7	テーマの復習（第１回～第６回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
8	（初級）自分のしたいこと、夢、計画について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
9	（初級）自分のしたいこと、夢、計画について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
10	（中級１）自分のしたいこと、夢、計画について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
11	（中級１）自分のしたいこと、夢、計画について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
12	（中級２）自分のしたいこと、夢、計画について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
13	（中級２）自分のしたいこと、夢、計画について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
14	テーマの復習（第８回～第１３回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
15	（初級）自信のあること、不難なことについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は１日１５分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCC101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 中国語Ⅰ
担当教員： 李　佳坤(Li　JiaKun)

【授業の紹介】
この授業では、中国語を話し読むための発音記号（ピンイン）や中国語の基本文型を学習し、そのうえ、漢字を読み、単語を覚え、簡単な会話や挨拶を練習していきます。発音の練習は通信媒体の機能を利用して楽しく学習していきます。また、中国社会や中国文化についても紹介し、グローバルな思考を養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1．中国語の発音記号（ピンイン）を学習することによって中国語の漢字をすべて読むことができる。
2．中国語での挨拶や簡単な会話ができるようになる。
3．中国語の基本文型を学習して応用できる。

【成績の評価】
授業中の各活動（30%）、授業時間外の学習ための問題（10%）、小テスト（20%）、期末テスト（40%）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
小林和代・韓軍　著　　新版「始めよ楽々中国語」　白水社

【参考文献】
日中・中日辞書
自編教材『ピンインをマスターできる』

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと単母音	予習：教科書の7ページの単母音(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ。(60分)	
2	子音と単母音	予習：教科書の8ページの子音(30分) 復習：配ったプリントで復習する。(60分)	
3	子音と複合母音	予習：教科書の11ページの複合母音(30分) 復習：配ったプリントで復習する。(60分)	
4	子音と鼻音	予習：教科書の13ページの鼻音(30分) 復習：配ったプリントで復習する。(60分)	
5	ピンインの復習と簡単な挨拶	予習：教科書15ページまで(30分) 復習：配ったプリントで復習する。(60分)	
6	ピンインテスト	予習：教科書16ページまで(30分) 復習：配ったプリントで復習する。(60分)	
7	名前の言い方	予習：自分の名前を中国語で読めるようにピンインを付ける。(30分) 復習：自己紹介の練習(60分)	
8	「是」の使い方	予習：教科書の２７ページの内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
9	動詞述語	予習：教科書２８ページの内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
10	動詞「有」の使い方	予習：教科書の32ページの内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
11	前置詞「离」「从」の使い方	予習：教科書の８課の内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
12	時間名詞と使い方	予習：教科書の内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
13	「在」	予習：教科書38ページの内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
14	形容詞述語	予習：教科書42ページの内容(30分) 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
15	復習	予習：教科書の内容(30分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。(60分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 中国語II
担当教員： 李　佳坤(Li　JiaKun)

【授業の紹介】
　この授業では、中国語Ｉを学習した学生を対象にさらに語彙を増やし、基本文型を学習し、それを使って会話をしたり、中国語の文章を読んだり、書いたりします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．簡単な会話ができる。
２．簡単な中国語を読んだり、書くことができる。

【成績の評価】
小テスト（プリント）（２５％）、中間テスト（２５％）、期末テスト（５０％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
小林和代・韓軍著　　新版「はじめよ宇楽々中国語」　白水社

【参考文献】
『中日・日中辞典』

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	買い物時の表現 手段・方法・値段の尋ね方	予習：教科書の４５・４６ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
2	比較文の表現	予習：教科書の４７ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
3	動詞「了」の置く位置	予習：教科書の５１ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
4	前置詞「在」の表現	予習：教科書の５３ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
5	助動詞「想」	予習：教科書の５２ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
6	助動詞「会」	予習：教科書の５７ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
7	助動詞「能」	予習：教科書の５８ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
8	助動詞「可以」	予習：教科書の５９ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
9	前置詞「給」	予習：教科書の５９ページと６０ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
10	助動詞の復習	予習：教科書の５２～６０ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
11	進行形	予習：教科書の６１ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
12	禁止の表現	予習：教科書の６２ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
13	経験を表す「過」	予習：教科書の６３ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	「是…的」構文	予習：教科書の６４ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
15	復習	予習：教科書の６１～６５ページ（30分） 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。（60分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 中国語III
担当教員： 李　佳坤(Li　JiaKun)

【授業の紹介】
　この授業は、中国語Ⅰ・Ⅱを学習した学生を対象に、さらに語彙や文型を学習し、少し複雑な表現を中国語で話す・書く練習をします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．少し複雑な日常生活場面の会話ができる。
２．生活場面の会話内容を中国語で書くことができる。

【成績の評価】
中文の読解と作文（20%）、小テスト（30%）、期末テスト（５０%）
中文の読解と作文、小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
陳淑梅・劉光赤著　「実学実用初級中国語」　朝日出版社

【参考文献】
『中日・日中辞典』

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：今まで習った動詞を２０個ノートに書く。（30分） 復習：大学を紹介文を作る（30分）	
2	助動詞「可以」	予習：教科書８２ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
3	方向補語	予習：教科書８３ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
4	結果補語	予習：教科書８８ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
5	主述述語	予習：教科書８９ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
6	助動詞「会」	予習：教科書９０ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
7	二重目的語	予習：教科書９４ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
8	様態補語	予習：教科書９５ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
9	可能補語	予習：教科書１００ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
10	程度補語	予習：教科書１０２ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
11	進行と持続表現	予習：教科書１０６ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
12	「是・・・的」構文	予習：教科書１０７ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
13	使役表現	予習：教科書１０８ページ 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
14	「把」構文	予習：教科書１１２ページ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。 予習と復習は各３０分ずつ	
15	これまで学習した内容の復習	予習：教科書８２～１２４の内容（30分） 教科書の練習問題とプリントで復習する。（60分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 中国語IV
担当教員： 李　佳坤(Li　JiaKun)

【授業の紹介】
　この授業は、中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを習得した学生を対象にします。中国へ一人旅するときに遭遇する場面を想定し、その会話の練習をします。また、その会話文を文章にする練習もします。さらに、中国文化や最近の出来事などをも紹介します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．簡単な中国語の文章を読解できる。
２．中国へ一人旅できる程度の会話ができる。

【成績の評価】
中文の読解と作文・レポート（２５%）、中間テスト（２５%）、期末テスト（５０%）
中文の読解と作文・レポートや小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
『中国語実用会話　初級から中級へ』　李佳坤著

【参考文献】
『中日・日中辞典』

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと 中国語で自己紹介	予習：第１課（30分） 復習：教科書の９頁を参考に自己紹介文をまとめる。(60分)	
2	家族	予習：教科書第２課（30分） 復習：教科書の１７頁を参考に家族の構成・年齢・仕事についてまとめる。(60分)	
3	一日の行動	予習：教科書第３課（30分） 復習：第１課～第３課。(60分)	
4	復習	予習：第１課～第３課（30分） 復習：第１課～第３課の内容をそれぞれ会話文と作る。(60分)	
5	趣味	予習：第４課（30分） 復習：教科書の３３頁を参考に自分の趣味について作文をする。(60分)	
6	趣味について短文の読解と会話の練習	予習：短文の読解（30分） 復習：友達の趣味につて作文する。(60分)	
7	夏休み	予習：第５課（30分） 復習：休みの間にしたことを中国語でまとめる。 (60分)	
8	夏休みについての短文の読解を会話の練習	予習：短文の読解（30分） 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。(60分)	
9	買い物	予習：第６課（30分） 復習：教科書の内容で買い物する際の会話文を作る。(60分)	
10	買い物についての短文の読解を会話の練習	予習：教科書４９頁（30分） 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。(60分)	
11	レストランにて	予習：第７課（30分） 復習：レストランでの会話文を作る。(60分)	
12	夜市の短文の読解と会話の練習	予習：教科書５７頁（30分） 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。(60分)	
13	道を尋ねる	予習：第８課（30分） 復習：道を聞く時の会話文を作る。(60分)	
14	病院にて	予習：第９課（30分） 復習：病院での会話文を作る。(60分)	
15	これまで学習した内容の復習	これまで学習した内容や教科書にある練習問題を復習する。(60分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 韓国語Ⅰ【経】
担当教員： 朴　英信

【授業の紹介】
　この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊かになります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1．　韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2．　韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来きることでコミュニケーションの楽しさを経験できる。
3．　韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4．　韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】
授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、試験（30%）
小テスト、レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】
韓国語コミュニケーションレシピ（初級）　金秀晶・朴鍾厚　著　（博英社）　ISBN　978-4-910132-43-3

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	・基礎母音ーㅏ,ㅓ,ㅗ,ㅜ,ㅡ,ㅣ ・基本挨拶表現ー안녕하세요, 안녕히 가세요, 안녕히 계세요.	・予習内容ーハングルの歴史と構成（30分） ・復習内容ー基礎母音の形と音及び基本挨拶表現（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
2	・基礎子音（14個）ーㄱ,ㄴ,ㄷ,ㄹ,ㅁ,ㅂ,ㅅ,ㅇ,ㅈ,ㅊ,ㅋ,ㅌ,ㅍ,ㅎ ・基本挨拶表現ー감사합니다, 고마워요./미안합니다. 미안해요./실례합니다.	・予習内容ー基礎子音と基本挨拶表現（30分） ・復習内容ー基礎子音と母音を合わせた文字の構成及び音/挨拶表現（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
3	・二重母音ーㅑ,ㅕ,ㅛ,ㅠ,ㅐ,ㅔ,ㅘ,ㅜㅝ,ㅚ,ㅟ,ㅢ ・unit１これはなんですか？ ー語彙練習	・予習内容ー二重母音とUNIT１の語彙（30分） ・復習内容ー二重母音と子音を合わせた文字の構成と音/UNIT１で使われる語彙の読み方を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
4	・平音・激音・濃音ーㄲ,ㄸ,ㅆ,ㅉ,ㅃ, ・unit１これはなんですか？ ー文章スピキング練習	・予習内容ー平音、激音、濃音の違いと種類およびUNIT１の文章の読み方（３０分） ・復習内容ー激音と子音を合わせた文字の構成と音/UNIT１で使われた文章の構成とスピキング練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
5	・終声とパッチムーㄱ,ㄷ,ㅂ,ㄴ,ㅁ,ㅇ,ㄹ ・unit１これはなんですか？ ー書き取り練習	・予習内容ーパッチムについて/UNIT１の文章の応用文作文（３０分） ・復習内容ーパッチムの練習とUNIT１の文書の応用文作文（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
6	・単語読み練習 ・unit１これはなんですか？ ー聞き取り練習、総復習	・予習内容ー単語の読み方自主練習/UNIT１の文章の聞き取りと身の回りの物を使って練習（３０分） ・復習内容ーUNIT１の内容を使って日常会話の練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
7	・短文読む練習 ・unit2　砂糖と牛乳はどこにありますか？ー語彙練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読むれ演習/UNIT２使われる語彙の読み方を練習（３０分） ・復習内容ーUNIT２で使われた語彙の読み方を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
8	・短文読む練習 ・unit2　砂糖と牛乳はどこにありますか？ー文章スピーキング練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/UNIT２の文章の読み方（３０分） ・復習内容ーUNIT２で使われた文章の構成とスピキング練習及びUNIT１で使われた語彙を導入して新たな文章を作る（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
9	・短文読む練習 ・unit2　砂糖と牛乳はどこにありますか？ー書き取り練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/UNIT２の文章の応用文作文（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT２の文書の応用文作文（１時間）	QR CODE 利用して予習復習
10	・短文読む練習 ・unit2　砂糖と牛乳はどこにありますか？ー聞き取り練習、総復習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/UNIT２の文章の聞き取りと身の回りの物を使って練習（３０分） ・復習内容ーUNIT２の内容を使って日常会話の練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
11	・短文読む練習 ・unit3　パンを何個買いますか？ ー語彙練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む/UNIT３で使われる語彙の読み方の練習（３０分） ・復習内容ーUNIT３で使われた語彙の読み方を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
12	・短文読む練習 ・unit3　パンを何個買いますか？ ー文章スピーキング練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/UNIT３の文章の読み方の練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		・復習内容ーUNIT３で使われている文章の構成とスピキング練習及びUNIT２で使われた語彙を導入して新たな文章を作る（３０分）	
13	・短文読む練習 ・unit3　パンを何個買いますか？ ー書き取り練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/UNIT３の文章の応用文作文（３０分） ・復習内容ーUNIT３の文書の応用文作文（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
14	・短文読む練習 ・unit3　パンを何個買いますか？ ー聞き取り練習、総復習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/UNIT３の文章の聞き取りと身の回りの物を使って練習（３０分） ・復習内容ーUNIT３の内容を使って日常会話の練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
15	・UNIT１－３の総復習 ・UNIT１－３の内容を使ったインタビュー練習	・予習内容ーUNIT１－３の語彙や文章の読む練習及び意味を再び把握する（１時間３０分） ・復習内容ー自分が作成したエッセイを元に新たな文章を作って練習（１時間）	エッセイを提出
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 韓国語II【経】
担当教員： 朴　英信

【授業の紹介】
この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法ををを基に日常生活によく使う表現を学びます。このテキストではスピーキング、書き取り、聞き取りの問題も充実しているので韓国語が優しく楽しく身に付くと思います。また、ハングルだけでなく、韓国の文化・社会などについても紹介し意見を交わることで異文化についての理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1．　韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2．　韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来きることでコミュニケーションの楽しさを経験できる。
3．　韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4．　韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】
授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、試験（30%）
小テスト、レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】
韓国語コミュニケーションレシピ（初級）　金秀晶・朴鍾厚　著　（博英社）　ISBN　978-4-910132-43-3

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	・中文読む練習 ・unit４何のサークルにはいりますか？ ー語彙練習、サークルについて、文章スピーキング練習	・予習内容ー中文章を読む練習/日本と韓国のサークルについて/UNIT４の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT４の語彙、文章を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
2	・中文読む練習 ・unit４　何のサークルにはいりますか？ ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー中文章を読む練習/世界ののサークルについて/UNIT４の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT４の書き取り、聞き取り練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
3	・中文読む練習 ・unit４　何のサークルにはいりますか？ ーエッセイ発表、文化トーク	・予習内容ー中文章を読む練習/UNIT４の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT４で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
4	・中文読む練習 ・unit５　昨日何をしましたか。 ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー中文章を読む練習/動詞について/UNIT５の語彙と文章の読み方及び意味を把握（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT５の語彙、文章を練習（１時間）	QR CODE 利用して予習復習
5	・中文読む練習 ・unit５　昨日何をしましたか。 ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー中文章を読む練習/世界ののサークルについて/UNIT５の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT５の書き取り、聞き取り練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
6	・中文読む練習 ・unit５　昨日何をしましたか。 ーエッセイ発表、文化トーク	・予習内容ー中文章を読む練習/UNIT５の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT５で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
7	・中文読む練習 ・unit６　明日から梅雨に入るでしょう。 ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー中文章を読む練習/お天気について/UNIT６の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT６の語彙、文章を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
8	・中文読む練習 ・unit６　明日から梅雨に入るでしょう。 ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー中文章を読む練習/世界のお天気について/UNIT６の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT６の書き取り、聞き取り練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
9	・中文読む練習 ・unit６　明日から梅雨に入るでしょう。 ーエッセイ発表、文化トーク	・予習内容ー中文章を読む練習/UNIT６の語彙と文章の読み方及び意味を理解（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT６で習った語彙と表現を使って会話練習（１時間）	QR CODE 利用して予習復習
10	・中文読む練習 ・unit７　もしもし、私ミカですけど。 ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー中文章を読む練習/電話の表現/UNIT７の語彙と文章の読み方及び意味を把握（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT７の語彙、文章を練習（１時間	QR CODE 利用して予習復習
11	・中文読む練習 ・unit７　もしもし、私ミカですけど。 ー書き取り練習、聞き取り練習とロールプレイ作成	・予習内容ー中文章を読む練習/電話マナーについて/UNIT７の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT７書き取り、聞き取り練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
12	・中文読む練習 ・unit７　もしもし、私ミカですけど。 ーロールプレイ発表、文化トーク	・予習内容ー中文章を読む練習/UNIT７の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT７で習った語彙と表現を	QR CODE 利用して予習復習

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		使って会話練習（30分）	
13	・中文読む練習 ・unit４－５　復習 ・unit４－５　ミニインタビュー文作成及び発表	・予習内容ー中文章を読む練習/UNIT４－５の語彙と文章の読み方及び意味を再び理解（３０分） ・復習内容ーUNIT４－５で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
14	・中文読む練習 ・unit６－７　復習 ・unit６－７　ミニインタビュー文作成及び発表	・予習内容ー中文章を読む練習/UNIT６－７の語彙と文章の読み方及び意味を再び理解（３０分） ・復習内容ーUNIT６－７で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
15	・中文読む練習 ・UNIT４－７の総復習 ・UNIT１－７の内容を使ったインタビュー及び会話練習	・予習内容ーUNIT１－７の語彙や文章の読む練習及び意味を再び理解する（３０分） ・復習内容ー自分が作成したエッセイを元に新たな文章を作って練習（30分）	エッセイを提出
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK103
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 韓国語III【経】
担当教員： 朴　英信

【授業の紹介】
この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習するとともに日本語の文の構造との違いについても学習します。日本語と似ている読み仮名や似ている発音でも意味が違う語彙について触れることでより優しく簡単に韓国語が身につきます。本テキストではスピーキング、書き取り、聞き取りを含んだ語学に欠かせない４つのスキールを中心に徹底的に韓国語を習得できるように構成されているので授業中、予習と復習での練習を重ねる事によってより短い期間で上品な韓国語が話せるようになります。また、ハングルだけでなく、韓国の文化・社会などについても紹介し意見を交わることで異文化についての理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
１．　韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
２．　韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来きることでコミュニケーションの楽しさを経験できる。
３．　韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
４．　韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】
授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、試験（30%）
小テスト、レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】
韓国語コミュニケーションレシピ（初級）　金秀晶・朴鍾厚　著　（博英社）　ISBN　978-4-910132-43-3

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	・母音ー２１個 ・unit１これはなんですか？ ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ーハングルの歴史と構成（30分） ・復習内容ー母音の音と区別およびUNIT１の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
2	・子音ー１４個 ・unit１これはなんですか？ ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー母音と子音で出来ている文字の読む練習（30分） ・復習内容ーUNIT1で習った語彙と表現を使って会話練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
3	・平音・激音・濃音ーㅋ,ㅌ,ㅆ,ㅉ,ㅃ ・unit2　砂糖と牛乳はどこにありますか？ ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー平音、激音、濃音の違いと種類およびUNIT２の語彙と文章の読み方及び意味を把握（30分） ・復習内容ー激音と母音を使った単語を練習およびUNIT２の語彙、文章を練習（（30分）））	QR CODE 利用して予習復習
4	・終声とパッチム ・unit2　砂糖と牛乳はどこにありますか？ ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ーパッチムについて（３０分） ・復習内容ー終声のパッチムの練習及びUNIT２で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
5	・短文読む練習 ・unit3　パンを何個買いますか？ ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー短い文章を読む練習/UNIT３の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT３の語彙、文章を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
6	・短文読む練習 ・unit3　パンを何個買いますか？ ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー短い文章を読む練習/UNIT３の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT３で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
7	・短文読む練習 ・unit４　何のサークルにはいりましたか？ ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー短い文章を読む練習/日本のサークルを韓国語に直す。/UNIT４の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT４で使われた語彙の読み方を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
8	・短文読む練習 ・unit４　何のサークルにはいりましたか？ ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー短い文章を読む練習/UNIT４の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT４で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
9	・短文読む練習 ・unit５、昨日何をなさいましたか？ ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー短い文章を読む練習/動詞について/UNIT５の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT５で使われた語彙の読み方を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
10	・短文読む練習 ・unit５、昨日何をなさいましたか？ ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー短い文章を読む練習/UNIT５の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT５で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
11	・短文読む練習 ・unit６　昨日から梅雨に入るでしょう。 ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー短い文章を読む練習/お天気について/UNIT６の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT６で使われた語彙の読み方を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	・短文読む練習 ・unit６　昨日から梅雨に入るでしょう。ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー短い文章を読む練習/UNIT６の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT６で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
13	・短文読む練習 ・unit７もしもし、私ミカですけど。ー語彙練習、文章スピーキング練習	・予習内容ー複数文字で出来ている文章を読む練習/電話で使われる表現/UNIT７の語彙と文章の読み方及び意味を把握（３０分） ・復習内容ーUNIT７で使われた語彙の読み方を練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
14	・短文読む練習 ・unit７もしもし、私ミカですけど。ー書き取り練習、聞き取り練習とエッセイ作成	・予習内容ー短い文章を読む練習/UNIT７の語彙と文章の読み方及び意味を理解（３０分） ・復習内容ーUNIT７で習った語彙と表現を使って会話練習（30分）	QR CODE 利用して予習復習
15	・UNIT１－７の総復習 ・UNIT１－７の内容を使ったインタビュー練習	・予習内容ーUNIT１－７の語彙や文章の読む練習及び意味を再び理解する（３０分） ・復習内容ー自分が作成したエッセイを元に新たな文章を作って練習（30分）	エッセイを提出
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： uCK104
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 韓国語IV【経】
担当教員： 朴　英信

【授業の紹介】
この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法もとに日常的によく使う表現を中心に勉強します。本テキストでは状況にあった例文がたくさんあるため旅行はもちろん韓国のお友たちと会話をする時にも役に立ちます。また文化トークの時間には世界との違いについても自由にトークできるので意見を交わることで異文化についての理解を深め、グローバルな思考力も養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
1．　韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2．　韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来きることでコミュニケーションの楽しさを経験できる。
3．　韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4．　韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】
授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、試験（30%）
小テスト、レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】
韓国語コミュニケーションレシピ（初級）　金秀晶・朴鍾厚　著　（博英社）　ISBN　978-4-910132-43-3

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	・長文読む練習 ・unit８　英語を勉強しに海外に行こうと思います。 ー語彙練習、国名と首都について、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT８の語彙と文章の読み方及び意味を把握/国とその首都について（３０分） ・復習内容ーUNIT８の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
2	・長文読む練習 ・unit８英語を勉強しに海外に行こうと思います。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT８の語彙と文章の読み方及び意味を理解/世界の国の言語にいつて調べる（３０分） ・復習内容ーUNIT８で習った語彙と表現を使って会話練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
3	・長文読む練習 ・unit９　空港から出て、すぐにリムジンバスを乗るといいです。 ー語彙練習、場所と建物の名前について、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT９の語彙と文章の読み方及び意味を把握・場所や建物の名前について（３０分） ・復習内容ーUNIT９の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
4	・長文読む練習 ・unit空港から出て、すぐにリムジンバスを乗るといいです。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT９の語彙と文章の読み方及び意味を理解/世界の独特な場所と建物について調べる（３０分） ・復習内容ーUNIT９で習った語彙と表現を使って会話練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
5	・長文読む練習 ・unit１０　３時から部屋に入ることが出来ます。 ー語彙練習、ホテルの予約の仕方について、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１０の語彙と文章の読み方及び意味を把握/ホテルに予約する時の表現（３０分） ・復習内容ーUNIT１０の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
6	・長文読む練習 ・unit１０　３時から部屋に入ることが出来ます。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１０の語彙と文章の読み方及び意味を理解/火ホテル以外の場所の利用の仕方と表現（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT１０で習った語彙と表現を使って会話練習（１時間）	QR CODE 利用して予習復習
7	・長文読む練習 ・unit１１　お腹がしくしくと痛い感じがします。 ー語彙練習、体調と病名にるいて、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１１の語彙と文章の読み方及び意味を把握/体調に関する表現を調べる（３０分） ・復習内容ーUNIT１１の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
8	・長文読む練習 ・unit１１　お腹がしくしくと痛い感じがします。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１１の語彙と文章の読み方及び意味を理解/病気の時、国によって違う対策法（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT１１で習った語彙と表現を使って会話練習（１時間）	QR CODE 利用して予習復習
9	・長文読む練習 ・unit１２　パン屋さんを過ぎたら、すぐ右側に曲がって下さい。 ー語彙練習、方向と道案内について、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１２の語彙と文章の読み方及び意味を把握/方向と道案に使う表現（３０分） ・復習内容ーUNIT１２の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
10	・長文読む練習 ・unit１２　パン屋さんを過ぎたら、すぐ右側に曲がって下さい。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１２の語彙と文章の読み方及び意味を理解/道案のいろんな方法について調べる（１時間３０分） ・復習内容ーUNIT１２で習った語彙と表現を使って会話練習（１時間）	QR CODE 利用して予習復習
11	・長文読む練習 ・unit１３　チムジルバンの服の色が気に入らないです。 ー語彙練習、色や伝統文化について、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１３の語彙と文章の読み方及び意味を把握/韓国ならではの文化について調べえる（３０分） ・復習内容ーUNIT１３の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	・長文読む練習 ・unit１３　チムジルバンの服の色が気に入らないです。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１３の語彙と文章の読み方及び意味を理解/世界の独特な文化を調べる（３０分） ・復習内容ーUNIT１３で習った語彙と表現を使って会話練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
13	・長文読む練習 ・unit１４　軍人は全員軍人生活をすると思いました。 ー語彙練習、韓国の生活文化について、文章スピーキング練習	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１４の語彙と文章の読み方及び意味を把握/韓国と日本の生活文化の違いについて調べる（３０分） ・復習内容ーUNIT１４の語彙、文章を練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
14	・長文読む練習 ・unit１４　軍人は全員軍人生活をすると思いました。 ー書き取り練習、聞き取り練習と文化トーク	・予習内容ー長文章を読む練習/UNIT１４の語彙と文章の読み方及び意味を理解/韓国と日本の生活習慣の長所と短所（３０分） ・復習内容ーUNIT１４で習った語彙と表現を使って会話練習（３０分）	QR CODE 利用して予習復習
15	・UNIT８ー１４の総復習 ・UNIT８－１４の内容を使ったエッセイ作成及び発表	・予習内容ーUNIT８－１４の語彙や文章の読む練習及び意味を再び理解する/エッセイの内容を考える（３０分） ・復習内容ー自分が作成したエッセイを元に新たな文章を作って練習（３０分）	エッセイを提出
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語Ⅰ
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
「日本語Ⅰ」では読解能力の養成に重点を置き、学習者が興味を持っている日本文化や社会に関する読み物を読みます。まず、読みのストラテジーで読解スキルを学習した後、N２、N１の文法・語彙を中心に、文型・表現を学習しながら、読解力を身につけます。また、別冊ワークブックの問題練習を通じて、読み物の内容理解度を確認し、文法力、語彙力、漢字力も伸ばしていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、読み物のテーマに関連して、受講生全員でディスカッションを行います。学習者が「読める」達成感を感じながら学習を進めていきます。
なお、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語表現基礎Ⅰ」を履修してください。また、「日本語Ⅱ」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
①中上級レベルの文章を正確に理解できる。
②中上級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。

【成績の評価】
レポート・授業中の発表（２５％）、小テスト（ ２５％ ）、定期試験（５０％ ）
レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『４技能でひろがる　中級日本語カルテットⅡ』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】
『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
2	第７課 読む「異文化での気づき」 読みのストラテジー：省略された言葉 読み物１：「日本人学生の留学体験記」① 文型・表現：～つつある／～際（に）／～てしょうがない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
3	第７課 読む「異文化での気づき」 読み物１：「日本人学生の留学体験記」② 文型・表現：～こそ／むしろ／～にもかかわらず／～ばかり	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
4	第７課 読む「異文化での気づき」 読み物１：「日本人学生の留学体験記」③ ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
5	第７課 読む「異文化での気づき」 読み物２：「外国人留学生の思い」① 文型・表現：～と同時に／～ことに／Nにおける／まさに	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
6	第７課 読む「異文化での気づき」 読み物２：「外国人留学生の思い」② ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
7	第８課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読みのストラテジー：インタビューの質問に対する答え、何を説明している例か 読み物１：「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」① 文型・表現：～どころか（～も、さえ）／～ない限り／Nならでは	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
8	第８課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物１：「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」② 文型・表現：～ないまでも／～とともに／～たものだ／かえって	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
9	第８課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物１：「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」③ ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
10	第８課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物２：「Bentoで日本をもっと近く」① 文型・表現：～うちに／Nなりに／Nにこだわる	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	第８課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物２：「Bentoで日本をもっと近く」② ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
12	第９課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読みのストラテジー：「たとえ」を使った表現、タイトルから読み取れるメッセージ 読み物１：「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」① 文型・表現：～くらい／～に違いない／～たとしても ／Nなんか ／いったい～（か）／～VかVないか	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
13	第９課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読み物１：「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」② ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
14	第９課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読み物２：「愛と恐怖」① 文型・表現：～ということは／～はずがない／～わけがない ／～得る・得ない ／～もしない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
15	第９課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読み物２：「愛と恐怖」② ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語II
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
「日本語Ⅱ」では引き続き読解能力の養成に重点を置き、学習者が興味を持っている日本文化や社会に関する読み物を読みます。まず、読みのストラテジーで読解スキルを学習した後、Ｎ２、Ｎ１の文法・語彙を中心に、文型・表現を学習しながら、読解力を身につけます。また、別冊ワークブックの問題練習を通じて、読み物の内容理解度を確認し、文法力、語彙力、漢字力も伸ばしていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、読み物のテーマに関連して、受講生全員でディスカッションを行います。学習者が「読める」達成感を感じながら学習を進めていきます。
なお、関連科目として「日本語Ｉ」が既習であることを前提とします。また、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語表現基礎Ⅱ」を履修してください。さらに上級レベルの日本語力を身につけるために、「日本語Ⅲ」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
①中上級レベルの文章を正確に理解できる。
②中上級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。

【成績の評価】
レポート・授業中の発表（２５％）、小テスト（ ２５％ ）、定期試験（５０％ ）
レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『４技能でひろがる　中級日本語カルテットⅡ』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】
『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第10課 読む「データから考える社会」 読みのストラテジー：データの説明、調査結果のグラフ 読み物１：「結婚・子育て、夢描きにくく――朝日新聞社世論調査」① 文型・表現：Nにとどまる／一方（で）／Nに達する／Nを超える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
2	第10課 読む「データから考える社会」 読み物１：「結婚・子育て、夢描きにくく――朝日新聞社世論調査」② 文型・表現：Nを占める／～ながら／Nほど／Nにのぼる	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
3	第10課 読む「データから考える社会」 読み物１：「結婚・子育て、夢描きにくく――朝日新聞社世論調査」③ ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
4	第10課 読む「データから考える社会」 読み物２：「日本人が政府に期待するもの――ISSP国際比較調査『政府の役割』から」① 文型・表現：～つつ／～たところ／～ものの	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
5	第10課 読む「データから考える社会」 読み物２：「日本人が政府に期待するもの――ISSP国際比較調査『政府の役割』から」② ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
6	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読みのストラテジー：キーワード 読み物１：「よろしく――日本語表と裏」① 文型・表現：～なり～なり／～まい／～すえ（に）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
7	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読み物１：「よろしく――日本語表と裏」② 文型・表現：Nまで／Nであれ／～かねない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
8	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読み物１：「よろしく――日本語表と裏」③ ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
9	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読み物２：「二重人格者の会話――日本語の復権」① 文型・表現：Nはさておくとして／いずれにしても／～とばかりは言えない／Nとする／Nでも	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
10	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	読み物２：「二重人格者の会話――日本語の復権」② ワークブック問題練習	の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
11	第12課 読む「発想の転換」 読みのストラテジー：小見出し、隠喩 読み物１：「奇跡の職場　新幹線清掃チームの“働く誇り”」① 文型・表現：～といっても／～がち／Nに応じて	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
12	第12課 読む「発想の転換」 読み物１：「奇跡の職場　新幹線清掃チームの“働く誇り”」② 文型・表現：～分（だけ）／～にすぎない／～以上（は）／～うえで	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
13	第12課 読む「発想の転換」 読み物１：「奇跡の職場　新幹線清掃チームの“働く誇り”」③ ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
14	第12課 読む「発想の転換」 読み物２：「あらしのよるに」① 文型・表現：～そうになる／～なかれ／～ようがない／～なり	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
15	第12課 読む「発想の転換」 読み物２：「あらしのよるに」② ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語III
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生の日本語能力を上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
上級レベルに到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙・漢字の理解、定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聞く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、各課のテーマに沿ってディスカッションやプレゼンテーション練習も行います。
なお、関連科目として「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」が既習であることを前提とします。また「日本語Ⅳ」を続けて受講してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
①上級レベルの文章の読解ができる。
②上級レベルの語彙・文法を使うことができる。
③テーマに沿ってレポートを作成することができる。
④社会問題に関するプレゼンテーションやディスカッションができる。

【成績の評価】
レポート・授業中の発表（２５%）、小テスト（ ２５％ ）、定期試験（５０％ ）
レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修・ボイクマン総子・冨山佳子・山本真知子著、the japan times、2012年、3,200円+税

【参考文献】
『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
2	第１課「自己紹介と本当の自分」 本文：「自分とは何だろう」① 重要表現：～（の）でしょうか／～ことを「……」と言う／～ばかりで／このように見てみると（考えると）、～ということになる	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
3	第１課「自己紹介と本当の自分」 本文：「自分とは何だろう」② 重要表現：～ば～ほど／例えば～とする／～場合もある／～と、なおさら……	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
4	第１課「自己紹介と本当の自分」 本文：「自分とは何だろう」③ 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
5	第１課「自己紹介と本当の自分」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
6	第１課「自己紹介と本当の自分」 読んだあとで：自分を印象づける自己紹介を考える タスク：エントリーシートを書く	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
7	第２課「若者の自己評価」 本文：「日米の大学生のコミュニケーション・スタイル」① 重要表現：～に関するＮ（～関して）／～なりに（～なりのＮ）／～ごとに／～まで	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。（１時間）	
8	第２課「若者の自己評価」 本文：「日米の大学生のコミュニケーション・スタイル」② 重要表現： めったに～ない／いったい～の（だろう）か／～にすぎない／～はずがない／～わけではない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
9	第２課「若者の自己評価」 本文：「日米の大学生のコミュニケーション・スタイル」③ 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
10	第２課「若者の自己評価」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
11	第２課「若者の自己評価」 読んだあとで：中高生の意識調査の結果を基	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	に話し合う タスク：ロールプレイ「人物を紹介する」	の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
12	第３課「ジェンダーを考える」 本文：「男の料理　市民権」① 重要表現：～限り／～うえ（に）／～といったふうに（～というふうに）／～（の）代わりに	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
13	ユニット３「ジェンダーを考える」 本文：「男の料理　市民権」② 重要表現：～うえで／どちらかといえば（どちらかというと）／～ってことは、……ってこと（～ということは、……ということ）／～も～もない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
14	第３課「ジェンダーを考える」 本文：「男の料理　市民権」③ 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
15	第３課「ジェンダーを考える」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 日本語IV
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、「日本語Ⅲ」に引き続き、外国人留学生の日本語能力を上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
上級レベルに到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙・漢字の理解、定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聞く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、各課のテーマに沿ってディスカッションやプレゼンテーション練習も行います。
なお、関連科目として「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		②　課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
①上級レベルの文章の読解ができる。
②上級レベルの語彙・文法を使うことができる。
③テーマに沿ってレポートを作成することができる。
④社会問題に関するプレゼンテーションやディスカッションができる。

【成績の評価】
レポート・授業中の発表（２５%）、小テスト（ ２５% ）、定期試験（５０% ）
レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修・ボイクマン総子・冨山佳子・山本真知子著、the japan times、2012年、3,200円+税

【参考文献】
『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第３課「ジェンダーを考える」 タスク：グラフを説明する	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
2	第４課「ことばと文化」 本文：「日本人は『ノー』と言わない？」① 重要表現：～ようなものだ／～（よ）うものなら／～かねない／～ものの／なんといっても	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
3	第４課「ことばと文化」 本文：「日本人は『ノー』と言わない？」② 重要表現：とても～ない（ぬ）／～をめぐり（めぐって）／～に反して／～からといって／～にとって（～にとってのN）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
4	第４課「ことばと文化」 本文：「日本人は『ノー』と言わない？」③ 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
5	第４課「ことばと文化」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
6	第４課「ことばと文化」 読んだあとで：感謝の表現に反映したモンゴル・日本の異文化 タスク：先生にお願いのメールを書く	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
7	第５課「心と体のバランス」 本文：「健康病が心身をむしばむ」① 重要表現：～と（いうの）は……ことを言う（ことだ）／と言っても／～度に／そもそも／～ふしがある／～べきだ（～べきではない）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
8	第５課「心と体のバランス」 本文：「健康病が心身をむしばむ」② 重要表現：いかにも～そうだ／～という／～つつ／～かける（～かけのN）／～に…を感じさせられる（考えさせられる）／さらには	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
9	第５課「心と体のバランス」 本文：「健康病が心身をむしばむ」③ 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
10	第５課「心と体のバランス」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
11	第５課「心と体のバランス」 読んだあとで：「病は気から」の心理 タスク：日本事情についてアンケート調査をする	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第６課「働くということ」 本文：「『驚き』や『喜び』を食べて育つ」① 重要表現：つまり／結果として／～につれ（て）／～末に／～からこそ（てこそ）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
13	第６課「働くということ」 本文：「『驚き』や『喜び』を食べて育つ」② 重要表現：～として／ここ＋［期間］／～なんか／いかに～か／なぜなら（ば）～からだ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
14	第６課「働くということ」 本文：「『驚き』や『喜び』を食べて育つ」③ 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
15	第６課「働くということ」 文法・語彙練習問題 読んだあとで：日本で活躍する外国人社員の経験談	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくること。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UHH001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 健康とスポーツ【経】
担当教員： 宮本　賢作(MIYAMOTO　Kensaku)

【授業の紹介】
成長期から成人期に移行するこの時期に，正しいヘルスリテラシーを身につけるとともに，今後起こりうる健康問題について理解することで，その予防としての運動，食事，休養の重要性と，それをサポートする社会的なシステムについて理解する。またこれらを主体的かつ科学的に捉え，行動変容を意識した実践力と，その基盤となるエビデンスに基づいた健康づくりについて考察する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】
健康な生活を営む上で必要な基礎知識の理解を深めることができる。
ヒトの生涯のさまざまな場面で生じる疾病の予防および健康の維持と生体機能の関係について理解を深めることができる。

【成績の評価】
成績の評価は学期末試験（６０％）、レポート・ミニテスト（３０％）、学習態度（１０％）によって行い、総計６０％以上を合格とします。なお、レポートについては講評や添削を行い返却（フィードバック）します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
シンプル衛生公衆衛生学2025（南江堂）
これからの健康とスポーツの科学 第5版（講談社）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・健康（及び疾病）の概念とヘルスプロモーション	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
2	健康を取り巻く環境についての理解	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
3	健康情報とヘルスリテラシー	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
4	幼少期～成長期の健康問題	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
5	成人期の健康問題	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
6	高齢期の健康問題	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
7	死生観と生命倫理	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
8	健康と運動・労働	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
9	健康と食事・栄養	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
10	健康と休養・睡眠	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
11	喫煙，飲酒，薬物乱用，メディアリテラシーと健康	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
12	運動の科学と健康	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
13	体力の評価と分析	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
14	エビデンスに基づいた医療と健康づくり&持続可能な健康づくり	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
15	まとめ（生涯にわたる健康増進とスポーツライフの継続を目指して）	毎回，授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
単位数： 1
科目名： 健康とスポーツ実習【経Ａ】
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　本授業では様々な競技スポーツを通して、基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることを目的としている。健康づくりや生きがいづくりの観点からもスポーツを捉えることができる態度を養うことや、ディプロマ・ポリシーに記載のように、スポーツを通して様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することでスポーツに関わる諸問題の解決に取り組んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
　①様々な競技スポーツを通して基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることができる。
　②アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し技能向上のための効果的な練習方法の発見や、新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】
　授業態度（40%）、レポート（20%）、確認テスト（40%）で評価する。
　またレポートについては、その都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

　※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
　テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】
　G.シュテーラー,I.コンツァック,H.デブラー著『ボールゲーム指導辞典』（大修館書店、1993年）

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
2	ゴール型スポーツ①（バスケットボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
3	ゴール型スポーツ②（バスケットボール：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
4	ゴール型スポーツ③（バスケットボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
5	ゴール型スポーツ④（サッカー：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
6	ゴール型スポーツ⑤（サッカー：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
7	ゴール型スポーツ⑥（サッカー：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
8	ベースボール型スポーツ①（ソフトボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（30分）	
9	ベースボール型スポーツ②（ソフトボール：キャッチボール、バッティング）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	ベースボール型スポーツ③（ソフトボール：ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
11	ネット型スポーツ①（バレーボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
12	ネット型スポーツ②（バレーボール：レシーブ、トス、スパイク）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
13	ネット型スポーツ③（バレーボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
14	ネット型スポーツ④（バドミントン：ルールの理解、基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
15	まとめおよび最終確認テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として確認テストを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
単位数： 1
科目名： 健康とスポーツ実習【経Ｂ】
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　本授業では様々な競技スポーツを通して、基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることを目的としている。健康づくりや生きがいづくりの観点からもスポーツを捉えることができる態度を養うことや、ディプロマ・ポリシーに記載のように、スポーツを通して様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することでスポーツに関わる諸問題の解決に取り組んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	大学	１．豊かな人間性や主体的に生きる力
		２．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		３．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	大学	①　豊かな人間性や主体的に生きる力	
		③　学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】
　①様々な競技スポーツを通して基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることができる。
　②アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し技能向上のための効果的な練習方法の発見や、新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】
　授業態度（40%）、レポート（20%）、確認テスト（40%）で評価する。
　またレポートについては、その都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。
　※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
　テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】
　G.シュテーラー,I.コンツァック,H.デブラー著『ボールゲーム指導辞典』（大修館書店、1993年）

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
2	ゴール型スポーツ①（バスケットボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
3	ゴール型スポーツ②（バスケットボール：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
4	ゴール型スポーツ③（バスケットボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
5	ゴール型スポーツ④（サッカー：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
6	ゴール型スポーツ⑤（サッカー：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
7	ゴール型スポーツ⑥（サッカー：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
8	ベースボール型スポーツ①（ソフトボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
9	ベースボール型スポーツ②（ソフトボール：キャッチボール、バッティング）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	ベースボール型スポーツ③（ソフトボール：ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
11	ネット型スポーツ①（バレーボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
12	ネット型スポーツ②（バレーボール：レシーブ、トス、スパイク）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
13	ネット型スポーツ③（バレーボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
14	ネット型スポーツ④（バドミントン：ルールの理解、基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
15	まとめおよび最終確認テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として確認テストを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS111
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営学概論
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　経営学概論は、学士（経営学）の学位を授与するために不可欠の必修の科目として設置され、経営の基礎的知識を修得し、それを組織において適切に活用できるように計画されている。
　そのため、本講義では、まず「経営学がどのような学問であるか」、「企業の目標とは何か」、そして「企業とはどのような存在であるのか」について講義を行う。その上で、「戦略」、「組織」、そして「管理」に焦点を絞り、其々の基礎理論と企業における具体的な実践例を説明していく。その上で、現代企業における諸問題として、注目されているトピックスを学習し、受講者が社会に出て活躍していくための知識の獲得を目指していく。
　※本講義の小テストは、6/1以降については、BYODを前提に「高大ドリル」のシステムを活用して実施する予定である。
　※会社法や株式会社の有用性については、「会計学入門Ⅰ」で講義が行われる。
　※このシラバスは「単元化」のための導入テストも兼ねている。また、小テストの出題範囲は、この単元に基づいている。
　※第1回から第13回で配布する講義資料には、次回の講義内容とその講義で使用するキーワードを明記しておく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
　本講義においては、次の事項を到達目標とする。
①「経営学がどのような学問であるのか」を把握できる。
②「経営戦略の基礎」を理解できる。
③「機能別戦略の内容」を理解できる。
④「人的資源管理の意義と課題」を理解できる。
⑤「管理・組織の理論がどのように発展し、どのように現実の問題を解決できるのか」を理解できる。

【成績の評価】
　講義中に実施する簡単な確認テスト(20%)と計3回の小テスト(80%)で評価を行う。小テストについては、平均点や難易度を加味し、若干の調整を行う。
　※3回実施する小テストは、全10問で各問題に10個の選択肢(の中から1つを選ぶ)という形態を予定している。
　BYODを前提とした高大ドリルを使用した小テストを行う場合には、解答提出と同時に採点が行われる。全体および各回の平均点・標準偏差などの全体情報は、当該小テストの翌週に全体向けにフィードバックを実施する。

【使用テキスト】
　一般社団法人日本経営協会【監修】/非特定営利法人経営能力開発センター【編】 [2023], 『マネジメント検定試験　公式テキスト（Ⅲ級）経営学の基本』 中央経済社 ISBN-13 : 978-4-502-43511-9。
　※本テキストは、2023年にこれまでのテキストより大幅改定された。そのため、最新のテキストを必ず用意すること。

【参考文献】
　各回の講義資料において適宜指示を行う。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス・イントロダクション、成績評価の方法、クラスルームへの登録、理解度確認テスト、小テストの実施方法についての説明	【予習】:初回講義で簡単な理解度確認テストを実施するため、「過去2年間における企業不祥事」について調べ、ノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第1回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第1回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
2	現代企業入門①：「1-1 経営学とは何か、経営学を学ぶ意義とは何か」、「1-2 経営学の歴史Ⅰ(ドイツの経営学)」、「1-3 経営学の歴史Ⅱ(アメリカの経営学)」、「1-4 経営学の歴史Ⅲ(日本の経営学)」、「1-5 経営者の役割」、「1-6 企業と出資者の関係者」、「1-7 エージェンシー理論」、「1-8 企業とNPOの類似点と相違点」、「1-9 企業とステークホルダー」、「1-10 企業とステークホルダーの関係を良好なものにするために」	【予習】:「企業とステークホルダー」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、企業にはどのようなステークホルダーが存在するのか、についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第2回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第2回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
3	現代企業入門②：「2-1 有限な経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)」、「2-2 ベンチャー企業の定義」、「2-3 アントレプレナーシップとは何か」、「2-4 所有経営者から経営者支配へ」、「2-5 所有と経営の分離とは何か」、「2-6 専門経営者とは何者か」、「2-7 企業不祥事とコーポレート・ガバナンス」、「2-8 会社は株主の"もの"か」、「2-9 Exit-Voice理論と物言う株主」、「2-10 各国のコーポレート・ガバナンス比較」	【予習】:「ベンチャー企業とアントレプレナーシップ」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「ベンチャー企業」の特徴についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第3回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第3回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
4	経営戦略論①：「3-1 戦略の概念とは何か」、「3-2 戦略と戦術の違い」、「3-3 戦略策定のプロセスとはどのようなものか」、「3-4 経営理念・ミッション・ビジョン」、「3-5 ドメインとは何か」、「3-6 垂直統合と水平統合」、「3-7 取引コストとは」、「3-8 アンゾフの製品ー市場マトリックス」、「3-9 シナジーの意義」、「3-10 シナジーの失敗」	【予習】:「戦略策定のプロセス」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「ビジョン」の重要性についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第4回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第4回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
5	経営戦略論②：「4-1 PPM分析」、「4-2 相対的市場占有率」、「4-3 経験効果と製品ライフサイクル」、「4-4 PPMの問題点」、「4-5 負け犬からの撤退」、「4-6 選択と集中」、「4-7 ファイブフォース分析」、「4-8 新規参入の脅威 」、「4-9 製品・サービスの代替可能性とは」、「4-10 コスト・リーダーシップ戦略と差別化戦略」	【予習】:「PPM分析」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「金のなる木」の重要性についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第5回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第5回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
6	機能別戦略：「5-1 野中郁次郎の知識創造理論」、「5-2 マーケティングとマーケティング戦略」、「5-3 マーケティングを志向した経営学」、「5-4 ターゲティングとは何か」、「5-5 マーケティング・ミックス」、「5-6 製品ライフサイクル」、「5-7 ロジスティクスと経営学」、「5-8 R&D戦略」、「5-9 生産戦略」、「5-10 財務戦略とは何か」	【予習】:「マーケティング・ミックス」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「プロモーション」の重要性についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第6回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第6回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
7	第2回から第6回目までのまとめと第1回の小テストのプレ(BYOD対応以前のため、紙媒体でのプレテストを実施予定)	【予習】：第6回の講義で第1回の小テストの範囲を説明するので、第7回に実施するプレテストのために、これまでの範囲で分からなかったところを復習し、重要なポイントについてメモしておくこと(2時間)。 【復習】：プレテストの結果を踏まえ、自分の不得意分野を特定し、どの部分が苦手なのかを考え、小テストに向けた学習計画を作成しておくこと(2時間)。	
8	経営理論の実践事例	【予習】：第7回の講義の最後に、複数の企業を提示するため、その中から1社を選び、どのような企業なのかを調べ、メモしておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
9	これまでのまとめと第1回の小テスト(6/1以降に実施：BYOD対応)	【予習】：第8回の講義で第1回の小テストの範囲を説明するので、小テストのためにこれまでに学習した内容を復習しておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の小テストを踏まえ、理解度が不足していた部分について配布資料とテキストを復習すること(2時間)。	
10	人的資源管理論と組織構造論①：「6-1 人的資源管理とは」、「6-2 雇用管理と多様化する雇用形態」、「6-3 労働条件管理とは」、「6-4 人材開発とは何か、日本的な人材開発とは」、「6-5 ダイバーシティ・マネジメント」、「6-6 ライフ・ワーク・バランス」、「6-7 働き方改革と現代企業」、「6-8 組織における水平的分業と垂直的分業」、「6-9 命令の一元性の原則」、「6-10 スパン・オブ・コントロール 」	【予習】:「ダイバーシティ・マネジメント」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「現代企業にはどのような多様性が求められているのか」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第10回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第10回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
11	人的資源管理論と組織構造論②：「7-1 ライン組織の長所と短所」、「7-2 ファンクショナル組織の長所と短所」、「7-3 ライン・アンド・スタッフ組織の長所と短所」、「7-4 職能部門制組織の長所と短所」、「7-5 事業部制組織の長所と短所」、「7-6 カンパニー制組織」、「7-7 持株会社組織」、「7-8 マトリックス組織」、「7-9 ネットワーク組織」、「7-10 プロジェクトチームという幻想」	【予習】:「ライン組織」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「ライン組織にはどのような長所と短所が存在するのか」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第11回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第11回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
12	第10回と第11回のまとめと第2回目の小テスト	【予習】：第11回の講義で第2回の小テストの範囲を説明するので、小テストのためにこれまでに学習した内容を復習しておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の小テストを踏まえ、理解度が不足していた部分について配布資料とテキストを復習すること(2時間)。	
13	経営管理論と経営組織論①：「8-1 テイラーの科学的管理法」、「8-2 ファヨールの管理過程論」、「8-3 クーンツのマネジメント・セオリー・ジャングル」、「8-4 ホーソン実験」、「8-5 メイヨーの問題意識」、「8-6 バーナード理論の基礎」、「8-7 公式組織の3要素と組織存続の条件」、「8-8 意思決定志向的な経営学」、「8-9 経営陣仮説」、「8-10 近代組織論以降の経営学」	【予習】:「テイラーの科学的管理法」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「テイラーの科学的管理法の特徴」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第12回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第11回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	経営管理論と経営組織論②：「9-1 M. ウェーバーの官僚制組織論」、「9-2 マートンらによる官僚制の逆機能」、「9-3 フォレットにおける統合の哲学」、「9-4 マズローの欲求階層理論」、「9-5 マグレガーのX理論とY理論」、「9-6 ハーズバーグの衛生理論」、「9-7 リーダーシップの理論と限界」、「9-8 コンティンジェンシー理論」、「9-9 組織文化論」、「9-10 組織における異文化シナジー」	【予習】:「マズローの欲求階層理論」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「この理論にはどのような階層が存在し、それを満たすためにはどのような条件が必要なのか」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第14回の講義において、第3回の小テストの範囲(単元)を最終確認するため、その範囲を勉強しておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめと第3回目の小テスト	【予習】：第14回の講義において、第3回の小テストの範囲(単元)を最終確認するため、その範囲を勉強しておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の小テストの結果を踏まえ、理解度が不足していた部分について配布資料とテキストを復習すること(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS121
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 商業概論
担当教員： 日笠　倫周(HIKASA　Michinori)

【授業の紹介】
　製造業者にとって、小売業者や卸売業者といった商業者の存在は効率的な販売活動を行う上で重要な存在です。また、消費者にとっても、日常的な消費行動を助けてくれる商業者は無くてはならない存在です。
　本講義では、商業論の基礎的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とします。そのために、商業の構造や商業者間の関係性といった議論に特に焦点を当てます。
　なお、関連科目として、マーケティング論などを履修することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１.商業論の基礎理論を理解し、その理論枠組みを説明することができる。
２.商品流通の仕組みを理解し、身近な商業者の役割を説明することができる。

【成績の評価】
成績は、小テスト（80%）、授業内課題（20%）を総合して評価します。
小テストの採点基準は講義時に説明します。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

【使用テキスト】
初回講義時に指示します。

【参考文献】
石原武政・佐藤善信・池尾恭一著『商業学』（有斐閣,2000年）
鈴木安昭・田村正紀著『商業論』（有斐閣新書,1980年）
高嶋克義著『現代商業学（新版）』（有斐閣,2014年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
2	流通とは何か	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
3	流通業者の必要性	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
4	流通の役割と流通費用	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
5	小売・卸売の役割と構造	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
6	インターネットと流通	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
7	流通業者の先端的取組み	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
8	商業構造のまとめと小テスト	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
9	商業における取引関係	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
10	生産者による流通系列化	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
11	サプライチェーン・マネジメント	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
12	小売業者による製販統合	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
13	小売業者によるPB開発	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
14	流通業者と国際化	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
15	商業者間の関係性のまとめと小テスト	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC113
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 会計学入門Ⅰ
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　そもそも「経営学」とは、企業が活動するために必要となる経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報を効果的かつ効率的に管理・運用するための方法を考える学問です。
　本講義は、経営資源のうち、カネ（資金）を扱う学問分野である「会計」と「ファイナンス」の入門的な位置づけの科目であり、会計とファイナンスに関する基礎知識を修得することを目的としています。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。
　関連科目として「会計学入門Ⅱ」では「会計学入門Ⅰ」で学んだ内容をふまえ、会計についてより深く学修しますので、続けて受講してください。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１.新聞記事などで使われている会計とファイナンスに関する基礎的な用語の意味を説明できる。
２.株式会社の仕組みと株式会社におけるカネ（資金）の役割を説明できる。
３.経営学における会計とファイナンスの位置づけを説明できる。

【成績の評価】
　課題（40%）、確認テスト（60%）により総合的に評価します。
　なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
中井透・諏澤吉彦・石光裕（2024）『はじめて学ぶ会計・ファイナンス（第２版）』中央経済社

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	会計、ファイナンスとは	予習として「会計」、「ファイナンス」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	事業投資の意思決定	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	株式会社とは何か	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	企業の財政状態：貸借対照表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	企業の経営成績：損益計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	企業の意思決定と会計：財務会計と管理会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	企業の直面するリスク：リスクとリターン	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	リスクマネジメントとリスクファイナンス	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	社債の発行と株式の上場	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	外部からの企業分析：財務諸表分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	株価はどのように決定されるのか	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	企業の再編	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	会社は誰のものか	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	企業の情報開示	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC221
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 会計学入門II
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　会計を学ぶことで、企業や社会を鋭く観察することができるようになります。これは、会計によって提供される情報が、企業の経営について相対的な真実を示しているからです。そのため、会計はビジネスの共通言語と呼ばれ、企業で働く人にとって不可欠な知識となっています。
　本講義では、初学者を対象に、会計の面白さや楽しさを知りながら、会計に関する基礎知識の修得を目指します。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。
　関連科目として「会計学入門Ⅰ」が既習であることを前提とします。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１.会計に関する基礎的な専門用語の意味を説明できる。
２.財務諸表の基本的な考え方を説明できる。
３.財務諸表によって提供される基礎的な情報を読み取ることができる。

【成績の評価】
　課題（40%）、中間テスト（30%）、確認テスト（30%）により総合的に評価します。
　なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
谷武幸・桜井久勝・北川教央（編著）（2021）『１からの会計（第２版）』碩学社

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／会計情報の役割	予習として「会計情報」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	会計制度と社会	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	会計の仕組み	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	貸借対照表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	在庫品の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	生産設備の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	金融資産の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	負債と資本の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	重要項目の確認と中間テスト	予習として第１回から第８回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
10	損益計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	営業活動の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	儲かる仕組みの分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	財務構造の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	利益構造の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第10回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF101
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営情報概論
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　現代の情報化社会において、企業経営に欠かせない情報の活用とそれを支える情報システムの概要を学びます。情報システムを用いて業務を自動化・効率化したり、情報システムの支援により適切なタイミングで必要なデータを分かり易く提示させ、データに基づく意思決定を行うといった経営情報学の概要に加えて、情報システムを用いて出来ることと出来ないことの違い、AI(人工知能)の現状について学びます。
　この科目は、卒業要件の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.　企業経営のために、どのような情報が必要なのかを把握し、説明できる。
2.　情報の収集・提示について、概要を把握し、説明できる。
3.　経営上の課題を分析・解決するための方法論について、概要を把握し、説明できる。
4.　企業経営に必要な情報システムについて、概要を把握し、説明できる。

【成績の評価】
授業における取組みとレポート課題（25%）、小テスト（25%）、定期試験代わりの課題（50%）
レポート課題については、優秀なものについて解説を行うことにより、フィードバックを行う。
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メールにより採点結果を返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
大場允晶ほか「経営情報システムとビジネスプロセス管理」（創成社）ISBN978-4-7944-2385-6, ￥2,500+税.

【参考文献】
ベネット・ミラー監督『(映画)マネーボール』（ソニー・ピクチャーズ）
新井 紀子『コンピュータが仕事を奪う』（日本経済新聞出版）ISBN978-4532316709
新井 紀子『改訂新版 ロボットは東大に入れるか』（新曜社）ISBN978-4788515635
アンドリュー・カーネギー『カーネギー自伝-新版』（中央公論）ISBN978-4122071056
小川 進『QRコードの奇跡: モノづくり集団の発想転換が革新を生んだ』（東洋経済新報社）ISBN978-4492534199

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
2	ビジネスゲーム	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：ビジネスゲーム(4時間)	
3	意思決定	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
4	メトリクス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：メトリクスに関する課題(6時間)	
5	確率分布と期待値	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
6	リスクを量る、リスクを取る	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：リスクの計算(4時間)	
7	情報を量る（情報理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：エントロピーの計算(4時間)	
8	情報システムの構成要素とデータベース	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
9	情報システム導入の目的と流れ	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
10	業務プロセスの分析と図式化	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
11	AIが普及した社会の業務スキル	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：新技術と社会変化に関する課題(10時間)	
12	コンピュータが問題を解くとは	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
13	コンピュータ処理の限界（計算理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
14	駆引きの科学（ゲーム理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明と今後の学習活動へのアドバイス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF260
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報デザイン論
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
　情報デザインの基礎を踏まえた上で、Webページおよびサイトの制作手法について学ぶ。Webサイトの制作では技術面だけではなく、関連技術やモラルなども理解しておく必要がある。Webサイトは、企業や個人を問わず、絶大な情報を持つ媒体である。そこから得られるメリットやデメリットも理解した上で、制作をしていくこととする。講義と演習を通して理解することを目標としている。
　また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)情報デザインに関する基礎的な知識を習得することができる。
(2)公開されているWebサイトを検索・分析し、自ら発信したいWebサイトの構想を得ることができる。
(3)Webサイト制作にあたり、考えておかなければならないこと自ら整理し、その内容を理解できる。

【成績の評価】
授業内レポート（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行う。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして定期試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】
30時間でマスター　Webデザイン改訂版　HTML5&CSS３　実教出版企画開発部　実教出版　2019年

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／情報デザインとは何か	予習として、GoogleClassroomから指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
2	Webサイトを制作する前に（仕組み、利点と危険性、著作権と肖像権）	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
3	Webデザインの基礎（テキストのデザイン、レイアウト）	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
4	Webでの配色	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
5	Webサイトの制作手順	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
6	情報デザインの基礎知識確認およびWebサイト制作の準備	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
7	ここまでの要点整理と中間試験、HTMLの基本要素	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
8	HTML基礎1：見出し・段落・強調	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
9	HTML基礎2：文字要素	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
10	HTML基礎3：リスト	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る（2時間）。	
11	HTML基礎4：画像	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
12	HTML基礎5：ハイパーリンク	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
13	HTML基礎6：ページ構造と文書構造の設定	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
14	HTML基礎7：ページ内リンク	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかり読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS252
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ビジネス法概論
担当教員： 松尾　邦之(MATSUO　Kuniyuki)

【授業の紹介】
　皆さんが実社会で働く際に経験することが多く、失敗やリスクにもチャンスにもつながる、物やサービスの取引やお金･資金の調達･貸し借り、そして働く場としての会社･企業のしくみと労使の権利と義務を中心に家族関係の経済的法律関係についても学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
・受講者はビジネスにかかわる法律用語や民法や商法、会社法の規定を正確に読むことができる。
・物やサービスの取引に関する様々な法律があることやその大まかなしくみと社会的意義を理解できる。
・卒業後も意識的に学び続け、ビジネス活動における多様なリスクを知り適切に行動できるように努める人になる契機として活かすことができる。

【成績の評価】
定期試験結果（７０％）をもとに、毎回配布する質問カードの提出状況及び記述内容（３０％）とを勘案し総合的に評価します。評価について説明希望があれば対応することでフィードバックします。

【使用テキスト】
　◎　今年度は『First Stageシリーズ　ビジネス法務の基礎　改訂版　実教出版』を使い講義します。できるだけ購入してください。
　◎　東京商工会議所編『ビジネス実務法務検定試験公式テキスト(３級)2024年版』（最新版）「中央経済社」このシリーズ本は大手企業の就職や将来の転職を目指している方に適しています。
　また、このテキストの理解の助けになるレジュメ（メモ）や条文等の資料も適宜配布します。テキストと合わせて「永久保存」をお勧めします。

【参考文献】
特に指定する参考文献はありません。
・最新版（2025度版）のコンパクト六法やポケット六法を持っていると民法や商法など関連法令の全体像が把握できるので予習復習に役立ちます。
・資格を取りたい場合やビジネススキルを磨きたい方は、より上級の東京商工会議所編・ビジネス実務法務検定試験公式テキスト(各１・２級)を購入し自学自習してください。資格取得を目標としない場合でも2級や1級テキストが理解できるようなレベルになると将来のキャリアアップに必ず役立ちます。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　不学部の研究者教員を経て、5年前から弁護士登録し法律業務を行っています。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス（講義の進め方や学習方法について）。ビジネスと法律のかかわり	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
2	企業と従業員の関係①／労働契約と労働基準規制	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
3	企業と従業員の関係②／労使関係と労働組合法	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
4	企業と従業員の関係③／雇用における平等・均衡取り扱い	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
5	取引と家族関係・相続とのかかわり	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
6	法人と企業、会社の種類としくみ①／法人とは何か・その機能	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
7	法人と企業、会社の種類としくみ②／株式会社を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	企業活動と法規制①／経済法規制としての独占禁止法を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
9	企業活動と法規制②／消費者保護等規制及び横領背任等ビジネス犯罪について	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
10	契約とその役割・効果①／売買契約を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
11	契約とその役割・効果②／売買契約以外の典型契約を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
12	企業財産の管理と法律	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
13	ビジネスにおける債権の管理と回収／決済方法と担保①／債権(債務)の決済方法について	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
14	ビジネスにおける債権の管理と回収／決済方法と担保②／担保による債権の確保	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	ビジネスに関連する諸法令とコンプライアンスのつながり	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回４時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC111
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記演習Ⅰ【A】
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記である。それゆえ、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれる。したがって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠である。本授業では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定３級程度の内容を学習する。

高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目である。
※毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参すること。また、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

＜クラスルーム＞
名称：2025簿記演習Ⅰ【A】
コード：n5t35il

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
２.商品売買など基本的な仕訳問題を解くことができる。
３.小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。

【成績の評価】
課題（100%）で評価する。課題については添削のうえ返却する。

【使用テキスト】
テキスト：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”テキスト 第３版』ネットスクール出版.
ワークブック：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”トレーニング 第３版』ネットスクール出版.

【参考文献】
なし。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
理解を促進するために、講師の企業経営の経験を活かし、講義内容を経営の現場の例と絡めながら講義を行う。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び貸借対照表と損益計算書	予習として「貸借対照表、損益計算書」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	取引と仕訳	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	元帳への転記	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	財務諸表の誘導と６桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算の振替記入と帳簿の締切	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	簿記手続きの一巡	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	商品売買①（掛取引・返品）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	商品売買②（諸掛・手付金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	商品売買③（クレジット売掛金・受取商品券）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	現金と預金①（現金・現金過不足）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	現金と預金②（当座預金・小口現金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	固定資産①（取得原価の算定・減価償却）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	固定資産②（売却時の処理）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC111
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記演習Ⅰ【B】
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記です。そのため、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれます。よって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠なものとなっています。本講義では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定３級程度の内容を学修します。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目です。
　※毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
２.商品売買など基本的な仕訳問題を解くことができる。
３.小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。

【成績の評価】
課題（100%）により総合的に評価します。
課題については添削のうえ返却し、解説を行うことでフィードバックします。

【使用テキスト】
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”テキスト 第３版』ネットスクール出版
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”トレーニング 第３版』ネットスクール出版

【参考文献】
なし。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び貸借対照表と損益計算書	予習として「貸借対照表、損益計算書」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	取引と仕訳	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	元帳への転記	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	財務諸表の誘導と６桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算の振替記入と帳簿の締切	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	簿記手続きの一巡	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	商品売買①（掛取引・返品）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	商品売買②（諸掛・手付金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	商品売買③（クレジット売掛金・受取商品券）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	現金と預金①（現金・現金過不足）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	現金と預金②（当座預金・小口現金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	固定資産①（取得原価の算定・減価償却）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	固定資産②（売却時の処理）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC111
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記演習Ⅰ【C】
担当教員： 梶　正司(KAJI Masashi)

【授業の紹介】
　企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記です。そのため、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれます。よって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠なものとなっています。本講義では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定３級程度の内容を学修します。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目です。
　※毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
２.商品売買など基本的な仕訳問題を解くことができる。
３.小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。

【成績の評価】
課題（100%）により総合的に評価します。
課題については添削のうえ返却し、解説を行うことでフィードバックします。

【使用テキスト】
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”テキスト 第３版』ネットスクール出版
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”トレーニング 第３版』ネットスクール出版

【参考文献】
なし。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び貸借対照表と損益計算書	予習として「貸借対照表、損益計算書」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	取引と仕訳	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	元帳への転記	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	財務諸表の誘導と６桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算の振替記入と帳簿の締切	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	簿記手続きの一巡	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	商品売買①（掛取引・返品）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	商品売買②（諸掛・手付金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	商品売買③（クレジット売掛金・受取商品券）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	現金と預金①（現金・現金過不足）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	現金と預金②（当座預金・小口現金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	固定資産①（取得原価の算定・減価償却）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	固定資産②（売却時の処理）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC112
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記演習Ⅱ【A】
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記である。それゆえ、複式簿記はビジネス言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれる。したがって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠である。本授業では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定３級程度の内容を学習する。
関連科目として「簿記演習Ⅰ」が既習であることを前提とする。

高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目である。
※毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参すること。また、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

＜クラスルーム＞
名称：2025簿記演習Ⅱ【B】
コード：dtulios

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
２.小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。
３.毎年6月、11月、2月に実施される日商簿記検定３級程度の簿記知識を身につけ、問題を解くことができる。

【成績の評価】
課題（100%）で評価する。課題については添削のうえ返却する。

【使用テキスト】
テキスト：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”テキスト 第３版』ネットスクール出版.
ワークブック：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”トレーニング 第３版』ネットスクール出版.

【参考文献】
なし。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
理解を促進するために、講師の企業経営の経験を活かし、講義内容を経営の現場の例と絡めながら講義を行う。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の復習）	予習として簿記演習Ⅰの第１回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	その他の債権債務の処理①（約束手形・電子記録債権債務・貸付と借入など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	その他の債権債務の処理②（未払金と未収入金・仮払金と仮受金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	その他の債権債務の処理③（立替金と預り金・税金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	会社の設立と利益の計上・配当	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算整理①（貸倒の見積・消耗品の処理など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	決算整理②（収益・費用の前受け・前払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	決算整理③（収益・費用の未収・未払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	試算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	8桁精算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	8桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	損益計算書と貸借対照表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	伝票会計（3伝票制）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC112
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記演習Ⅱ【B】
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記です。そのため、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれます。よって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠なものとなっています。本講義では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定３級程度の内容を学修します。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目です。
　※毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参してください。
　関連科目として「簿記演習Ⅰ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
２.小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。
３.毎年6月、11月、2月に実施される日商簿記検定３級程度の簿記知識を身につけ、問題を解くことができる。

【成績の評価】
課題（100%）により総合的に評価します。
課題については添削のうえ返却し、解説を行うことでフィードバックします。

【使用テキスト】
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”テキスト 第３版』ネットスクール出版
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”トレーニング 第３版』ネットスクール出版

【参考文献】
なし。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の復習）	予習として簿記演習Ⅰの第１回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	その他の債権債務の処理①（約束手形・電子記録債権債務・貸付と借入など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	その他の債権債務の処理②（未払金と未収入金・仮払金と仮受金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	その他の債権債務の処理③（立替金と預り金・税金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	会社の設立と利益の計上・配当	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算整理①（貸倒の見積・消耗品の処理など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	決算整理②（収益・費用の前受け・前払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	決算整理③（収益・費用の未収・未払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	試算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	8桁精算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	8桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	損益計算書と貸借対照表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	伝票会計（3伝票制）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC112
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記演習Ⅱ【C】
担当教員： 梶　正司(KAJI Masashi)

【授業の紹介】
企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記です。そのため、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれます。よって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠なものとなっています。本講義では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定３級程度の内容を学修します。
本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目です。
※毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参してください。
関連科目として「簿記演習Ⅰ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
２.小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。
３.毎年6月、11月、2月に実施される日商簿記検定３級程度の簿記知識を身につけ、問題を解くことができる。

【成績の評価】
課題（100%）により総合的に評価します。
課題については添削のうえ返却し、解説を行うことでフィードバックします。

【使用テキスト】
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”テキスト 第３版』ネットスクール出版
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記３級に“とおる”トレーニング 第３版』ネットスクール出版

【参考文献】
なし。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の復習）	予習として簿記演習Ⅰの第１回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	その他の債権債務の処理①（約束手形・電子記録債権債務・貸付と借入など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	その他の債権債務の処理②（未払金と未収入金・仮払金と仮受金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	その他の債権債務の処理③（立替金と預り金・税金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	会社の設立と利益の計上・配当	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算整理①（貸倒の見積・消耗品の処理など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	決算整理②（収益・費用の前受け・前払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	決算整理③（収益・費用の未収・未払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	試算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	8桁精算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	8桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	損益計算書と貸借対照表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	伝票会計（3伝票制）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CAR201
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ビジネス実務概論
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
ビジネス実務とは、個人または組織体が、利益と事業目的を具現化するために、経営理念にもとづき、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報・ナレッジ（知識・知的財産）を活用して新しい価値を創出する活動です。本授業は、ビジネス実務に必要な基礎的知識や資質等（組織の機能、ビジネスパーソンとして必要とされる資質と能力）に焦点を当て、それらの重要性を理解するとともに、ビジネス活動における有為な人材としての基礎的能力を育むことを目的としています。ビジネス実務の遂行について深く理解するために、ビジネス実務マナー検定の事例を用いて授業を行います。また、適宜、課題や理解度確認テストを実施することで、学生の継続的な学びを促し、知識を着実に修得できているかの確認をします。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、本授業は、上級ビジネス実務士取得のための必修科目に該当します。
また、本授業は原則、対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「evpdwz5」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．ビジネス実務を学ぶ意義を理解し、説明できる。
２．組織の機能について理解し、説明できる。
３．ビジネスパーソンとして必要とされる資質と能力について理解し、説明できる。

【成績の評価】
評価項目は、受講態度（10%）、宿題２回（30%）、理解度確認テスト（60%）とする。
受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。
なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
宮田 篤編著『新・ビジネスとオフィスワーク』樹村房、2021年.
西村このみ著『ビジネス実務マナー検定受験２・３級　らくらく合格　テキスト＆問題集』翔泳社、2022年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定受験ガイド３級』早稲田教育出版、2020年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集１・２級』早稲田教育出版、2021年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集３級』早稲田教育出版、2021年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google　Classroomへの参加 （クラスコード　evpdwz5） ビジネス実務について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
2	組織の機能①　業務分掌の意義と各部門の役割について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
3	組織の機能②　職位と職制について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
4	組織の機能③　企業の社会的責任について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（２時間）。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（２時間）。	
5	組織の機能④　これまでのまとめ　宿題①の解説	宿題で誤った問題を再度解き直すこと（１時間）。次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（３時間）。	
6	組織の機能⑤　これまでのまとめ　理解度確認テスト①（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（４時間）。	
7	必要とされる資質と能力①　行動力、判断力、表現力の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
8	必要とされる資質と能力②　明るさ、誠実さの重要性を理解する 必要とされる資質と能力③　身だしなみの重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
9	必要とされる資質と能力④　自己管理の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディア	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		から、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
10	必要とされる資質と能力⑤　ルーチンワークを確実に実行することの重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
11	必要とされる資質と能力⑥　良識を持ち、素直な態度をとることの重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
12	必要とされる資質と能力⑦　協調性の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（３時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（１時間）。	
13	必要とされる資質と能力⑧　積極性、合理性、効率性の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（２時間）。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（２時間）。	
14	必要とされる資質と能力⑨　これまでのまとめ　宿題②の解説	宿題で誤った問題を再度解き直すこと（１時間）。次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（３時間）。	
15	必要とされる資質と能力⑩　これまでのまとめ　理解度確認テスト②（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（４時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： キャリアデザインⅠ
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
授業の目的は、自分の将来像を描き積極的に人生をおくるための準備を行うことです。特に、就職、昇進、家庭、リスキリング、転職、退職などの将来起こりうる各ライフステージでどのような選択肢があるかを学び、選択を行う際に考慮すべきことを見つけ出すことに授業の重点をおきます。また、卒業後の自分のあり方を描き、それを今に投影して大学時代をどのように過ごすべきかを考えます。
授業を履修する前に、かならず以下の文章を読んでおいてください。
「安定した職につき、生活の基礎を維持し続けることはたやすいことではない。ましてや、技を磨き自分も成長していけるような、あるいは思い描いた自分のあり方に少しずつであれ近づいていけるような仕事を手に入れることはとても難しい。多くの人々は、（略）ただ穏やかな生活を望んでいるだけであるが、それさえも叶えることは容易ではない。したがって、（略）大きな誤りをしないよう、そして少しでも自分の目的が達成できるよう、人生の舵取りをしていかなければならない。
（略）
もちろん、キャリアに関する詳細な海図を描くことは不可能に近い。天候や潮流と同じように社会状況は複雑に変化し続けるし、個人が目指している場所も、好む生き方も異なっているからである。それらすべての可能性を描き出し、正確な指針を示すことなどできない。たとえ一人の人生に限ったとしても、起こりうること全てを予測し、詳細に記述することなどできるはずもない。
しかし、古代海を渡り交易を続けた船乗りや、南洋諸島の民が星を見ながら島々を渡ることができたように、確固とした基本的知識はおおいに助けになる。また、その上に新たな知識と経験を積んでいくことで、風の臭いをかぎ潮の流れを読めるようになっていく。そうしていつか、単純に櫓をこぎ続けるだけでは決して辿り着けなかった遠い目的地へも、帆を上げ船を走らせることができるようになる。（阿部・松繁（編著）（2014）『キャリアのみかた』　あとがき　有斐閣）」

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	4
		②　コミュニケーション能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1.将来の自分のキャリアイメージを描くことができる。
2.そのために、どのような選択を、特に大学時代にしておくべきかを考え実行できる。

【成績の評価】
小テスト(40%)・・・具切りごとに、小テストを行います。
レポートやアンケート等の提出物(20%)・・・数回の提出があります。
定期試験（40%）
小テスト、提出物、試験等に関しては、授業あるいはGoogle Classroomにてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
阿部・松繁（編著）（2014）『キャリアのみかた』有斐閣

【参考文献】
適宜資料を配布します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の構成と進め方	予習（2時間） - 関係する教科書の章立てとコースの内容理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
2	社会人基礎力、第１回目：　入学時点での社会人基礎力を測定します。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
3	さまざまな職業、職種、就業形態を知る。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
4	どのような仕事につきたいかを考える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
5	どのような人材が求められているか。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
6	経済的自立	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
7	結婚	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
8	出産・育児	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
9	昇進	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
10	転職の可能性	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
11	定年退職と老後	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
12	就業と所得	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
13	家庭と支出	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
14	資産形成	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 定期試験の準備	
15	社会人基礎力　第２回目：　授業を受けた後で再度社会人基礎力を測定し、その成長を測ります。 全範囲学修確認テスト	予習（３時間） - 全範囲学修確認テスト（定期試験）の準備 復習（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CAR111
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 企業調査入門
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto),村山　昂,時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
　教員があらかじめ業種の異なる県内の代表的企業2社を選び、学生はまずそれらの企業がいつごろ創立され、どのような組織で事業を展開しているか、製品やサービスの特色はどこにあるのかなどを事前にインターネットや図書館の文献などで調べて企業調書を作成します。次に、それらの企業をバスで訪問し、企業側より企業概要、事業の一般的特徴、各企業独自の生産や販売の仕方などを紹介してもらいます。学生は各企業の事業に対する疑問点・不明点について質疑を行い、企業の実際の活動について理解を深めます。最後に、学生はインターネットで調査したり、企業を見学して得られた情報をまとめて、授業においてパワーポイント（PPT)を使ってプレゼンテーションを行うとともに、学生相互に意見を述べる等のアクティブラーニングを実施します。
　教員は学生の企業に対する理解やプレゼンテーションの仕方、数値データの分析等についてコメントします。本科目は、上級ビジネス実務士、上級情報処理士資格取得の選択科目です。
　状況により履修制限を行うことがあります。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：in4l2vn）を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１．企業の概要や特徴等をインターネット、文献等で調査することができる。
２．企業訪問を通じて、企業の仕組、仕事の流れ、問題点等が理解できる。
３．事前の調査及び企業訪問で得た要点をPPTを用いて発表できる。
４．柔軟かつ積極的な活動により、多様な人と良好な関わりを持つことができる。

【成績の評価】
評価は、事前に作成した企業調書（30%）、企業訪問時の質疑回数と内容（20%）、プレゼンテーション（30%）、PPT原稿の内容（20%）により行います。大幅な遅刻、筆記具の不携帯、企業訪問時のマナーに反する服装や態度は減点を行います。フィードバックは各人のプレゼンテーション時に行います。

【使用テキスト】
適宜指示します。

【参考文献】
『香川の会社情報2024年版』（香川経済レポート社、2023）　価格3,600円（税込）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（２時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
2	企業見学の目的や服装、質疑応答の方法等のガイダンス	予習として、配布資料に事前に目を通し、企業見学の目的、服装、質疑応答の仕方等に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、企業見学の目的、服装、質疑応答の仕方等に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（２時間）	
3	A社の事前調査（企業調書の作成）	予習として、参考文献やインターネット等で、A社の概要等を調査し、企業調書作成の準備を行うこと、疑問点はノートに記載すること（２時間） 復習として、作成した企業調書を振返り、企業訪問に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（２時間）	
4	A社の事前調査（訪問時の質問事項の検討）	予習として、作成した企業調書により質問事項の案を考え、疑問点とともにノートに記載すること（２時間） 復習として、考えた質問事項を振返り、企業訪問に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（２時間）	
5	A社を訪問（企業側の説明、見学、質疑応答）	予習として、作成した企業調書を見直し、A社訪問に関する要点を自分なりにまとめておくこと、特に質問事項を説明ができるようにしておくこと（２時間） 復習として、訪問時の企業の説明や質問事項をPPT作成に活用できるよう整理しておくこと、疑問点はノートに記載すること（２時間）	
6	A社のPPT原稿の作成	予習として、作成した企業調書に基づき、PPTの構成を考えてまとめておき作成に反映させること（２時間） 復習として、作成したPPTの口述原稿の概要をまとめておき、プレゼンテーションに反映させること（２時間）	
7	A社についてのプレゼンテーション（プレゼンテーションの実施、相互評価）及びPPT原稿と企業調書の提出①	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（２時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（２時間）	
8	A社についてのプレゼンテーション（プレゼンテーションの実施、相互評価）及びPPT原稿と企業調書の提出②	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（２時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（２	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間）	
9	B社の事前調査（企業調書の作成）	予習として、参考文献やインターネット等で、B社の概要等を調査し、企業調書作成の準備を行うこと、疑問点はノートに記載すること（２時間） 復習として、作成した企業調書を振返り、企業訪問に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（２時間）	
10	B社の事前調査（訪問時の質問事項の検討）	予習として、作成した企業調書を見直し、B社訪問に関する要点を自分なりにまとめておくこと、特に質問事項を説明ができるようにしておくこと（２時間） 復習として、訪問時の企業の説明や質問事項をPPT作成に活用できるよう整理しておくこと、疑問点はノートに記載すること（２時間）	
11	B社を訪問（企業側の説明、見学、質疑応答）	予習として、作成した企業調書を見直し、B社訪問に関する要点を自分なりにまとめておくこと、特に質問事項を説明ができるようにしておくこと（２時間） 復習として、訪問時の企業の説明や質問事項をPPT作成に活用できるよう整理しておくこと、疑問点はノートに記載すること（２時間）	
12	B社のPPT原稿の作成	予習として、作成した企業調書に基づき、PPTの構成を考えてまとめておき作成に反映させること（２時間） 復習として、作成したPPTの口述原稿の概要をまとめておき、プレゼンテーションに反映させること（２時間）	
13	B社についてのプレゼンテーション（プレゼンテーションの実施、相互評価）及びPPT原稿と企業調書の提出①	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（２時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（２時間）	
14	B社についてのプレゼンテーション（プレゼンテーションの実施、相互評価）及びPPT原稿と企業調書の提出②	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（２時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（２時間）	
15	未発表者による報告、授業の要約と質疑応答	予習として、A及びB社の発表において教員より指摘された事項を「良い点」「改善を要する点」に整理し、発表できるようにしておくこと（２時間） 復習として、他の学生の「良い点」「改善を要する点」で参考になる事項をまとめてノートに記載すること（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR215
授業形態： 実習
単位数： 1
科目名： 地域連携活動Ⅰ
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke),髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko),村山　昂,時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
　本科目は、地域の文化や歴史、地域活性化や地域創生に興味がある学生に是非受講して欲しい授業です。地域と大学生が連携する中で、地域が有する課題を理解し、その解決のために地域の新たな魅力を発掘し、実現可能性の高いアイデアを軸としたプロジェクトを実践していきます。そのため学生の皆さんには、主体性や積極性が強く求められます。

　今年度は、高松市牟礼町で開催される「むれ源平石あかりロード」に焦点を当てます。本イベントでは、「源平史跡」と「石材産業」がコラボレーションし、史跡と史跡の間に石あかりを設置・ライトアップすることで、来場者の皆さんに楽しんでもらいます。本イベントの歴史や地域産業が抱える課題を理解したうえで、イベントの運営に参加して、イベントの魅力向上に向けた新しいアイデアや運営の課題・改善案をプレゼンテーションすることを考えています。地域の方々との交流の中で、座学では得られない面白さと難しさの両方を経験できるでしょう。
　学修の定着度や主催者側との調整等により、授業計画や方法を途中で変更する場合もあるかもしれませんが、授業は原則対面で実施します。学生皆さんの意向も確認しながら、ある程度柔軟に対応しますが、地域の方々とともに活動するため、関係者の皆さんと協働する意識で参加することを希望します。その意味では皆さんの負担は決して軽くはないでしょうけれど、その分、楽しいでしょうし、学びも大きいかと思います。

　本科目は、上級ビジネス実務士、上級情報処理士資格取得の選択科目です。
　授業の詳細な内容やイベントの実施日時、要領等については初回の授業時に説明します。履修希望者は、第１回目の授業を、4/9（水）5校時に、本館204講義室で実施予定ですので、出席してください。

　本科目では、Google Classroom（クラスコード：rehcjwd）を通じて諸々の連絡を行いますので、受講希望者は必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１．地域社会や文化への関心を高め、地域社会をより深く理解することができる。
２．地域の方々や仲間と円滑に、かつ良好にコミュニケーションできる。
３．自ら課題を見出し、その解決方法を考えることができる。
４．地域の方々や仲間の前でプレゼンテーションできる。
５．地域活性化の現状と課題についてについて、自分の考えを表明できる。

【成績の評価】
各回の講義内での貢献（50%）、イベントの企画・運営への貢献（50%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。

【参考文献】
世古一穂（2016）.『参加と協働のデザイン―NPO・行政・企業の役割を再考する―』学芸出版社.

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
様々な外部イベントでの企画・運営、地域からの要請による各種協議会メンバーとしての参加など、地域連携活動での実際の経験をベースにして本科目を実施していきます。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】シラバスを見て講義の全体像や目的を理解する。また事前に庵治石や石あかりロードについてウェブサイトなどで調べておく。（1時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、内容を定着させる。（1時間）	
2	庵治石の理解、地場産業の現状の理解	【予習】庵治石はなぜ高価なのか、物理的にはどのような特性を持っているのか、地場産業として庵治・牟礼はどのように発展してきたのかを、ウェブサイトなどを活用して事前に調べてレジュメを作成する。（1時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）	
3	産地が抱える課題の把握・石あかりロードの歴史の理解	【予習】産業としての庵治石の現状を理解したうえで、現在何が問題になっているのか、産地が抱える課題を事前に調べる。また石あかりロードは何を目的に始められたのか、どのような企画イベントなのかをウェブサイトなどを通して調べ、レジュメを作成する。（1時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）	
4	課題の解決仮説の初期検討	【予習】産地が抱える課題と石あかりロードが果たしてきた役割を理解したうえで、たとえば産地が直面している課題を石あかりロードとしてはどのように解決していけばいいのか、ないしは石あかりロードというイベントの課題をどのように解決すればいいのか、その仮説を自分なりに考えてレジュメを作成する。（1時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）	
5	課題の解決仮説の精緻化・フィールドワーク準備	【予習】前回の講義で検討した仮説を、さらに深く検討し、より具体的に、より実行可能と思われる仮説に精緻化させられるように、事前に検討を進める。（1時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）	
6	フィールドワーク：石材店などへのヒアリング・実習	【予習】設定した仮説を検証するために、石材店（石あかりロードの実行委員会メンバーを想定）などへの質問項目を検討する。（1時間） 【復習】ヒアリング内容をまとめ、何がポイントなのかを自分なりに理解する。（1時間）	
7	具体的な課題解決策の深堀り・発表	【予習】これまで調査・分析・検討してきた内容を資料にまとめる。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】講義で議論したことを振り返り、決定事項を実行する。（1時間）	
8	イベントの流れの理解・チーム編成・担当役割の決定	【予習】これまでに作成してきた資料に再度目を通し、石あかりロードの目的などを再確認する。（1時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、自分の役割を理解し、どのように動くのか、動く際に何に気を付けなければならないのか、イベント全体の流れとその中での自分の役割を再確認する。（1時間）	
9	現地での最終確認	【予習】イベントにおける動き方を確認する。（1時間） 【復習】現地を視察したうえで、自分の役割や動き方を最終確認する。（1時間）	
10	現地でのイベント活動：第1回	【予習】イベントにおける動き方を確認する。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
11	現地でのイベント活動：第2回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
12	現地でのイベント活動：第3回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
13	現地でのイベント活動：第4回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
14	現地でのイベント活動：第5回	【予習】メンバーから共有された事項を確認	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
15	振り返りと改善点の検討	【予習】これまでを振り返り、自分が学んだこと、成長したことをレジュメにまとめる。（1時間） 【復習】講義の中で他のメンバーから指摘されたことや意見を振り返り、自分なりの気づきをまとめる。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR312
授業形態： 実習
単位数： 2
科目名： 地域連携活動II
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke),髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko),村山　昂,時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
　本科目は、地域活性化や地域創生に興味がある、卒業後も地域に貢献したいと考える学生に是非受講して欲しい授業です。地域の新たな魅力を発掘し、イベントの集客力アップに向けた新しい戦略を考え、実践します。多数のステークホルダーを巻き込みながら、学生自身が主体的にイベントをプロデュースします。そのため、学生には、企画力や分析力だけでなく、地域や仲間を巻き込むコミュニケーション力、最後まで実現へのこだわりをもつ熱意と実践力を、これまで以上に高めていきたいという意欲が求められます。

　今年度は、高松市牟礼町で開催される「むれ源平石あかりロード」に焦点を当てます。本イベントでは、「源平史跡」と「石材産業」がコラボレーションし、史跡と史跡の間に石あかりを設置・ライトアップすることで、来場者の皆さんに楽しんでもらいます。地域の方々との交流の中で、座学では得られない面白さと難しさの両方を経験できるでしょう。

　学修の定着度や主催者側との調整等により、授業計画や方法を途中で変更する場合もあるかもしれませんが、授業は原則対面で実施します。授業時間以外にもグループで集まり、課題について協議したり、主体的にイベント企画の準備をすることなどが求められるでしょう。地域の方々とともに活動するため、関係者の皆さんと協働する意識で参加することを希望します。その意味では皆さんの負担は決して軽くはないでしょうけれど、その分、楽しいでしょうし、学びも大きいかと思います。

　本科目は、上級ビジネス実務士、上級情報処理士資格取得の選択科目です。
　授業の詳細な内容やイベントの実施日時、要領等については初回の授業時に説明します。履修希望者は、第１回目の授業を、4/11（金）5校時に、本館307講義室で実施予定ですので、出席してください。

　本科目では、Google Classroom（クラスコード：wfxdfgx）を通じて諸々の連絡を行いますので、受講希望者は必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１．イベントの企画立案、計画に沿って実践することができる。
２．PDCAを回す力やプロジェクトマネジメント力など、社会的スキルを発揮することができる。
３．問題の発見と分析、および解決のプロセスを身につけることができる。

【成績の評価】
各回の講義内での貢献（50%）、イベントの企画・運営への貢献（50%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。

【参考文献】
世古一穂（2016）.『参加と協働のデザイン―NPO・行政・企業の役割を再考する―』学芸出版社.

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
様々な外部イベントでの企画・運営、地域からの要請による各種協議会メンバーとしての参加など、地域連携活動での実際の経験をベースにして本科目を実施していきます。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】シラバスを見て講義の全体像や目的を理解する。また事前に庵治石や石あかりロードについてウェブサイトなどで調べておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、内容を定着させる。（2時間）	
2	庵治石の理解、地場産業の現状の理解	【予習】庵治石はなぜ高価なのか、物理的にはどのような特性を持っているのか、地場産業として庵治・牟礼はどのように発展してきたのかを、ウェブサイトなどを活用して事前に調べてレジュメを作成する。（2時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（2時間）	
3	産地が抱える課題の把握・石あかりロードの歴史の理解	【予習】産業としての庵治石の現状を理解したうえで、現在何が問題になっているのか、産地が抱える課題を事前に調べる。また石あかりロードは何を目的に始められたのか、どのような企画イベントなのかをウェブサイトなどを通して調べ、レジュメを作成する。（2時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（2時間）	
4	石あかりロードの集客を高める方策のアイデア（仮説）検討	【予習】イベント来場者数を高めるためにはどうしたらいいのか、そのアイデアを考えレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】検討グループを編成した場合には、講義で議論したことを振り返り、各グループで話し合いさらに仮説を進化させる。外部組織の協力を仰ぐ必要がある場合には、打診の準備を行う。（2時間）	
5	仮説の精緻化・フィールドワーク準備	【予習】前回の講義で検討した仮説を、より具体的に、より実行可能なものになるように事前に検討する。（2時間） 【復習】次回のフィールドワークに向けてヒアリング項目を最終化を行う。（2時間）	
6	フィールドワーク：石材店へのヒアリング・実習	【予習】ヒアリング項目に抜け漏れがないか、確認する。（2時間） 【復習】ヒアリング内容を踏まえ、必要に応じて仮説の修正・やらなければならないことの修正を行う。（2時間）	
7	具体的な課題解決策の深堀り・発表	【予習】これまで調査・分析・検討してきた内容を資料にまとめる。（2時間） 【復習】講義で決まったことを実行する。（2時間）	
8	イベントの流れの理解・チーム編成・担当役割の決定	【予習】これまでに作成してきた資料に再度目を通し、石あかりロードの目的などを再確	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		認する。（2時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、自分の役割を理解し、どのように動くのか、動く際に何に気を付けなければならないのか、イベント全体の流れとその中での自分の役割を再確認する。（2時間）	
9	現地での最終確認	【予習】イベントにおける動き方を確認する。（2時間） 【復習】現地を視察したうえで、自分の役割や動き方を最終確認する。（2時間）	
10	現地でのイベント活動：第1回	【予習】イベントにおける動き方を確認する。（2時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）	
11	現地でのイベント活動：第2回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（2時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）	
12	現地でのイベント活動：第3回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（2時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）	
13	現地でのイベント活動：第4回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（2時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）	
14	現地でのイベント活動：第5回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。（2時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）	
15	振り返りと改善点の検討	【予習】これまでを振り返り、自分が学んだこと、成長したことをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】講義の中で他のメンバーから指摘されたことや意見を振り返り、自分なりの気づきをまとめる。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： ビジネス実務演習Ⅰ
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
ビジネスの現場において組織のメンバーや取引先など様々な人々と関わりながら協働で業務を遂行していくためには、ビジネス実務の基本スタイルを身につけておく必要があります。そこで、本授業では、卒業後にビジネスパーソンとして活躍できるよう、とりわけ「対人関係」に焦点を当てて、ビジネス実務の遂行にあたって求められる基礎的・汎用的能力（知識や技術など）を身につけることをめざします。ビジネス実務の遂行について理解するために、ビジネスの現場における身の処し方（態度）を一定の審査基準によって示しているビジネス実務マナー検定の事例を用いて授業を行います。また、適宜、課題や理解度確認テストを実施することで、学生の継続的な学びを促し、知識を着実に修得できているかの確認をします。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。
なお、本授業は、上級ビジネス実務士取得のための必修科目に該当します。
また、授業は原則対面で実施し、講義形式だけでなく、学生自身の主体的参加が必須となる実践的な学習（実技）も取り入れる予定です。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「fie7ssu」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１．職場において円滑な人間関係を築き、適切なコミュニケーションを図ることの重要性を理解し、説明できる。
２．ビジネス実務の遂行に必要な基礎的・汎用的能力を身につけ実践することができる。

【成績の評価】
評価項目は、受講態度（10%）、宿題２回（30%）、理解度確認テスト（60%）とする。
受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。
なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
西村このみ著『ビジネス実務マナー検定受験２・３級　らくらく合格　テキスト＆問題集』翔泳社、2022年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定受験ガイド３級』早稲田教育出版、2020年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集３級』早稲田教育出版、2021年.
山田敏世著『秘書検定2・3級　合格教本』新星出版社、2019年.
実務技能検定協会編『ビジネス電話検定受験ガイド〈改訂版〉』早稲田教育出版、2007年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google　Classroomへの参加 （クラスコード　fie7ssu） 立居振舞とメール	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
2	対人関係①　「ビジネス実務演習Ⅰ」を学ぶ意義　人間関係	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
3	対人関係②　ビジネスマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
4	対人関係③　服装、話し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
5	対人関係④　敬語の種類と接遇表現	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
6	対人関係⑤　敬語のつかい方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
7	対人関係⑥　目的に応じた話し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（１時間）。	
8	これまでのまとめ　宿題①の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（１時間）。	
9	これまでのまとめ　理解度確認テスト①（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（１時間）。	
10	対人関係⑦　慶弔のマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
11	対人関係⑧　贈答のしきたり	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
12	対人関係⑨　慶弔の振る舞い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	対人関係⑩　交際業務	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（１時間）。	
14	これまでのまとめ　宿題②の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（１時間）。	
15	これまでのまとめ　理解度確認テスト②（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（１時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR203
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： ビジネス実務演習II
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
ビジネスの現場において組織のメンバーや取引先など様々な人々と関わりながら協働で業務を遂行していくためには、ビジネス実務の基本スタイルを身につけておく必要があります。そこで、本授業では、卒業後にビジネスパーソンとして活躍できるよう、とりわけ「電話実務」や「文書実務」に焦点を当てて、ビジネス実務の遂行にあたって求められる基礎的・汎用的能力（知識や技術など）を身につけることをめざします。ビジネス実務の遂行について深く理解するために、ビジネスの現場における身の処し方（態度）を一定の審査基準によって示しているビジネス実務マナー検定の事例を用いて授業を行います。また、適宜、課題や理解度確認テストを実施することで、学生の継続的な学びを促し、知識を着実に修得できているかの確認をします。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、本授業は、上級ビジネス実務士取得のための必修科目に該当します。
また、授業は原則対面で実施し、講義形式だけでなく、学生自身の主体的参加が必須となる実践的な学習（実技）も取り入れる予定です。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「e2cqbza」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１．職場において円滑な人間関係を築き、適切なコミュニケーションを図ることの重要性を深く理解し、説明できる。
２．ビジネス実務の遂行に必要な基礎的・汎用的能力を十分に身につけ実践することができる。

【成績の評価】
評価項目は、受講態度（10%）、宿題２回（30%）、理解度確認テスト２回（60%）とする。
受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。
なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
西村このみ著『ビジネス実務マナー検定受験２・３級　らくらく合格　テキスト＆問題集』翔泳社、2022年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定受験ガイド３級』早稲田教育出版、2020年.
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集３級』早稲田教育出版、2021年.
山田敏世著『秘書検定2・3級　合格教本』新星出版社、2019年.
実務技能検定協会編『ビジネス電話検定受験ガイド〈改訂版〉』早稲田教育出版、2007年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第１回　ガイダンス　Google　Classroomへの参加（クラスコード　e2cqbza）立居振舞とメール	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
2	電話実務①　会話力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
3	電話実務②　応対力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
4	電話実務③　接遇表現	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（１時間）。	
5	これまでのまとめ　宿題①の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（１時間）。	
6	これまでのまとめ　理解度確認テスト①（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（１時間）。	
7	情報の取り扱い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
8	文書実務①　ビジネス文書の基礎知識	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
9	文書実務②　社内文書と社外文書	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
10	文書実務③　ビジネス文書の作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
11	文書実務④　メール・グラフ・封書の書き方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	
12	文書実務⑤　文書の取り扱い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（１時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	会議の心得とマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（１時間）。	
14	これまでのまとめ　宿題②の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（１時間）。	
15	これまでのまとめ　理解度確認テスト②（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（１時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS211
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営学原理
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　現代社会において、個人は企業とかかわりを持つことなく、現代的で便利で快適な生活を行うことは困難である。本講義においては、まず「経営学」は、何を対象とした学問であり、現代社会に欠かすことのできない「企業」とは、どのような存在であるのかを講義する。
その後で、19世紀末から20世紀の初頭にかけて、ドイツ、アメリカ、そして、日本でどのように「経営学」が発展してきたのかを明らかにする。その際には、社会科学における論理的な整合性と経験的な整合性の重要性についても検討を行う。
そして、企業における生産性、経済性、そして収益性の概念を企業目標との関連で議論を行い、先進工業国の中でも低いとされる日本企業の生産性向上の方法について検討を行い、人的資源管理と戦略との関連性について講義する。また、現代社会の抱える環境問題と企業の関係についても明らかにするとともに、企業倫理・企業の社会的責任についても講義を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1．企業がどのような存在であるのか、他者に説明することができる。
2．企業の社会的責任について自分なりの考えを持つことができる。

【成績の評価】
講義内の課題30%、授業中試験70%で評価する。
課題については授業中に優れていたものを講評することでフィードバックをおこなう。
授業中試験の模範解答は研究室の外に掲示する。

【使用テキスト】
テキストは使用しない。各回の講義で配布資料を教室の入り口付近で配布する。

【参考文献】
深山明・海道ノブチカ編著［2015］,『基本経営学』 同文舘出版。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講者ガイダンス、イントロダクション、クラスルームの登録、成績評価の説明、クラスルームを用いた簡単な確認	【予習】：シラバスを読み、第2回から第14回の授業計画の中に登場する専門用語の中で、分からないないものについて、ノートあるいはメモ帳にまとめておくこと(2時間)。 【復習】:第1回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、第1回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
2	経営学はどのような学問か　―経営学を学ぶことにどのような意味があるのか―	【予習】：第1回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で提示したキーワードについて調べ、第3回の講義で提出すること(2時間)。	
3	経営学の方法と歴史①　―アメリカにおける経営学の誕生と展開―	【予習】：第2回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で提示したキーワードについて調べ、第4回の講義で提出すること(2時間)。	
4	経営学の方法と歴史②　―ドイツにおける経営学の誕生と展開―	【予習】：第3回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で提示したキーワードについて調べ、第5回の講義で提出すること(2時間)。	
5	経営学の方法と歴史③　―日本における経営学の誕生と展開―	【予習】：第4回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義で提示したキーワードについて調べ、第6回の講義で提出すること(2時間)。	
6	企業行動と企業目標　―企業は何のために活動するのか―	【予習】：第5回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義で提示したキーワードについて調べ、第7回の講義で提出すること(2時間)。	
7	企業と生産性向上　―生産性を低下させる要因と生産性向上の施策―	【予習】：第6回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第7回の講義で提示したキーワードについて調べ、第8回の講義で提出すること(2時間)。	
8	企業と人的資源管理①　－日本的経営の変化と「定年制」の是非－	【予習】：第7回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で提示したキーワードについて調べ、第9回の講義で提出すること(2時間)。	
9	企業と人的資源管理②　－AIによる労働の変化－	【予習】：第8回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(2時間)。 【復習】：第9回の講義で提示したキーワードについて調べ、第10回の講義で提出すること(2時間)。	
10	企業の社会的責任と倫理的行動①　－複数の倫理のズレを中心として－	【予習】：第9回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義で提示したキーワードについて調べ、第11回の講義で提出すること(2時間)。	
11	企業の社会的責任と倫理的行動②　－企業不祥事・組織不祥事と炎上－	【予習】：第10回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義で提示したキーワードについて調べ、第12回の講義で提出すること(2時間)。	
12	企業の社会的責任と倫理的行動③　－ズーハネクにおける「重要な不一致」の予防と治療－	【予習】：第11回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義で提示したキーワードについて調べ、第13回の講義で提出すること(2時間)。	
13	企業と持続可能な社会①　－持続不可能の社会とズーハネクにおける「規範主義的な短絡思考」－	【予習】：第12回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第13回の講義で提示したキーワードについて調べ、第14回の講義で提出すること(2時間)。	
14	企業と持続可能な社会②　－持続可能な社会を導くための企業の責任－	【予習】：第14回に説明した第15回の授業中試験の試験範囲を勉強しておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で提示したキーワードについて調べ、第15回の講義で提出すること(2時間)。	
15	これまでのまとめと授業中試験	【予習】：第14回に説明した第15回の授業中試験の試験範囲を勉強しておくこと(4時間)。 【復習】：研究室前に授業中試験の模範解答を掲示するので、それを踏まえて授業中試験の振り返りを行うこと(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN211
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経済学概論
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
本授業は、経済学を初めて学ぶ学生を対象としています。経済学は、社会全体の限られた資源をどのように分配すれば全体として豊かになるかを考える学問です。経済学は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」の大きく2つの専門分野に分かれています。ミクロ経済学は家計や企業など個別の経済主体を、マクロ経済学は国民経済全体をひとくくりにして分析対象としています。本授業を通じて、経済学の基礎的内容を理解したうえで、日常生活や様々な社会現象に興味を持ち、経済学がどのように生かされているのかを考えて欲しいと思います。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、本授業は、上級情報処理士、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に該当します。
また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「ruaolx2」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．授業で用いた経済の基礎用語について、説明することができる。
２．経済学に関する知識を修得するとともに、日常生活や様々な社会現象を経済学の視点から捉えることができる。
３．授業で紹介した経済現象や経済問題について、自分の意見を述べることができる。
４．受講生が将来直面する経済情勢について的確な判断・理解をすることができる。

【成績の評価】
評価項目は、授業態度（10%）、理解度確認レポート（50%）、課題（10%）、定期試験（30%）とする。
受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。
なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。定期試験終了後、模範解答を研究室外に掲示する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
Ｎ・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー入門経済学（第２版）』（洋経済新報社、2016年.
ジョセフ・Ｅ・スティグリッツ著『スティグリッツ　入門経済学（第３版）』東洋経済新報社、2005年.
新井明他著『経済の考え方がわかる本』 岩波書店、2005年.
折笠和文他著『日本経済の基本問題　―事例で学ぶ教養経済―』実教出版株式会社、2001年.
中北徹・上村敏之著『ビビッとわかる！キャンパス・ライフの経済学』経済法令研究会、2005年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード　ruaolx2）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
2	経済学の基本的な考え方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
3	ミクロ経済学の基礎①　比較優位	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
4	ミクロ経済学の基礎②　需要と供給・余剰分析	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
5	ミクロ経済学の基礎③　自由貿易と関税の余剰分析	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
6	ミクロ経済学の基礎④　需要曲線または供給曲線のシフト	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
7	ミクロ経済学の基礎⑤　需要曲線及び供給曲線のシフト	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
8	ミクロ経済学の基礎⑥　需要の価格弾力性	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認レポートを丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（４時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
9	ミクロ経済学の基礎⑦　差別価格	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
10	理解度確認レポートの解説	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
11	ミクロ経済学の基礎⑧　市場の失敗 重要項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
12	マクロ経済学の基礎①　GDP	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
13	マクロ経済学の基礎②　インフレとデフレ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	マクロ経済学の基礎③　外国為替	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
15	これまでの講義についてのまとめ（学習した重要項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（２時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（２時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN212
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ファイナンス入門
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro)

【授業の紹介】
　本授業は、金融やお金に関する基礎知識を習得するほか、将来どのような分野に進んでも役に立つパーソナル・ファイナンスについて学習します。具体的には、生活設計に必要なお金に関する知識（金融商品、保険、不動産、税金、年金、相続など）を概説します。
　また、習得した知識が生活やビジネスの場で活用でき、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図れるようにアクティブラーニングの授業も実施します。
　さらに、卒業後も継続して新たな目標を設定し、その達成に向けてチャレンジできるように、FP（ファイナンシャル・プランナー）の資格取得に向けた基礎力の養成もめざします。
　なお、本科目は、「ファイナンス論」の入門編であり、本科目を受講するにあたって「くらしと経済」を受講していることが望まれます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．社会人として自立するための基礎的な金融知識を身につけることができる。
２．個人の生活設計において必要とされるお金に関する知識を体系的に習得することができる。
３．国家資格「3級FP技能士」検定の基礎力を身につけることができる。

【成績の評価】
　受講態度（４０％）、レポート（１０％）、定期試験（５０％）により評価します。
　なお、レポートについては後日の授業で模範解答例を紹介、定期試験については教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

　また、「FP技能検定」の受検状況も加点して評価します。

【使用テキスト】
　最初の授業で指示します。その他、適宜プリントを配布します。

【参考文献】
　白鳥 光良『2024－2025年版 スッキリわかる FP技能士3級』TAC出版（2024年）

【実務経験】
　有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	人生とお金①（ライフデザイン）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	人生とお金②（所得と収支管理）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	人生とお金③（ローンの仕組み）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	お金と経済	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	ライフプランニング①（資金計画の立て方、社会保険のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	ライフプランニング②（キャッシュフロー分析）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	金融資産運用①（金融の仕組み、金融商品の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	金融資産運用②（金融商品の特徴）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	リスク管理①（生命保険の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	リスク管理②（損害保険の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	タックスプランニング（所得税･住民税の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	不動産運用（不動産取引の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	相続（贈与・相続の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの授業のまとめ（定期試験対策）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN213
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ファイナンス論
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro)

【授業の紹介】
　本科目では、「ファイナンス入門」の応用・実践編ともいうべき、生活者・職業人として必要とされる生活設計のお金に関する知識（金融商品、保険、不動産、税金、年金、相続など）を整理するとともに、生活設計上の課題の解決方法を学習します。
　また、ケーススタディにより考察力を養うほか、アクティブラーニングを通して分析力や意思決定力などを育成することをめざします。
　なお、本科目は「ファイナンス入門」を受講していない学生であっても、復習をしながら進めますので、受講は可能です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．生活設計に関する知識の定着と生活設計上の課題探求・解決ができる。
２．国家資格「3級FP技能士」資格取得のための実戦力、「2級FP技能士」資格取得のための基礎力を身につけることができる。

【成績の評価】
　受講態度（４０％）、レポート（１０％）、定期試験（５０％）により評価します。
　なお、レポートについては後日の授業で模範解答例を紹介、定期試験については教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

　また、「FP技能検定」の受検状況も加点して評価します。

【使用テキスト】
　最初の授業で指示します。その他、適宜プリントを配布します。

【参考文献】
　白鳥 光良『2024－2025年版 スッキリわかる FP技能士2級・AFP』TAC出版（2025年）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	ライフプランニング①（プランニングの手法、資金計画）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	ライフプランニング②（社会保険制度）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	リスク管理①（リスクマネジメント、生命保険の活用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	リスク管理②（損害保険の活用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	金融資産運用①（金融経済、金融商品の特徴）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	金融資産運用②（金融資産の運用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	これまでの授業のまとめ	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	タックスプランニング①（税の体系、所得税のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	タックスプランニング②（所得税の計算、住民税のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	不動産運用①（不動産取引）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	不動産運用②（不動産と税、不動産の有効活用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	相続①（贈与･相続の関連法規）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	相続②（相続税のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの授業のまとめ	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF220
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： プログラミング
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
DXが推進される社会ではプログラミングは必須の知識・技術と言っても過言ではありません。
本講義ではプログラミング言語の1つであるJavascriptを用いてプログラミングの基礎的な知識や技術について演習を交えて解説します。

なお、この授業はBYODパソコンが必須です。

下記の授業計画は参考であり、皆さんの理解度に応じて変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)　プログラミングの基礎的な知識・技術について説明できる
(2)　Javascriptの文法について説明できる
(3)　Visual Studio Codeの基本的な使用方法を理解できる

【成績の評価】
中間試験（40%）定期試験（50%）、授業への取組（10%）で評価する

中間試験、定期試験は採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
p5.jsプログラミングガイド　　松田 晃一 (著) カットシステム 2021年 ISBN-13 ： 978-4877835101
￥3,520 税込

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 利用するツールであるVSCodeのインストール等を含めて授業の概要を説明する	予習としてJavascript、VSCodeの事前調査 3時間 復習として履修理由のレポートの作成　1時間	
2	HTMLの基礎 HTMLの基礎について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
3	CSSの基礎 CSSの基礎について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
4	P5.jsについて Javascriptのライブラリであるp5.jsについて説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
5	基本文法：変数と定数 変数と定数について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
6	基本文法：演算 演算について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
7	基本文法：分岐処理 分岐処理であるifを中心に説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
8	基本文法：繰返し処理 繰返し処理を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
9	基本文法：データ型 データ型について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
10	基本文法：関数とオブジェクト 関数とオブジェクトについて説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
11	プログラミングの設計 プログラミングの設計方法について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
12	オブジェクトの設計：プロパティ オブジェクトのプロパティについて説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
13	オブジェクトの設計：メソッド オブジェクトのメソッドについて説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
14	オブジェクトの設計 実際にオブジェクトの設計を行う	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業で作成したソースコードの振返り　2時間	
15	全体のまとめとプログラムとエンジニア 全体のまとめとエンジニアとしての考え方を説明する。	予習として授業内容をこれまでの授業内容の振返り、ノートにまとめること　3時間 復習としてエンジニアの仕事についてノートにまとめること　1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN311
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： マーケティングリサーチ
担当教員： 正岡　利朗(MASAOKA　Toshirou)

【授業の紹介】
　前半ではリサーチの概要につき解説し、後半ではリサーチの技法を身につけるための実習を行います。実習については、例年、いろいろな人間ドラマが展開されます。調査するテーマはすんなり決まったものの、質問文の作成にすごく苦労したり、集計作業のミスでせっかく入力したデータがパーになったり、意気揚々と提出した報告書の些細な誤字を指摘されたりと、ストレス溜まりまくりかも？けれども、それらを乗り越えたときの充実感もまた格別です。「ワタシ、頑張りました！」と心より言える瞬間です。一通り実習を済ませた後は、普段目にしている各種のアンケートなどを見る目が変わっているカモ？
　なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報）、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に、上級情報処理士取得のための必修科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．企業及び公共組織等が商品の販売やサービスなどを促進させるために行うリサーチ活動について、理解を深めることができる。
2．リサーチの技法を確実に身につけ、状況に応じてそれを使うことができる。
3．上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】
　レポート提出（100%）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
　とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】
　内田治・醍醐朝美『実践　アンケート調査入門』日本経済新聞社、2001年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	アンケートの計画	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
3	アンケートの作成（テーマの確定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
4	アンケートの作成（質問文の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
5	アンケートの作成（アンケート用紙の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
6	アンケートの実施	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
7	アンケートの集計（集計フォーマットの作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
8	アンケートの集計（回答データの入力）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
9	アンケートの集計（グラフの作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
10	報告書の作成（集計結果の分析）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
11	第11回　報告書の作成（文章、分析内容の検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
12	報告書の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
13	報告書の作成（総仕上げ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
14	調査結果の報告（プレゼンテーション）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN214
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 統計学概論
担当教員： 正岡　利朗(MASAOKA　Toshirou)

【授業の紹介】
　経営に関することのみならず、さまざまな判断を行う際に統計学の知識及び統計に関するセンスは大いに役立ちます。そこで、この授業では、統計学の基本的な考え方を理解し、実際の社会生活で役立つ、さまざまな統計知識の解説を行うかたちで講義を進めます。
　なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報・商業）、上級情報処理士取得のための選択科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．統計データからいろいろなグラフを作成することができる。
２．統計データからいろいろな統計表を作成することができる。
３．統計データからいろいろな数値を計算することができる。
４．作成したグラフ・統計表・統計値を解釈し、分析することができる。
５．統計学の重要な専門用語、公式をよく理解し説明し応用することができる。
６．上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】
　レポート提出（100%）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
　とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】
　阿部 真人『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門 仮説検定から統計モデリングまで重要トピックを完全網羅』ソシム、2021年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	度数分布表	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
2	ヒストグラム	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
3	代表値（平均値）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
4	散布度（標準偏差）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
5	散布図（２つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
6	相関係数（２つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
7	回帰分析（２つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
8	確率と確率分布	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
9	正規分布の性質	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
10	正規分布の確率計算	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
11	正規分布の確率とEXCELの関数	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
12	標本分布	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
13	推定①（平均値の推定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
14	推定②（比率の推定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS151
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 民法
担当教員： 辻上　佳輝(TSUJIGAMI　Yoshiteru)

【授業の紹介】
　民法は、日常生活に最も密接に関係する法令です。その中でも、「契約法および不法行為法」を内容とする債権各論部分を学習します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	5
		③　専門知識活用能力	5

【到達目標】
・日常生活やビジネスの世界でどのような課題があるか発見し、社会に貢献する力を培うことができる。
・また、自己管理力、倫理観も養うことができる。

【成績の評価】
　主に定期試験の成績によって判定します(受講者の希望によってレポート試験とする可能性がある)。
　加えて、提出物も求めます。定期試験60%、提出物40%です。
　提出物等はコメントを記載し返却することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
　ありません。毎回の講義内容は、配布する講義資料に書かれています。

【参考文献】
　第1回の講義で指示します。興味がある人は、内田貴「民法Ⅰ～Ⅳ」(東大出版会)を参照してください。

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	契約総論（契約に関する一般的原則）	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。約4時間×15回=60時間です。 契約に関する一般原則の把握に役4時間を要します。	
2	契約総論（契約の概略的理解）	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。約4時間×15回=60時間です。 契約の理解に約4時間を要します。	
3	契約の成立（成立要件）	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 契約の成立要件の理解に約4時間を要します。	
4	契約の履行・不履行（総論・三分体系）	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 債務不履行責任の理解に約4時間を要します。	
5	契約の履行・不履行（損害賠償）	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 損害賠償法の理解に約4時間を要します。	
6	売買契約（1）―売買契約の一般的ルール	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 売買契約の成立要件の理解と売買の基本の把握に約4時間を要します。	
7	売買契約（2）―売主の契約不適合責任	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 契約不適合責任の理解に約4時間を要します。	
8	売買契約（3）―買主の権利義務	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 買主の義務の理解に約4時間を要します。	
9	賃貸借契約（1）―賃貸借契約の一般的ルール	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 賃貸借契約の基本の理解に約4時間を要します。	
10	賃貸借契約（2）―転貸のルール	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 転貸・信頼関係破壊の理論の理解に約4時間を要します。	
11	契約の効力－同時履行の抗弁権など	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 契約総論、同時履行の抗弁の理解に約4時間を要します。	
12	親族法概要(1)　親等概念･婚姻など	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 親族法の基本概念、婚姻法の理解に約4時間を要します。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	親族法概要(2)　離婚など	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 　離婚制度の理解に約4時間を要します。	
14	相続法概要(1)　相続の基本	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 　相続法概要の理解に約4時間を要します。	
15	相続法概要(2)　遺言など	期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。約4時間×15回=60時間です。 　遺言の理解に約4時間を要します。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS251
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 商法
担当教員： 前原　信夫(MAEHARA　Nobuo)

【授業の紹介】
私たちの日常生活において日々多くの経済活動が行われ、それは多くの企業取引や企業活動によって支えられています。例えば、食べ物や衣服など私たちの日常生活において必要な多くのものは企業によって提供されていますし、大学卒業後に多くの人が企業へ就職することでしょう。このように、私たちは、好むと好まざるとに関わらず、生活の糧を得て生きて行くためには企業(会社)と無縁の生活を送ることはできません。そこで、本講義は、企業取引を規律する基本的な枠組みを定める商法、企業取引において金銭の支払手段や道具として利用される手形・小切手の成立から消滅までの過程を規制する手形法・小切手法、企業活動に関わる様々な人々の利害関係を調整することを目的とする会社法を学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
本講義は、「法と現実の乖離」を念頭に置きながら、商法・会社法上の諸制度を理解することを目的とします。これにより、学生は、①商法、手形法・小切手法、会社法に関する専門用語を身に付けることができる。
②「法と現実の乖離」を念頭に置きながら問題の解決を導くことができる。

【成績の評価】
①中間テスト(30%)／②定期試験(70%)の合計点により評価します。なお、中間テストは当該テストの次回講義で解説を行い、定期試験については配点および解答のポイントを掲示等を行うことによりフィードバックします。なお、講義中の私語、スーマートフォンやタブレット端末、携帯電話等の電子機器類の使用は認められません。教員の指示に従わない学生には退室を求めるとともに、単位を認定しないので、十分に注意して下さい。

【使用テキスト】
淺木愼一『商法探訪 第2版〈[訂正]第2刷〉』￥1,980(信山社、2013年)。

【参考文献】
なし。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス／商法とは	ガイダンスを含む初回の授業のため、予習の必要はない。復習として、講義資料を読み返し、社会生活における法・法律の重要性を考えること。(1時間)	
2	権利の主体	予習として、使用テキスト（淺木愼一『商法探訪 第2版〈[訂正]第2刷〉』￥1,980(信山社、2013年)）の1～6頁を事前に読み、図書館等で専門用語の意味を調べること。(4時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
3	商人・商行為	予習として、テキストの65～77頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
4	商業使用人・商号・商業登記	予習として、商業使用人についてテキストの97～101頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
5	企業取引と決済方法	予習として、テキストの109～113頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
6	有価証券の定義	予習として、テキストの113～114頁、117～118頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 次回の中間テストの準備として、第1回～6回までの講義資料とテキストの該当箇所を読み返しておくこと。(4時間)	
7	約束手形の利用／中間テスト	予習として、テキストの114～119頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、講義資料を読み返しておくこと。(1時間)	
8	善意の手形取得者の保護	予習として、テキストの120～126頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
9	会社とは何か	予習として、国内にある企業および会社の数を調べておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
10	会社の種類	予習として、テキストの127～130頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
11	株式の意義と内容	予習として、テキストの137～146頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。また、授業前日の日経平均株価の終値を調べておくこと(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
12	株主総会	予習として、テキストの146～151頁を事前に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間）復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
13	株式会社の業務執行	予習として、テキストの156～161頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間）復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
14	役員の義務と責任	予習として、テキストの161～167頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間）復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
15	株式会社の資金調達	予習として、テキストの173～180頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間）復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、定期試験の終了後に提出すること。(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS318
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： リスクマネジメント論
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
本講義の目的は、企業の危機管理に関する基本的な理論や概念を学ぶことにあります。自然災害や製品事故、組織不祥事、SNSでの炎上等、今日の企業は様々なリスクに直面しており、それらのリスクが危機に発展した場合には、切迫した状況の中で企業の存亡にかかわるような重大な決断を迫られることも少なくありません。本講義では、そのような危機に企業はどのように備え、どのように対応し、どのように次に活かすのかといった論点を中心に、危機管理に関する議論を学んでいきます。また、講義内で取り上げた議論と関連するテーマについてグループディスカッションを行い、危機管理への理解を深めます。グループディスカッションの進め方については、受講者の人数に合わせて適切に調整を行い、講義内で詳細を説明します。
関連科目としては経営学関連科目(「経営戦略論」や「経営組織論」など)があるため、それらの科目を履修すると、それぞれの講義の内容をより理解しやすくなると考えられます。

本講義では、Google Classroom（クラスコード：4wdgnkk）を通じて、講義資料の配布や講義内課題の提示・提出等を行います。受講を希望する場合には必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	5
		③　専門知識活用能力	5

【到達目標】
1. 企業の危機管理に関する基本的な理論や概念を理解し、説明できる。
2. 企業が直面する危機やそれへの対応について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3. 危機に直面している企業に関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】
平常点(50%)、中間テスト(20%)、確認テスト(30%)を総合して評価します。

―平常点では、講義中に示した講義内課題への取り組みなどを評価します。
次回講義での簡潔な講評を通じて、課題のフィードバックを行う予定です。
講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。

―毎回、講義開始から30分程度まで、出席票を配布します。
その出席票の提出がなかった場合には欠席扱いになります。

―中間テストと確認テストを実施します。
これらのテストを受けなかった場合には、単位を取得することができません。

―なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
Crandall, Parnell, & Spillan (2020). Crisis management: Leading in the new strategy landscape[4th edition]. Indipendently published.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や内容を再度確認する(2時間)。	
2	危機管理の基本 危機や危機管理とは何か	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
3	危機に備える① 危機をもたらす諸要因	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
4	危機に備える② 起こりうる危機の特定	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
5	危機に備える③ 起こりうる危機の予防	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
6	危機に備える④ 危機対応チームの組成と危機対応計画の策定	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
7	これまでの講義のまとめ 重要事項の振り返りと中間テスト	予習：これまで配布した全ての講義資料に目を通してくる(3時間)。 復習：中間テストで分からなかった箇所を復習し、ノート等にまとめる(1時間)。	
8	危機に対応する① 危機の発生の認識	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
9	危機に対応する② 危機自体への対処	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
10	危機に対応する③ 危機コミュニケーションの内容の検討	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
11	危機に対応する④ 危機コミュニケーションと利害関係者	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
12	危機を活かす 危機からの学習	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
13	補論 危機管理に関する近年のトピック	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	グループディスカッション 危機管理について考える	予習：これまで配布した全ての講義資料に目を通してくる(2時間)。 復習：講義内で考えた内容を改めて振り返り、危機対応で重要だと思うポイントをノート等にまとめる(2時間)。	
15	本講義のまとめ 重要事項の振り返りと確認テスト	予習：これまで配布した全ての講義資料に目を通してくる(3時間)。 復習：確認テストで分からなかった箇所を復習し、ノート等にまとめる(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN331
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： コミュニケーション論
担当教員： 久保田　由華(KUBOTA　Yuka)

【授業の紹介】
この授業はキャリア形成系に属する上級科目であり、特にディプロマポリシーの2「現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組めること」に強く結びつく科目です。私たちが人間社会で生きていくうえで、情報のやりとりは不可欠です。人間同士のコミュニケーションは情報のやりとりの基幹です。しかし、周りの目が気になってしまう、他人の言動にイライラさせられる、論理的な考え方が苦手、などの理由で思うようにコミュニケーションがとれないこともあるでしょう。本講義では、コミュニケーションやディスカッションにおける基本的な知見を学びます。交流分析の理論に従って、人間関係におけるコミュニケーション能力を育てる方法を学びます。そのために、心理テストやロールプレイ(役割演技)を用いて自身の理解を深め、スキルを高めることも行います。なお、この授業はキャリア開発、ビジネス実務概論、ビジネス実務演習の受講を前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①交流分析理論を土台として、自己を理解し、他者を理解することができる
②他人とのやりとりを５つの自我状態を用いて分析することができる
③その知見を実際の生活の場で人間理解に生かすことができる
④「大学時代に身につけたい１２の力」のうち、特にコミュニケーション能力、ディスカッション能力、自己理解能力向上のための知識を習得することができる

【成績の評価】
毎回の講義での積極性(35%)、ミニ・レポート(45%)および期末レポート(20%)の作成により、成績を評価します。（定期試験は行わない）
なお、期末レポートを提出しない者、出席が10日に満たない者は不合格とします。
また、遅刻もしくは早退2回で欠席1回とします。
ミニレポート、期末レポートは返却すること、もしくは授業内にて取り上げることによりフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキストなし
必要に応じて事前もしくは当日プリントを配布します

【参考文献】
スチュアート＆ジョインズ(1991)『ＴＡ　ＴＯＤＡＹ－最新交流分析入門』　実務教育出版　4500円
芦原　睦(1995)　『自分がわかる心理テスト2』　講談社　980円
深田博己(1999)　『コミュニケーション心理学』　北大路書房　2500円
その他の参考文献・参考図書は授業時に紹介します

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、これまでの経験や学びから自分に関して理解していること、認識していることをまとめ、この講義を通して何を身につけていきたいのか整理しておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
2	コミュニケーションとは	予習として、「コミュニケーション」と聞いて自分が知っていることを書き出し、図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
3	情報の中心ー自己ーを知る	予習として、これまで行ってきた自己分析から理解している自分について、その資料も含めてノートにまとめ、考察しておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
4	人の心の中の「3人の私と5つの心」機能分析	予習として、「自我状態」について参考文献等を参照しながら、ノートにまとめておくこと。また、予習でわかりにくかったことについても整理しておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
5	５つの心（自我状態）の識別	予習として、自我状態を識別する時に必要な知識について、図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
6	エゴグラムを描こう	予習として、エゴグラムについて図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
7	エゴグラムを見る時のポイント	予習として、エゴグラムの読解について図書	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
8	エゴグラムプロフィールの解釈上の諸注意	予習として、エゴグラムの解釈について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
9	情報の伝達・交換　－　他者とのやりとり	予習として、情報伝達について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
10	交流のパターン　平行交流	予習として、平行交流について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
11	交流のパターン　交差交流・裏面交流	予習として、交差交流、裏面交流について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
12	ストローク	予習として、ストロークについて図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
13	ゲーム・時間の構造化	予習として、交流分析におけるゲームや時間の構造について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
14	脚本分析	予習として、交流分析の脚本について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
15	コミュニケーションの進化	予習として、現代のコミュニケーションについて、インターネット等を利用してリサーチを行い、必ず引用サイト・参照サイトを記録しながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、全講義を振り返り、これからの自分の生活に活かせるスキルをノートにまとめる。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルを、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS122
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 商業業態論
担当教員： 末包　昭彦(SUEKANE　Akihiko)

【授業の紹介】
　社会には、生産活動や消費活動ばかりでなく、生産と消費をリンクさせる流通活動があります。この流通は、消費生活をするために、社会的に必要不可欠な働きであり、その役割は、主として卸売業や小売業が担っています。本授業では、この「流通」についての基礎的な仕組みを学習するとともに、流通の重要な役割を担っている小売業の基本的知識や役割、店舗形態別小売業の役割、更にはチェーンストアや商業集積の基本的役割等について学習します。
　また、本授業を通じて流通業界で唯一の公的資格である「３級販売士」取得をめざします。この検定試験は５科目からなっており、そのうちの１科目「小売業の類型」に関する授業です。
　関連科目である「マーチャンダイジング論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」や課外講座（検定受験対策講座）を併せて受講することが望まれます。この授業は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：5kli2su）を使用し、ICTを活用した双方型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．流通業界における小売業の基礎的事項が理解できる。
２．販売士検定科目のうち、「小売業の類型」について３級レベルの知識を有し活用できる。

【成績の評価】
評価は、受講態度（40%）、ミニレポート及びミニテスト（20%）、期末レポート（40%）の各項目（割合）により行います。その際、期末レポートを提出しない者は不合格とします。また、講義時間内外を問わず、積極的に質問を行った学生は加点をします。なお、受講生のレポート等については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
日本商工会議所・全国商工会連合会編『販売士ハンドブック（基礎編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験3級対応～』（カリアック、2024）上巻第1編「小売業の類型」を使用します。当該ハンドブックは「商品開発論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」の各授業と共通で使用します。テキストの購入については、授業開始時に説明します。価格5,500円（税込）

【参考文献】
適宜指示します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 流通とは何か	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（２時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
2	流通の役割と構造変化	予習として、教科書や配布資料に目を通し、流通の役割、構造変化に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、流通の役割、構造変化を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
3	小売業の機能と役割	予習として、教科書や配布資料に目を通し、小売業の機能と役割の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、小売業の機能と役割の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
4	小売業とグローバル化	予習として、教科書や配布資料に目を通し、小売業とグローバル化の現状の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、小売業とグローバル化の現状を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
5	組織小売業の種類と特徴	予習として、教科書や配布資料に目を通し、組織小売業の種類と特徴に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、組織小売業の種類と特徴を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
6	卸売業・製造業の機能	予習として、教科書や配布資料に目を通し、卸売業・製造業の機能に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、卸売業・製造業の機能を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
7	チェーンストアの基本的役割	予習として、教科書や配布資料に目を通し、チェーンストアの基本的役割、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、チェーンストアの基本的役割を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
8	販売形態の種類と特徴	予習として、教科書や配布資料に目を通し、販売形態の種類と特徴に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、販売形態の種類と特徴を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	インターネット社会と小売業	予習として、教科書や配布資料に目を通し、インターネット社会と小売業に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、インターネット社会と小売業に関する内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
10	小売業の店舗形態① （全般、専門店、百貨店）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、専門店、百貨店に関する要点や疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、専門店、百貨店に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記述しておくこと（２時間）	
11	小売業の店舗形態② （スーパーマーケット、ホームセンター等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、スーパーマーケット、ホームセンター等に関する要点や疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、スーパーマーケット、ホームセンター等に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
12	小売業の店舗形態③ （ドラッグストア、コンビニエンスストア等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ドラッグストア、コンビニエンスストア等に関する要点や疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習としてドラッグストア、コンビニエンスストア等に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
13	商業集積の基本的役割① （商店街）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、商店街に関する要点や疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として商店街に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
14	商業集積の基本的役割② （ショッピングセンター等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ショッピングセンター等に関する要点や疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として商店街に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
15	これまでの講義の復習及び質疑応答、 商業業態の今後	予習として、これまでの授業内容を振り返り、14回の授業項目とその要点を記載するとともに、併せて疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、最終講義の内容を踏まえて、授業内容を自分なりにまとめ、他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS123
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： マーチャンダイジング論
担当教員： 日笠　倫周(HIKASA　Michinori)

【授業の紹介】
　流通業界を取り巻く環境は、急激かつ大きく変化しています。人口減少や少子高齢化に伴う一般消費者の減少、ライフスタイルの変化、ＩＴ（情報技術）化の急速な進展、物流技術の発達など枚挙に暇がありません。このような変化に伴い、流通業者も仕入方法や販売方法、物流活動を変化させ、この市場環境に対応しています。
　本講義では､チェーン店の仕入や販売、物流等について学習し、それらの知識が活用できるようになることを目的とします。また、本講義は、リテールマーケティング（販売士）３級検定試験の５科目のうちの１科目「マーチャンダイジング」に関する授業です。関連科目「商業業態論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」を併せて受講することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．流通業界におけるマーチャンダイジングの基礎が理解できる
２．流通業界で唯一の公的資格である「３級販売士」合格水準の知識を有し活用できる

【成績の評価】
成績は、小テスト（60%）、授業内課題（40%）を総合して評価する。
小テストの採点基準は講義時に説明する。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行う。

【使用テキスト】
日本商工会議所・全国商工会連合会編「販売士ハンドブック（基礎編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験3級対応～」（カリアック、2019）上巻を使用する。

【参考文献】
「１回で合格！販売士検定３級　テキスト＆問題集」（上岡史郎著、成美堂出版、2018年）
「１回で合格！販売士検定３級　過去問題集　’20年版」（上岡史郎著、成美堂出版、2019年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
2	商品とは何か・商品の分類	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
3	商品の本体要素・マーチャンダイジングの基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
4	コンビニエンスストア・チェーンにみるマーチャンダイジングの主な機能	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
5	第１回～４回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
6	商品計画の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
7	販売計画策定並びに仕入計画策定の基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	棚割とディスプレイ・物流の基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
9	価格設定の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
10	売価設定と利益構造の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
11	第６回～10回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
12	在庫管理の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
13	販売管理の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
14	ＰＯＳシステムによる販売データの活用・バーコードの基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	第12回～14回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として､講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）３級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS124
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 販売技術論
担当教員： 末包　昭彦(SUEKANE　Akihiko)

【授業の紹介】
　近年、顧客ニーズの多様化、価格競争の激化、IT化の著しい伸展など、流通業界を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況の中で、店を維持・繁栄させるためには、安定した利益を確保するための店舗運営（ストアオペレーション）が重要になります。本授業では、店舗の開店準備、発注、荷受・検収、値付け、補充、売場チェック、チェックアウト時のレジ業務、包装など、ストアオペレーションの基本的役割について学習するとともに、陳列、照明、ワークスケジューリング、顧客心理、接客販売技術などについても学習します。これらの授業の内、包装についてはアクティブラーニング手法を取り入れ、部外講師による実習を行います。
　また、本授業を通じて流通業界で唯一の公的資格である「３級販売士」取得をめざします。検定試験は５科目からなっており、そのうちの１科目「ストアオペレーション」に関する授業です。関連科目「商業業態論」「マーチャンダイジング論」「マーケティング論」「販売管理論」や課外講座（検定受験対策講座）を併せて受講することが望まれます。この授業は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：aulv6d6）を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．安定した利益を確保するための店舗運営（ストアオペレーション）が理解できる。
２．販売士検定科目のうち、「ストアオペレーション」について３級レベルの知識を有し活用できる。

【成績の評価】
評価は、受講態度（40%）、ミニレポート及びミニテスト（20%）、期末レポート（40%）の各項目（割合）により行います。その際、期末レポートを提出しない者は不合格とします。また、講義時間内外を問わず、積極的に質問を行った学生は加点します。なお、受講生のレポート等については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
日本商工会議所・全国商工会連合会編『販売士ハンドブック（基礎編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験3級対応～』（カリアック、2024）下巻第3編「ストアオペレーション」を使用します。当該ハンドブックは「商業業態論」「商品開発論」「マーケティング論」「販売管理論」の各授業と共通で使用します。テキストの購入については、授業開始時に説明します。価格5,500円（税込）

【参考文献】
適宜指示します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（２時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
2	基本的役割　①（開店準備の業務）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、開店準備の業務に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、開店準備の業務を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
3	基本的役割　②（日常の運営業務）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、日常の運営業務に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、日常胃の運営業務に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
4	基本的役割　③（メンテナンス業務等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、メンテナンス業務に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、メンテナンス業務に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
5	基本的役割　④（包装の意義、種類等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、包装の意義、種類に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、包装の意義、種類に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
6	基本的役割　⑤（包装技術）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、包装の具体的実施要領、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、包装の具体的実施要領に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
7	ストアオペレーション（基本的役割）のまとめ	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ストアオペレーションの基本的役割に関する要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、ストアオペレーションの基本的役割に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
8	陳列の基本①（目的と役割）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、陳列の目的と役割の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、陳列の目的と役割の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
9	陳列の基本②（陳列の方法等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、器具等を用いた陳列の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、器具等を用いた陳列の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるよう	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		にしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
10	陳列の基本③（衣料品等の陳列）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、衣料品等の陳列の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、衣料品等の陳列の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
11	店舗照明と色彩	予習として、教科書や配布資料に目を通し、店舗照明と色彩の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、店舗照明と色彩の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
12	ワークスケジューリング	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ワークスケジューリングの要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、ワークスケジューリングの要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
13	顧客の購買心理	予習として、教科書や配布資料に目を通し、顧客の購買心理の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、顧客の購買心理の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
14	接客販売技術	予習として、教科書や配布資料に目を通し、接客販売技術の要点、疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、接客販売技術の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
15	これまでの講義の復習及び質疑応答、販売技術の今後	予習として、これまでの授業内容を振り返り、14回の授業項目とその要点を記載するとともに、併せて疑問点をノートに記載すること（２時間） 復習として、最終講義の内容を踏まえて、授業内容を自分なりにまとめ、他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS222
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 販売管理論
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　企業のマネジメントの対象は、ヒト・モノ・カネ・情報です。さらに近年はコンプライアンス（法令順守）に基づくリスクマネジメントも重要です。
　本授業では小売業における法令知識や計数管理（カネ）、職場における人間関係管理（ヒト）、施設管理（モノ）を学ぶことで流通業の効率的運営に関する知識を身につけ、流通業界で唯一の公的資格である「３級販売士」取得をめざします。
　５科目からなる試験のうちの「販売・経営管理」に該当する授業です。関連科目である「商業業態論」「マーチャンダイジング論」「販売技術論」「マーケティング論」や課外講座（検定受験対策講座）を併せて受講することが望まれます。
　この授業は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。
　授業中に実施する「確認テスト」を通して授業の理解を深めるとともに、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション等）により自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより企業等で働く際の思考・行動の可能性も検討します。
　この授業では Google Classroom（クラスコード：nnwu2vq ）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．流通業におけるマネジメントが理解できる。
２．販売士検定科目のうち、「販売・経営管理」について３級レベルの知識を有し活用できる。

【成績の評価】
授業への取り組み（30%）、提出物（ミニレポート、確認テスト等。30%）、期末レポート（40%）
ミニレポートや確認テストは授業で、また期末レポートはオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】
日本商工会議所・全国商工会連合会編『販売士ハンドブック（基礎編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験３級対応～』（カリアック、2024）下巻第５編「販売・経営管理」/ 5,500-。
当該ハンドブックはこの授業の他に、「商業業態論」、「商品開発論」、「販売技術論」及び「マーケティング論」の各授業と共通で使用。
テキストの購入は、授業開始時に説明する。

【参考文献】
適宜指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、シラバスに目を通し15回の授業項目とキーワードや疑問点をノートに記載しておくこと。（２時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと。（２時間）	
2	小売業に関係する法令① （販売員の基礎、法令の基本）	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
3	小売業に関係する法令② （消費者法）	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
4	小売業に関係する法令③ （商品の安全性などに関する法令や制度）	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
5	小売業に関係する法令④ （小売業に関連する社会法）	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
6	小売業に関係する法令⑤ （許認可に関する法令、個人情報保護に関する法令）	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
7	環境問題と消費生活	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
8	ＳＤＧｓ	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	組織のマネジメント	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
10	リーダーシップ理論	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
11	小売業の計数管理	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
12	事業継続マネジメント	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
13	盗難対策の基本	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
14	衛生管理の基本	予習として、予定されている授業内容を確認し、テキスト等の当該範囲を読み要点や疑問点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、「確認テスト」を再度解答し解説を読むなどにより、授業の内容を理解すること。（２時間）	
15	販売管理の今後及び期末レポート課題の検討	予習として、これまでの授業内容を振り返り、14回の授業項目とそれらの要点をノートに記載しておくこと。（２時間） 復習として、期末レポートの課題を設定しデータを収集するなど期末レポート作成の準備をすること。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS223
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 消費者行動論
担当教員： 日笠　倫周(HIKASA　Michinori)

【授業の紹介】
　製品やサービスを取り扱う企業にとって、消費者の行動を分析し理解するということは、効果的かつ効率的にマーケティング活動を実施するために重要なことです。
　本講義では、消費者行動に関する理論枠組みを理解できるようになることを目的とします。その上で、企業のマーケティング活動と消費者理解との関係に対する理解を深め、その知識を活用できるようになることを目指します。特に、消費者の性質をどのように販売に活かすのかについて、課題解決型のアクティブラーニングを実施することで、購買行動への理解促進を図る予定です。
　なお、消費者行動を理解するためには様々な分野の知識が必要となります。初級レベルの統計学、マーケティングおよび商業に関する知識、高校レベルの数学の知識、心理学に関する知識を持ったうえで講義に参加することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
1.消費者行動の基礎理論を理解し、その理論の枠組みを説明することができる。
2.消費者行動の理論を使い現象を分析することができる。

【成績の評価】
成績は、小テスト（80%）、グループワーク（10%）、授業内課題（10%）を総合して評価します。
小テスト・グループワークの採点基準は講義時に説明します。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。
グループワークのフィードバックは個別に行いますので、希望者はオフィスアワーに研究室へ来て下さい。

【使用テキスト】
初回講義時に指示します。

【参考文献】
青木幸弘『消費者行動の知識』（日経文庫,2008年）
青木幸弘・新倉貴士・佐々木壮太郎・松下光司著『消費者行動論』（有斐閣アルマ,2012年）
池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩『マーケティング』（有斐閣,2010年）
神取道宏『ミクロ経済学の力』（日本評論社,2014年）
杉本徹雄『消費者理解のための心理学』（福村出版,1997年）
田中洋・清水聰著『消費者・コミュニケーション戦略 現代のマーケティング戦略④』（有斐閣アルマ,2006年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
2	消費者行動研究の変遷	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
3	消費者の意思決定過程Ⅰ～情報探索まで～	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
4	消費者の意思決定過程Ⅱ～購買後評価まで～	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
5	関与 ＋ 小テスト(1)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
6	態度	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
7	知覚と学習	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
8	記憶と知識	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
9	集団と消費	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
10	地位や文化と消費	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
11	消費者理解とマーケティング	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
12	二重過程理論とバイアス	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
13	グループワーク	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
14	近年の消費者行動研究	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
15	ラップアップ ＋ 小テスト(2)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN313
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 特別講義Ⅰ
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　この講義は、第4セメスターに配置されているスモールビジネス論を履修した学生が、ビジネス・ゲームの作成を通じて、企業が置かれている競争環境を理解し、それがどのように変化することで、企業の意思決定や戦略にどの程度の影響を与えうるのか、を理解するために設置された科目である。
　講義においては、はじめにSDGsゲームの体験を行う。この体験を踏まえて、ボードゲームからどのようなことが学べるのかを体験する。その後、チームに分かれて、2つのビジネス・ゲームをチームで作成することになる。チームでもビジネス・ゲーム作成においては、将来、企業や組織で必要不可欠となるリーダーシップ能力やコミュニケーション能力が重要な役割を果たす。そのため、グループディスカッションなどのアクティブラーニング手法に重点を置いている。
　ビジネス・ゲームの体験会については、学生と相談の上、5校時に補講を行う可能性がある。また、チームでの意思決定やゲーム作成に参加できない学生は、本講義を履修したとしても単位を修得することは困難である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
この講義の到達目標は以下の通りである。
①チームで協働してビジネス・ゲームを作成することができる。
②企業の競争条件を理解することができる。
③フリーライダー(フリーライド)の何が問題なのかを理解することができる。

【成績の評価】
　ビジネス・ゲーム作成への参加(50%)、作成したビジネス・ゲーム及びその報告(50%)。
※ビジネス・ゲームの作成に参加しない学生には単位を認定することはできない。また、本講義においては、チームのメンバーにフリーライドを行う学生に単位を認定しない。
　そして、フリーライダーを放置するリーダーも減点の対象となることを理解されたい。作成したビジネス・ゲーム及び報告の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　授業中に適宜資料を配布する。

【参考文献】
　トム・ヴェルネック著/小野卓也訳 [2018],『ボードゲーム デザイナー ガイドブック ～ボードゲームデザイナーを目指す人への実践的なアドバイス』 スモール出版。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション(講義の説明、成績評価の方法、確認事項の徹底、グループ決め)	【予習】：スモールビジネス論で学んだ「ゲーミング」あるいは「シミュレーション」の重要性について、ノートやメモ帳にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
2	SDGsゲームの体験①：SDGsの説明	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
3	SDGsゲームの体験②：プレゲーム	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
4	SDGsゲームの体験③：ゲームの本番	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
5	SDGsゲームの体験を踏まえた検討会	【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
6	ビジネス・ゲーム作成①：作成手順の説明とフレームワークの作成	【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
7	ビジネス・ゲーム作成②：ルールの決定	【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
8	ビジネス・ゲーム作成③：チーム内でのプレゲーム	【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
9	学生が作成したビジネス・ゲームの報告会	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
10	学生が作成したビジネス・ゲームの体験会	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義で配布したワーク	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		シートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
11	ビジネス・ゲームの作成①：フレームワークの作成	【予習】：第10回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
12	ビジネス・ゲームの作成②：チーム内でのプレゲーム	【予習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
13	学生が作成したビジネス・ゲームの報告会	【予習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
14	学生が作成したビジネス・ゲームの体験会	【予習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめ(学生へのフィードバック及び成績評価の説明)	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：最終課題に取り組み、指定の期日までに提出を行うこと(20時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN314
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 特別講義II
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),中島　賢一(NAKASHIMA　Kenichi)

【授業の紹介】
経営資源である「ヒト、モノ、カネ、情報」を活用して、地域と結びついたイベントの企画、運営、を行い、地域課題の解決を行う。具体的には地域のニーズを調査し、イベントを行うために必要な知識、技術（企画、資金調達、協力者の支援、イベントの広報、イベントスタッフの役割、イベントの危機管理、ＳＮＳマーケティング、録画編集配信、進行マニュアルなど）の修得を行い、実際のイベントを通して課題解決へのアプローチを体験し、課題解決能力を養う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．イベントの企画から実施までの流れがわかる。
２．データなどを活用し課題の見つけ方がわかる
３．イベントをとおしてビジネス資源と呼ばれる「ヒト、モノ、カネ、情報」の関係がわかる。
４．イベントを実施できる素養が身に着く

【成績の評価】
企画・実施内容の評価（５０%）課題レポート（５０%）

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
eスポーツ学習　ビジネス基礎　株式会社NTTe-Sports編　株式会社NTTe-Sports
eスポーツ学習　コミュニケーション基礎　株式会社NTTe-Sports編　株式会社NTTe-Sports

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	地域課題とイベントについて ビジネス活動とイベント（佃・中島）	予習：地域の課題やビジネス活動について調べる（2時間） 復習：ビジネス活動とイベントについて復讐する（２時間）	
2	本県の地域課題 地域課題をイベントを通じて解決した事例（中島）	復習：地域課題をイベントを通じて解決した事例をまとめるとともに、自分でも事例をしらべまとめてみる（4時間）	
3	本県の地域課題の分析と課題解決へのアプローチ（佃・中島）	復習：本県の100の指標などオープンデータから改題を考える（4時間）	
4	イベントを実施するために、イベントの流れや企画について学ぶ。 （企画、資金調達、関わる人の調達、広報、物品調達、スタップ配置、進行計画、危機管理など） イベントのお金や人をどうするか（佃）	復習：イベントについて、整理する（4時間）	
5	イベントに必要な、進行台本や運営マニュアルの作成、パンフレット、ＳＮＳ、Ｗｅｂ広告などを考える（佃）	復習：イベントを実施するにあたっに必要なドキュメントや広報物を作成する、（4時間）	
6	音響、映像、編集、配信の技術的な理解と活用（録音や動画撮影）（佃）	復習：録音や動画撮影の練習を行う（4時間）	
7	音響、映像、編集、配信の技術的な理解と活用（編集や配信）（佃）	復習：編集や配信の練習を行う（4時間）	
8	イベントの計画立案（概要）（佃・中島）	復習：地域課題解決に向けたイベントの計画（4時間）	
9	イベントの計画立案（詳細）（佃・中島）	復習：地域課題解決に向けたイベントの計画（4時間）	
10	企画した地域課題解決のイベント実施（ソフトウェアの準備）（佃）	復習：イベント実施に向けての準備（4時間）	
11	企画した地域課題解決のイベント実施（機器、機材、配線などの準備）（佃）	復習：イベント実施に向けての準備（4時間）	
12	企画した地域課題解決のイベント実施・次の授業と2回にわたり実施（佃）	復習：イベント実施に向けての準備（4時間）	
13	企画した地域課題解決のイベント実施・前の授業と2回に渡り実施（佃）	復習：イベント実施に向けての準備（4時間）	
14	企画した地域課題解決のイベントの発表と評価及び今後の課題8 (佃)	復習：イベント実施しての成果と課題を作成する（4時間）	
15	授業の振り返り（佃・中島）	復習：この授業を振り返る（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN315
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 職業指導論
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro)

【授業の紹介】
　最近、非正規雇用の割合が増え、また"ブラック企業"といわれるものも出現するなど、若者の雇用環境は厳しくなっています。これまでの学校における職業指導（進路指導）は、就職先や進学先の選択指導に陥っていなかったでしょうか。今、職業とは何なのか？人はなぜ働くのか？労働の意義、職業と自分との関わりについて考え、積極的に社会参加する意欲や態度・能力を育成することが求められています。高校生が自己の在りかたや生き方を考え、主体的に進路を選択できるようにするためには、どのような指導をすればよいのかを共に考え、その指導のために必要な知識を体系的に修得することをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．働くことの意義、職業観について説明できる。
２．日本にはどんな仕事があるか理解し説明できる。
３．職業適性に対する理解を深め、説明できる。
４．高校生に対して職業指導（進路指導）を行うことができる。

【成績の評価】
　受講態度（40%）、レポート提出（10%）、定期試験（50%）を総合して評価します。
　なお、レポートについては後日の授業で模範解答例を紹介、定期試験については教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】
　講義中にプリントを配付します。

【参考文献】
「進路指導・キャリア教育の理論と実践」吉田辰雄他　日本文化科学社 2011
「高等学校学習指導要領（平成２１年１１月）解説　総則編」

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	職業観や働き方等に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	働くとはどういうことか	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	どんな仕事があるか	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	就労現場の状況	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	現在の雇用状況	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	職業適性検査	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	自己分析とキャリア設計	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	職業選択の方法	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	職業指導の意義	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	学校における職業指導・進路指導	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	進路指導の計画	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	進路指導の実践	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	家庭・諸機関等との連携	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	高校生に進路指導をするための必要事項のまとめ	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN231
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎ビジネス日本語Ⅰ
担当教員： 児島　由佳(KOJIMA　Yuka)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N３程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①中級レベルの文章を正確に理解できる。
②中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
③自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】
①授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60%）、②定期試験（40%）で総合的に評価する。
授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『日本語を学ぶ人たちのための日本語を楽しく読む本・中級』、産業能率大学出版部、1991年、2,000円+税
『タスクベースで学ぶ日本語　中級2』国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著、スリーエーネットワーク、2022年、2,000円+税
＊テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】
必要に応じて紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、『日本語を楽しく読む本』第２課「いつもとちがう」	本文を再度読む。新しいことばの復習と内容についての練習問題をする（１時間）	
2	『日本語を楽しく読む本』第３課「賢い農夫」	本文を再度読む。新しいことばの復習と内容についての練習問題をする（１時間）	
3	『日本語を楽しく読む本』第５課「振り向き賃」	本文を再度読む。新しいことばの復習と内容についての練習問題をする（１時間）	
4	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第１課「なぜその言葉」プレタスク	本文を再度読む。出てきた漢字やことばの復習（１時間）	
5	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第１課「なぜその言葉」メインタスク、文法	本文を再度読む。出てきたことば、文型などの復習（１時間）	
6	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第１課「なぜその言葉」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
7	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第２課「ユニバーサルデザインとは」メインタスク	授業で話し合った内容をもとに自分の意見をまとめて書く（１時間）	
8	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第２「ユニバーサルデザインとは」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
9	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第４課「違う自分になりたい？」プレタスク	本文を再度読む。出てきた漢字やことばの復習（１時間）	
10	『『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第４課「違う自分になりたい？」メインタスク、文法	本文を再度読む。出てきたことば、文型などの復習（１時間）	
11	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第４課「違う自分になりたい？」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
12	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第５「災害に対して準備している？」メインタスク	出てきたことばの復習（１時間）	
13	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第５「災害に対して準備している？」文法、漢字	出てきたことば、文型の復習と作文練習（１時間）	
14	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「地球の環境、大丈美？」メインタスク	本文を再度読む。新しいことばの復習。自分の意見をまとめて書く（１時間）	
15	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「地球の環境、大丈美？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN232
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎ビジネス日本語II
担当教員： 児島　由佳(KOJIMA　Yuka)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N３程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①中級レベルの文章を正確に理解できる。
②中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
③自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】
①授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60%）、②定期試験（40%）で総合的に評価する。
授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『日本語を学ぶ人たちのための日本語を楽しく読む本・中級』、産業能率大学出版部、1991年、2,000円+税
『タスクベースで学ぶ日本語　中級2』国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著、スリーエーネットワーク、2022年、2,000円+税
＊テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】
必要に応じて紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	『日本語を楽しく読む本』第２課「いつもとちがう」、リスニング	本文を再度読む。新しいことばの復習と内容についての練習問題をする（１時間）	
2	『日本語を楽しく読む本』第３課「賢い農夫」、リスニング	本文を再度読む。新しいことばの復習と内容についての練習問題をする（１時間）	
3	『日本語を楽しく読む本』第５課「振り向き賃」	本文を再度読む。新しいことばの復習と内容についての練習問題をする（１時間）	
4	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第１課「なぜその言葉」メインタスク	本文を再度読む。出てきたことばの復習（１時間）	
5	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第１課「なぜその言葉」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
6	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第２課「ユニバーサルデザインとは？」プレタスク	本文を再度読む。出てきたことばの復習（１時間）	
7	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第２課「ユニバーサルデザインとは？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
8	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第２課「ユニバーサルデザインとは？」漢字、ポストタスク	発表原稿の作成（１時間）	
9	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第４課「違う自分になりたい？」メインタスク	授業で話し合ったことをもとに自分の意見をまとめて書く（１時間）	
10	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第４課「違う自分になりたい？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
11	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第５課「災害に対して、準備している？」プレタスク	災害の経験についての発表原稿をまとめる。次の授業で発表するための練習（１時間）	
12	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第５課「災害に対して、準備している？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
13	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「地球の環境、大丈夫？」プレタスク	本文を再度読む。出てきたことばの復習（１時間）	
14	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「地球の環境、大丈夫？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
15	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「地球の環境、大丈夫？」漢字、ポストタスク	漢字のことばの復習（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN233
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎ビジネス日本語III
担当教員： 児島　由佳(KOJIMA　Yuka)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N３程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①中級レベルの文章を正確に理解できる。
②中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
③自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】
①授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60%）、②定期試験（40%）で総合的に評価する。
授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『タスクベースで学ぶ日本語　中級2』国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著、スリーエーネットワーク、2022年、2,000円+税
『タスクベースで学ぶ日本語　中級3』国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著、スリーエーネットワーク、2023年、2,000円+税
＊テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】
必要に応じて紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「なぜそう見える？どう見せる？」プレタスク	出てきたことばの復習、漢字の練習プリント（１時間）	
2	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「なぜそう見える？どう見せる？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
3	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「なぜそう見える？どう見せる？」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
4	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第１課「動物と暮らすってどんなこと？」メインタスク	動画を見て話し合ったことをもとに意見をまとめて書く。出てきた語彙の復習（１時間）	
5	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第１課「動物と暮らすってどんなこと？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
6	接続詞のまとめと練習①	授業で出てきた接続詞の意味と使い方について復習する。そのあと練習問題をする（１時間）	
7	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第２課「私の町は魅力的？」プレタスク	町の紹介文を書く（１時間）	
8	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第２課「私の町は魅力的？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
9	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第２課「私の町は魅力的？」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
10	接続詞のまとめと練習④	授業で出てきた接続詞の意味と使い方について復習する。そのあと練習問題をする（１時間）	
11	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第５課「「○○らしい」とは？」メインタスク	振り返りと作成したものの直し（１時間）	
12	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第５課「「○○らしい」とは？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
13	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第６課「「もったいない」は地球を救う？」プレタスク	本文を再度読む。出てきたことばの復習（１時間）	
14	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第６課「「もったいない」は地球を救う？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
15	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』６課「「もったいない」は地球を救う？」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN234
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎ビジネス日本語IV
担当教員： 児島　由佳(KOJIMA　Yuka)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N３程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①中級レベルの文章を正確に理解できる。
②中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
③自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】
①授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60%）、②定期試験（40%）で総合的に評価する。
授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『タスクベースで学ぶ日本語　中級2』国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著、スリーエーネットワーク、2022年、2,000円+税
『タスクベースで学ぶ日本語　中級3』国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著、スリーエーネットワーク、2023年、2,000円+税
＊テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】
必要に応じて紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「なぜそう見える？どう見せる？」メインタスク	感じたことや考えたことをコメントシートにまとめる（１時間）	
2	『タスクベースで学ぶ日本語　中級２』第６課「なぜそう見える？どう見せる？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
3	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第１課「動物と暮らすってどんなこと？」プレタスク	でてきたことばの復習。自分の考えをまとめて書く（１時間）	
4	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第１課「動物と暮らすってどんなこと？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
5	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第１課「動物と暮らすってどんなこと？」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
6	接続詞のまとめと練習②	授業で出てきた接続詞の意味と使い方について復習する。そのあと練習問題をする（１時間）	
7	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第２課「私の町は魅力的？」メインタスク	調べて分かったことをメモにまとめる。次の授業で発表するための練習（１時間）	
8	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第２課「私の町は魅力的？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
9	接続詞のまとめと練習③	授業で出てきた接続詞の意味と使い方について復習する。そのあと練習問題をする（１時間）	
10	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第５課「「○○らしい」とは？」プレタスク	本文を再度読む。出てきたことばの復習（１時間）	
11	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第５課「「○○らしい」とは？」メインタスク、文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
12	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第５課「「○○らしい」とは？」漢字、ポストタスク	漢字やことばの復習（１時間）	
13	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第６課「「もったいない」は地球を救う？」メインタスク	出てきたことばの復習。気づいたことをコメントシートにまとめる（１時間）	
14	『タスクベースで学ぶ日本語　中級３』第６課「「もったいない」は地球を救う？」文法	授業で習った文型の復習と作文練習（１時間）	
15	後期のまとめと復習（文法・漢字など）	試験に向けて復習（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN332
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： ビジネス外国語Ⅰ（日本語）
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、日本国内または海外の日本企業に就職を希望する外国人留学生を対象とした「ビジネス日本語」の授業です。日本人学生は受講することができません。
企業のグローバル化が進むなか、日本企業、海外の日系企業は、日本語を話せ、日本社会に精通している留学生をグローバル人材・ブリッジ人材と位置づけ、積極的に採用しはじめました。しかし就職した人からは、「電話応対ができない」「報告書が書けない」「日本人の同僚・上司とのコミュニケーションがうまくできない」などの悩みの声が多く聞かれます。
「ビジネス日本語Ⅰ」では、まず日本の一般常識、敬語の使い方、ビジネスマナーについて学習し、電話応対の練習をします。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、ロールプレイを通して、ビジネスに必要な日本語能力、コミュニケーション能力、実用的な語彙・表現と情報処理能力、課題遂行能力を身につけます。
なお、関連科目として「日本語Ⅰ」日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」が既習であることを前提とします。また、関連科目の「ビジネス日本語Ⅱ」を続けて受講してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		③　専門知識活用能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①日本社会と日本ビジネスの基本を理解できる。
②ビジネスに相応しい語彙・表現を使うことができる。
③基本的な電話応対ができる。

【成績の評価】
授業中の発表（ ５０％ ）、レポート・小テスト（５０％）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』長沼スクール東京日本語学校編、国書刊行会、2018年、1,800円+税

【参考文献】
『クローズアップ日本事情１５――日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著、the japan times、2017年、2,500円＋税
『しごとの日本語 ビジネスマナー編』釜渕優子著、アルク、2008年、2,000円＋税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
2	日本事情	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
3	日本の一般マナーについて	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
4	敬語の使い方	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
5	ビジネスマナーについて	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
6	ビジネスの基本：あいさつ、指示の受け方、報告・連絡・相談	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
7	接客・訪問	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
8	電話① 電話を受ける	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
9	電話② 電話をかける	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
10	電話③ 伝言メモをとる	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
11	電話④ アポイントをとる	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
12	ビジネスメール① 社内一斉メール	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
13	ビジネスメール② 社外メール 依頼・問い合わせ	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
14	ビジネスメール③ 社外メール 回答（受領・承諾・断り）	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
15	ビジネスメール④ 社外メール お礼・お詫び	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN333
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： ビジネス外国語Ⅱ（日本語）
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、日本国内または海外の日本企業に就職を希望する外国人留学生を対象とした「ビジネス日本語」の授業です。日本人学生は受講することができません。
企業のグローバル化が進むなか、日本企業、海外の日系企業は、日本語を話せ、日本社会に精通している留学生をグローバル人材・ブリッジ人材と位置づけ、積極的に採用しはじめました。しかし就職した人からは、「電話応対ができない」「報告書が書けない」「日本人の同僚・上司とのコミュニケーションがうまくできない」などの悩みの声が多く聞かれます。
「ビジネス日本語Ⅱ」では、まずビジネスメール、ビジネス文書の書き方を練習します。その後ビジネスシーンで必ず出会う状況を「読解」「聴解」「聴読解」の問題形式を通して学びながら、「聞く・読む・話す・書く」四技能を総合的に伸ばします。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、ロールプレイを通して、ビジネスに必要な日本語能力、コミュニケーション能力、実用的な語彙・表現と情報処理能力、課題遂行能力を身につけます。
なお、関連科目として「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」「ビジネス日本語Ⅰ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		③　専門知識活用能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①基本的なビジネスメール、ビジネス文書を書くことができる。
②ビジネスシーンに応じたコミュニケーションができる。
③スケジュール調整ができる。

【成績の評価】
授業中の発表（ ５０％ ）、レポート・小テスト（５０％）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす。

【使用テキスト】
『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』長沼スクール東京日本語学校編、国書刊行会、2018年、1,800円+税

【参考文献】
『新装版ビジネスのための日本語　初中級』米田隆介・藤井和子・重野美枝・池田広子共著、スリーエーネットワーク、2006年、2,800円+税
『日本語ビジネス文書マニュアル』奥村真希・安河内貴子著、アスク、2007年、1,500円＋税
『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』村野節子・向山陽子・山辺真理子著、スリーエーネットワーク、2014年、1,400円＋税

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ビジネスメール① 社内一斉メール	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
2	ビジネスメール② 社外メール 依頼、問い合わせ	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
3	ビジネスメール③ 社外メール 回答（受領・承諾・断り）	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
4	ビジネスメール④ 社外メール お礼、お詫び	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
5	ビジネス文書① ビジネス文書の基本	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
6	ビジネス文書② 社内向け	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
7	ビジネス文書③ 社外向け	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
8	許可① 上司に許可を求める	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
9	許可② 取引先の意向を尋ねて許可を求める	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
10	依頼① 上司・同僚に頼む	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		の発表内容を修正すること。（１時間）	
11	依頼② 取引先に頼む	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
12	報告 上司に報告する	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
13	提案 自分の意見を言う	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
14	スケジュール調整	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
15	BJT模擬テスト	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS112
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 企業論
担当教員： 井藤　正信(ITO　Masanobu)

【授業の紹介】
　現代の資本主義社会においては、企業を抜きに生活を営むことはほぼ不可能である。すなわち、我々の生活は企業の様々な活動によって維持されている。言い換えると、企業が行う製品やサービスの生産と供給によって我々の生活は支えられており、そうした機能を果たしかつ利潤を獲得しつつ誠実に果たすことが企業には求められている。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
本講義においては、次の事柄を理解することに努める。
①資本主義社会とは何か、産業とは何か、業種とは何か、企業とは何かといった用語が理解できる。
②企業と社会の関係について理解できる。
③企業と消費者との関係が理解できる。
④企業の社会的責任についてが理解できる。

【成績の評価】
授業中に課した小テストや質疑応答についての評価（40%）と定期試験の成績（60%）とをあわせて総合的に評価する。なお、期末試験では、試験終了後に模範解答を提示し、内容の解説を行う。また、他の経営関連科目を受講する場合に本科目で得た知見を活用してもらいたい。なお、小テストは授業中に2回ほど行うことも考えている。授業計画では、小テストは2回ということになっているが、授業の進捗状況によっては回数は変わることもある。また、レポートや小テストによってフィードバックを行う。

【使用テキスト】
海野博・森山一郎・井藤正［著］『やさしく学べる経営学』（第3版）創成社、2024年4月25日、価格3410円（税込）　ISBN978-4-7944-2627-7

【参考文献】
　図書館にあるできるだけ新しい経営の入門書。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：講義の概要、課題レポートの書き方、成績評価の仕方など	シラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、それに基づいて予習する（2時間）/担当教員の指示に基づいて予習をする（2時間）	
2	産業や業種とは何か　産業や業種についての全般的な理解	予習としては産業や業種について教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。疑問点を書き留め、後ほど担当教員に質問する（2時間）	
3	産業や業種とは何か　産業についての理解－産業区分について-	予習として教科書を熟読し、産業区分についてノートに重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した産業についての内容をノートにまとめる（2時間）	
4	産業や業種とは何か　業種についての理解－業種区分について-	予習としては業種区分について教科書に沿って勉強する（2時間）/復習として教員がコメントした産業や業種についての内容を整理してノートに記入する（2時間）	
5	第一次産業、第二次産業、第三次産業についての理解	予習としては第一次、第二次、第三次の産業区分について教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
6	産業の高度化についての理解‐ペティ・クラークの法則-	予習としては産業の高度化について教科書に沿って勉強する。（1時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。（1時間）	
7	資本主義社会とは何か　資本主義の歴史と市場経済	予習としては資本主義社会の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
8	資本主義社会とは何か　市場における価格決定メカニズム-需要と供給について-	予習として教科書を熟読し、ノートに重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
9	企業と消費者との関係	予習としては企業と消費者について教科書に沿って勉強する。大事な点はノートに書き留める（2時間）/復習として教員がコメントした企業と消費者との関係の内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
10	企業の社会的責任	予習としてはアメリカ経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
11	これまでの復習及び小テスト。テストの解説　質問への回答	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
12	現代社会と企業-日本企業の現在の位置-	予習としては日本企業の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした現代社会の諸問題についての内容を整理してノートに記入する。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	現代社会と企業-世界競争と多国籍企業-	予習としては多国籍企業の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした現代社会と企業との関わりについての内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
14	企業とステークホルダーの関係と小テスト 質問への回答	予習として次回が総まとめなのでこれまでの授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
15	これまでのまとめ（定期試験の説明、課題レポートの完了確認、質疑応答、等々）	予習としてはこれから学ぶ他の経営学の授業に資する内容をまとめておく（2時間）/復習としてはこれまで本授業で学んだことをまとめ、定期試験に備える（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS314
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営史
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　本講義は、日本・アメリカ・欧州における経営の歴史を学ぶことを目的にしている。経営の歴史とは必ずしも「社史」、特に「自社の歴史を外部に公開するものとしての社史」を意味するものではない。即ち、必然性のない外部環境の激変に伴う企業危機を、「内部資源の活用により乗り越えたストーリー」から「普遍的理論」を導出することを目的とする。
　本講義は、第4回の講義以降に、学生による報告(個人・グループ)での報告およびそれに対する他の学生からの質疑応答、その後の教員からの講評という形式でのアクティブラーニングを実施する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①江戸時代末期の商業は鎖国の中にあってどのように成熟していったかが理解できる。
②初期資本主義企業の経営はどのような特徴があり、それがどのように発展したかが理解できる。
③アメリカにおける近代企業がどのような特徴を持って発展したかが理解できる。
④第2次大戦後世界中から注目されてきた、いわゆる日本的経営がどのような特色を持っていたか、それが近年どうして大きく変貌したかが理解できる。

【成績の評価】
2回の報告と感想の提出(80%)と講義における積極性(20%)で成績評価を行う。報告に関しては、その場でフィードバックを行い、積極性に関しては最後の講義で希望者に説明を行う。また、2回の報告と感想の評価方法に関しては、第1回目と第2回目の講義の中で説明する。

【使用テキスト】
テキストは指定しない。

【参考文献】
安部悦夫著　『経営史（第2版）』　日本経済新聞社、2010年。
宮本又郎他編著　『１からの経営史』　碩学社、2014年。
佐々木聡編著　『グラフィック経営史』　新世社、2022年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション：グループ決め、報告テーマの相談、クラスルームへの登録	【予習】:四国に有る企業を1社調べ、その企業の特徴についてA4:1枚に800字程度でまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。	
2	報告に関する詳細な説明：報告テンプレートの説明など	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。	
3	経営史研究の意義と課題：社史との差異、企業・業界の成長・衰退に法則性は存在するのか？	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)	
4	江戸時代までの商業と商人：日本における商業史	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)	
5	江戸時代における商業と商人①：日本三大商人の歴史	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
6	江戸時代における商業と商人②：ナラティヴとしての「三方良し」	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
7	南北戦争から戦間期におけるアメリカ企業の展開	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
8	世界大戦後のアメリカ企業の凋落と産業転換	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
9	欧州企業の発展①：ドイツの企業・オーストリアの企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
10	欧州企業の発展②：イギリスの企業・フランスの企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	明治期における日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
12	大正・昭和初期における日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
13	戦後の日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
14	コロナ禍における日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめ(報告の完了確認、質疑応答、等々)	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第15回で説明した最終課題を作成し、期限内に提出すること(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS212
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営管理論
担当教員： 井藤　正信(ITO　Masanobu)

【授業の紹介】
講義では、経営管理の概念＝コンセプトについての理解からはじめる。概念＝コンセプトというと、難しそうだが、要するに「経営管理とは何か」ということを受講者に理解してもらうことから出発する。英語でBusiness Managementというように、企業における管理とは何かについての講義が中心になる。もちろん、経営学の初学者でも理解できるように、できるだけ平易な言葉を用いるように心がけ、学位授与方針にかなうよう指導することに努める。価値観が多様化している今日では、多様性を有する組織をどのようにまとめていくかを管理者が問われることが多くなる。そうした状況の下で管理者がどのようにリーダーシップを発揮しなければならないかについても本講義では触れることになる。ただ、受講生が熱心に受講しないと結局は内容について理解できないままで終わってしまうことになる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①経営管理について基本的なことが理解できる。
②経営管理で用いられているキータームについて理解できる。
③経営管理について他の人に説明できる。
④社会や組織の諸課題を自ら発見し、論理的に分析しかつ考察できる。

【成績の評価】
授業中に課した小テストや質疑応答についての評価（40%）と定期試験の成績（60%）とをあわせて総合的に評価する。なお、定期試験終了後に、模範解答を提示し、その解説を行う。それが今後受講する経営関連科目の理解につながることを説明する。また、レポートや小テストによってフィードバックを行う。

【使用テキスト】
海野博・森山一郎・井藤正［著］『やさしく学べる経営学』（第3版）創成社、2024年4月25日、価格3410円（税込）　ISBN978-4-7944-2627-7

【参考文献】
図書館にある経営学の入門書を読んでおくことが望ましい

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：教員のスケジュール上の都合や進度との関係によって変更の可能性も一部ある。	予習としてはシラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、私事に基づいて勉強する（2時間）/担当教員の指示に基づいて予習をする（2時間）	
2	経営管理の対象について　一般組織	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、担当教員に質問する（2時間）	
3	経営管理の対象について　企業	予習として経営管理の対象である企業について事前に調べ、それをノートに記入しておく。（2時間）/復習として経営管理の対象である一般組織を整理してノートに記入する。（2時間）	
4	経営管理の歴史	予習として担当教員が指示した個所である経営管理の歴史を教科書を読んでノートに簡単にまとめる。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した経営管理の内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
5	アメリカの経営管理の発展　テイラー	予習としてはアメリカ経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習としてはアメリカ経営管理の授業で習ったところをノートで確認する。（2時間）	
6	アメリカの経営管理の発展　フォードシステム	予習としてはフォードシステムについて事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習としてアメリカの経営管理の発展過程を整理してノートに記入する（2時間）	
7	アメリカの経営管理の発展　人間関係論	予習として次回の内容について、教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
8	アメリカの経営管理の発展　行動科学的管理論	予習としてはアメリカ経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習としてはアメリカ経営管理の授業で習ったところをノートで確認する。（2時間）	
9	小テスト　質問への回答　ディスカッション　これまでの授業の復習	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
10	日本の経営管理の発展　アメリカ的手法の導入	予習としては日本の経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する（2時間）/復習としては日本の経営管理の発展過程について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
11	日本の経営管理の発展　品質管理	予習として消費者の行動について事前に調べ、それをノートに記入しておく。（2時間）/復習として産業、業種、企業のそれぞれの概念を整理してノートに記入する。（2時間）	
12	日本の経営管理の発展　事業部制	予習としては日本の経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する（2時間）/復習としては日本の経営管理の発展過程で授業で習った	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ところをノートで確認し整理する（2時間）	
13	現代日本企業の経営管理　問題点	予習として消費者の行動について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習として産業、業種、企業のそれぞれの概念を整理してノートに記入する（2時間）	
14	小テスト　質問への回答　ディスカッション これまでの授業の復習	予習として次回実施する授業内容（総まとめ）を教科書などを読んでノートに簡単に整理しておく（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
15	これまでの授業内容、特に経営管理の歴史と実際の経営管理についての復習とまとめ	予習としてはこれから学ぶ他の経営学の授業に資する内容をまとめておく（2時間）/復習としてはこれまで本授業で学んだことをまとめ、定期試験に備える（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS214
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 生産管理論
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　企業の中心的な機能は「生産」である。企業は、最初の投下資本である貨幣を調達市場において商品である生産要素と交換する。生産要素は、労働力と生産手段からなり、それらを用いて「生産」が行われ、生産物が「生産」される。生産物としての商品は販売市場で販売され、企業は貨幣を得る。その際に、最初に投下した貨幣よりも多い貨幣を市場から回収することを目指すが、この部分が利益である。このようなプロセスが繰り返し行われるのが、企業である。本講義においては、この「生産」に焦点を当てて講義を行う。
　前半の講義では、生産の「疑似体験」を通じて、生産プロセスに関する理解を深める。その後、「連関図」の作成を通じた生産性向上の方策について議論を行う。そして、第１次産業から第３次産業における生産性を向上に向けて、どのような取り組みが行われているのかについて学習を行う。
　※2023年度より、生産を疑似体験するために、「紙グライダー製作体験」を導入している。2025年度以降は、履修者の数を踏まえ、学生と相談の上、制作物を決定したい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①「企業」と「生産」の関係を理解することで、現代社会に欠かすことのできない存在である企業は、どのような存在であるのかを把握することができる。
②利益を生む企業体質を構築するために必要な生産管理の基礎を理解することができる。
③工場や現場で、どのようにすれば「生産性」を向上させることができるかを理解することができる。

【成績の評価】
　グループでの活動とグループで作成したワークシート(60%)、課題レポートの内容(30%)、そして、授業の積極性と態度(10%)で評価を行う。
　※課題レポートについては、採点基準を講義の中で明示し、それに従って採点を行い、希望する学生には点数を開示する。また、優秀なレポートについては講義の最中にフィードバックを行う。
　※グループで作成したワークシートについては、第15回の講義で点数を希望者に開示する。

【使用テキスト】
　指定しない。

【参考文献】
　菅間正二　[2003]，『図解　よくわかるこれからの生産管理』　同文舘出版 1,700円＋税　ISBN-13 : 978-4495563011。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション(講義目標、講義概要、成績評価の説明、クラスルームへの登録、簡単な確認)	【予習】：身の回りにある工業製品がどのように生産されているのかについて調べ、その内1つを第1回の講義でクラスルームで提出できるようにしておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義でワークシートを配布するので、該当箇所を埋めたうえで、第2回の講義に持参すること(2時間)。	
2	生産管理実習①：概要の説明・グループ決め・役割分担など	【予習】：第1回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第2回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第2回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第3回の講義に持参すること(2時間)。	
3	生産管理実習②：グループでの制作プロセス	【予習】：第2回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第3回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第3回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第4回の講義に持参すること(2時間)。	
4	生産管理実習③：前半グループでの制作プロセス/後半振り返り	【予習】：第3回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第4回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第4回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第5回の講義に持参すること(2時間)。	
5	生産管理実習④：第2回と第3回の振り返り	【予習】：第4回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第5回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第5回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第6回の講義に持参すること(2時間)。	
6	連関図の作成①：作成方法の説明と作成の練習	【予習】：第5回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第6回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第6回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第7回の講義に持参すること(2時間)。	
7	連関図の作成②：「ムダどり」を前提とした連関図の作成	【予習】：第6回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第7回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第7回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第8回の講義に持参すること(2時間)。	
8	連関図の報告①：前半チームの報告と講評	【予習】：第7回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第8回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第8回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第9回の講義に持参すること(2時間)。	
9	連関図の報告②：後半チームの報告と講評	【予習】：第8回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第9回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第9回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		上、必要箇所を埋めて、第10回の講義に持参すること(2時間)。	
10	農業経営と6次産業化　－農業の「生産性」を向上させる方法－	【予習】：第9回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第10回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第10回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第11回の講義に持参すること(2時間)。	
11	儲かる会社のホウレンソウ　－現場での「生産性」の向上の方法－	【予習】：第10回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第11回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第11回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第12回の講義に持参すること(2時間)。	
12	サービス産業と「生産性」の向上①　－サービスの特徴と－	【予習】：第11回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第12回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第12回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第13回の講義に持参すること(2時間)。	
13	サービス産業と「生産性」の向上②　－中小製造業のサービス化戦略－	【予習】：第12回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第13回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第13回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第14回の講義に持参すること(2時間)。	
14	サービス業におけるIE活用方法　－現場での「生産性」の向上方法－	【予習】：第13回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第14回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第14回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第15回の講義に持参すること(2時間)。	
15	これまでのまとめ(課題レポートの完了確認、質疑応答、等々)	【予習】：第14回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第15回の講義に持参すること(2時間)。 【復習】：これまでの総括をノートにまとめておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS213
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営組織論
担当教員： 井藤　正信(ITO　Masanobu)

【授業の紹介】
本講義は経営組織とは何かを理解することから出発する。組織といっても、対象はいわゆる一般組織ではなく、経営組織という以上、企業組織に限定する。そのため、企業とは何かという前提を理解しておく必要がある。そうした理解を前提として、組織論の創始者であるC.I.バーナードの組織についての定義からはじまり、いくつかの組織理論について説明する。そして、続いて現実の企業ではどのような組織が存在しているかを論じ、それらの長所や短所の理解に努める。一見すると、組織論は難しいように思われているが、本講義ではできるだけ実例を多く紹介し、やさしく解説する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
①経営組織に関する基本的な知識を獲得できる。
②より具体的に言えば、経営組織について基本的なことを理解し、説明できる。
③経営組織で用いられるキータームについて理解できる。
④本授業で得られた知見によって社会や組織の諸課題を自ら発見し、論理的に分析し考察することができる。

【成績の評価】
授業中に課した小テストや質疑応答についての評価（40%）と定期試験の成績（60%）とをあわせて総合的に評価する。なお、定期試験では、試験終了後に模範解答を提示し、内容の解説を行う。また、他の経営関連科目を受講する場合に本科目で得た知見を活用してもらいたい。また、レポートや小テストによってフィードバックを行う。

【使用テキスト】
海野博・森山一郎・井藤正［著］『やさしく学べる経営学』（第3版）創成社、2024年4月25日、価格3410円（税込）　ISBN978-4-7944-2627-7

【参考文献】
C.I.バーナード『経営者の役割』、ダイヤモンド社、1967年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：教員の自己紹介と２回目以降の授業予定を簡潔に説明する。また、定期試験と評価方法について説明する。	シラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、それに基づいて予習する（2時間）/担当教員の指示に基づいて予習をする（2時間）	
2	経営組織の対象について　一般組織	予習として教科書を熟読し、経営組織の対象についてノートに重要な点を書き留め、授業に備える。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
3	経営組織の対象について　企業組織	予習として教科書を熟読し、経営組織論を理論的に学ぶ上で重要な点を書き留め、授業に備える。（1時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
4	経営組織論の理論的検討	予習として担当教員が指示した個所を教科書を読んでノートに簡単にまとめる（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した経営組織論の内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックする（2時間）	
5	アメリカにおける組織論の発展	予習としてアメリカの組織論について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/経営組織論の諸理論を整理してノートに記入する（2時間）	
6	古典的組織論　小テスト　解説と質問に答える。	予習として次回の内容について、教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める（2時間）/復習としては小テストの内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックする（2時間）	
7	近代的組織論	予習として教科書を熟読し、近代的組織論の重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、近代的組織論で理解できなかった点をチェックする（2時間）	
8	バーナード理論について理解を深める	予習として教科書を熟読し、バーナード理論の重要な点を書き留め、授業に備える。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
9	小テスト　質問に答える。　ディスカッション	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
10	日本の企業組織の発展	予習として教科書を熟読し、日本の企業組織の重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックする（2時間）	
11	事業部制	予習として事業部制について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習としては日本の企業組織の発展を整理してノー	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		トに記入する（2時間）	
12	企業の水平的統合	予習として教科書を熟読し、企業の水平的統合の重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめる（2時間）	
13	企業の垂直的統合	予習としては次回の内容である企業の垂直的統合について、教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
14	日本における企業再編　小テスト　質問　ディスカッション	予習として企業再編についての内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
15	これまでの講義内容の復習とまとめ　まとめでは、重点内容を整理するとともに、専門用語の理解の確認に努める。	予習としてはこれから学ぶ他の経営学の授業に資する内容をまとめておく（2時間）/復習としてはこれまで本授業で学んだことをまとめ、定期試験に備える（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS243
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スモールビジネス論
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
本講義では個人経営の「飲食店」や「洋服店」、コンビニなどの「フランチャイズ店舗」を「スモールビジネス」として定義し、これらの店舗運営に欠かせない在庫管理、損益計算、売上予想などについての知識を獲得する講義として設計されている。さらに「データに基づく経営」を実践するトレーニングのため、ビジネスゲームを活用している。ビジネスゲームでは他店舗と競争しつつ、より優れた経営を目指してグループで店舗運営に取り組む。そして、グループでパワーポイントを作成し、報告を行うというアクティブラーニングを採用する。また、ビジネスゲームの勝ち負けのみで、成績をつけるわけではないことを明記しておく。本講義においては、横浜国立大学が管理するYBG(Yokohama Business Game)のサーバおよび講義担当者が用意したサーバを利用する。そして、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目である。
※2019年度のスモールビジネス論において、「ビジネスゲームにより真剣に取り組むためには何が必要なのか」について学生より多数の意見が出た。それらの意見及び2021年度に履修する学生の意見を踏まえ、インセンティブを設定する予定である。このインセンティブという概念は、企業においても必要不可欠なものであるため、大学における教育の範疇を逸脱しない範囲で、且つ民主的な方法で決定する予定である。

※受講者の人数がキャパシティーを超過した場合、ビジネスゲームの内容を変更することがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1.データから企業の現状を読み取ることができる。
2.チームで協力してデータを分析し、将来の予測を立てることができる。
3.市場のメカニズムを推測し、最大の利益を追求することができる。
4.他者の戦略を推測し、適切な対策を取ることができる。

【成績の評価】
グループの意思決定への参加（50%）、発表資料作成および発表（50%）。そして、報告資料の発表に関しては、講義中に評価に関してのフィードバックを実施する予定である。

【使用テキスト】
各講義において資料を配布する。

【参考文献】
ED WEENK著/河合亜矢子・細田高道・中塚昭宏・小林知行・山本圭一・隈田樹一郎・丹治秀明・尹蘭翻訳 [2022],『ビジネスゲームで学ぶサプライチェーンマネジメント　―原理原則と演習、そして実業務への応用―』 同友館 ISBN-13: 978-4496055775。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、簡単な確認、イントロダクション、クラスルームへの登録	【予習】:身近な飲食店を1つあげ、その店舗の付近の家賃をインターネットを用いて調べ、その店舗の家賃を推測し、ノートやメモ帳にまとめておいてこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で全学生に配布するワークシートの該当欄を第2回講義開始までに埋めておくこと(2時間)。	
2	スモールビジネスの定義と課題、グループ決め、グループでのディスカッション	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
3	グループでのディスカッション①：店舗名・会社名・業種・ビジネスモデルの決定	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
4	グループでのディスカッション②：立地・販売する製品/サービスのコンセプトの決定・販売原価の計算	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
5	グループでのディスカッション③：予想売上の計算および算出根拠・損益分岐点の計算	【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
6	グループでのディスカッション④：報告の練習	【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
7	スモールビジネスのプラン報告①：チーム①群の報告	【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
8	スモールビジネスのプラン報告②：チーム②群の報告	【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
9	スモールビジネスのプラン報告③：チーム③群の報告	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
10	スモールビジネスのプラン報告の振り返り	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義で配布したワーク	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		シートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
11	ビジネス・ゲームの実施①：前半のチーム	【予習】：第10回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
12	ビジネス・ゲームの実施②：後半のチーム	【予習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
13	OAGの実施①：前半のチーム	【予習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
14	OAGの実施②：後半のチーム	【予習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめとフィードバック、成績の確認など	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：これまでのまとめをノートにまとめておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS221
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： マーケティング論
担当教員： 日笠　倫周(HIKASA　Michinori)

【授業の紹介】
　企業が利益をあげるためには製品・サービスを販売する必要があります。しかしながら、一昔前のように「造れば売れる」様なことは、まずありません。企業の多くは市場と呼ばれる場所で、他の企業と競い合い、消費者を奪い合うことになるからです。このため、企業は対市場活動として様々な意思決定を行い、競争優位性や消費者選好を築いていきます。講義では、企業の対市場活動をマーケティングと呼び、マーケティングの考え方やマーケティングに関する多様な意思決定について説明していきます。
　本講義では、マーケティングの基礎的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とします。そのために、企業と市場との関係やマーケティング意思決定に関して特に焦点を当てます。また、講義時には、課題解決型のアクティブラーニングを実施することで、受講生の理解促進を図る予定です。
　なお、関連科目として、マーケティングリサーチや消費者行動論などを履修することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
１.マーケティングの基礎理論を理解し、その理論枠組みを説明することができる。
２.マーケティングの考え方を利用し、企業の行動を説明することができる。

【成績の評価】
成績は、小テスト（80%）、授業内課題（20%）を総合して評価します。
小テストの採点基準は講義時に説明します。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

【使用テキスト】
初回講義時に指示します。

【参考文献】
神取道宏著『ミクロ経済学の力』(日本評論社,2014年)
池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩著『マーケティング』（有斐閣,2010年）
沼上幹著『わかりやすいマーケティング戦略』(有斐閣アルマ,2008年)
丸山雅祥著『経営の経済学』(有斐閣,2017年)

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
2	マーケティングの考え方	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
3	マーケティング史	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
4	マーケティング・コンセプト	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
5	マーケティングと市場	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
6	マーケティング・マネジメント概要 ＋ 小テスト(1)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
7	マーケティング・リサーチ	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
8	マーケティング戦略	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
9	製品政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
10	価格政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
11	プロモーション政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
12	流通政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
13	マーケティングの動的展開と地位別戦略	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
14	現代のマーケティング	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
15	企業の戦略分析 ＋ 小テスト(2)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（４時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS224
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： デジタルマーケティング論
担当教員： 日笠　倫周(HIKASA　Michinori)

【授業の紹介】
　デジタル化の進展に伴い、消費者の行動や企業のマーケティング活動は大きく変化してきています。特に、企業の意思決定では、テクノロジーやデータを用いて科学的にマーケティング意思決定を行うアプローチが重要視されるようになりました。講義では、特にデジタル化の進展に伴う変化に焦点を当てながら、デジタル・マーケティングの考え方について説明していきます。
本講義では、デジタル環境下におけるマーケティング活動の変化を理解することに加え、デジタル・マーケティングの基本的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とします。そのために、講義では、具体例などを用いながらデジタル・マーケティングの基礎理論を学んでいきます。加えて、ケーススタディに取り組むことで、受講生の企業活動の変化に対する理解促進を図ります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１.デジタル・マーケティングの基礎理論を理解し、その理論枠組みを説明できる。
２.最新のマーケティングの考え方を利用し、企業の行動を説明できる。

【成績の評価】
成績は、小テスト（60%）、授業内課題（40%）を総合して評価します。
小テストの採点基準は講義時に説明します。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

【使用テキスト】
初回講義時に指示します。

【参考文献】
西川英彦・渋谷覚 編著『1からのデジタル・マーケティング』(碩学舎,2019年)

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
2	デジタル社会とマーケティング	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
3	デジタル社会と消費者行動①：購買行動モデル	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
4	デジタル社会と消費者行動②：カスタマー・ジャーニー	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
5	デジタル社会のビジネスモデル①：プラットフォームビジネス	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
6	デジタル社会のビジネスモデル②：ケース・スタディ　＋ 小テスト(1)	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
7	デジタル社会におけるマーケティング戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
8	デジタル・マーケティングにおける製品戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノー	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		トに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
9	デジタル・マーケティングにおける価格戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
10	デジタル・マーケティングにおけるチャネル戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
11	デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略①：口コミ	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
12	デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略②：ケース・スタディ	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
13	デジタル社会におけるリサーチ①：探索と検証	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
14	デジタル社会におけるリサーチ②：ケース・スタディ	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
15	ラップアップ　＋ 小テスト(２)	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（２時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS311
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営戦略論
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
本講義の目的は、経営戦略論における基本的な理論や概念、フレームワークを学ぶことにあります。そこでは、消費者として日々触れる製品市場での経営戦略を学び、戦略的思考法のイメージをつかんだ上で、徐々に視野を広げて事業戦略や全社戦略に関する内容も習得することを目指します。
少子高齢化が進み、国内市場の大幅な成長を見込みづらい現代日本では、経営戦略の重要性がますます高まっています。国内に残って事業を展開するとしても、成長を求めて海外に進出するとしても、企業が目的を達成するためには、自社がとるべき方策を戦略的に考え、実行することが求められます。そのための基礎になりうるのが経営戦略論で蓄積されてきた考え方です。経営戦略論の理論や概念、フレームワークを理解し、それらに基づいて思考できるようになることは、種々の組織で働いていく上で意義のあることだと考えられます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1．経営戦略論に関する基本的な理論や概念、フレームワークを理解し、説明できる。
2．企業の経営戦略について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3．経営戦略に関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】
平常点(40%)と定期試験(60%)を総合して評価します。

―平常点では、講義中に示した課題や小テストへの取り組みや、講義中の発言などを評価します。
　課題や小テストについては、次回講義での簡潔な講評を通じて、フィードバックを行う予定です。
　講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。
―定期試験期間中に定期試験を実施します。
　本講義の単位を取得するためには、定期試験を受ける必要があります。
―なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
大滝精一・金井一頼・山田英夫・岩田智(2011).『経営戦略―論理性・創造性・社会性の追求』（新版）有斐閣アルマ.
和田允夫・恩蔵直人・三浦俊彦（2016).『マーケティング戦略』有斐閣アルマ.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や内容を再度確認する(2時間)。	
2	経営戦略とは 経営戦略の概念、内容、二面性	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
3	事業領域の定義 ドメインの定義、企業ドメインと事業ドメイン	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
4	戦略の策定① 企業戦略の策定、事業戦略の策定	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
5	戦略の策定② 外部環境の分析、経営資源の分析	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
6	競争の戦略① 競争の基本戦略、競争と協調の戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
7	競争の戦略② 攻撃の戦略、タイムベース競争	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
8	成長の戦略① 成長源泉としての不均衡創造、ドメイン・ギャップの認識	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
9	成長の戦略② 経営資源の突出、リスク・マネジメント	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
10	ネットワーク戦略 垂直型ネットワーク組織、関係性マーケテイングとコラボレーション戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
11	グローバル戦略① グローバル戦略と経営環境、グローバル戦略と経営資源	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
12	グローバル戦略② グローバル戦略と経営組織、グローバル戦略の変化	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
13	地域企業の戦略① 企業と地域社会、地域企業の戦略的特徴	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
14	地域企業の戦略② 地域企業のネットワーク戦略、地域企業の戦略と地域の発展	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
15	本講義のまとめ 要点の整理と質疑応答	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：期末試験に向けて、講義で学んできた内容を全て振り返る(3時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS312
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 労務管理論
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
　組織は複数の人によって構成されています。よって、目標達成のためには、構成員それぞれに役割が与えられていることやそれを遂行するために指示が明確であることなどが求められるだけでなく、お互いの協力が促進されることも必要です。さらに、構成員が無理なく仕事に関わり、仕事に意義を見出せるようでなければ長続きしませんし良い成果も出せません。企業もボランティア組織も大学も、適切な人や組織のあり方を考えなければなりません。授業では、そのための制度やメカニズムを学びます。さらに、雇用する側の立場からの論理だけでなく、従業員が意欲を持って働くために必要な職場環境とは何かも考えることで「多面的」に労務管理の意味を捉えます。加えて、必要に応じて海外の状況を紹介し文化・歴史・社会的背景の違いが及ぼす影響も学び、日本の労務管理制度を相対化できる視野を持てるようにします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
1.労務管理に関する基本的な知識を習得できる。
2.現在の制度がどのような考えに基づいて作られたかを理解できる。
3.現在の日本企業が抱える労務管理に関する課題を理解し、解決の方向を見出すことができる。

【成績の評価】
小テスト（50%）
提出物　（10%）
最終試験（40%）
小テスト、提出物、試験等に関しては、授業あるいはGoogle Classroomにてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
佐藤・藤村・八代（2023）『新しい人事労務管理（第7版）』有斐閣

【参考文献】
阿部・松繁（編著）（2014）『キャリアのみかた』有斐閣

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	企業経営と人事労務管理 （教科書　第１章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
2	雇用管理 （教科書　第２章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
3	能力開発 （教科書　第６章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
4	評価：　業績評価、上位評価、成果主義とコンピテンシー （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
5	職能資格、職務等級、職位 （教科書　第３章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
6	賃金管理：　年齢、勤続、能力、成果 （教科書　第４章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
7	労働時間管理と働き方改革 （教科書　第５章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
8	福利厚生 （教科書　第８章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
9	ダイバーシティ1：　男女間賃金格差が生まれるメカニズム （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		- 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
10	ダイバーシティ2：　男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
11	非正規労働 （教科書　第７章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
12	解雇と失業 （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
13	企業統治と従業員 （教科書　第９章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
14	残された課題　Ⅰ：日本的ライフシフトのあり方 （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 全範囲学修確認テストの準備	
15	残された課題　Ⅱ：Job型雇用をどう評価するか （別途資料を配布） 全範囲学修確認テスト	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 全範囲の知識と理解の確認	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS313
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 国際経営論
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　1990年代以降のグローバリゼーションの進展によって、「企業」を取り巻くビジネス環境は大きく変化している。濁流のようなビジネス環境下で翻弄される現代企業が国際市場・グローバル市場で活動を続けていくためには、グローバル競争戦略が必要不可欠である。また、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ攻撃など混迷する世界情勢の理解や異文化理解、そして異文化の表出としてのメタファーの理解を理解するスキルは、21世紀のビジネス・パーソンにとって必要不可欠なものである。
　本講義は、第4回の講義以降に、学生による報告(個人・グループ)での報告、およびそれに対する他の学生からの質疑応答、その後の教員からの講評という形式でのアクティブラーニングを実施する。
　2024年度より、メタファーや異文化理解の困難さについての理解を深めるための方策として、学生が報告する際、学生が自作の映像(資料)を作成し、それを踏まえて報告することも認めるものとする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
①現在の国際ビジネスがグローバル時代の到来によって、どのような変化があるのかについて理解できる。
②現代企業のグローバル競争戦略が、どのように立案され、それが構築され、実行に移されるのかを理解できる。
③国際的人的資源管理について、グローバル時代においてどのような重要性を持つのかということ理解できる。
④異文化マネジメントにおける異文化シナジーと異文化コミュニケーションの重要性を理解できる。

【成績の評価】
報告と学生報告回における感想の提出(59%)と講義内課題(41%)で成績評価を実施する。報告に関しては、その場でフィードバックを行い、積極性に関しては最後の講義で希望者に説明を行う。また、報告と感想の評価方法に関しては、第1回目と第2回目の講義の中で説明する。
※報告を行わない学生には、単位を認定することができない。

【使用テキスト】
なし。

【参考文献】
江夏健一・桑名義晴編著　IBI国際ビジネス研究センター著　[2018]，『理論とケースで学ぶ　国際ビジネス』 四訂版　同文舘出版 3,000円＋税　ISBN-13 : 978-4495368746。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション：確認課題の実施、グループ決め、報告テーマの相談、クラスルームへの登録	【予習】：メタファーの重要性を確認するための課題を第1回の講義で行うため、その準備として、「メタファー」の意味を調べ、その内容についてノートやメモ帳にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で提示した報告テーマの候補を踏まえ、それに関連するニュース記事などを調べ、自分でノートやワードなどにまとめておくこと(2時間)。	
2	報告に関する詳細な説明：報告テンプレートの説明、映像資料作成についての説明など	【予習】：第1回の講義で提示した報告テーマの候補を踏まえ、それに関連するニュース記事などを調べ、自分でノートやワードなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布した資料に目を通し、わからない部分に印をつけ、わからない部分をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
3	映像作品にみる多文化共生の困難さとその克服に向けて①：講義内での紹介	【予習】：第2回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布した資料に目を通し、わからない部分に印をつけ、わからない部分をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
4	映像作品にみる多文化共生の困難さとその克服に向けて②：ディスカッション	【予習】：第3回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布した資料に目を通し、わからない部分に印をつけ、わからない部分をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
5	映像作品にみる多文化共生の困難さとその克服に向けて③：振り返り	【予習】：第4回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
6	多文化理解の困難さ：学生報告①	【予習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
7	ポリティカルコネクトネスの重要性と課題：学生報告②	【予習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
8	異文化理解におけるコンフリクトの解決：学生報告③	【予習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めてくること(2時間)。	
9	国際的人的資源管理①：国際的人的資源管理を行うためには何が必要なのか？/グループでのディスカッション	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めてくること(2時間)。 【復習】：第8回のディスカッションの結果を踏まえて、疑問に残る点をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
10	国際的人的資源管理②：シナジーを効果的に発揮させるためには/グループでのディスカッション	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めてくること(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のた	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めの報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
11	異文化マネジメント①：異文化シナジーと異文化コミュニケーションの難しさとは何か？/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
12	異文化マネジメント②：多様性を維持した効率的な組織とは何か？/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
13	ウクライナ戦争により米ソ冷戦は復活するのか？/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
14	21世紀のグローバル経済と国際ビジネスの展望/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
15	これまでのまとめ(報告の完了確認、質疑応答、等々)	【予習】：これまでの報告した資料をブラッシュアップしておくこと(2時間)。 【復習】：第15回のまとめを踏まえて、これまでの講義で得られた知識をA4・2枚程度にまとめ、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS321
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 営業論
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
近年、経済の成熟化に伴いモノやサービスが売れない時代になりつつある。したがって企業が売上および利益を高めるためには営業力を強化する必要がますます強くなっている。他方、営業担当者個人のレベルでは、成績の良い人もいれば成績の芳しくない人もいるのが現実であり、組織全体としてどのようにして営業力を高めていくのかは企業が直面する大きな経営課題の一つである。本講義では、営業に関する理論と実践を学び、「営業とは何か」という基本的な論点の理解を深める。
なお、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

＜クラスルーム＞
名称：2025営業論
コード：cin4e4n

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①営業に関する基本的なフレームワークを理解できる。
②営業に関する実践的なスキルやノウハウを理解できる。
③「営業の考え方」が生活の中の様々なシーンで役立つことを理解できる。

【成績の評価】
講義の中で随時課される課題の提出や講義内での貢献（30%）および期末のレポート（70%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
D・カーネギー『人を動かす【新装版】』創元社（1999年）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
企業における経営や営業活動の実際の経験を活かし、企業の現場における具体的な事例を盛り込んだ授業を行う。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、営業とはどういう概念なのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）	
2	営業とは：概要	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。そのうえで、自分が営業にむいている点/むいていない点について考える。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
3	経済環境の変化と営業	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
4	顧客ターゲットとニーズの把握	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。マーケティング関連科目を受講した経験のある学生は、当該講義資料を見直しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
5	営業のモデル	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
6	営業スタイルと営業担当者の役割	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
7	提案営業の展開	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。自分の知っている会社を想定して、何か提案できることはないかを考えてみる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
8	提案営業の具体的プロセス	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
9	営業力の向上	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。自分の中で常識にとらわれていることがあれば、具体的にそれは何かを考えてみる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
10	営業管理	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
11	顧客関係の管理	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	儲かる営業・損する営業	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。可能であれば、講義前に量販店で値引きの交渉を行ってみる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
13	セールステックの進化	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。近年のIT動向についてウェブサイトで概略を掴んでおく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
14	新しい営業スタイル	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
15	各回の要約・振り返り	【予習】これまでクラスルームにアップロードされた講義資料に再度一通り目を通し、何を学んできたのかを再確認する。（2時間） 【復習】自分が学んだことのうち、最も重要だと思わる項目を3つ取り上げ、それぞれの内容に関して再度自分の理解度を確認する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS331
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 財務管理論
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
本講義は、企業が資金調達からビジネスへの投資を通して企業価値・株主価値を高め、その成果を分配していくまでの一連のプロセスを学ぶ科目である。このような知識は財務担当者だけではなく、社会で活躍するためには必ず必要となる。また、昨今、個人の資産形成に関して注目が高まっているが、本講義の内容は、株式等に投資する際にも役立つ知識でもある。
なお、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

＜クラスルーム＞
名称：2025財務管理論
コード：vwzpoyp

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
①財務管理の役割を説明できる。
②投資決定と企業価値・株主価値との関係を説明できる。
③様々な資金調達の方法について説明できる。

【成績の評価】
講義の中で随時課される課題の提出や講義への貢献（30%）および期末のレポート（70%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】
なし。

【参考文献】
榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山﨑尚志・山田和郎・月岡靖智（2023)『新・現代の財務管理』有斐閣。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
企業における戦略策定・資金調達・M&Aなどの実務経験を背景に、企業の現場における財務管理やファイナンスに関する具体的な事例を盛り込んだ講義を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、財務とはどういうものなのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）	
2	財務諸表振り返り	【予習】財務諸表や勘定科目に関するこれまでの学習内容を振り返り、クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
3	キャッシュフロー	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、内容に関して自分なりに理解している部分と疑問に思う部分を事前に把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
4	リスクとリターン	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、リスクとリターンの関係について自分なりに理解しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
5	資本コスト	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、資本コストの概念について自分なりに理解している部分と疑問に思う部分を事前に把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
6	エクイティファイナンス	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、エクイティとはなにか、その資金調達方法とはどういうものかを把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
7	デットファイナンス	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、デットとエクイティの違いについて事前に把握しておく。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
8	バリュエーション	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、企業価値に関して自分なりに理解しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
9	資本構成	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、資本構成がなぜ問題になるのかなど、基礎的な概念について把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
10	分配政策	【予習】現在の企業がどのような考えで分配を行っているのかという視点でクラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、内容に関して事前に把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
11	M&Aと財務戦略	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、M&Aとはなにか、それが財務とどのように関係しているのか、事前に把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
12	資産特性と資金管理	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、内容に関して自分なりに理解している部分と疑問に思う部分を事前に把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
13	グループ経営と資金管理	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、企業はグループ全体で資金をどのように管理しているのかを把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
14	財務管理の新たな地平	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、内容に関して自分なりに理解している部分と疑問に思う部分を事前に把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
15	これまでの講義の振り返り	【予習】クラスルームにアップロードされたこれまでの講義資料に目を通し、内容を再確認する。（2時間） 【復習】15回の講義で自分が学んだことは何か自分なりに3つ取り上げ、それぞれの内容に関して反芻する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS342
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ベンチャー経営論
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
近年ベンチャー企業の存在がますます高くなっている。世の中を席巻している、いわゆるマグニフィセント・セブンと呼ばれるアメリカの巨大企業、日本でも楽天、メルカリ、サイバー・エージェント、ディー・エヌ・エーなど今や大きな存在感を持つ企業も、もとをたどるとベンチャー企業から始まっている。本講義では、企業の立ち上げ（いわゆる起業）から、企業として成長するまでに必要となる実践的な知識・ノウハウを身に着けることを学ぶ。
なお、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

＜クラスルーム＞
名称：2025ベンチャー経営論
コード：1cpzuqn

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①ベンチャー企業の経営に関する基本概念と経営現象を理解するために必要となる知識を身に着けることができる。
②ベンチャー企業の経営に関する課題および解決策に関する実践知を身に着けることができる。

【成績の評価】
講義の中で随時課される課題の提出や講義への貢献（30%）および期末のレポート（70%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
■大西康之『起業の天才！ 江副浩正 8兆円企業リクルートを作った男』東洋経済新報社（2021年）
■レイ・A・クロック、ロバート・アンダーソン『成功はゴミ箱の中に　レイ・クロック自伝』プレジデント社（2007年）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
ベンチャー企業に対する戦略策定・中期計画策定・資金調達・M&A・上場支援などのサポート実施、また自身のベンチャー企業経営の経験を活かし、ベンチャー企業の現場における具体的な事例を盛り込んだ授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、ベンチャーとはどういう概念なのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）	
2	ベンチャー企業とエコシステム	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、ベンチャーに関係する企業や組織にはどのようなものがあるのかという視点で資料を見たり考える。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
3	ビジネスのアイデア	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分なりにビジネスのアイデアを考えてみる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
4	起業の仕方	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、法人を設立する際の制度的な必要事項について把握しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
5	事業の立ち上げ	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
6	事業計画の作成	【予習】事業計画とは何か、どのように作成するのかという視点で、クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
7	資金調達	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉の意味を調べる。なお、企業財務に関する専門用語が頻出する回なので、関連する科目を受講した経験のある学生は、当該科目の資料などを見直しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
8	資本政策	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。株式および株式市場に関する知識を中心に理解を深めておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
9	急成長を実現する方法	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。講義資料にあげていない会社で急成長しているベンチャー企業を調べておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
10	ベンチャーにおける人の問題	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
11	キャッシュフロー管理	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、1年・2年次に学んだ会計に関する基本的な用語について再度内容を確認しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
12	経営体制、ガバナンス	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。コーポレートガバナンスに触れている他の経営学関連科目を受講した経験があ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る学生はその科目の講義資料などを読み直しておく。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
13	IPO/エグジット	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
14	ベンチャー企業が陥る罠、直面するリスク	【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）	
15	各回の要約・振り返り	【予習】クラスルームにアップロードされたこれまでの講義資料に目を通し、内容を再確認する。 （2時間） 【復習】15回の講義で自分が学んだことは何か3つ取り上げ、それぞれの内容に関して反芻する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS341
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 中小企業論
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
　本講義の目的は、中小企業の経営に関する基本的な理論や概念を学ぶことにあります。そこでは、中小企業を理解するための基本的な知識を学んだ後に、環境の変化や経営資源の制約などの中小企業が直面している問題と、その問題への対応について、一つ一つ検討していきます。
　関連科目としては経営学関連科目(「経営戦略論」や「経営組織論」など)や「起業家論」があるため、それらの科目を履修すると、それぞれの講義の内容をより理解しやすくなると考えられます。

　本講義では、Google Classroom(クラスコード：6lzdtny)を通じて、講義資料の配布や講義内課題の提示・提出等を行います。受講を希望する場合には必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1. 中小企業の経営に関する基本的な知識を理解し、説明できる。
2. 中小企業が直面する課題について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3. 中小企業に関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】
平常点(50%)、中間テスト(20%)、確認テスト(30%)を総合して評価します。

―平常点では、講義中に示した講義内課題への取り組みなどを評価します。
　次回講義での簡潔な講評を通じて、課題のフィードバックを行う予定です。
　講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。

―毎回、講義開始から30分程度まで、出席票を配布します。
　その出席票の提出がなかった場合には欠席扱いになります。

―中間テストと確認テストを実施します。
　これらのテストを受けなかった場合には、単位を取得することができません。

―なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
関智宏編著（2021）．『よくわかる中小企業』ミネルヴァ書房．
植田浩史・桑原武志・本多哲夫・義永忠一・関智弘・田中幹大・林幸治（2014）．『中小企業・ベンチャー企業論[新版]―グローバルと地域のはざまで』有斐閣コンパクト．
加藤厚海・福嶋路・宇田忠司（2023）．『中小企業・スタートアップを読み解く―伝統と革新、地域と世界』有斐閣ストゥディア．

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	中小企業経営の基本① 中小企業とは	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
3	中小企業経営の基本② 中小企業問題と中小企業政策	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
4	中小企業と環境への適応① 中小企業の経営戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
5	中小企業と環境への適応② 下請企業の経営	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
6	中小企業と環境への適応③ 中小企業の企業間ネットワーク	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
7	中小企業と環境への適応④ 地域の中の中小企業	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
8	これまでの講義のまとめ 重要事項の振り返りと中間テスト	予習：これまで配布した全ての講義資料に目を通してくる(3時間)。 復習：中間テストで分からなかった箇所を復習し、ノート等にまとめる(1時間)。	
9	中小企業と環境への適応⑤ 中小企業の海外進出	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
10	中小企業と経営資源の制約① 中小企業の組織マネジメント	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
11	中小企業と経営資源の制約② 中小企業の事業承継	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
12	中小企業と経営資源の制約③ 中小企業の研究開発マネジメント	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
13	中小企業と経営資源の制約④ 中小企業の財務	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	補論 ベンチャー企業とアントレプレナーシップ	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
15	本講義のまとめ 重要事項の振り返りと確認テスト	予習：これまで配布した全ての講義資料に目を通してくる(3時間)。 復習：確認テストで分からなかった箇所を復習し、ノート等にまとめる(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF221
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： プログラミング演習
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
　プログラミング演習では、JavaScriptおよびPythonを使ってアプリケーションを作成することを目標としている。アプリケーションをいきなり作ることは難しいので、既存のアプリケーションを模倣することからスタートする。演習では、Javascriptの復習を行った後、顔認証のアプリケーションの解説を中心に演習を進めていく。
　また、高等学校教諭一種免許状（情報）必修科目である。
　下記の授業計画は目安であって、受講生の理解度に合わせて進行状況を変えることがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)JavaScriptを使ったアプリケーション制作に関する知識を得ることができる。
(2)Pythonの仕組みを理解することができる。

【成績の評価】
レポート20%、授業の成果物80%で評価する。フィードバックとして、在宅学習課題および中間試験は採点・添削をし、次回以降の授業で返却する。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】
資料等を作成し、配布する。

【参考文献】
(1)HTML+JavaScriptによるプログラミング入門第2版　シンカーズ・スタジオ他著　日経BP社　2018年
(2)最短距離でゼロからしっかり学ぶPyhton入門　実践編～ゲーム開発・データ可視化・Web開発　Eric Mattes著　鈴木たかのり他訳　技術評論社　2020年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
2	HTMLの復習	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
3	CSSの復習	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
4	Vue.jsとは	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
5	バインディング	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
6	繰返し	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
7	イベント	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
8	フォーム入力	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
9	条件分岐	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
10	トランジション&アニメーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
11	ここまでのまとめ	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、ここまでの内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（1時間）	
12	アプリケーションの制作の基礎	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
13	要件定義	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
14	データの設計	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
15	アプリケーションの制作に向けて	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF222
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： ＡＩ基礎
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
AIの歴史を踏まえた上で、機械学習、深層学習といった基本的な概念を理解し、自然言語処理、ロボット制御、パターン認識への応用について学ぶ。これまでに学んできた知識および技術を総合し、AIを活用した課題解決のためのアプリケーションの作成を行うことを目標としている。
プログラミング能力は、情報技術の習得はもちろんだが、問題発見・解決能力の向上にも役に立つ。
また、高等学校教諭一種免許状（情報）選択科目である。
下記の授業計画は目安であって受講生の理解度に合わせて進行状況を変えることがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
・AIの歴史と応用可能性を理解する
・さまざまなAI技術が組み合わされたAIサービスの例を説明できる
・AIが社会に普及していく際に考慮すべき点を理解する
・AIを応用する際に求められるモラルや倫理について理解する
・機械学習、深層学習といった学習の基本的な概念を理解する
・AI技術（認識，予測および判断，知識および言語，身体および運動）を活用し，課題解決につなげることができる

【成績の評価】
レポート20%、授業の成果物80%で評価する。フィードバックとして、在宅学習課題および中間試験は採点・添削をし、次回以降の授業で返却する。また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】
資料等を作成し、配布する。

【参考文献】
あたらしい人工知能の教科書：プロダクト/サービス開発に必要な基礎知識　多田智史　翔泳社　2016年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション AIの歴史	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
2	AIが普及する社会	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
3	機械学習	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
4	深層学習	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
5	生成AI	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
6	認識	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
7	予測および判断	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
8	言語および知識	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
9	身体および運動	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
10	AIの構築および運用	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
11	AIの応用可能性	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
12	プログラム実装１　レゴブロックを用いたプログラミング資料の作成	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
13	プログラム実装２　課題解決のためのプログラミング	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
14	プログラム実装３　少し複雑なアルゴリズムに挑戦する	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
15	課題解決実践からのまとめ	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF263
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報倫理及びセキュリティ
担当教員： 玉田　和恵

【授業の紹介】
情報技術の進展は目覚しく，我々を取り囲む情報機器・ネットワーク環境は大きく変化している。Society5。0 の実現に向け，自分が問題に直面した際に，高度情報技術を活用して目的や解決策を適切に発想し判断できる人材となる必要がある。この動向は社会，経済，生活のいろいろな分野に大きな影響を及ぼしている。情報技術を健全に活用すれば，素晴らしい社会の進展が期待できる。しかし，物事には光の面と影の面があり、情報技術を悪用した不正行為や反社会的な事件なども多発している。光の部分を進展させるとともに、影の面から自分を守ること，知らないうちに自分が加害者にならない気をつけることなども求められている。そのためにはネットワーク社会でも、日常生活と同じように、「人に迷惑をかけない」「自分も被害に遭わない」ための判断力が必要である。その判断力を身につけるために必要となる知識・技能・考え方を修得する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
①情報社会で必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。
②判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。
③さまざまな課題に直面した際に適切に判断し、行動できる技術を身につける。

【成績の評価】
到達目標①「情報化社会で必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。」については、問題解決課題に適切に対応できるかを問う課題で評価する（３０％）
到達目標②「判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。」については、自身でネットワーク社会の諸問題の中から問題点を見つけ、レポートとしてまとめる（３０％）。
到達目標③「さまざまな課題に直面した際に適切に判断し、行動できる技術を身につける。」については日頃の授業での発言や理解度・行動規範を問うフォームなどの小テストで修得度を評価する（４０％）。

【使用テキスト】
松田稔樹、萩生田伸子（2021）　問題解決のためのデータサイエンス入門 実教出版
FOM出版(富士通ラーニングメディア)(2021) ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集（よくわかるマスター)

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ネットワーク社会とは	・ネットワーク社会で起こる様々な問題について興味関心を持ち、ネットワーク社会の特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク社会の特徴について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
2	問題解決の方法と手順	・問題解決の方法と手順についてノートにまとめる（120分程度） ・問題解決の方法と手順について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
3	ネットワーク社会とSDGs	・SDGｓとネットワーク社会について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・SDGｓとネットワーク社会について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
4	Society5.0時代のネットワーク社会	・Society5.0について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・Society5.0について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
5	情報の収集とデータ分析（IOT・ビッグデータ・人工知能）	・IOT・ビッグデータ・人工知能について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・IOT・ビッグデータ・人工知能について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
6	デジタルトランスフォーメーション（DX)とは	・デジタルトランスフォーメーションについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・デジタルトランスフォーメーションについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
7	ネットワーク社会に求められる情報倫理	・ネットワーク社会に求められる情報倫理に興味関心を持ち、必要な事項をノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク社会に求められる情報倫理に授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
8	情報セキュリティ（１）（不正アクセス　個人情報保護）	・不正アクセス、個人情報保護について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・不正アクセス、個人情報保護について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
9	情報セキュリティ（２）（セキュリティポリシー　ID/パスワード　生体認証　暗号方式）	・情報セキュリティについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・情報セキュリティについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
10	ネットワークと犯罪	・ネットワーク犯罪について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク犯罪について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	ネットワーク上のコミュニケーション （１）（電子メール　Webページ）	・電子メール・Webページについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・電子メール・Webページについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
12	ネットワーク上のコミュニケーション （２）（ソーシャルネットワークサービス）	・ソーシャルネットワークサービスについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ソーシャルネットワークサービスについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
13	ネットワークとビジネス ～企業における倫理とセキュリティ～	・ネットワークビジネスについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワークビジネスについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
14	ディベート	・ネット社会のプラス面・マイナス面についてノートにまとめる（120分程度） ・ネット社会のプラス面・マイナス面について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
15	情報社会の発展と情報倫理・セキュリティ	・情報社会の発展と諸問題についてノートにまとめる（120分程度） ・情報社会の発展と諸問題について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(120分程度)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF241
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報ネットワーク論
担当教員： 最所　圭三(SAISHO　Keizo)

【授業の紹介】
　インターネットは重要な社会インフラの1つとなっており，それを用いて、情報発信や情報収集、コミュニケーション、エンターテインメント、経済活動などが行われています。企業などの多くの組織などでは社内ネットワークが構築され、インターネットに接続されています。また，情報システムが組織内あるいはクラウド上で構築されています。皆さんが卒業後に働く職場において、インターネットを利用した業務に関わることが多くなると思われます。場合によっては、ネットワークや情報システムの構築や管理に関わることがあるかもしれません。
　この授業では、インターネットで行われているネットワークサービスや情報交換の理解に必要な基礎知識やインターネット上の脅威について学ぶことを目的としています。具体的には，インターネットの基礎、インターネットにおける脅威、ネットワークサービスの仕組み、代表的なネットワークサービスおよびクラウドサービスについて学びます。
　なお、この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1. インターネットがどのようなネットワークであるか説明できる。
2. インターネット上での脅威やコンピュータウイルスおよびそれらに対する対策について説明できる。
3. インターネット上でのサービスの仕組みを説明できる。
4. Webサービスや電子メールの仕組みを説明できる。
5. クラウドサービスについて説明できる。

【成績の評価】
　レポート（20%）、小テスト（20%）、中間試験（30%）、定期試験（30%）で評価する。ただし、レポートを5回以上提出しない場合は合格点に達していても不合格とする。
　レポートについては、次の回の授業の開始時に解説することでフィードバックする。
　小テスト、中間試験、定期試験については、試験後に解答例を示すことでフィードバックする。

【使用テキスト】
福永勇二「イラスト図解式　この一冊で全部わかるネットワークの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-8156-1767-7、 / 1720E、2023年

【参考文献】
増田若奈、根本佳子「ネットワーク 仕事で使える基本の知識 [改訂新版]」(技術評論社)、ISBN978-4-7741-97777-7、 / 1680E、2018年
林雅之「イラスト図解式 この一冊で全部わかるクラウドの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-7973-9999-8、 / 1680E、2019年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	なし	
2	インターネットの概要	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
3	DNSとDHCPの役割と仕組み	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
4	インターネットにおける脅威	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
5	コンピュータウィルスとその対策	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
6	コンピュータ上での種々のデータ形式	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
7	クライアント－サーバモデル	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
8	これまでの授業のまとめ、中間試験	第2回から6回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(6時間)	
9	Webサービスの仕組み	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
10	電子メールの基礎および配送	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
11	WebページとHTML、電子メールの閲覧およびファイル添付	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
12	ファイル共有とリモートログイン	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
13	ブラウザ、メーラでの動作確認およびリモートログインの演習	演習内容をノート等にまとめる(2時間)/演習で提示された課題をレポートとしてまとめる(1時間)	
14	クラウドサービス	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
15	授業の総括：重要項目の解説	第7回および第9回から14回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(7時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF201
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 企業情報システム
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
DXの進展により、仕事に必要となる知識・技術の1つにプログラミング能力が必要であると言われ始めています。しかし、プログラミングは専門的であり、文系の学生には敷居が高く感じる場合が多いでしょう。
本講義では、ローコードプログラミング技術を使って業務アプリを作ることを1つの目標としています。そのため、AppSheetと呼ばれるサービスを用い、業務アプリ作成を通じて、RPAやAIを実際に体験してもらいたいと考えています。そのアプリにRPAの機能やAIを用いることで企業情報システムの理解を深めてもらいたいと思っています。
本講義には必ずBYODパソコンが必須です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
(1)　業務プロセスについて説明できる
(2)　ノーコード・ローコード開発を説明できる
(3)　RPAやAIの機能を説明できる
以上の獲得を目標とします。

【成績の評価】
授業への取組　10%　レポート　30%、授業の成果物　60%で評価する
レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
定期指示する

【参考文献】
手を動かして学ぶ Google AppSheet ノーコード開発入門 単行本　イルカのえっちゃん (著)
シーアンドアール研究所　￥3,102 税込 ISBN-13　:　978-4863544727　2025年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション オリエンテーションとしてシラバスを用いて講義内容を説明する。	予習として「データベース論」の内容の振返り　3時間 復習として履修理由のレポートの作成　1時間	
2	企業情報システムとDX DXが企業情報システムに与えた影響について説明する。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
3	要件定義とは 要件定義とその方法ついて説明と簡単な演習を行う。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
4	機能設計とは 機能設計とその方法について説明と簡単な演習を行う。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
5	データ設計とは データ設計とその方法について説明と簡単な演習を行う。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
6	正規化 正規化について説明と簡単な演習を行う。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
7	AppSheetとは AppSheetの利用方法とサンプルアプリについて説明する。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
8	AppSheet：サンプルアプリの作成 演習形式でアプリ作成を行い、AppSheetへの理解を深める。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
9	AppSheet；RPAを用いた機能 RPAについて説明を行い、演習を用いて理解を深める。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	
10	AppSheet：AIを用いた機能 AIの機能について説明し、演習を用いて理解を深める。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること　２時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	アプリ作成：アプリの機能 演習形式で、自分で作成するアプリの概要等を決定する。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること ２時間	
12	アプリ作成：データの準備 演習形式で、アプリ作成に必要となるデータを準備し、正規化を行う。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること ２時間	
13	アプリの作成：アプリの作成 演習形式で、アプリを完成させる。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること ２時間	
14	レビュー 作成したアプリについてレビューを行う。	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること ２時間	
15	企業情報システムのこれから 全体のまとめとして、アプリの講評とこれからの企業情報システムに必要となる知識・技術等について説明する	予習として、授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。2時間 復習として、講義内容から提示されるキーワードについて調べ、ノートにまとめること ２時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF321
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： データベース論
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
　この授業では、データベースの設計・運用・管理等の基礎的な知識の習得を目標としています。データベースは、データを使いやすいように整理して集積したもので、将来、情報システムの導入や開発に関わる仕事をするためには、必須の知識になっています。また、データサイエンスにおいては、基盤技術の1つでもあり、データベースに関する知識・技術を習得することは、これからの社会人にとって非常に重要なものとなっています。

なお、この授業はBYODパソコンが必須です。

下記の授業計画は参考であり、皆さんの理解度に応じて変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
(1)　データベースに関する基礎知識を理解し、説明できる
(2)　リレーショナルデータベースの基本的な操作を理解し、SQL文を記述できる
(3)　適切なデータの構造を理解し、システムのデータフローを理解できる
(4)　データサイエンスにおけるデータベースの役割を説明できる

【成績の評価】
授業への取組みとレポート（10%）、定期試験（90%）
レポート、定期試験については、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
標準SQL＋データベース入門　西村めぐみ（著）　技術評論社　2024年　￥2,600円＋税　ISBN-13　：978-4-297-14469-2

【参考文献】
適宜指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション BYODパソコンの設定等について説明するので必ずじさんすること	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読　2時間 復習として履修理由のレポートの作成　2時間	
2	データベースとDBMS	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
3	DBMSのインストール BYODパソコンを必ず持参すること	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
4	テーブルの作成	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
5	正規化の基本	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
6	正規化の例	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
7	ER図の基本	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
8	ER図の例	予習としてここまでの授業内容の振返り　3時間 復習として、中間試験の振返り　1時間	
9	SELECT文の基本	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	テーブルの連結と集約関数	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
11	CASE文とサブクエリ	予習としてテーブルの正規化についノートにまとめること　3時間 復習として、授業の成果物の振返り　1時間	
12	データベースの設計	予習としてER図とその作成方法についてノートにまとめること　3時間 復習として、授業の成果物の振返り　1時間	
13	クエリーの設計	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
14	データサイエンスとデータベース 企業経営におけるデータサイエンスの一例としてデータ駆動型経営とデータベースの関係性について説明する	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
15	これまでのまとめと今後のデータベースの重要性について	予習としてここまでの授業内容の振返り　3時間 復習として、ここまでの授業で興味を持ったことをノートにまとめる　1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF202
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報産業概論
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
　IT業界には様々な業態の企業や職種が存在し、それらが複雑に組み合わさることでIT業界が存在しています。また、IT業界の変化は急激でかつ複雑です。
本講義は、IT業界の仕組みについて講義を行い、IT業界に就職を希望する学生に必要となる基礎知識の獲得を目標としています。

　下記の授業計画は参考であり、皆さんの理解度に応じて変更することがあります。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

高等学校教諭一種免許状（情報）必修

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
(1)　IT業界について説明できる
(2)　IT業界で必要となる技術を説明できる
(3)　IT業界での業務内容を説明できる
(4)　IT業界のトレンドを説明できる

以上の獲得を目標とします。

【成績の評価】
授業への取組みとレポート（10%）、授業後のレポート（30%）、最終レポート（60%）
レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
世界一わかりやすい IT業界のしくみとながれ 第6版　イノウ（著）　ソシム（株）　2024年　￥3,190
ISBN-13　：　978-4802614863

【参考文献】
適宜指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要を説明する。	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読　2時間 復習として履修理由のレポートの作成　2時間	
2	IT業界の仕組み IT業界を構成する企業や業種等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
3	IT業界のサービス 提供されているサービスやその提供方法等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
4	IT業界のプレイヤー IT業界内の企業やその役割等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
5	IT業界のキャリア IT業界内の職種やその役割について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
6	システム開発とは システム開発の流れ等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
7	要求とは 要求分析やシステム提案等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
8	要件とは 要件定義について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
9	設計とは 外部設計、内部設計等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	テストと導入とは システムのテストや導入方法について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
11	運用管理とは 運用管理とその方法等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
12	IT業界のトレント IT業界の歴史について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
13	IT業界の新しい流れ IT業界の変化や今後等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
14	DXとIT業界 DXとIT業界の関係等について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること　2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること　2時間	
15	全体のまとめとこれからのIT業界 全体のまとめとIT業界の未来について説明する。	予習としてテキストの振返り　2時間 復習として、最終レポートの作成　2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF322
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： システム構成論
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　企業がWWWサイトやSNSを利用して広報・営業するだけでなく、企業内の業務を支援するためにWWW技術を利用した情報システムを構築しているのが当たり前の時代ですが、中小企業や中堅企業では、ネットワーク管理部署を設置したり、専任のネットワーク管理者をおくことが難しい現状があります。皆さんが卒業後に働く現場で、ネットワーク管理の仕事を依頼されたり、業者との折衝を任されるかも知れません。
　この授業では、WWWベースのシステムを通じて、情報システムの構成要素や情報システムを構築する際の注意点などを学習します。様々なビジネスへ適用している事例を紹介するのに加え、オンラインショッピングサイトなどやWWWベースの業務支援システムを構成する技術、および、業者との打合せに必要な事柄を学習します。
　この科目は、情報ネットワーク論、コンピュータネットワーク論、データベース論の内容を理解していることを前提とします。
　この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1. WWWベースの情報システムの様々なビジネスへの適用例を知り、概要を説明できる。
2. 三層クライアント・サーバシステムの概要を理解し、説明できる。
3. WWWベースの情報システムを構成する技術を理解し、説明できる。
4. 業務を遂行するのに必要な情報システム全体の概要を構想できる。
5. 業務を遂行するのに必要な情報システムを外部の業者に発注することができる。

【成績の評価】
授業における取組みと実技課題（30%）、小テスト（20%）、定期試験に代わる課題（50%）
小テストおよび定期試験に代わる課題についてはメール等により採点結果を通知し、実技課題については優秀例を解説することで、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
資料を配布します。

【参考文献】
押切 孝雄ほか『はじめてでもよくわかる！Webマーケティング集中講義』（マイナビ） ISBN978-483995068, ￥2,380+税.
小林 恭平ほか『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb技術の基本』（SBクリエイティブ） ISBN978-4797388817, ￥1,680+税.
きはし まさひろ『イラスト図解式 この一冊で全部わかるサーバーの基本』（SBクリエイティブ） ISBN978-4797386660, ￥1,680+税.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
2	なぜWebシステムは広く利用されるのか	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
3	HTMLの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：HTMLに関する課題(4時間)	
4	CSSの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：CSSに関する課題(4時間)	
5	HTTPとWWWコンテンツの公開と管理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：フォルダ構成とアクセス権限に関する課題(2時間)	
6	動的コンテンツを構成する技術(1)：CGIの仕組みとPerlの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：CGIに関する課題(2時間)	
7	動的コンテンツを構成する技術(2)：ファイル操作と排他制御処理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：プログラムからのファイル操作に関する課題(2時間)	
8	動的コンテンツを構成する技術(3)：JavaScript,PHP,JSP,Java Applet	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：デプロイメントに関する課題(2時間)	
9	システム構成要素・データベースとの連携(1)：Webシステムにおけるデータベース	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：データベースに関する課題(6時間)	
10	システム構成要素・データベースとの連携(2)：RDBにおけるテーブルの管理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
11	システム構成要素・データベースとの連携(3)：プログラムからのデータベース操作	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
12	セキュリティの基礎とアクセス制御(1)：Apacheにおけるアクセス制御の設定	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：アクセス制御に関する課題(6時間)	
13	セキュリティの基礎とアクセス制御(2)：SSL、Basic認証、XAuth認証、OAuth認証	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
14	不正アクセス対策と負荷分散	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF261
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報コンテンツ表現概論
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　現在、企業の広報活動において、様々なチャネルを用いることによる消費者とのコミュニケーションの重要性が高まっています。このようなコミュニケーションにおいては、目的を効果的に達成するためのコンテンツ選択やその表現技術が重要です。この授業では、コンテンツ制作に必要な様々な知識について、特に、静止画像・文字・音声に焦点を当て、その基礎知識と活用方法を学習します。
　関連科目として「情報基礎」が既習であることを前提とします。また「情報コンテンツ表現演習」では動画に焦点を当てて学習しますので、続けて受講することを推奨します。
　この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1. マルチメディアの概念について、他者に説明できる。
2. 各種ファイル形式について概要を理解できる。
3. 各種コンテンツ制作の仕様を理解できる。
4. 様々な目的を達成するために表現技術を活用できる。

【成績の評価】
授業における取組みと制作課題（25%）、小テスト（25%）、定期試験代わりの課題（50%）
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メール等を通じて採点結果を返却します。制作課題については、優秀作品について講評を行うことにより、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
資料を配布します。

【参考文献】
知的財産教育協会「インターネットユーザのための事例で学ぶ知的財産権の基礎知識」（日本経済新聞社）ISBN978-4-532-49010-2, ￥1,600+税.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(1時間)	
2	画像処理の基礎とファイル形式の変換	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(2時間)	
3	静止画像の加工(1)：領域選択、色調変換	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：領域選択及び色調変換に関する課題(5.5時間)	
4	静止画像の加工(2)：レイヤー、変形	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：レイヤー及び変形に関する課題(5.5時間)	
5	静止画像の加工(3)：パス、マスキング	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：パス及びマスキングに関する課題(5.5時間)	
6	画像データの仕組み	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(4時間)	
7	文字とフォント	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：フォントに関する課題(2.5時間)	
8	ロゴマークの作成	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：フォントに関する課題(5.5時間)	
9	音声データの加工と編集(1)：MIDIシーケンサ	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：MIDIデータに関する課題(3.5時間)	
10	音声録音の仕組み：標本化・量子化・符号化	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(4時間)	
11	音声データの加工と編集(2)：波形処理ソフト	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：波形処理に関する課題(1.5時間)	
12	音声データの加工と編集(3)：ノイズとフィルタ	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：フィルタに関する課題(1.5時間)	
13	音声データの加工と編集(4)：より高度な音声編集	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間) 課題：音声編集に関する課題(7.5時間)	
14	コンテンツの利用と知的財産権：著作権と保護技術	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(4時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF223
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報システム論
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　現在、情報システムは、企業の活動の基盤として、なくてはならないものになっています。単に人手を置き換えることで人件費を削減するだけでなく、経営者から末端の従業員まで幅広い立場の者の意思決定を支援し、新しい経営戦略や新しいビジネスプロセスを実現する基幹としての役割を果たすようになっています。ビジネスの構想のなかに情報システムを組み込み、情報システムを実際に稼動させる過程を把握することは、経営者にとって必須の知識です。
　この授業では、情報システムの開発に焦点を当てながら情報システムに関わる様々な物事を学習し、先人たちによる企業の情報化の取り組みで得られた様々な知恵について学んでいきます。
　関連科目として、「情報基礎」「経営情報概論」が既習であることを前提とし、前後の近い時期に「情報産業概論」「プログラミング」「情報ネットワーク論」を履修することを推奨します。また、「データベース論」「システム構成論」に連携します。
　この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．企業における情報システムの役割を説明できる。
2．情報システムの開発の流れと各工程の概要を説明できる。
3．情報システムの保守や文書管理の重要性を説明できる。
4．情報システムの要件を定義し、文書化できる。

【成績の評価】
授業への取組みとコメント（25%），小テストおよび課題（25%），定期試験代わりの課題（50%）
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メールにて採点結果を返却し、コメントや課題については優秀なものについて解説することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】
小泉寿男ほか『ソフトウェア開発（改訂2版)』（オーム社），2015，ISBN978-4-274-21841-5.
きたみりゅうじ『キタミ式イラストIT塾ITパスポート令和07年』（技術評論社），2024，ISBN978-4-297-14478-4.

【参考文献】
羽生章洋『はじめよう！要件定義 ～ビギナーからベテランまで～』（技術評論社），2015，ISBN978-4774172286
，￥1,980+税.
細川義洋『なぜ、システム開発は必ずモメるのか？ 49のトラブルから学ぶプロジェクト管理術』（日本実業出版社），2013，ISBN978-4534051158，￥2,000+税.
岡島幸男ほか『プロマネやってはいけない（計画・管理編）』（日経BP社），2011，ISBN978-4822211905，￥1,600+税.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、情報システムの役割	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
2	情報システムのライフサイクル	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
3	システム開発の流れと代表的な開発モデル	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
4	業務のモデル化と要件定義、ユーザインタフェース	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
5	コード設計と入力チェック	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
6	動作検証(テスト工程)	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
7	プロジェクトマネジメント、アローダイヤグラム	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
8	サービスマネジメント、システム監査	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
9	プログラミング	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
10	アルゴリズムとデータ構造	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
11	システム構成、性能指標	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
12	故障対策、信頼性と稼働率、バックアップ	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
13	電子商取引	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
14	システム開発に関連する法規、請負と派遣	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間) 定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF264
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： データエンジニアリング基礎
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
データエンジニアリングとは，データを収集・処理・蓄積することであり，データ・AI利活用にとって非常に重要な役割を果たしています。この授業では，データエンジニアリングを中心に，コンピュータでデータを収集・処理・蓄積するための技術の概要をはじめ，コンピュータ内でのデータの表現，データの収集・編集方法等について理解し，データ・AI利活用の基礎的な能力の獲得を目指します。

また，高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
(1) Pythonを用いてデータを収集・処理・蓄積するための技術の概要が理解できる
(2) データを扱うためのデータ表現の基礎が理解できる
(3) Webサイト等からデータを検索し，収集できる
(4) 数千件～数万件のデータを加工処理するプログラムが作成できる

【成績の評価】
提出された課題の内容（70%），データ分析プロジェクトの内容（20%），受講態度(10%)で評価する。
各課題においての回答傾向概要を報告することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
最短コースでわかる Pythonプログラミングとデータ分析　赤石 雅典(著)　日経BP　2022年　￥3,190　ISBN-13：978-4296201129

ChatGPTと学ぶPython入門 「Python×AI」で誰でも最速でプログラミングを習得できる！　熊澤 秀道（著）　翔泳社　2023年　￥1,980＋税　ISBN-13：978-4798182230

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	・オリエンテーション ・データエンジニアリングの説明 ・JupyterLite環境によるPython体験	予習：「データエンジニアリング」について事前に情報収集を行う（2時間） 復習：授業で紹介した環境の再現と使用コードの振返り(2時間)	初回授業から必ずNOTEPCを持参すること
2	・データエンジニアリングに必要となる知識についての講義 ・Pythonの文法とデータ型	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
3	コンテナデータ型とそれらを用いたPythonの制御文	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
4	関数をつくってみる	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
5	Pandas/GeoPandasの概要とデータ表現	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
6	Pandasによるデータのハンドリング	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
7	データフレームに格納されたデータの要約と可視化	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
8	データのクリーニング	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
9	Pandasにおけるデータの結合と検索	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
10	Google colaboの紹介とPython実行環境の使い分け	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
11	Google Colaboを用いたpandasによるデータの収集・加工	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
12	Google Colaboを用いたpandasによるデータの可視化	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
13	Google ColaboのGPUを利用したデータ処理	予習：授業内容を事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
14	演習：データ分析プロジェクト（1） 課題発見・解決に必要となるデータをWeb上から収集し，そのデータを加工し可視化する。	予習：自らが取り組むデータ分析プロジェクトを事前調査し，Jupyter Notebookファイルにコードとメモをまとめること(2時間) 復習：授業で使用したコードの振返り　(2時間)	
15	演習：データ分析プロジェクト（2） データ分析のレポートを作成する。	予習：自らが取り組むデータ分析プロジェクトのブラッシュアップを実施すること（2時間) 復習：自らが作成したレポートの振返り　(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS317
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ビジネスインテリジェンス
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
現代では、企業が持つデータは様々な形式があり、またその量は膨大なものとなります。そのような、多種多様な膨大なデータをビッグデータと呼び、それを分析する方法はBI（Business Intelligence）と呼ばれ、データ駆動型経営には必要不可欠なものとなっています。

この授業では、BIとして機械学習によるデータ分析について講義・演習を行い、データの取扱いに長けた人材を育成することを目的としています。

なお、この授業はBYODパソコンが必須です。

下記の授業計画は参考であり、皆さんの理解度に応じて変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
(1)　BIについて説明できる
(2)　データの可視化を説明できる
(3)　AIを用いたデータ分析ができる

【成績の評価】
授業への取組み（10%）、レポート（90%）
レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
pandas&Plotly 2D/3Dデータビジュアライゼーション実装ハンドブック　大川洋平（著） 秀和システム　2024年
￥3,630 税込　ISBN-13 ： 978-4798068909

実務で役立つPython機械学習入門 課題解決のためのデータ分析の基礎
池田 雄太郎、田尻 俊宗 新保 雄大 共著
翔泳社　2023年　￥3,300　ISBN-13:978-4798184890

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ビッグデータの登場とBIの手法	予習として前期の科目である「データエンジニアリング基礎」の振返り　3時間 復習として履修理由のレポートの作成　1時間	
2	BIにおけるAIの利活用とその歴史 AIを用いたデータ分析とその歴史について説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
3	機械学習モデルを使ったデータ予測 機械学習モデルを用いたデータ予測について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
4	機械学習モデルの評価 MLの評価方法について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
5	課題分析 課題分析の手順や手法について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
6	データの収集・観察 Web上でのデータの収集方法、Webスクレイピングを含むとその観察方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
7	特徴量エンジニアリング 特徴エンジニアリングについて説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
8	データ分析の問題点 AIの倫理、個人情報等の取扱時の問題点について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
9	データ分析プロジェクトの進め方 データ分析プロジェクトの進め方について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること　2時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　2時間	
10	データ分析演習　その1 テーマの選定する。	予習としてテーマ設定の方法について調査し、ノートにまとめること　3時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　1時間	
11	データ分析演習　その2 データの収集と加工を行う。	予習として分析に必要となるデータを調査し、そのデータの加工方法を調査し、ノートにまとめること　3時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　1時間	
12	データ分析演習　その３ 学習モデルの構築	予習としてAIの学習モデルについて調査し、ノートにまとめること　3時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　1時間	
13	データ分析演習　その4 データ分析を行う。	予習としてここまでのデータ分析の結果を振返り、ノートにまとめること　3時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業で作成したノートブックの振返り　1時間	
14	データ分析演習　その5 データ分析の結果をレポートとしてまとめる。	予習として、データ分析演習の振返り　3時間 復習として授業で作成したノートブックの振返り　1時間	
15	全体のまとめとこれからのBI	予習としてここまでの授業内容の振返り　3時間 復習としてデータ分析の様々手法の調査し、ノートにまとめること　1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF262
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報コンテンツ表現演習
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　現在、企業の広報活動において、動画配信の活用による消費者とのコミュニケーションの重要性が高まっています。特に、コンテンツサービス業務においては、目的を効果的に達成するための表現技術が重要になっています。この科目では、コンテンツ制作に必要な様々な知識について、特に、動画に焦点を当て、その基礎知識と活用方法を学習します。関連科目として、「情報基礎」と「情報コンテンツ表現概論」が既習であることを前提とします。
　この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

　なお、使用ソフトウェアのライセンス個数に限りがあるため、時間割記載の授業時間における対面での受講者は、40名までに限定します。優先順位は、教員免許（情報）取得希望者 ＞ 経営情報コース ＞ 成績GPA　の順になります。選にもれた受講生については、5校時や土曜日などの時間枠を設定して授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.　動画の仕組みやマルチメディアの概念について、他者に説明できる。
2.　各種ファイル形式、および、コンテナフォーマットの概要について理解できる。
3.　各種コンテンツ制作の仕様を理解できる。
4.　様々な目的を達成するために表現技術を活用できる。

【成績の評価】
授業内の制作物（25%）、小テスト（25%）、課題（50%）
小テストについては採点済答案を返却し、課題については優秀作品について講評を行うことにより、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
家子史穂，千崎達也「仕事に使える動画術」（翔泳社）ISBN978-4-7981-4164-0，￥1,800+税.
マウンテンスタジオほか「これからはじめるPremiereProの本[改訂2版]」（技術評論社），ISBN978-4-297-12417-5，￥2,600+税.

【参考文献】
知的財産教育協会「インターネットユーザのための事例で学ぶ知的財産権の基礎知識」（日本経済新聞社）ISBN978-4-532-49010-2，￥1,600+税.
日本映画・テレビ編集協会編「図解　映像編集の秘訣」（玄光社）ISBN4-7683-0099-5，￥2,000+税.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間)	
2	動画編集ソフト	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
3	動画の歴史とパラパラ漫画	課題：パラパラ漫画(1時間)	
4	パラパラ漫画から動画へ	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
5	撮影と照明	課題：ホワイトバランス(1時間)	
6	動画にとっての音声	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
7	構図・カメラワークと遷移	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
8	演技と絵コンテ	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
9	生成AIの活用	課題：絵コンテ(2時間)	
10	ストーリー構成(1)：三幕構成	課題：ストーリー分析(4時間)	
11	ストーリー構成(2)：関係の変化	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
12	動画の企画と企業での活用	課題：動画制作(8時間)	
13	動画編集	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
14	動画配信と知的財産権	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間)	
15	総括：より魅力的な動画を目指して	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る(0.5時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF341
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： コンピュータネットワーク論
担当教員： 最所　圭三(SAISHO　Keizo)

【授業の紹介】
　インターネットは、情報発信や情報収集、コミュニケーション、電子商取引、クラウドの利用などを支える社会基盤であり、社会生活に欠くことができないものです。企業や団体などの多くの組織で組織内のネットワークが構築され、インターネットに接続されていますが、皆さんが卒業後に働く職場において、ネットワーク管理に関する業務に携わる可能性もあります。
　この授業では、そのような立場になったときに必要とされる知識を得ることを目的として、インターネットの仕組み、インターネットへの接続やネットワーク管理に必要な基礎知識、ネットワークセキュリティの基礎知識などについて学びます。具体的には、ネットワークでの通信で用いられる通信の約束事であるプロトコル、プロトコルの階層化ろそれぞれの階層の役割、無線通信、ストリーミング、ユーザ管理、暗号通信、ファイアウォールおよびネットワーク監視について学びます。
　なお、この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1. 通信におけるプロトコルがどのようなものであるか説明できる。
2. インターネットで用いられているプロトコルの階層化と各階層の役割を説明できる。
3. 仮想ネットワークやストリーミングについて説明できる。
4. ユーザ管理について説明できる。
5. 暗号化通信およびファイアウォールについて説明できる。
6. ネットワーク監視のためプロトコルやツールについて説明できる。

【成績の評価】
　レポート（20%）、小テスト（20%）、中間試験（30%）、定期試験（30%）で評価する。ただし、レポートを5回以上提出しない場合は合格点に達していても不合格とする。
　レポートについては、次の回の授業の開始時に解説することでフィードバックする。
　小テスト、中間試験、定期試験については、試験後に解答例を示すことでフィードバックする。

【使用テキスト】
福永勇二「イラスト図解式　この一冊で全部わかるネットワークの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-8156-1767-7、 / 1720E、2023年

【参考文献】
増田若奈、根本佳子「図解 ネットワーク 仕事で使える基本の知識 [改訂新版]」(技術評論社)、ISBN978-4-7741-97777-7、 / 1680E、2018年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	なし	
2	通信プロトコルの概要	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
3	OSI7階層モデルにおける物理層	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
4	コンピュータをネットワークに接続するためのネットワークインタフェース層	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
5	世界規模の通信を実現するインターネット層	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
6	インターネット層でのルータの役割	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
7	無線LANと仮想ネットワーク	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
8	ネットワークプログラム同士の通信を実現するトランスポート層	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
9	これまでの授業のまとめ，中間試験	第2回から7回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(6時間)	
10	TCPにおける通信の信頼性の実現	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
11	ストリーミングとIP電話	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
12	ユーザ管理	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
13	暗号化技術とファイアウォール	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
14	ネットワーク監視プロトコルとネットワーク監視ツール	今回の授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
15	後半の授業のまとめ：重要項目の解説	第8回および第10回から14回までのレポートを振り返ることで後半の授業内容の理解度を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		深める(6時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC211
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 簿記論
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　本講義では、日商簿記検定２級の範囲に含まれる商業簿記の中から、基本的な論点について学修します。これにより日商簿記検定２級相当の簿記および会計学の知識を身につけ、経理・財務部門の専門職を目指す人に必要な知識・能力を養成することを目的としています。また、簿記の仕訳や会計学の理論の背景にある論理について理解を深めることにより、経理・財務部門の専門職として活躍する上で必要となる思考力を養います。
　関連科目として「簿記演習Ⅰ」、「簿記演習Ⅱ」が既習であることを前提とします。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。
　※毎回、電卓（12桁）を必ず持ってくるようにしてください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	4
		③　専門知識活用能力	3
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.日商簿記検定２級程度の商業簿記について、基本的な論点を理解できる。
２.上記の基本的な論点を問う問題を解くことができる。

【成績の評価】
　課題（50%）、中間テスト（25%）、確認テスト（25%）により総合的に評価します。
　なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に結果を開示するとともに、解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社 ※最新版を参考文献にします。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／株式会社とは何か？	予習として「財務会計」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	株式の発行	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	剰余金の配当と処分	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	税金	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	商品売買	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	銀行勘定調整表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	重要項目の確認と中間テスト	予習として第１回から第６回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
8	固定資産の購入・減価償却・売却など	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	固定資産の除却・改良、建設仮勘定など	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	研究開発費と無形固定資産	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	有価証券の購入と売却、配当金の受け取りなど	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	端数利息の処理、満期保有目的債権の評価	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	引当金	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	収益の認識基準	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第８回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC222
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 財務会計論
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　会計は、ある特定の経済主体の経済活動を、貨幣額などを用いて計数的に測定し、その結果をまとめて利害関係者に伝達するためのシステムであるとされています。そのため、財務諸表を読み取る力を修得すると、財務諸表を通して企業の実態を知ることができるようになります。本講義は、こうした力を養うことを目的としています。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。
　関連科目として「簿記論」が既習であることを前提とします。
　本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.財務諸表の構成を理解し、会計情報を読み取ることができる。
２.読み取った会計情報を分析し、解釈することができる。

【成績の評価】
　課題（50%）、中間テスト（25%）、確認テスト（25%）により総合的に評価します。
　なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社 ※最新版を参考文献にします。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／財務会計の機能	予習として「財務諸表分析」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	貸借対照表の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	損益計算書の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	収益性の分析（総資本事業利益率）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	収益性の分析（自己資本純利益率）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	収益性の分析（資本利益率の分解）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	重要項目の確認と中間テスト	予習として第１回から第６回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
8	安全性の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	成長性の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	不確実性によるリスクの分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	キャッシュ・フロー情報の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	連結財務諸表／セグメント情報の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	会計情報と資本市場の関係	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第８回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC231
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 原価計算論
担当教員： 梶　正司(KAJI Masashi)

【授業の紹介】
原価計算は，特に製造企業において用いられる会計であり，製品原価の計算のみならず，企業内部で行われる様々な活動から発生するアウトプットの原価を計算する会計である。したがって，原価計算は企業が限られた経済的資源を効果的に利用するために必要な会計であり，規模や業種を問わず，あらゆる企業経営において不可欠な知識・技術である。本講義では，資源の投入から様々なアウトプットが算出されるまでに行われる価値の移転を意識しながら各種の知識・技術・思考を身に付けることにより，地域企業・地域社会に貢献し得るための能力を身に付けることを目的とする。
　高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための選択科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	4
		③　専門知識活用能力	3
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①工業簿記の構造を理解し、正確に記録・計算・整理できる。
②帳簿や書類を読み取り、情報を正確に理解できる。
③日本商工会議所「原価計算初級」の取得を目指す。

【成績の評価】
①課題の提出･検定試験･単元テスト(25%)、②授業態度(25%)、③期末試験(50%)により評価する。ただし、４５分以上の遅刻は欠席とみなし、４５分未満の遅刻も３回で欠席１回とみなす。課題の提出状況をチェックして以後の授業に対しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
スッキリわかる日商原価計算初級　滝澤ななみ（TAC出版）

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 原価計算の基礎	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
2	原価計算初級の仕訳	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
3	原価計算の流れ	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
4	勘定連絡図	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
5	材料費	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
6	労務費労務費	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
7	経費	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	製造直接費	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
9	製造間接費	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
10	製品原価の計算	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
11	損益計算書の作成	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
12	変動費と固定費	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
13	ＣＶＰ分析	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	
14	予算実績差異分析	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。また、指定された課題等がある場合は次回までに仕上げること。（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	原価計算初級模擬問題にチャレンジ	予習として教科書の該当するページに目を通し、新しい勘定科目や疑問点などにアンダーラインなどを付し授業の準備を行なうこと。（１時間） 復習として、授業中に作成したプリントや資料などをファイルにまとめ、後で確認できる状態に保存すること。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC331
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営分析論
担当教員： 吉田　政之(YOSHIDA　Masayuki)

【授業の紹介】
企業が公表する決算書は企業情報の宝庫といわれており、企業の活動について総合的な知識を得るための重要な情報源である。そこで本講義は、企業の決算書から売上高や純利益などの財務データを用いて企業の収益性・安全性・効率性などを分析する方法を学習します。
このような知識は社会に出てから自分の会社の経営状態を分析する際に不可欠です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.目的に応じた財務指標が選択できる。
2.選択した財務指標が計算できる。
3.分析結果を適切に考察できる。

【成績の評価】
平時の課題 50%、期末レポート 50%により評価する。
期末レポートは最終講義より後の期末試験期間中に提示する。
平時の課題は翌講義時に解説を行う。

【使用テキスト】
なし。スライドを配布する。

【参考文献】
『財務諸表分析（第4版）』（乙政正太，同文舘出版 ： 2024)

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	財務諸表分析の基礎	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモする。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
2	連結貸借対照表の見方	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモする。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
3	連結損益計算書の見方	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモする。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
4	連結キャッシュ・フロー計算書の見方	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
5	財務諸表外情報の見方	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
6	貸借対照表データによる安全性分析1 短期的な安全性分析	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
7	貸借対照表データによる安全性分析2 長期的な安全性分析	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
8	損益計算書データによる収益性分析1 段階別売上利益率	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
9	損益計算書データによる収益性分析2 ブロフォーマ利益・セグメント別の分析	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
10	相互関係比による収益性分析1 ROAとROE	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
11	相互関係比による収益性分析2	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	デュポン分解	経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
12	効率性分析 総資産回転率	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
13	キャッシュ・フロー・データによる分析1 キャッシュ・フロート会計利益	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
14	キャッシュ・フロー・データによる分析2 フリー・キャッシュ・フロー	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
15	ラップアップ 要点の整理	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配布資料やメモを読み返して質問等をメモしたり計算を追いかける。参考文献の章末問題に取り組んでみる。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC232
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 管理会計論
担当教員： 早川　翔(HAYAKAWA　Sho)

【授業の紹介】
管理会計は、経営管理のために行われる会計です。管理会計による会計情報は、企業内部の経営者から各部門の管理者を含む経営管理者が、意思決定や業績管理を行う際に利用されています。そして、会計数値を用いて経営管理を行う知識は、企業に属するすべての人々に必要なものです。本講義では、管理会計によってどのような会計情報が作成されるのか、および会計情報がどのような分析に用いられているのかなどに関して学習します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	4
		③　専門知識活用能力	3
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
管理会計の目的を説明できる。
管理会計による会計情報の作成方法を説明できる。
管理会計による会計情報の分析方法ついて説明できる。

【成績の評価】
毎回の授業後に実施する課題100%で評価します。具体的な取組方法は第１回の授業で説明します。課題の解説などは次回の授業で実施します。

【使用テキスト】
なし。講義資料は毎回プリントを配布します。

【参考文献】
谷武幸（2022）「エッセンシャル管理会計：第4版」中央経済社　ISBN-10　4502439010

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	管理会計とは 管理会計と財務会計の違い、管理会計と企業経営との関わりを学習します。	予習として、管理会計について書籍等で調べ、授業内容について概要を掴んでおく。(2時間)復習として、授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)	
2	原価の基礎概念 管理会計を学ぶうえで必要な原価の知識を学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
3	CVP分析 CVP分析と呼ばれる、利益計画を立てるための分析方法を学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
4	予算管理と責任会計 企業で、年間の予算をどのように立てれば良いかを学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
5	直接費の差異分析 直接費について予算と実績の差異を分析する方法を学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
6	製造間接費の差異分析 製造間接費について予算と実績の差異を分析する方法を学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
7	操業度差異と販売数量差異 操業度差異と販売数量差異の関係について解説を行います。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
8	原価変動の決定要因 原価がどのように発生するのかについて学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
9	差額分析 経営上の意思決定において用いられる差額分析の考え方を学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
10	顧客収益性分析 顧客ごとに収益性を把握する方法について学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
11	複数製品に対する差異分析 複数製品を製造する企業が差異分析を行う方法について学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
12	資本予算①（正味現在価値法と内部収益率法） 長期的な設備投資計画をどのように行うかを学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
13	資本予算②（回収期間法と発生主義会計収益率法） 長期的な設備投資計画をどのように行うかを学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
14	事業部の業績評価と利益調整 会計数値で事業部の業績を評価するうえで、	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	どのような点に注意すれば良いかを学習します。	と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
15	経営者の業績評価 経営者の業績を評価するうえで、どのような点に注意すれば良いかを学習します。	予習として、前回の授業動画と配付資料を見返す。(2時間)復習として、今回の授業動画と配付資料を見返し、質問等をメモする。(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC321
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 監査論
担当教員： 井上　善弘(INOUE Yoshihiro)

【授業の紹介】
財務諸表監査は，企業の公表する財務諸表の信頼性を独立した第三者の立場から保証することをその任務とする。財務諸表監査は，今日の経済社会における重要なインフラストラクチャーのひとつであると考えられている。本授業では，財務諸表監査の目的と基本的な概念について，監査理論の観点から詳述する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１　財務諸表監査の意義と役割について理解することができる。
２　財務諸表監査の目的と基本的な概念について理解することができる。
３　財務諸表監査を支える監査理論の特徴について理解することができる。

【成績の評価】
期末試験による（100%）。

【使用テキスト】
イアン・デニス著，井上善弘翻訳『財務諸表監査の基礎理論』中央経済社，2022年，4620円（税込）。

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	監査とは	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
2	財務諸表監査の意義	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
3	財務諸表監査の必要性	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
4	監査理論の特徴	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
5	監査理論における概念探究	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
6	監査の目的	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
7	監査公準	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
8	監査意見（その１：「真実かつ公正」の意味内容）	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
9	監査意見（その２：「真実かつ公正」に対する概念探究）	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
10	監査証拠（その１：意義と分類方法）	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
11	監査証拠（その２：規準となる証拠）	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
12	監査証拠（その３：蓋然性と監査証拠）	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
13	財務諸表監査における懐疑心	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
14	財務諸表監査における重要性	予習（２時間）・復習（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
15	監査の意義，財務諸表監査の目的について確認する。 財務諸表監査に関わる諸概念について確認する。	予習（２時間）・復習（２時間） 教科書の指定箇所の予習，教科書の指定箇所及び配布資料の復習。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC322
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 会計学史
担当教員： 橋本　武久(HASHIMOTO Takehisa)

【授業の紹介】
会計学，そしてその前提となる複式簿記の発生からその後の理論的展開について，社会経済的背景を踏まえて講義を行います。
簿記や会計は，単なる計算構造とその理論と理解されがちですがそうではありません。それぞれの時代や地域に起こる様々な経済的な出来事を反映し，そこで簿記や会計に関わる商人たちの記録計算上の要求を反映して革新し理論的に展開をしてきています。
そこで，この講義では，簿記や会計学がなぜ，どのように生まれたかを概観した上で，理論面だけではなくわが国の戦後の会計制度にも大きな影響を与えたアメリカの学説を学びます。
なお，この講義では，たんにそれぞれの理論や学説の中身を紹介するだけではなく，なぜそのような理論や学説が必要とされたのかについて，社会経済的に画期的な出来事，たとえば株式会社の発生がどのような影響を与え，簿記や会計学の革新につながったのかを一緒に考え，その存在意義を考えてみたいと思います。
また，21世紀に入って大きな潮流となっている会計基準の国際化を踏まえて，会計学がどのように変わろうとしているのかについても解説し，今後の社会の変化と会計学の在り方についてもディスカッションやディベートを通して受講者の理解をより深めることとします。
この授業では，Google Classroom（クラスコード：ffacnvc）を使用し，資料の配布を行うなど，ICTを活用したインタラクティブな授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
1．複式簿記や会計学を史的に学ぶことによりその社会経済的意義を理解することができる。
2．簿記や会計学の現代的意義や今後の展開について考える力を身につけることができる。

【成績の評価】
授業中の受講態度や質疑応答などで10%。たとえば「なぜ複式簿記は生まれ，これほど長く使用されていると思いますか？」，「日本の会計はこれから国際会計基準と統一した方が良いと思いますか？」といったテーマでの議論（ディベート）に際しての発言などをもとに評価します。この他，課題の提出状況とその内容で20%，定期試験で70%とし，これらの合計100%で評価します。
なお，定期試験の採点基準や模範解答は、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】
なし。
講義資料をクラスルームにアップして配布しますので，事前にプリントアウトをして確認・予習をし、持参してください。

【参考文献】
中野常男・清水泰洋（2019）『近代会計史入門（第2版）』同文舘出版。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業の全体像と進行について講義します。 ［事前学習］シラバスを熟読しておいてください。（６０分） ［事後学習］配布資料をもとに，講義全体の構成をイメージできるようにしてください。（６０分）	※ 本講義は集中講義です。
2	複式簿記の発生：なぜ簿記は生まれたのか？	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「複式簿記の成立要件」について，100-200字程度でまとめておいてください。（９０分）	
3	複式簿記の誕生と Paciolo の「簿記論」の意義	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「イタリア式貸借簿記の特徴」について，100-200字程度でまとめておいてください。（９０分）	
4	常設的取引所の開設による複式簿記への影響	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「Ympyn簿記論の意義」について，100-200字程度でまとめておいてください。（９０分）	
5	株式会社の発生と複式簿記の革新	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「オランダ東インド会社の簿記システム」について，300-400字程度でまとめておいてください。（９０分）	
6	イギリスの簿記事情と簿記理論化の試み	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「仕訳帳アプローチの意義と限界」について，100-200字程度でまとめておいてください。（６０分）	
7	イギリスにおける複式簿記の革新と簿記理論の生成	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「イギリスにおける産業革命と複式簿記の革新」について，300-400字程度でまとめておいてください。（９０分）	
8	アメリカへの複式簿記の伝播と簿記理論の展開	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「ブックキーピング・バーター」について，100-200字程度でまとめておいてください。（６０分）	
9	ビッグ・ビジネスの形成と「会計学」の誕生	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。またわからない用語はマークし，講義内で確認してください。（６０分） ［事後学習］「Hatfield会計学の意義と限界」について，300-400字程度でまとめてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		いてください。（１２０分）	
10	アメリカの会計基準設定と会計理論①：大恐慌と会計及び会計基準設定	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。また，大恐慌について調べてきてください。(６０分) ［事後学習］授業の内容をレジュメに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(６０分)	
11	アメリカの会計基準設定と会計理論②：アメリカの会計原則設定運動	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。また，企業会計原則とは何かについて調べてきてください。(６０分) ［事後学習］授業の内容をレジュメに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(９０分)	
12	アメリカの会計基準設定と会計理論③：アメリカの会計基準設定団体の興亡と現在のアメリカの会計基準の設定機関	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。また，会計基準設定団体とは何かについて調べてきてください。(６０分) ［事後学習］授業の内容をレジュメに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(９０分)	
13	日本の会計基準設定と会計理論①：西洋会計制度が導入とその後の 会計基準設定	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。また，日本の会計基準について教科書で調べてきてください。(６０分) ［事後学習］授業の内容をレジュメに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(９０分)	
14	日本の会計基準設定と会計理論②：戦後の会計基準設定と国際化	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。また，IFRSについて教科書で調べてきてください。(６０分) ［事後学習］授業の内容をレジュメに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(９０分)	
15	まとめ：簿記や会計学の現代的意義や今後の展開	［事前学習］クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし，熟読してきてください。また，簿記会計学の現代的意義について考えてきてください。(６０分) ［事後学習］授業の内容をレジュメに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(９０分)	※ 集中講義であることから，授業の終了後，休憩をはさみ，直ちに授業内評価として試験を実施します。
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC332
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： コストマネジメント論
担当教員： 近藤　隆史(KONDO　Takahito)

【授業の紹介】
クラスコード： bxecmfu
　会計の中でも特に，コストマネジメントについて取り扱う。本講義での，コストマネジメント（原価管理とも呼ばれる）とは，教科書にも依拠し，「コスト（原価）」を考えることを通じて，コスト水準を適正レベルに維持するとともに，よりすぐれた組織，より的確な意思決定と経営戦略を導くためのマネジメントと捉えている。コストマネジメントには様々な手法が実践されている。これら手法について，必要に応じて事例も交えながら，理解を深めていく。（＊工業簿記や原価計算の基本的な知識を前提にしている部分もありますので，それらを履修し合格していることが望ましい。）

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	4
		③　専門知識活用能力	3
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①原価管理の重要概念について理解を深め自ら説明できるようになること。
②原価管理の総論・各論について体系的な理解ができること。
③会計の中における原価管理の役割,その特徴,実践的な意義について説明できるようになること。
④企業の行動を原価管理の視点から捉えることができるようになること。
⑤また,手法によって,その歴史的背景や現代的な意義についても理解できるようになること。

【成績の評価】
小テスト（課題レポート）(30%)、定期試験（70%）の合計点で評価します。
小テストや定期試験については，クラスルーム（オンライン）等の活用により対応します。

【使用テキスト】
　加登豊・李建著『ケースブック　コストマネジメント（３版）』新世社を使います。ほか講義資料を配布します。予習時には，配布した講義資料を必ず熟読して講義に参加してください。復習では，講義の内容の整理を行い十分に理解したうえで，次回の講義に備えるようにしてください。また，対応する教科書の練習問題も行ってください。

【参考文献】
加登豊『管理会計入門』（日経文庫，1999年）など。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	（全体について）授業への積極的な取り組みと同時に，毎回予習2時間：合計30時間（15回分），毎回復習2時間:合計30時間（15回分）必要となります。 授業のスケジュールを確認し,この授業での到達目標や身につく力について説明し,原価管理の前提や基礎となるイ ントロの部分についての説明を行い,学生には原価管理について具体的なイメージをつけてもらう。また,必要に応じて,活用例や具体例を示し原価管理の理解を補うことにする。	
2	コストマネジメント（原価管理）の基礎（会計学における位置づけ）	会計全体の意義と対比させながら,コストマネジメントの固有の意義について概要を説明する。事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
3	標準原価管理(1)	概要にも書いている通り，コストマネジメントは,工業簿記または原価計算の概念(原価の概念)をベースとしている。その代表が，標準原価管理であり，伝統的あるいは最も浸透した原価管理手法の一つである。そのため，これまでに履修した該当する科目の復習が必要になる(工業簿記や原価管理だけでなく,財務会計)。会計（原価計算など）の基礎的な知識を前提に，標準原価管理について基礎的な考え方を講義する。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
4	標準原価管理(2)	3回に引き続き標準原価管理を取り上げる。抽象的な考え方だけでなく，具体的な計算（差異分析）による，管理のあり方を学習する。教科書および参考書における計算例に取り組んでもらう必要がある。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
5	原価企画(1)：標準原価管理の克服	原価企画は日本発の新製品開発コストマネジメントである。その背景や概念の説明に加えて，まずは，企業における新製品開発のコストマネジメント，原価計画の重要性について説明する。原価計算などで登場しない，製品開発マネジメントの内容を扱うことになるので，事前・事後学習が特に必要になる。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
6	原価企画(2)	5回に続いて，原価企画の取り組み例などをできるだけ多く紹介し，教科書の内容の理解はもちろん，実践的な知識の習得に専念する。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
7	価格決定	価格決定を取り上げる。価格決定についても，原価情報は欠かせない。様々な価格決定の手法や考え方を事例をまじめて解説する。いくつか，計算例も登場するので，事前学習はもちろん，特に事後学習による計算力の定着が不可欠となる。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	ミニプロフィットセンター(1)	原価企画に加えて，ミニプロフィットセンターも日本企業特有の管理手法といわれている。ただし，その基本概念は，経営学（組織論）や管理会計でも取り上げた事業部制などの考え方を背景に持っている。その辺りにも触れながら，ミニプロフィットセンターの特徴を講義する。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
9	ミニプロフィットセンター(2)	8回に引き続いて，ミニプロフィットセンターを取り上げる。いくつかのミニプロフィットセンターの代表的な事例を取り上げ，より実践的な理解を目指す。（必要に応じて，ビデオ教材も検討している。） 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。	
10	活動基準原価管理	活動基準原価計算（あるいは，ABCとも呼ばれる）は，伝統的な原価計算がもっているいくつかの限界・問題点を克服してくれる有効な原価計算手法である。まず，活動基準原価計算が提唱された背景について説明する。その際，いわゆる部門別計算や個別原価計算など，原価計算の基本的な計算体系については，十分な理解が必要となるため，事前の学習が必要になる。また，計算例も多く取り上げるため，定着のための事後学習が必須である。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。習）することがより深い理解に繋がります。	
11	制約条件の理論	制約条件の理論（あるいは，TOCとも呼ばれる）は，従来の原価管理手法では解決できなかった，生産プロセスにかかわる諸問題を解決してくれるツール（あるいは考え方）として，注目されている。標準原価計算あるいは活動基準原価計算などと比較しながら，制約条件の理論（特に，スループットアカウンティング）の特徴について，事例を交えながら，解説する。いくつか，計算問題もあるため，事後学習が必須である。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。習）することがより深い理解に繋がります。	
12	サプライチェーンマネジメント	以下，残りで取り上げるのは，コストマネジメントにおける比較的新しい手法である。サプライチェーンマネジメント（あるいは，SCMとも呼ばれる）は，全体最適な組織間関係のあり方を実現するための管理手法である。教科書に基づきながら，必要に応じて，事例を取り上げ，理論的，実践的な内容を講義する。 事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。習）することがより深い理解に繋がります。	
13	ライフサイクルコスティング	ライフサイクルコスティングは，製品サービスの提供者側よりも，購入者側にとって特に有益な原価管理のための手法である。教科書に基づきながら，必要に応じて，事例を取り上げ，理論的，実践的な内容を講義する。いくつか，計算問題もあるため，事後学習が必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		須である。 　事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。習）することがより深い理解に繋がります。	
14	品質コストマネジメント	品質コストマネジメントは，品質の維持・向上にかかわる様々なコストに注目した，品質管理のための原価管理手法である。教科書に基づきながら，必要に応じて，事例を取り上げ，理論的，実践的な内容を講義する。 　事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。習）することがより深い理解に繋がります。	
15	講義のまとめ（在庫管理）	講義の進捗似合わせて，「在庫管理」を追加する。これまでの講義内容を振り返る。また,必要に応じて,補足的な内容の説明も行う。 　事前学習，事後学習については，教科書または参考書を事前に読んでおくことが必要となる。習）することがより深い理解に繋がります。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC241
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 税法
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　税法は、憲法や民法といった法律と関わるだけではなく、会計学、経営学、経済学といった学問とも関わる学際的なものとなっています。また、私たちの日常生活にも深くかかわっている学問であり、社会生活を円滑に営むうえで不可欠な知識となっています。
　本講義は、税法の基本的なルールや考え方を解説するとともに、私たちにとって身近な税金である所得税法の学修を通して、税法に対する理解を深め、経済や社会を鋭く観察することができるようになることを目的としています。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１.税金、所得税法に関する基礎的な専門用語の意味を説明できる。
２.税金、所得税法の観点から経済や社会を観察することができるようになる。

【成績の評価】
課題（50%）、確認テスト（50%）により総合的に評価します。
なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
泉絢也（2024）『スライドでわかる　所得税法の基礎』中央経済社

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／租税の意義と基本原則	予習として「税金」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	租税法の法源	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	租税法の解釈と適用	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	租税法の通則	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	所得税と所得概念	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	所得税の納税義務者、課税所得の範囲	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	所得税の計算の仕組みと申告	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	収入金額と必要経費	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができる	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		よう理解を深めてください（2時間）	
9	事業所得	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	給与所得	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	退職所得	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	譲渡所得	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	一時所得	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	雑所得	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC341
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 法人税法
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　本講義は、法人税法の性格、課税所得の計算方法についての理解を深め、起業、経理・財務部門の専門職、経営企画部門の専門職を目指す人に必要な知識・能力を養成することを目的としています。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。
　関連科目として「簿記論」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１.法人税法に関する基礎的な専門用語の意味を説明できる。
２.法人税法の観点から経済や社会を観察することができるようになる。

【成績の評価】
課題（50%）、確認テスト（50%）により総合的に評価します。
なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
金子友裕『法人税法入門講義』中央経済社 ※最新版を参考文献にします。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／法人税法とは何か	予習として「法人税法」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	所得金額と法人税額の計算	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	益金の額と損金の額	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	交際費等	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	寄附金	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	同族会社に対する課税と役員給与の損金不算入	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	租税公課	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	受取配当等の益金不算入と所得税額控除	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	有価証券、棚卸資産	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	減価償却	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	圧縮記帳、繰延資産	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	貸倒損失と貸倒引当金	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	その他の項目	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	組織再編税制、グループ法人税制、国際課税	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第１回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP314
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記論対策演習Ⅰ
担当教員： 山崎　泰志(YAMASAKI　Yasushi)

【授業の紹介】
本講義は、日商簿記1級・税理士試験の簿記論レベルの簿記の論点を学習します。各論点について説明した後に練習問題を解くことで理解を深めます。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものであり、教員の実務経験を基に、各論点が実務でどのように使われているかを紹介することで深掘りしていきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1. 日商簿記1級・税理士試験の簿記論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】
授業への積極的な参加（60%)、小テスト（20%)、課題（20%）で評価します。
小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】
学生と相談の上で指示します。

【参考文献】
ネットスクール株式会社『税理士試験　教科書　簿記論・財務諸表論Ⅰ　基礎導入編』ネットスクール出版。(最新版)
ネットスクール株式会社『税理士試験　教科書　簿記論・財務諸表論Ⅱ　基礎完成編』ネットスクール出版。(最新版)
ネットスクール株式会社『税理士試験　教科書　簿記論・財務諸表論Ⅲ　応用編』ネットスクール出版。(最新版)

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。公認会計士、税理士としての現場での経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
2	簿記一巡	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
3	法人税法・租税公課	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
4	税効果会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
5	消費税	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
6	リース会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
7	減損損失	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
8	退職給付	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
9	引当金	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
10	社債	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
11	純資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
12	繰延資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
13	外貨換算	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
14	棚卸資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
15	金融商品	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP315
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 簿記論対策演習II
担当教員： 山崎　泰志(YAMASAKI　Yasushi)

【授業の紹介】
本講義は、日商簿記1級・税理士試験の簿記論レベルの簿記の論点を学習します。各論点について説明した後に練習問題を解くことで理解を深めます。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものであり、教員の実務経験を基に、各論的が実務でどのように使われているかを紹介することで深掘りしていきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1. 日商簿記1級・税理士試験の簿記論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】
授業への積極的な参加（60%)、小テスト（20%)、課題（20%）で評価します。
小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】
学生と相談の上で指示します。

【参考文献】
ネットスクール株式会社『税理士試験　教科書　簿記論・財務諸表論Ⅰ　基礎導入編』ネットスクール出版。(最新版)
ネットスクール株式会社『税理士試験　教科書　簿記論・財務諸表論Ⅱ　基礎完成編』ネットスクール出版。(最新版)
ネットスクール株式会社『税理士試験　教科書　簿記論・財務諸表論Ⅲ　応用編』ネットスクール出版。(最新版)

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。公認会計士・税理士としての現場での経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
2	特殊商品売買	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
3	資産除去債務	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
4	収益認識	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
5	本支店会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
6	商的工業簿記	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
7	本社工場会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
8	建設業会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
9	過年度遡及	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
10	組織再編	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
11	連結会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
12	キャッシュ・フロー	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
13	デリバティブ	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
14	帳簿組織	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
15	伝票	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間）復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP321
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 財務諸表論対策演習Ⅰ
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　本講義では、財務会計の応用的な論点について学修します。簿記および会計学の知識を身につけ、経理・財務部門の専門職を目指す人に必要な知識・能力を養成することを目的としています。また、簿記の仕訳や会計学の理論の背景にある論理について理解を深めることにより、経理・財務部門の専門職として活躍する上で必要となる思考力を養います。
　関連科目として「簿記・会計学特殊講義Ⅰ」、「簿記・会計学特殊講義Ⅱ」、「簿記・会計学特殊講義Ⅲ」が既習であることを前提とします。
　本科目は職業会計人育成プログラム所属者のみ履修可能です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1.財務会計の応用的な論点を理解することができる。
2.上記の応用的な論点を問う問題を解くことができる。

【成績の評価】
授業への貢献状況（70%）、課題（30%）により評価します。
なお、課題については、授業時間内に講評・解説し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
桜井久勝（2019）『財務会計の重要論点』税務経理協会

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として簿記・会計学特殊講義Ⅲの第１回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	財務会計の機能と制度	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	概念フレームワーク	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	概念フレームワーク（ディスカッション）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	概念フレームワーク（ディスカッションのまとめ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	資産負債アプローチ	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	資産負債アプローチ（ディスカッション）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	資産負債アプローチ（ディスカッションのまとめ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	資産・負債の評価基準	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	資産・負債の評価基準（ディスカッション）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	資産・負債の評価基準（ディスカッションのまとめ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	財務諸表の体系、キャッシュ・フロー計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	財務諸表の体系、キャッシュ・フロー計算書（ディスカッション）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	財務諸表の体系、キャッシュ・フロー計算書（ディスカッションのまとめ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（重要項目の確認）と質疑応答	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP322
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 財務諸表論対策演習II
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
本講義では、財務会計の応用的な論点について学修します。簿記および会計学の知識を身につけ、経理・財務部門の専門職を目指す人に必要な知識・能力を養成することを目的としています。また、簿記の仕訳や会計学の理論の背景にある論理について理解を深めることにより、経理・財務部門の専門職として活躍する上で必要となる思考力を養います。
関連科目として「財務諸表論対策演習Ⅰ」が既習であることを前提とします。
本科目は職業会計人育成プログラム所属者のみ履修可能です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1.財務会計の応用的な論点を理解することができる。
2.上記の応用的な論点を問う問題を解くことができる。

【成績の評価】
授業への貢献状況（70%）、課題（30%）により評価します。
なお、課題については、授業時間内に講評・解説し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
使用テキスト等については、第１回目の講義で案内します。

【参考文献】
桜井久勝（2019）『財務会計の重要論点』税務経理協会

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務諸表論対策演習Ⅰの第１回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	有価証券の時価会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	デリバティブとヘッジ会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	売上高の認識と測定	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	外貨建取引の換算	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	棚卸資産と固定資産の期末評価	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	リース取引	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	退職給付の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	純資産の部の構成項目	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	組織再編の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	税金費用と税効果会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	会社法による配当規制	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	親会社説と経済的単一体説	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	会計基準の国際的統合	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（重要項目の確認）と質疑応答	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH202
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スポーツ社会学
担当教員： 山神　眞一(YAMAGAMI　Shin'ichi)

【授業の紹介】
　スポーツ社会学の授業は、スポーツを社会現象として捉えて、様々な視座から社会学的に考察していきます。
その対象は、広範囲であるが、できるだけ身近な話題を取り上げながら、社会学的な授業展開をしたいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	3
		④　多面的思考能力	4

【到達目標】
1.スポーツ社会学の基本概念を理解できる。
2.スポーツを様々な社会的事象と関連づけて考えることができる。
3.現代社会におけるスポーツの意義について自分なりの考えをもって、主張できる。

【成績の評価】
・授業毎のレポート50%、授業への参加態度・発表内容等50%

【使用テキスト】
テキストは、使用しません。毎時間資料等を配布します。

【参考文献】
参考文献に「現代社会とスポーツの社会学」高峰　修他編著　杏林書院

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
2	スポーツとは	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
3	スポーツの意義	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
4	スポーツの価値	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
5	スポーツと文化①	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
6	スポーツと文化②	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
7	スポーツマンシップ	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
8	スポーツのリーダーシップ①	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
9	スポーツのリーダーシップ②	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
10	アマチュアスポーツとプロスポーツ	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
11	スポーツが社会に及ぼす影響①	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
12	スポーツが社会に及ぼす影響②	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
13	スポーツインテグリティー	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
14	スポーツの地域移行	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
15	まとめと振り返り	集中の授業単位毎に予習（2時間）復習（2時間）	
	定期試験(実施しない)		単位時間ごとにレポート提出する。

科目ナンバリング： ATH201
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 発育発達論
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　発育発達とは人間の成人に至る期間の形態及び機能の両面の質と量とにわたる変化を意味している。そしてこれら形態及び機能の変化は性、年齢、環境等により多くの個人差を生じてくるが、ここでは成人に至る発育発達の過程について十分な理解を深める。
　ただし、履修条件として『健康とスポーツ』の単位を取得していることとする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①成人に至る発育発達の過程について理解を深めることができる。
②成人以降の老化と体力や運動能力などの関連について理解を深めることができる。
③アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、発育発達に関わる諸問題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】
　授業態度（40%）、レポート（30%）、確認テスト（30%）で評価する。
　また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、
　定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

　※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
　テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】
　藤井勝紀著『発育・発達への科学的アプローチ』三恵社 2006年
　公益財団法人 日本スポーツ協会『Reference Book』2021年

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	発育発達の考え方	予習として発育発達について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	発育発達論の意義と役割	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	発育の概念と発達の概念	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	発育の概観	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	発達の概観	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	発育発達期の身体特徴	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	発育発達期の心理的特徴	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	発育発達期のスポーツプログラム	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	発育発達の予測	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	形態発育の経過	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	機能発達の経過	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	身体発達に影響する要因と条件	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	中高年とスポーツ（健康の維持増進）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	中高年とスポーツ（社会環境整備）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	まとめおよび最終確認テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として確認テストを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH211
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スポーツと栄養
担当教員： 津村　哲司(TSUMURA　Tetsuji)

【授業の紹介】
健康寿命の延伸が重要な政策課題となっている中で、運動・スポーツ、栄養管理などのビジネスも拡大している。2020年には26兆円、2030年には37兆円規模に拡大するともいわれている。新たなビジネスチャンスとして注目されている。また、健康面での自己管理能力が企業の採用基準の重要ファクターとなる。本講義では、栄養学の知識を単なる競技パフォーマンスの向上のためのスキルと捉えず、コンディショニングの維持に必要な栄養や食事法に関する知識と技術をＱＯＬの向上に必要なスキルとして講義する。。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．摂取した栄養素が体内でどのように代謝し、どのようにエネルギーを産生しているのかを科学的に理解できる。
２．栄養や食事法が競技パフォーマンスの向上やコンディショニングの維持に及ぼす効果について科学的に理解できる。
３．本授業の知識や技能を活かし、競技パフォーマンスの向上やコンディショニングの維持が出来る食事を実践できる。

【成績の評価】
成績の評価は定期試験（９０％）、学習態度（１０％）によって行い、総計６０％以上を合格とします。
なお、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにしておきます。

【使用テキスト】
使用しない

【参考文献】
江指隆年、中嶋陽子編著『ネオエスカ基礎栄養学』（同文書院、2012年）
樋口　満著『コンディショニングの栄養学』（一村出版、2001年）
奥田豊子編『スポーツ栄養学』（嵯峨野書院、2013年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス ＞＞＞　本講義は運動パフォーマンスの向上を将来の目標としています。シラバスを確認の上、最終目標に到達するためには、どのような知識・技術を修得しなければいけないのかを理解し、本講義を履修する目的を今一度明確にします。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。ガイダンスを聴いて、自分の目標と乖離が無いか十分考えて判断してください。	
2	基礎化学 ＞＞＞　前述の最終目標を達成するためには、数学や有機化学などの知識が不可欠です。小・中・高校で学んだ知識を復習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
3	味覚と栄養 ＞＞＞　健全な栄養摂取は正常な味覚があることが前提です。味覚に異常があると運動パフォーマンスの向上も望めない可能性があることを解説します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
4	糖質の栄養 ＞＞＞　糖質（炭水化物）の生体内での役割や消化吸収について学びますが、まずは基礎となる構造から学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
5	糖質の代謝 ＞＞＞　糖質の代謝はエネルギーを獲得する上で最も重要な内容です。摂取した糖質がどのようにエネルギーに変わっていくのかを学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
6	脂質の栄養 ＞＞＞　脂質の生体内での役割や消化吸収について学びますが、まずは基礎となる種類や構造から学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
7	脂質の代謝 ＞＞＞　脂質はアスリートにとって大敵ですが、重要なエネルギー貯蔵物質です。摂取した脂質がどのようにエネルギーに変わっていくかを学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
8	たんぱく質の栄養 ＞＞＞　たんぱく質は消化酵素やホルモンとしての働きの他エネルギーとしても重要です。特に骨格筋でのたんぱく質およびアミノ酸の働きはアスリートにとって非常に重要です。本項では基礎となるアミノ酸の種類や構造から学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
9	たんぱく質の代謝 ＞＞＞　たんぱく質がどのように分解され、どのように合成されるかを学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
10	ビタミン・ミネラル・水分の働き ＞＞＞　たんぱく質、糖質、脂質の代謝にはビタミン、ミネラルの存在が不可欠です。三大栄養素とビタミン、ミネラルの関連性を学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
11	各運動における消費エネルギー ＞＞＞　各運動にはそれぞれ強度があり、消費するエネルギーにも違いがあります。それぞれの運動がどれくらいのエネルギーを消費するのかを学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
12	基礎代謝量の算出を含む栄養計算（１） ＞＞＞　基本的な食事の栄養計算の方法を学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
13	基礎代謝量の算出を含む栄養計算（２） ＞＞＞　基礎代謝量から一日に必要なエネルギー量の算出方法を学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
14	アスリートとしての食事管理 ＞＞＞　様々な栄養素もやみ雲に摂取しても意味がありません。栄養素を摂取する適切なタイミングについて学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
15	まとめ（3大栄養素の代謝経路について） ＞＞＞　栄養素の代謝経路を統合して解説しながら試験対策についても講義します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。ここまでの授業を通して重要なポイントについてまとめるなど最低2時間以上充分な復習をして定期試験に臨むようにしてください。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH314
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スポーツ医学
担当教員： 阿部　純也(ABE Junya)

【授業の紹介】
本講義ではスポーツ指導者としての基礎的な医学的知識、スポーツと健康との関連についての理解を深めます。またスポーツ中のケガや病気の現状と予防対策を学び、救急処置や傷の手当て、アスレチック・リハビリテーションなどの実際を学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	３．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.スポーツ指導者に必要な基礎的な医学的知識を理解することができる。
２.スポーツ活動と健康との関係を医学的に説明できる。
３.スポーツ活動中のケガや病気について理解できる。

【成績の評価】
授業態度・レポート（６０％）、定期試験（４０％）レポートについては講義時に評価し、助言、修正や追加によりフィードバックを行う。
出席率７０％以上を原則として、評価点が全体の６０％以上を合格とする。

【使用テキスト】
使用せず、資料を配布する。

【参考文献】
福林徹・武冨修治『アスレティックリハビリテーションガイド』（文光堂,2018）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
2	スポーツと健康	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
3	スポーツの内科的障害と対策	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
4	スポーツ外傷	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
5	スポーツ障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
6	頭頚部の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
7	上肢の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
8	体幹の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
9	下肢の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
10	救急処置	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
11	傷の手当てと応急処置	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
12	基本動作習得を目的としたアスレティック・リハビリテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
13	競技の特性に応じたアスレティック・リハビリテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
14	コンディショニングの手法	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
15	事例に対する計画の立案と実践	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH212
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スポーツ心理学
担当教員： 中塚　勝俊(NAKATSUKA　Katsutoshi)

【授業の紹介】
　スポーツ心理学は、スポーツに関する精神的領域を対象とする学問です。本授業では、スポーツの実践や指導に必要な心理学的基礎を学び、生涯スポーツを視野にスポーツ指導員としてあるいは、競技者としての必要な心理学的識見を身に付け、スポーツ経営を通して卒業後地域社会に貢献することをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	５．グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4

【到達目標】
　スポーツ指導員としての心理学的知識を学修し、それらを選手としての競技、スポーツ技能の指導、スポーツの動機づけ、スポーツの心理学的効果などに応用し、地域スポーツ現場で活躍できる人材となる意欲を高めることができる。

【成績の評価】
・授業態度[授業への参加度]（20%）、提出物（授業へのコメント・レポート）（20%）、定期試験（60%）から総合的に評価します。
・提出物に関しては、授業時にコメントを返却します。テストについては、個人的に研究室でフィードバックします。

【使用テキスト】
　伊達萬里子他(編著)「新・スポーツ心理学」（嵯峨野書院、2015）2600円

【参考文献】
　授業中に、スポーツの心理学的知見を資料などを随時配布します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	自分が経験したスポーツ（3年以上）について何を得たかをまとめノートに記述しておくこと。（2時間）授業中に話される他者の経験談を参考に自分の気づきを文章にまとめること。（2時間）	
2	スポーツ心理学の内容	自分が今まで既習した心理学の内容で印象に残っている事象とその理由についてノートに文章化しておくこと。（2時間）スポーツにおいて心理学的知識が関係していると思われる事柄についてノートに整理しておくこと。（2時間）	
3	スポーツと認知・反応①運動学習、感覚と認知	心理学における「認知」について調べ、具体的日常場面を挙げノートに文章化しておくこと。（2時間）感覚と認知の違いを自ら体験した事例をノートにまとめること。（2時間）	
4	スポーツと認知・反応②空間の認知、速度の認知	主観的認知、客観的認知について調べ、自分の体験例をノートに文章化しておくこと。（2時間） スポーツ場面において体験される空間の認知、速度の認知についてノートにまとめること。（2時間）	
5	スポーツ技能の学習①スポーツ技能の学習過程	技能学習が必要とされるスポーツの種類の内、一つを取り上げskillの上達のプロセスについて視覚化した図をノートに記載すること。（2時間） 授業中に提供される3種類の様相を参考に予習でとりあげたスポーツの上達過程を振り返りノートにまとめること。（2時間）	
6	スポーツ技能の学習②言語による指導、視覚的指導、動機づけ	自分が体験したスポーツにおいて指導者から受けた意欲の向上につながる指導法について整理しノートにまとめること。（2時間） スポーツにおけるコツを伝える「わざ言語」について調べノートに整理しておくこと。（2時間）	
7	スポーツの動機づけ理論	教科書の動機づけ理論に目を通し使用されている専門用語について調べ、ノートに整理しておくこと。（2時間）動機づけ、内発的動機づけの効用と限界についてノートにまとめること。（2時間）	
8	スポーツと発達①発達とは、発達の要因	生涯発達理論について調べ、主なキーワード三つについてノートにまとめること。（2時間） 生涯発達とスポーツの複合性ついて自分の考えをノートにまとめること。（2時間）	
9	スポーツと発達②運動発達の段階と特徴	生涯おける運動発達（上昇・下降）について教科書を読みノートに文章化しておくこと。（2時間）運動発達が下降するスポーツの種類と内容についてノートに文章化しておくこと。（2時間）	
10	スポーツの心理学的効果	スポーツが人間に及ぼす好影響、悪影響を調べ、それぞれノートに文章化しておくこと。（2時間）授業中に提案されるストレス対処法とスポーツの関係についてノートに整理しておくこと。（2時間）	
11	スポーツ・カウンセリング①カウンセリングとは	臨床心理学におけるカウンセリングの種類を調べ、その特徴についてノートにまとめてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		くこと。（2時間）スポーツカウンセリングとメンタルトレーニングの差異についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
12	スポーツカウンセリング②スポーツカウンセリングと心理学的技法	カウンセリング技法の中の非指示的、指示的カウンセリングの違いを文章にまとめノートに記述しておくこと。（2時間）授業中に提供される認知行動療法についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
13	スポーツカウンセリングの諸技法①来談者中心カウンセリング	来談者中心カウンセリングについて文献などを読み、ノートにまとめておくこと。（2時間） 来談者中心カウンセリングの短所・長所について考えノートに列挙しておくこと。（2時間）	
14	スポーツカウンセリングの諸技法②認知的行動療法	認知行動療法について調べ、この療法の基本的考え方についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）認知行動療法がスポーツにおけるストレスマネジメントに果たす役割についてまとめノートに文章化しておくこと。（2時間）	
15	スポーツカウンセリングの諸技法③自己リラクゼーシヨン、イメージトレイニング	心理的リラクゼーションの方法について調べノートに整理しておくこと。（2時間）イメージトレーニングのスポーツにおけるパニック障害への応用可能性についてまとめノートに整理しておくこと。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH312
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： コーチング論
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。心理学的な理論と実際のコーチング場面を結び付けて考察することにより、各自が実際の指導場面に応用できるコーチングの技法を修得することが本講義のねらいである。具体的には、体育の授業や部活動等スポーツの指導場面において心理学的な視点から概観し、選手が力を発揮し成果をあげるために指導者は何をすべきかを考えることや、実践的な問題解決方法を学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
　①コーチングを行う上で必要な専門的知識および理論を修得することができる。
　②様々なスポーツ指導場面に生かすコーチングの技法を修得することができる。
　③アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、コーチングにおける諸問題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】
　授業態度（40%）、レポート（30%）、確認テスト（30%）で評価する。
　また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、
　定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

　※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
　テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】
　公益財団法人 日本スポーツ協会編『Reference Book』 2021年
　佐藤英郎著『プレイングマネジャーのための新図解コーチング術』（アーク出版、2010年）

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス（スポーツ指導者とは）	予習としてコーチングやスポーツ指導について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	指導者の心構え・視点、指導哲学、プレーヤーとの関係	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	リーダーシップの理論	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	言語による指導①（フィードバックの種類と効果的な利用法）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	言語による指導②（イメージを引き出す言葉、褒め言葉）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	視覚的な指導	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	競技者育成プログラムの理念および理念に基づく展開	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	スポーツ活動と安全管理	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の責任	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	スポーツ事故における法的責任	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	ヨーロッパにおけるコーチング①（自主性の発揮）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	ヨーロッパにおけるコーチング②（コーチライセンスの仕組み）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	コーチングにおける年間計画の立て方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	スポーツにおける人権問題	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	まとめおよび最終確認テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として確認テストを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH313
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： コーチング演習
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。指導教員と受講生による双方向のコミュニケーションを通して、コーチング論において学んだ効果的なコーチングに関する専門的知識および技能を、自分自身のコーチング場面にどのように適用できるかを検討していく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
　①様々なスポーツにおいて効果的なコーチングに関する専門的知識および技能が修得できる
　②コーチングに関する専門的知識および技能を実際のコーチング場面で活かすことができる
　③アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用しコーチングにおける新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】
　授業態度（40%）、レポート（30%）、確認テスト（30%）で評価する。
　また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、
　定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

　※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
　テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】
　河野一郎監修、勝田隆著『知的コーチングのすすめ』（大修館書店、2010年）
　R.W.クリスチナ、D.M.コーコス著『スポーツ技術の指導』（大修館書店、1993年）

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	予習としてコーチングやスポーツ指導について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
2	我が国における指導者養成の歩みと資格制度	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
3	コーチングにおける基礎知識	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
4	コーチングにおけるリーダーシップ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
5	ジュニア期におけるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
6	コーチングの実践①（ゴール型スポーツ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
7	コーチングの実践②（ネット型スポーツ・ベースボール型スポーツ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
8	スポーツにおけるチーム・マネジメント	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（30分）	
9	チーム・マネジメントの実践	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	トレーニング計画の立案	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
11	ゲーム分析とその活用方法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
12	プロスポーツチームの指導者によるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
13	ゲームにおけるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
14	コーチングクリニック	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
15	まとめおよび最終確認テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として確認テストを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH311
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： トレーニング論
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　健康の維持・増進や競技力・スポーツパフォーマンス向上のためにトレーニングは欠かすことができない。よって本講義は、身体の仕組みを理解するとともに、トレーニングに関する基礎的な知識を身につけ、適切なトレーニングが処方できる基礎を学ぶことを目的とする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
　①身体の仕組みを理解するとともに、トレーニングに関する基礎的な知識を身につけることができる。
　②体育の授業や部活動等の実践場面において合理的かつ総合的なトレーニング計画の立案と実行ができる。
　③アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、トレーニングにおける課題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】
　授業態度（40%）、レポート（30%）、確認テスト（30%）で評価する。
　また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、
　定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

　※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
　テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】
　宮下　充正著『トレーニングの科学的基礎』（ブックハウス・エイチディ、2007年）
　有賀　誠司著『基礎から学ぶ！筋力トレーニング』（ベースボール・マガジン社、2008年）

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	予習としてトレーニングについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	トレーニングとは	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	体力とは　体力の概念	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	トレーニングの進め方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	トレーニングの種類	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	トレーニング理論とその方法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	トレーニングと栄養	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	トレーニング計画とその実際	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	理論に基づいたトレーニング計画の具体案	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	体力テストとその活用①（形態、身体組成、筋力、筋パワーの測定と評価）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	体力テストとその活用②（無酸素性能力、有酸素性能力の測定と評価）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	ジュニア期のトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	中高年者のトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	各競技におけるトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	まとめおよび最終確認テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として確認テストを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH321
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スポーツ経営学
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】

本講義の目的は、スポーツ組織の経営に関する基本的な理論や概念を学び、スポーツ組織に関する経営現象について考察できるようになることにあります。そこでは、種々のスポーツ組織を取り上げ、それぞれの組織の経営に関する問題を紹介した後に、それらの議論に関連する経営学の知見の解説を行います。また、講義内で取り上げた議論と関連するテーマについてグループディスカッションを行い、スポーツ組織の経営への理解を深めます。グループディスカッションの進め方については、受講者の人数に合わせて適切に調整を行い、講義内で詳細を説明します。

本講義の履修にあたっては「スポーツ社会学」（2年次後期配当科目）を履修していることが望ましいです。また、関連科目として経営学関連科目（「経営戦略論」や「経営組織論」など）があるため、それらの科目を履修すると各科目の理解が深まると考えられます。

本講義は、公認スポーツ指導者講習（日本スポーツ協会）「共通科目Ⅰ」の免除、ならびに「スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）」の交付に単位取得が必要となる科目です。

本講義では、Google Classroom（クラスコード：to26dvm）を通じて、講義資料の配布や講義内課題の提示・提出等を行います。受講を希望する場合には必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	3
		④　多面的思考能力	4

【到達目標】

1．スポーツ組織の経営に関する基本的な理論や概念を理解し、説明できる。
2．スポーツ組織が直面する課題について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3．スポーツ組織に関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】

平常点(50%)、グループディスカッション(30%)、確認テスト(20%)を総合して評価します。

―平常点では、講義中に示した講義内課題への取り組みなどを評価します。
次回講義での簡潔な講評を通じて、課題のフィードバックを行う予定です。
講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。

―毎回、講義開始から30分程度まで、出席票を配布します。
その出席票の提出がなかった場合には欠席扱いになります。

―グループディスカッションでは、グループディスカッションへの取組みや、
グループディスカッション回後に提出するミニレポートなどを評価します。

―確認テストを実施します。
このテストを受けなかった場合、単位を取得することができません。

―なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
大野貴司・齋藤れい（2021）.『スポーツビジネス論―理論と実態―』三恵社.
柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏（2017）.『テキスト 体育・スポーツ経営学』大修館書店.
柳沢和雄・清水紀宏・中西純司（2019）.『よくわかるスポーツマネジメント』ミネルヴァ書房.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や内容を再度確認する(2時間)。	
2	スポーツ経営学の基本 スポーツ経営とは何か	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
3	スポーツ組織の経営① スポーツ用品企業の経営	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
4	スポーツ組織の経営② プロスポーツの経営	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
5	グループディスカッション① スポーツ組織の成功要因を考える	予習：スポーツ組織の経営の成功事例を調査し、ノート等にまとめてくる(3時間)。 復習：講義内で話し合った内容を振り返り、特に重要だと思ったポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
6	スポーツ組織の経営③ スポーツ施設の経営	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
7	スポーツ組織の経営④ スポーツによる地方創生とスポーツツーリズム	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
8	グループディスカッション② スポーツ組織の地域貢献を考える	予習：スポーツ組織による地域貢献の事例を調査し、ノート等にまとめてくる(3時間)。 復習：講義内で話し合った内容を振り返り、特に重要だと思ったポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
9	これまでの講義のまとめ 重要事項の振り返りと中間テスト	予習：これまで配布した全ての講義資料に目を通してくる(3時間)。 復習：中間テストで分からなかった箇所を復習し、ノート等にまとめる(1時間)。	
10	スポーツ経営学の理論的基礎① スポーツ組織のマーケティング	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
11	スポーツ経営学の理論的基礎② スポーツ組織の経営戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
12	スポーツ経営学の理論的基礎③ スポーツ組織の社会的責任	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
13	グループディスカッション③	予習：社会の中の様々な主体から一つ選び、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	スポーツ組織と利害関係者の関係を考える	その主体とスポーツ組織の関係づくりの事例を調査し、ノート等にまとめる(3時間)。 復習：講義内で話し合った内容を振り返り、特に重要だと思ったポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
14	補論 スポーツ経営学の関連トピック	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義で学んだ内容をまとめつつ、講義資料を読み返す(3時間)。	
15	本講義のまとめ 重要事項の振り返り	予習：これまで学んできた内容で分からなかった箇所を復習し、ノート等にまとめる(2時間)。 復習：これまで学んできた内容を振り返り、スポーツ組織の経営を考える上で重要だと思うポイントをノート等にまとめる(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH324
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ｅスポーツ
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),中島　賢一(NAKASHIMA　Kenichi)

【授業の紹介】
eスポーツは、２０１９年から国民体育大会の文化プログラムとして実施されています。しかし、eスポーツの意義や普及、活動について、十分な知識や理解がされていないのが実情です。
特に、eスポーツが産業的にも進展しているにも関わらず、ビジネス分野からのアプローチはほとんど行われていいないのが現実です。
この授業では、ビジネス分野の立場からeスポーツの成立から現状の学習を進めて行きます。
また、具体的にeスポーツの大会運営を想定した実習を行い、ビジネス分野における課題解決能力の開発を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4

【到達目標】
eスポーツの普及ができる。
eスポーツを開催できる。
eスポーツを活用した地域貢献がおこなえる。
eスポーツ及び関連事業をビジネスに展開できる。

【成績の評価】
企画イベントの評価（５０%）、レポート（５０%）

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
eスポーツ学習　ビジネス基礎　株式会社NTTe-Sports編　株式会社NTTe-Sports
eスポーツ学習　コミュニケーション基礎　株式会社NTTe-Sports編　株式会社NTTe-Sports

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	eスポーツの概要 （佃・中島）	予習：eスポーツとゲームの概要や歴史を調べる（3時間） 復習：eスポーツの概要のまとめ（1時間）	
2	eスポーツの社会的意義 （佃・中島）	予習：eスポーツが社会でどの様に使われているか（３時間） 復習：eスポーツの社会的意義のまとめ（1時間）	
3	eスポーツの光と影	予習：eスポーツの光と影（３時間） 復習：eスポーツの光と影のまとめ（1時間）	
4	産業としてのeスポーツ	予習：eスポーツ産業を調べる（３時間） 復習：eスポーツ産業のまとめ（1時間）	
5	産業としてのeスポーツ（ビジネス展開と事例）	予習：eスポーツのビジネスモデルを調べる（３時間） 復習：eスポーツのビジネスのまとめ（1時間）	
6	地域活性化としてのeスポーツ （中島） 事例を中心に学ぶ	予習：eスポーツを使った地域活性化の事例を調べる（３時間） 復習：eスポーツを使った地域活性化ののまとめ（1時間）	
7	地域活性化としてのeスポーツ （中島） 地域活性化のための案を考える	予習：地域活性化に利用した案を考える（３時間） 復習：地域活性化に利用した案をまとめる（１時間）	
8	eスポーツのプレイ	復習：ここまでの授業内容のまとめ（４時間）	
9	eスポーツの企画運営に必要な知識 実際のeスポーツで活用された企画書や運営マニュアルをもとに企画運営について学ぶ	予習：eスポーツの企画運営に必要な知識の洗い出し1時間） 復習：eスポーツの企画運営に必要な知識のまとめ（1時間）	
10	eスポーツの企画運営に必要な知識 仕様書を作成し企画案を作成する	予習：仕様書に提示された内容を参考に企画案を作成する（４時間） 復習：企画案を作成した内容の課題の洗い出し。（２時間）	
11	eスポーツの企画の実践 （企画案を作成した内容の課題の洗い出し、運営スタッフについて）	予習：eスポーツの企画を考える（２時間） 復習：企画案を作成した内容の課題の洗い出し。（２時間）	
12	eスポーツの企画の実践 （企画案を作成した内容の課題の洗い出し、スケジュール、進行台本について）	予習：eスポーツの企画を考える（２時間） 復習：企画案を作成した内容の課題の洗い出し。（２時間）	
13	eスポーツの企画の実践 （企画案を作成した内容の課題の洗い出し、環境、機材、音響、放送について）	予習：eスポーツの企画を考える（２時間） 復習：企画案を作成した内容の課題の洗い出し。（２時間）	
14	eスポーツの企画の実践 企画したeスポーツの実施を行う	予習：eスポーツの実践の準備（４時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	eスポーツ新しい方向性 （佃・中島）	復習：授業全体の振り返り（４時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH322
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： スポーツマーケティング論
担当教員： 正岡　利朗(MASAOKA　Toshirou)

【授業の紹介】
　スポーツがビジネスとして認知されるにつれ、スポーツ産業なるものが大きな市場を形成するようになりました。そこで、この授業では、スポーツ産業（市場）を対象として、スポーツ消費者に対するマーケティング活動を理解できるようになるべく、さまざまなアプローチの方法や事例を説明します。
　なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．スポーツに関わるさまざまな主体が、消費者に対してどのようなアプローチを行っているのかを理解できる。
２．基本的なアプローチを踏まえた上でマーケティング活動のアイデアを自ら発案できる。
３．上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】
　レポート提出（100%）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
　とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】
　原田宗彦『スポーツマーケティング』大修館書店、2008年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	スポーツマーケティング	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
3	スポーツプロダクト	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
4	スポーツ消費者	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
5	スポーツマーケティングプラン	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
6	プロモーション	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
7	スポンサー	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
8	ブランディングとライセンシング	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
9	ＩＴの活用	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
10	価格戦略	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
11	事例研究（カマタマーレ讃岐）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
12	事例研究（高松ファイブアローズ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
13	事例研究（香川オリーブガイナーズ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
14	事例研究（香川アイスフェローズ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

　基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

　基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

　基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

　基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅰ
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっていた。しかしながら、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査する「アクティブラーニング手法」を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付けるために設計された授業である。

　基礎演習Ⅰにおいては、授業時間内に学外セミナー(4月最終週の金曜日)のための合同ゼミや5月下旬から7月上旬にかけて、「図書館利用ガイダンス」を実施する。また、基礎演習Ⅰの中で複数のボランティアのアナウンスが行われる場合もある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
②図書館で目的の図書を探すことができる。
③大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう（Work 13）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう（Work 10）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習II
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習II
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習II
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習 II
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習II
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅱ
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習 II
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習Ⅱ
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 基礎演習II
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
　大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

　また、1月(中旬頃)には2年生のコース選択のための合同ゼミを予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
②プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
③自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】
　積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】
吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針　誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年　実教出版

【参考文献】
　上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通してくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス〈ゼミ合同〉	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
　この授業では、人々の行動、企業の経営戦略やそれらを取り巻く社会経済環境に関するトピックを取り上げて議論します。１授業１トピックのペースで進める予定ですが、背景となる社会構造や経営・経済理論の説明が必要な場合は、それに追加的な時間を割くこともあります。
　また、機会があれば企業訪問（アオ活）や瀬戸内トリエンナーレの活動にも積極的に取り組むつもりです。
（注）常にノートPCが必携です。スマホは指示あるいは許可がない限りは使用不可です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】
授業への貢献（70%）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
発表（15%）・・・発表の内容、準備資料等に関して評価が行われフィードバックされます。
レポート等の提出（15%）

― 授業に貢献する行為や積極的な発言や質問は歓迎します。評価にも加点します。
― 授業への貢献が評価されるので全授業への出席が求められます。理由なく欠席した場合、その授業への貢献はゼロ、また5分以上遅刻した場合は大きく評価を下げることになります。また、授業の進行や他の学生の学習を妨げる行為や発言があった場合も減点します。

【使用テキスト】
山崎 康司　（2016）　『考える技術・書く技術【スライド編】』　ダイヤモンド社
山崎 康司　（2011）『入門 考える技術・書く技術――日本人のロジカルシンキング実践法』　ダイヤモンド社

【参考文献】
参考資料は、適宜配布します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	高大ドリルの使い方　30分 人生グラフを書いてみよう。	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	４、５月に就職説明会と社会人基礎力を測定する合同ゼミが、それぞれ1回ずつあります。
2	人生グラフを使って自己紹介 第1回	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
3	人生グラフを使って自己紹介　第2回	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
4	ペルソナを考える　1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
5	ペルソナとマーケティング　2	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
6	ロジカル・シンキング　講義　1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
7	ロジカル・シンキング　講義　2	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
8	ロジカル・シンキング　演習	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
9	インタビューの方法を学ぶ 1 - 構造的インタビュー	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
10	インタビューの方法を学ぶ 2 - 録音の仕方 - テープ起こしの方法	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
11	香川県の活性化：観光資源、企業紹介 1 スライド作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
12	香川県の活性化：観光資源、企業紹介 2 スライド作成 - 写真、動画の挿入	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
13	香川県の活性化：観光資源、企業紹介 3 スライド作成 - 音声、BGM	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
14	香川県の活性化：観光資源、企業紹介 4 動画作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
15	香川県の活性化：観光資源、企業紹介 5 動画完成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro)

【授業の紹介】
　財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）は、お金という尺度によって、私たちに企業の経営状況を伝えてくれます。そのため、財務諸表を読み解くことができるようになると、企業の経営を数値によって理解することができるようになります。本講義では、こうした財務諸表を読み解く能力についての基礎を養います。
　また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を適切に分析し、その内容を他者に伝える力を養います。
　財務面を含めた企業活動の実態を研究するために、フィールドワーク(地元企業の見学・インタビューなど)も実施する予定です。フィールドワークを実施する際には、受入企業との調整があるため、当初予定の時間割と異なる場合がありえます（通常の時間帯の講義を休講し、別の日程で実施する可能性もある）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１.貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
２.パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】
　報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
　なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
大手町のランダムウォーカー（2020）『会計クイズを解くだけで財務３表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方』KADOKAWA

【参考文献】
なし

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「財務諸表分析」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表を組み合わせた分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	財務諸表を組み合わせた分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	財務諸表を組み合わせた分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	フィールドワークの実施	予習として受入企業の活動内容等を調査し、重要ポイントをメモするなど、企業研究をしてください（1時間） 　復習として受入企業の活動内容や強み等をまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生のプレゼンテーション能力を向上させることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
「演習Ⅰ」では、「聴く」「話す」スキルを中心に学習します。授業では、プレゼンテーションのＣＤを聴いてメモを取り、その後メモを見ながら聴き取った内容を自分の言葉で発表する練習を繰り返し行います。発表練習を通して、プレゼンテーションの流れと基本的な表現を身につけます。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、各発表に対してゼミ生全員で批評を行います。発表者はゼミ生の意見を参考にして発表内容を修正し、次週再発表を行います。これを繰り返し行うことで、プレゼンテーション能力の向上を図ります。
なお、関連科目として「演習Ⅱ」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①他者のプレゼンテーションを正確に聴き取ることができる。
②プレゼンテーションの流れを理解できる。
③プレゼンテーションの基本的な表現を使うことができる。

【成績の評価】
授業中の発表（ ５０％ ）、レポート・小テスト（５０％）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす

【使用テキスト】
『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』犬飼康弘著、スリーエーネットワーク、2007年、2,500円＋税

【参考文献】
授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
2	第１課「食中毒」① 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
3	第１課「食中毒」② 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
4	第２課「言葉と文化」① 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
5	第２課「言葉と文化」② 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
6	第３課「不登校」① 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
7	第３課「不登校」② 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
8	問題①コンビニエンス・ストアの今後 問題②がん告知について	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
9	第４課「高校生とバイク」① 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
10	第４課「高校生とバイク」② 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
11	第５課「食糧自給率」① 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
12	第５課「食糧自給率」② 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
13	問題①交通事故を減少させる方法について 問題②収入と労働時間について	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
14	第６課「子供の生活習慣病」① 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
15	第６課「子供の生活習慣病」② 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
本演習の目的は、経営学の基本的な知識を学び、身近な経営現象を分析する能力の基礎を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、理論やフレームワークを正しく理解することが重要になります。本演習では、大学一年生で学んだ内容の振り返りや、今後の講義で学ぶであろう内容を先取りすることで、経営学の理論やフレームワークを正しい理解の下で習得することを目指します。
その目的を達成するために、本演習では、入門レベルの経営学の教科書を輪読していきます。そこでは、一つ一つの理論やフレームワークの内容を丁寧に確認しながら、ミクロ組織論やマクロ組織論、経営戦略論、イノベーション論の基礎的な内容を学び、経営学の全体像を大まかにつかんでいきます。
関連科目としては「経営学概論」や「経営戦略論」、「経営組織論」などがありますが、本演習では入門レベルの教科書を輪読していくため、関連科目の知識を前提とすることはありません。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．経営学の基本的な理論やフレームワークを説明できる。
2．経営学の基本的な理論やフレームワークを使って、身近な経営現象を考察できる。
3．自分の考えを相手に伝わるように説明することができる。

【成績の評価】
報告資料(50%)、授業への貢献(50%)を総合して評価します。

―報告資料では、毎週提出されるレジュメの内容を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。
―授業への貢献では、議論への積極的な参加や質問、その他の工夫などを評価します。
―ゼミナール形式の授業では、全授業への参加と全ての課題の提出が成績評価の前提になります。
　したがって、遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

【使用テキスト】
無し

【参考文献】
伊丹敬之・加護野忠男（2022）．『ゼミナール経営学入門』（新装版）日本経済新聞社.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	経営学とは何か 経営者の役割	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
3	外部環境のマネジメント① PEST理論、SWOT理論	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
4	外部環境のマネジメント② ファィブフォース理論	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
5	内部環境のマネジメント 資源、能力、競争力	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
6	経営戦略① 戦略論の基礎	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
7	経営戦略② 戦略と資源	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
8	経営戦略③ 戦略と組織	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
9	経営戦略④ 戦略と企業文化	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
10	経営戦略⑤ ドメイン戦略	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作る(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
11	経営戦略⑥ 競争戦略	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間) 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
12	経営戦略⑦ 企業の成長戦略	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレーム	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ワークの内容をレジュメに追記する(1時間) 。	
13	経営戦略⑧ 経営の国際化	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間) 。	
14	日本企業の経営課題 代表企業の経営戦略について検討	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成してくる(3時間) 復習：講義資料を読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間) 。	
15	本演習のまとめ 要点の整理と興味関心の検討	予習：本演習で読んできた中で特に面白かった／興味をひかれた議論、もしくは面白いと感じなかった／興味をひかれなかった議論を取り上げ、なぜそのように感じたのかを考えて、レジュメにまとめてくる(2時間)。 復習：演習内の議論も踏まえて、改めて自身の関心について考える(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
　本演習の目的は、基礎演習Ⅰ・Ⅱで修得した能力をベースに、自分の意見を他者に伝わるように表現し、他者と協働するために必要な能力を養うことにあります。大学生活やその後の社会人生活では、他者と話し合って議論を深め、協力しながらより良い結果を目指していくことを求められる機会が増えていきます。その際に活動をスムーズに進めていくためには、論理的に考え、相手に伝わるように構成し、実際に伝え、協力していく能力が重要になります。
　そこで本演習では、特定のテーマを設定し、そのテーマについてプレゼンテーションやディスカッションを行うことで、上記の能力を養っていきます。また、学外のイベントやボランティア活動への参加を通じて、他者と協働する経験を積むことも予定しています。

　本演習では、Google Classroom(クラスコード：v6h7llg)を通じて、講義資料の配布や課題の提示・提出、諸連絡を行う場合があります。受講生は必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．特定のテーマについて、論理的に考え、自分の意見としてまとめることができる。
2．自分の意見を他者に伝わるように構成し、実際に伝えることができる。
3．他者とコミュニケーションを交わし、円滑に協働することができる。

【成績の評価】
演習内の活動への取り組み(80%)、発表資料(20%)を総合して評価します。

―演習内の活動への取り組みでは、毎回の活動への取り組み方や、議論への貢献度などを評価します。
ゼミナール形式の授業では、講義形式の授業以上に学生の積極的参加が求められます。
したがって、無断での遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

―発表資料では、講義内でまとめた発表資料の内容を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
吉岡友治（2015）．『シカゴ・スタイルに学ぶ論理的に考え、書く技術』草思社．

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(1時間)。	
2	プレゼンテーションの準備① 自分の意見を考え、論拠を検討する	予習：事前に指定したテーマについて、自分の意見をノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で学んだ内容を基に、自分の意見を支える論拠をノート等にまとめる(1時間)。	
3	プレゼンテーションの準備② 相手に伝わるように意見をまとめる	予習：第2回で考えた意見と論拠の伝え方を考え、重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、第2回で考えた意見と論拠をPPT資料にまとめる(1時間)。	
4	プレゼンテーション 相手に伝わるように意見を伝える	予習：発表に向けて練習する(1時間)。 復習：自分や他者の発表を思い返し、良かった点や改善点をノート等にまとめる(1時間)。	
5	論理的思考 自分の意見を伝え、相手を説得する	予習：「論理的思考力」や「ロジカルシンキング」について調べ、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を振り返り、論理的に考えるために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
6	ディスカッションの準備① どの立場に立つのかを決める	予習：事前に指定したテーマについて、どんな立場や意見があるのかを調べ、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、改めて自分の立場や意見を考え、ノート等にまとめる(1時間)。	
7	ディスカッションの準備② ありうる反対意見と反論を考える	予習：自分の立場や意見に対して、どんな反対意見がありうるのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、自分の立場や意見、反対意見への反論を整理し、ノート等にまとめる(1時間)。	
8	ディスカッション 相手と建設的な議論を行う	予習：「建設的な議論」と「非建設的な議論」の違いについて考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、建設的な議論をするために心がけるべきだと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
9	学外イベントへの参加に向けた準備① 学外イベントについて調べる	予習：参加予定の学外イベントの公式サイトを見て、気になったポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、イベントの概要や目的、近年の状況等をノート等にまとめる(1時間)。	
10	学外イベントへの参加に向けた準備②	予習：参加予定の学外イベントについて、ど	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	学外イベントでの自身の役割を考える	んな仕事が必要になりそうかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、改めて自身の役割や目標を考え、ノート等にまとめる(1時間)。	
11	学外イベントへの参加① 担当業務を覚え、遂行する	予習：自身の役割を果たすのに必要な準備を整える(1時間)。 復習：イベント中の言動を振り返り、良かった点や改善点をノート等にまとめる(1時間)。	
12	学外イベントへの参加② 反省点を踏まえて改善する	予習：自身の役割を果たすのに必要な準備を整える(1時間)。 復習：イベント中の言動を振り返り、良かった点や改善点をノート等にまとめる(1時間)。	
13	学外イベントへの参加③ 他者の業務との関係を考え、協働する	予習：自身の役割を果たすのに必要な準備を整える(1時間)。 復習：イベント中の言動を振り返り、良かった点や改善点をノート等にまとめる(1時間)。	
14	学外イベントへの参加④ 反省点を踏まえて、連携を強化する	予習：自身の役割を果たすのに必要な準備を整える(1時間)。 復習：イベント中の言動を振り返り、良かった点や改善点をノート等にまとめる(1時間)。	
15	本演習のまとめ 重要事項の振り返り	予習：本演習全体を振り返り、自分が成長できたと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で取り組んだ内容を基に、今後の大学生活や社会人生活で重要になる能力について自己評価を行い、今後に向けた目標をノート等にまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
1年次の基礎演習Ⅰ・Ⅱでは大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習Ⅰ・Ⅱでは「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。
この授業では、情報処理の学習として情報システムの設計を行うことによって、Excelとは違う情報処理を経験してもらいたいと考えています。また、その体験を通じて情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。

また、地域社会で稼働している情報システム等を調査することもシステム設計には必要となるので、フィールドワーク等も取入れ、地域と積極的に関り会いたいと思っています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践することができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】
プレゼンテーション（60%）と取り組む姿勢（40%）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
この１冊できちんと書ける！ 【新版】論文・レポートの基本　 石黒 圭（著）
日本実業出版社　2024年　￥1,760 税込　ISBN-13　：　978-4534060808

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてITパスポート試験の調査　1時間 復習として情報システムの調査　1時間	
2	情報システムとは	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
3	いろいろな情報システムを体験する	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
4	情報システムの設計とは	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
5	情報システムを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
6	ユーザインターフェースを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
7	ラフスケッチを書く	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
8	中間発表	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
9	情報システムとデータ	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
10	データについて考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
11	データの関連を考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
12	データベースの役割	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
13	データフローを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
14	アプリケーションを発表する	予習として発表資料の作成　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	全体のまとめと演習Ⅱに向けて	予習としてこれまでの授業の振返り　0.5時間 復習としてpろじぇくとマネジメントを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
1年次の基礎演習Ⅰ・Ⅱでは大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習Ⅰ・Ⅱでは「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。
この授業では、情報処理の学習としてExcelVBAを用いた売上管理システムの作成に取り組むとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。学生の理解状況によっては、データベースについての学習を中心にする可能性があります。
なお、学生が企画して授業運営を行う学生企画授業を、前期では2回予定しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践することができる。
2．情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3．情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】
議論への貢献（30%）、売上管理システム制作の進捗（30%）、プレゼンテーション発表（40%）
それぞれ、個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
横山達大「アプリ作成で学ぶExcelVBAプログラミング ユーザーフォーム&コントロール 2019/2016対応」（秀和システム）ISBN987-4-7980-5770-5
その他、資料を配布する。

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	授業計画は目安であり、内容や進行は、クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	プレゼンテーションの特徴と心構え	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
3	プレゼンテーション資料の準備1-(1)：ストーリー	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
4	プレゼンテーション資料の準備1-(2)：良いスライドとは	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
5	プレゼンテーション発表1	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
6	学生企画授業1	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
7	売上管理システム(1)：ExcelVBAの概要・作りたいアプリの概要の把握	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
8	売上管理システム(2)：商品マスタ登録画面を作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
9	売上管理システム(3)：商品マスタの登録処理を行うプログラムを作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
10	売上管理システム(4)：メニュー画面を作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
11	プレゼンテーション資料の準備2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
12	プレゼンテーション発表2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
13	売上管理システム(5)：商品マスタの修正／削除フォームを作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
14	学生企画授業2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
15	総括：夏季休業中の取組みに関する説明	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
1年次の基礎演習Ⅰ・Ⅱでは大学生の基礎的スキルとして，「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け，後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習Ⅰ・Ⅱでは「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは，高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では，情報処理の学習として，データの作成・入手，それらを基に分析や整理を行うための前処理といった情報処理の各ステップを，Pythonによるプログラミングを学びつつ進めた上で，データの解釈とその内容の人への伝達を目的とした各種のデータ可視化について，教員と一緒に試行錯誤しながら体験します。その体験を通じて情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について学び，その学修内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け，実践することができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し，概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し，概要について説明できる。

【成績の評価】
提出された課題の内容（70%），総合演習の内容（20%），受講態度(10%)で評価する。
各課題においての回答傾向概要を報告することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
書名：データビジュアライゼーションの基礎，著者：Claus O. Wilke，翻訳：小林儀匡・瀬戸山雅人，
ISBN：978-4873119533

書名：データ分析者のためのPythonデータビジュアライゼーション入門，著者：小久保奈都弥，
ISBN：978-4798163970

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	復習：ゼミで紹介されたキーワードの内容の理解を深める(1時間)	授業計画は目安であり，内容や進行は，クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	テーマ設定：誰に何を伝えるか	復習：最終的なアウトプットの簡単なプロットを作成してみる(1時間)	
3	データを処理するプラットフォーム	復習：複数のプラットフォームの比較を実施してみる（1時間）	
4	データ処理に用いるプログラミング言語の基礎	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
5	データの入手	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
6	データの作成	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
7	データのクリーニング	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
8	データの正規化	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
9	データベースへの登録	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
10	静的なグラフの作成	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
11	地理情報データの可視化	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
12	データの動的な可視化	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
13	総合演習のためのテーマ設定	復習：自ら決めたテーマに沿ったデータの収集や整理（1時間）	
14	総合演習：自分で決めたテーマに沿ったデータの可視化	復習：自ら決めたテーマに沿ったデータの可視化の実施(1時間)	
15	総合演習の内容を解説するプレゼンテーションの実施	予習：プレゼン資料の準備とリハーサル（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　スポーツ振興を担う人材は、スポーツの文化的価値を理解し、スポーツ文化の創造的な発展を希求する態度が求められます。そのためこの演習では、まずフットボールを題材としてスポーツ種目の成り立ちやルールの変遷を学習します。次にスポーツ種目を興味関心に応じて選択した後、その種目の成立過程やルールの変遷に関する資料を収集・読解し、その成果をまとめて発表します。さらに、新たなスポーツを創造し、創造したスポーツを実践することによって、スポーツの成立過程やルールの重要性を実践的に学習します。これらの活動を通じて、スポーツ文化に対する理解を深めるとともに、スポーツ文化創造の力量を養うことを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．スポーツの文化的価値を説明できる。
2．スポーツの成立過程を調査し、その成果を表現できる。
3．新しいスポーツを創造することができる。
4．チームでコミュニケーションを取り、協力することができる。
5．必要な資料を適切に収集することができる。

【成績の評価】
プレゼンテーション（口頭発表）　50%
発表資料等の成果物　50%
※フィードバックとして、次の演習で報告内容の講評を行います

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
ルチアーノ・ウェルニッケ著　桑田　健訳　『サッカーはなぜ11人対11人で戦うのか？』扶桑社 2022年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	スポーツと文化	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	フットボールの成り立ち	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	フットボールのルールとその変遷	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	スポーツの成り立ちに関する調査（１）種目の選定	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
6	スポーツの成り立ちに関する調査（２）資料の収集	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
7	スポーツの成り立ちに関する調査（３）発表資料の作成	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
8	スポーツの成り立ちに関する調査（４）プレゼンテーションと評価	【復習】他者の発表時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	新しいスポーツを創造することの意義と必要性	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	新しいスポーツの創造（１）テーマの発案	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
11	新しいスポーツの創造（２）ルールの検討	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
12	新しいスポーツの創造（３）用具の確認	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
13	新しいスポーツの創造（４）プレゼンテーションと評価	【予習】新スポーツの創造に関するプレゼンテーション資料を作成する。（1時間）	
14	新しいスポーツの創造（５）実践	【復習】新スポーツの創造に関する活動を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
15	学習内容の振り返りと今後の学習課題の確認	【復習】学習内容を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 正岡　利朗(MASAOKA　Toshirou)

【授業の紹介】
　本演習Ⅰは、演習Ⅲ、Ⅳやその後の卒業論文で必要となる、「調べて、その内容を要領よくまとめて報告する」という一連の能力を向上させるために、何回かに分けて調べるべきテーマを設定し、それぞれのテーマについてまとめた資料を、他の受講生の前で発表するというパターンで授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．プレゼンテーション用ソフトの効果的使用方法が理解できる。
2．プレゼンテーションの技法を確実に身につけることができる。
3．上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】
　プレゼン内容（100点満点）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のプレゼン内容は講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
　とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】
　プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション･トレーニング』実教出版、2015年。

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	プレゼンテーション１回目の準備（情報収集）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
3	プレゼンテーション１回目の準備（情報の整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
4	プレゼンテーション１回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
5	プレゼンテーション１回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
6	プレゼンテーション２回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
7	プレゼンテーション２回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
8	プレゼンテーション２回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
9	プレゼンテーション３回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
10	プレゼンテーション３回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
11	プレゼンテーション３回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
12	プレゼンテーション４回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
13	プレゼンテーション４回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
14	プレゼンテーション４回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習Ⅰ
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke),平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）は、お金という尺度によって、私たちに企業の経営状況を伝えてくれます。そのため、財務諸表を読み解くことができるようになると、企業の経営を数値によって理解することができるようになります。本講義では、こうした財務諸表を読み解く能力についての基礎を養います。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークの実施、および地域連携や高大連携など外部の様々な活動にも参加することを通して、実践的・体験的な学びを行い、その内容を他者に伝える力を養うことも視野に入れて進めていきます。講義実施に際して、オンデマンドやオンラインの手法で開催する場合もあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1.貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2.パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】
積極的な議論への参加などのゼミへの貢献（100%）により総合的に評価します。
なお、必要であれば授業時間内やオフィスアワーなどにおいてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】
大手町のランダムウォーカー（2020）『会計クイズを解くだけで財務３表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方』KADOKAWA

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「財務諸表分析」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表を組み合わせた分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	財務諸表を組み合わせた分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	財務諸表を組み合わせた分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	まとめ（重要項目の確認）	予習として第１回から第14回までの配布資料や質疑応答をまとめたノートを総復習してください（1時間） 　復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
前半：演習Ｉで行なったプレゼンテーションの内容をさらに掘り下げます。最終的には報告書にまとめます。この過程で、スライドとプレゼンテーションの技術を身につけます。
後半：レポートの書き方を修得します。章立て、引用、脚注、参考文献の書き方について学びます。高い評価を得るレポートを書くには必須の技術です。
（注）常にノートPCが必携です。スマホは指示あるいは許可がない限りは使用不可です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1. 知的なプレゼンテーションができる。
2. 学術的な文章を書くことができる。

【成績の評価】
スライド等提出物（60%）・・・日々の積み重ねを重視します。
最終スライドと発表（10%）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価がフィードバックされます。
レポート（30%）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業時間におけるクラスへの貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合や提出が遅れた場合は評価は50%さがります。

【使用テキスト】
適宜、文献や資料を紹介する。

【参考文献】
山崎 康司　（2011）『入門 考える技術・書く技術――日本人のロジカルシンキング実践法』　ダイヤモンド社

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	インタビューの仕方 - 録音 - テープ起こし	予習（2時間） - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - テープ起こしの練習	
2	インタビューの仕方 - メモの取り方 - メモ整理	予習（2時間） - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - インタビューメモ取りの練習	
3	紹介動画の作り方	予習（2時間） - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 動画作成	
4	動画編集を学ぶ	予習（2時間） - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 動画作成	
5	プレゼンテーション　1 - 声の大きさ - 話すスピード	予習：５分間のプレゼンテーションの準備（2時間） 復習：コメント・アドバイスを参考にプレゼンテーションを見直す。（2時間）	
6	プレゼンテーション　2 - アイデリバリー	予習：５分間のプレゼンテーションの改善（2時間） 復習：コメント・アドバイスを参考にプレゼンテーションをさらに見直す。（2時間）	
7	プレゼンテーション　3 - 立ち方と手振り	予習：５分間のプレゼンテーションの改善（2時間） 復習：コメント・アドバイスを参考にプレゼンテーションをさらに見直す。（2時間）	
8	最終プレゼンテーション	予習（2時間） - プレゼン準備と練習 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
9	レポートの書き方１ - 章立て	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
10	レポートの書き方 2 - 直接引用 - 関節引用 - ブロック引用	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
11	レポートの書き方 3 - 表の作成 - 表の挿入	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
12	レポートの書き方 4 - 図の作成 - 図の挿入	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	レポートの書き方 5 - 注の付け方 - 謝辞	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間） - 授業で習った内容の確認	
14	レポートの書き方 6 - 参考文献リスト	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間） - 授業で習った内容の確認	
15	レポートの書き方 7 - 完成	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間） - 授業で習った内容の確認	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro)

【授業の紹介】
　演習Ⅱでは、演習Ⅰまでの学習内容を基礎として、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）を読み解き、分析する能力を養います。
　また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を適切に分析し、その内容を他者に伝える力を養います。
　財務面を含めた企業活動の実態を研究するために、フィールドワーク(地元企業の見学・インタビューなど)も実施する予定です。フィールドワークを実施する際には、受入企業との調整があるため、当初予定の時間割と異なる場合がありえます（通常の時間帯の講義を休講し、別の日程で実施する可能性もある）。
　関連科目として「演習Ⅰ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１.貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、簡単な分析を行うことができる。
２.パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】
　報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
　なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
大手町のランダムウォーカー（2022）『会計クイズを解くだけで財務３表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方 実践編』KADOKAWA

【参考文献】
なし

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	フィールドワークの実施	予習として受入企業の活動内容等を調査し、重要ポイントをメモするなど、企業研究をしてください（1時間） 復習として受入企業の活動内容や強み等をまとめてください（1時間）	
2	財務３表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	財務３表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	財務３表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	時系列分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	時系列分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	時系列分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	競合比較分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	競合比較分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	競合比較分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	事例分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	事例分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	事例分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務諸表分析の手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 稲井　富赴代(INAI　Tokiyo)

【授業の紹介】
本講義は、外国人留学生のプレゼンテーション能力を向上させることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
「演習Ⅱ」では、自分が調べたことや自分の意見を口頭発表します。まず、プレゼンテーションの流れと関連表現を学習した上で、内容の構成、順序を重視しながら、聞いている人にわかりやすく発表する練習を行います。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、各発表に対してゼミ生全員で批評を行います。発表者はゼミ生の意見を参考にして発表内容を修正し、次週再発表を行います。これを繰り返し行うことで、プレゼンテーション能力の向上を図ります。
なお、関連科目として「演習Ⅰ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
①プレゼンテーションの流れと、それに関連した表現を使うことができる。
②プレゼンテーションのpptを作ることができる。
③テーマに沿ってプレゼンテーションができる。

【成績の評価】
授業中の発表（ ５０％ ）、レポート・小テスト（５０％）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。
遅刻３回で欠席１回とみなす

【使用テキスト】
『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』犬飼康弘著、スリーエーネットワーク、2007年、2,500円＋税
『アカデミックプレゼンテーション入門』三浦香苗・岡澤孝雄・深澤のぞみ・ヒルマン小林恭子著、ひつじ書房、2006年、2,200円＋税

【参考文献】
授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第７課「少子化①」 はじめに	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
2	第８課「少子化②」 保育サービスの現状と問題点	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
3	第９課「少子化③」 企業の育児休業制度について	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
4	第10課「少子化④」 男性の育児に対する考え方と現状	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
5	第11課「少子化⑤」 まとめ	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
6	プレゼンテーションの基礎	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
7	プレゼンテーションに必要な表現① 「図表の説明に必要な表現」	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
8	プレゼンテーションに必要な表現② 「比較の表現、引用の表現、接続の表現」	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
9	pptの作り方 プレゼンテーションにおける話し方	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
10	プレゼンテーション 「都市を紹介しよう」① 各自の発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
11	プレゼンテーション 「都市を紹介しよう」② 各自の再発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
12	プレゼンテーション 「伝統行事を紹介しよう」① 各自の発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
13	プレゼンテーション 「伝統行事を紹介しよう」② 各自の再発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
14	プレゼンテーション 「自由テーマ」①	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	各自の発表	等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
15	プレゼンテーション 「自由テーマ」② 各自の再発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian)

【授業の紹介】
本演習の目的は、経営学の基本的な知識を使って、企業行動を分析する能力を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、知識として知っているだけではなく、それらを使いこなせるようになることが求められます。本演習では、特に経営戦略論に焦点を当て、お手本から分析手法を学び、そこで学んだ内容を実際に試してみる経験を積むことで、経営学の知識を使いこなせるようになるきっかけをつかむことを目指します。
その目的を達成するために、本演習では、経営学の基本理論・知識を活かし、チームワークの形で企業の行動を分析します。事例の選定、資料の収集、分析成果のプレゼンテーションなど、一連のプロセスを通じて、企業行動を分析することができるという実践的な能力を育成します。
関連科目としては「経営学概論」や「経営戦略論」などがありますが、読解に必要な知識については演習内でも若干の解説を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．経営学の基本的な知識を使って、身近な経営現象を分析できる。
2．分析に必要な資料・データを考え、自力で探すことができる。
3．自分の考えを相手に伝わるように説明することができる。

【成績の評価】
授業への貢献(50%)、分析の発表内容(50%)を総合して評価します。

―授業への貢献では、輪読回のレジュメや、議論への積極的な参加、質問、その他の工夫などを評価します。
―分析の発表内容については、講評を行い、フィードバックします。
　評価にあたっては、同チーム・メンバーからの貢献度評価も考慮に入れます。
―ゼミナール形式の授業では、全授業への参加と全ての課題の提出が成績評価の前提になります。
　したがって、遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
大滝精一企業行動・金井一頼・山田英夫・岩田智（2011）．『経営戦略―論理性・創造性・社会性の追求』（新版）有斐閣アルマ.
その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	興味深い課題（企業行動）の掘り出し （問題意識の喚起）	予習：前回授業中、配布した資料を読み、レジュメを作成する（2時間）。 復習：今回の講義要点を整理し、自分なりの課題を見つける（2時間）。	
3	課題に関わる文献・資料の検索、検討	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する（2時間）。 復習：今回の講義要点を整理し、文献　資料を検索する（2時間）。	
4	課題分析の目的、意味	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する（2時間）。 復習：今回の講義要点を整理し、選定した課題を分析する目的、意味などについて考える（2時間）。	
5	課題の分析枠組み	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する（2時間）。 復習：今回の講義要点を整理し、課題の分析枠組みを考える（2時間）。	
6	資料・データの収集、分析	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する(2時間)。 復習：今回の講義要点を整理し、課題に関わる資料・データを探す(2時間)。	
7	分析結果の纏め	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する(2時間)。 復習：今回の講義要点を整理し、課題分析の結果を纏める(2時間)。	
8	分析の進歩報告	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する(2時間)。 復習：今回の講義要点を整理し、課題分析に不十分な部分を補完する（2時間）。	
9	プレゼンテーションの準備	予習：前回授業中配布した資料を読み、レジュメを作成する(2時間)。 復習：発表に向け、パワーポイントを作成する（2時間）。	
10	課題分析の報告① （チーム1）	予習：発表に向け、パワーポイントの修正と発表の練習を行う（2時間）。 復習：チーム1の発表内容、方法などをを参考し、自分の改善点を考える(2時間)。	
11	課題分析の報告② （チーム2）	予習：発表に向け、パワーポイントの修正と発表の練習を行う（2時間）。 復習：チーム2の発表内容、方法などを参考し、自分の改善点を考える(2時間)。	
12	課題分析の報告③ （チーム3）	予習：発表に向け、パワーポイントを修正し、練習する（2時間）。 復習：チーム3の発表内容、方法などを参考し、自分の改善点を考える(2時間)。	
13	課題分析の報告④ （チーム4）	予習：発表に向け、パワーポイントの修正と発表の練習を行う（2時間）。 復習：チーム4の発表内容、方法などを参考し、自分の改善点を考える(2時間)。	
14	課題分析の報告⑤	予習：発表に向け、パワーポイントの修正と	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	（チーム5）	発表の練習を行う（2時間）。 復習：チーム5の発表内容、方法などを参考し、自分の改善点を考える(2時間)。	
15	本演習のまとめ （企業行動の分析についての総括）	予習：本演習を通じて、今後の事例分析に活かせるものを考える(2時間)。 復習：演習内の議論も踏まえ、振り返って本演習で学んできたものを学習ノートに整理する(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
　本演習の目的は、企業経営を分析するための第一歩として、企業に関する情報を収集し、その情報を基に考え、他者に分かるように伝える能力の基礎を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、就職後の仕事などで企業を分析するためには、ただ闇雲に企業の情報を調べればよいというわけではありません。企業に関する情報の種類や在り処、使い方、その情報を基に考える方法、分かりやすい伝え方などを把握し、身につけておくことが求められます。
　そのような能力を身につけるために、本演習では、特定の企業を選んでもらい、その企業について調査する活動を行っていきます。そこでは、企業の公式サイトや有価証券報告書の見方を確認するとともに、そこから得た情報をまとめて発表する練習を行います。また、大学祭への模擬店・展示での参加も予定しています。さらに、状況に応じて、学外のイベントやボランティア活動などに参加する可能性があります。

　本演習では、Google Classroom(クラスコード：ihcl6n2)を通じて、講義資料の配布や課題の提示・提出、諸連絡を行う場合があります。受講生は必ず登録してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1. 企業に関する情報を自力で調べ、考え、まとめることができる。
2. 自分が調べた内容や考えた内容を相手に伝わるように説明することができる。
3. 企業の経営戦略や経営組織に関心を持つことができる。

【成績の評価】
演習内の活動への取り組み(80%)、発表資料(20%)を総合して評価します。

―演習内の活動への取り組みでは、毎回の活動への取り組み方や、議論への貢献度などを評価します。
　ゼミナール形式の授業では、講義形式の授業以上に学生の積極的参加が求められます。
　したがって、無断での遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

―発表資料では、企業についてまとめた発表資料の内容等を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
東洋経済新報社編（2024）.『会社四季報 業界地図 2025年版』東洋経済新報社.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを確認し、本演習の進め方や取り組む課題を確認する(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(1時間)。	
2	経営戦略を考える① 顧客のニーズと市場性を検討する	予習：身の回りの製品について、顧客のニーズや市場規模を考えてノート等にまとめる(1時間)。 復習：顧客のニーズと市場性について考えた内容をノート等にまとめる(1時間)。	
3	経営戦略を考える② 製品・サービスの提供価値を検討する	予習：身の回りの製品について、顧客に提供している価値を考えてノート等にまとめる(1時間)。 復習：製品・サービスの提供価値について考えた内容をノート等にまとめる(1時間)。	
4	経営戦略を考える③ 経営戦略をブレークダウンする	予習：これまで所属してきた組織を思い返し、組織の目標と自分の活動の関係を考えてノート等にまとめる(1時間)。 復習：現場レベルの目標・戦術と経営戦略の関係について考えた内容をノート等にまとめる(1時間)。	
5	経営組織を考える 経営戦略を実行するための組織体制を検討する	予習：これまで所属してきた組織を思い返し、組織体制の特徴を考えてノート等にまとめる(1時間)。 復習：経営戦略と組織の関係について考えた内容をノート等にまとめる(1時間)。	
6	大学祭準備	予習：大学祭の準備に必要なものを考えて、用意してくる(1時間)。 復習：演習内で挙がった内容を基に、展示物や道具類、原材料などを準備する(1時間)。	
7	企業情報の調べ方① 色々な企業や業界を知る	予習：日々の暮らしの中で目にした企業をノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習で学んだ内容を基に、普段目にする企業や業界を改めてノート等にまとめる(1時間)。	
8	企業情報の調べ方②-1 公式サイトの見方―掲載されている情報を知る	予習：興味のある企業の公式サイトを確認し、気になったポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で取り組んだ活動に改めて自力で取り組み、成果をノート等にまとめる(1時間)。	
9	企業情報の調べ方②-2 公式サイトの見方―企業の活動内容を読み取る	予習：興味のある企業の公式サイトを確認し、企業の活動内容をノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で取り組んだ活動に改めて自力で取り組み、成果をノート等にまとめる(1時間)。	
10	企業情報の調べ方③-1 有価証券報告書の見方―掲載されている情報を知る	予習：興味のある企業の有価証券報告書を確認し、気になったポイントをノート等にまとめる(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：演習内で取り組んだ活動に改めて自力で取り組み、成果をノート等にまとめる(1時間)。	
11	企業情報の調べ方③-2 有価証券報告書の見方―業績を読み取る	予習：興味のある企業の有価証券報告書を確認し、近年の業績をノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で取り組んだ活動に改めて自力で取り組み、成果をノート等にまとめる(1時間)。	
12	企業情報の調べ方④ 業績をグラフにまとめる	予習：興味のある企業の公式サイトを確認し、業績ハイライトをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で取り組んだ活動に改めて自力で取り組み、成果をノート等にまとめる(1時間)。	
13	総合演習① 好きな企業に関する情報をまとめる	予習：これまでの演習の内容を振り返り、企業を調べる際の段取りをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で取り組んだ活動に改めて自力で取り組み、成果をノート等にまとめる(1時間)。	
14	総合演習② 好きな企業に関する情報を発表する	予習：発表に向けて練習する(1時間)。 復習：次の発表機会に向けて良かった点や改善点を検討し、ノート等にまとめる(1時間)。	
15	本演習のまとめ 企業経営の「なぜ？」を考える	予習：これまでの演習の内容を振り返り、企業を調べる中で気づいたポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習全体を振り返り、次に企業を調べる時に注意したいポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
前期では、情報システムの設計を体験してもらいましたが、この授業ではプログラミングを体験してもらいます。プログラミングと言っても様々な言語やツールがありますので、その紹介を行い、いくつかの言語とツールを体験してもらいます。その体験を通じて、情報産業や情報通信システムへの理解をより深めてもらいたいと考えています。
また、大学祭への模擬店の出展や地域でのボランティア等を計画することにより、プロジェクトマネジメントを体験してもらいたいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．プログラミング言語の概略を理解できる
2．システムエンジニアの仕事を理解できる
3．プロジェクトマネジメントを理解できる

【成績の評価】
授業での成果物（60%）と取り組む姿勢（40%）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】
資料等を配布する。

【参考文献】
この１冊できちんと書ける！ 【新版】論文・レポートの基本　 石黒 圭（著）
日本実業出版社　2024年　￥1,760 税込　ISBN-13　：　978-4534060808

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
2	プロジェクトマネジメント（PM） とは	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
3	スケジュールの決定	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
4	業務内容の決定	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
5	役割分担の決定	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
6	プログラミングとは	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
7	プログラミング体験：基礎 プログラミングの文法等について説明する。	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
8	プログラミング体験：基礎＋α オブジェクト指向型の考え方について説明する。	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
9	作るべきプログラムを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
10	プログラムのシナリオを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
11	必要となる技術を調べる	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
12	必要なアクタを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
13	必要な機能を考える	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
14	データフローを考える	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
15	全体のまとめとSEの役割	予習として図書館、インターネット等での調査　0.5時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。
　この授業では、演習Ⅰに引き続き、情報処理の学習としてExcelVBAを用いた売上管理システムの作成に取り組むとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。報告発表は、輪番の発表と共通課題の発表があります。学生の理解状況によっては、データベースについての学習を中心にする可能性があります。
　なお、大学祭への模擬店・展示での参加を予定しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践できる。
2．情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3．情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】
議論への貢献（30%）、売上管理システム制作の進捗（30%）、プレゼンテーション発表（40%）
それぞれ、個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
横山達大「アプリ作成で学ぶExcelVBAプログラミング ユーザーフォーム&コントロール 2019/2016対応」（秀和システム）ISBN987-4-7980-5770-5
その他、資料を配布する。

【参考文献】
適宜、指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	授業計画は目安であり、内容や進行は、クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	企画の立案(1)：ブレインストーミングとアイデアの整理、ドキュメントの整備	課題：アイデアを整理し、ドキュメントにまとめる(1時間)	
3	企画の立案(2)：WBSと役割分担	課題：WBSおよび役割分担をドキュメントにまとめる(1時間)	
4	企画の立案(3)：スケジューリング	課題：スケジュールをドキュメントにまとめる(1時間)	
5	大学祭準備	課題：展示物や道具類、原材料を準備する(1時間)	
6	決算報告と評価点検	課題：決算報告をまとめる(1時間)	
7	売上管理システム(1)：顧客マスタの登録フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
8	売上管理システム(2)：顧客マスタの修正／削除フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
9	売上管理システム(3)：売上情報の登録フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
10	売上管理システム(4)：売上明細の修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
11	売上管理システム(5)：売上情報の検索フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
12	売上管理システム(6)：売上情報の修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
13	売上管理システム(7)：会社情報の登録／修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
14	売上管理システム(8)：請求書の指定フォーム、印刷フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
15	総括：春季休業中の取組みに関する説明	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
この演習は，データの作成/前処理/統計処理/可視化というデータ解析の過程を，実際に手を動かして体験することにより，実務におけるデータの利活用を把握し，学修内容を自らの研究や普段の生活へと応用する足がかりをつくることを目的として進めます。本演習では，学修内容を環境に左右されずに生かせるように，誰もがアクセス可能な各種のクラウドサービスの環境下で，オープンソースのソフトウェアやライブラリを用いてデータ処理を行います。その際，プログラミング言語として前期の演習Ｉと同様にPythonを用います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	４．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．実務におけるデータ利活用を把握できる
2．演習内で取り組んだデータ分析や統計解析の手法を習得できる
3．1.および2.の学修内容を自らの専門分野や生活へ活用できる

【成績の評価】
提出された課題の内容（70%），総合演習の内容（20%），受講態度(10%)で評価する。
各課題においての回答傾向概要を報告することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
書名：退屈なことはPythonにやらせよう 第2版，著者：Al Sweigart，翻訳：相川 愛三，ISBN：978-4873119274

書名：Pythonで理解する統計解析の基礎，著者名：谷合 廣紀，監修：辻 真吾，ISBN：978-4297100490

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	復習：ゼミで紹介されたキーワードの内容の理解を深める(1時間)	授業計画は目安であり，内容や進行は，クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	画像データ処理	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる(1時間)	
3	動画データ処理	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
4	音声データ処理	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
5	3Dデータの生成	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
6	自分で取得したデータとその統計処理	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
7	地理情報処理(位置情報を持つベクタデータ処理)	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
8	地理情報処理(衛星画像等のラスタデータ処理)	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
9	スクレイピング体験/ワードクラウド生成	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
10	機械学習体験	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
11	深層学習体験	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
12	グラフ理論(道路の最短ルート検索等)	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
13	グラフ理論(ノード間の関連性の評価)	復習：ゼミで実施したことを他のデータをもとに再現してみる（1時間）	
14	総合演習	復習：総合演習の内容を進める（1時間）	
15	総合演習の相互披露	予習：総合演習を披露するプレゼンテーション準備（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　スポーツ振興を担う人材には、自ら問題を設定し、科学的な探求活動に従事する力が求められます。そこでこの演習では、本学所属学生のスポーツライフの実態調査という課題を通して、社会調査の基本的な考え方について理解するとともに、実際にアンケート調査を実施し、定量的データを収集・分析するための知識および技能を身に付けることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１．社会調査の基本的な考え方を理解できる
２．アンケート調査を計画し実行できる
３．アンケートにおいて適切な情報を得られるように質問内容を工夫できる
４．アンケート調査から得た定量的データを学術レポートとして表現できる
５．パラグラフを意識した記述ができる

【成績の評価】
研究報告レポート　50%
研究報告プレゼンテーション　50%
※フィードバックとして、オフィスアワーを活用して報告内容の講評を行います。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
戸田山和久 著『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHK出版 2022年　1,540円

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	理論、概念、リサーチクエスチョン	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
3	データ、方法論、調査デザイン	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
4	パラグラフライティング、文献の引用	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
5	定量的調査の考え方と進め方	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
6	既存文献のレビュー（１）：グループＡからの報告	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
7	既存文献のレビュー（２）：グループＢからの報告	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
8	アンケート項目の検討	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
9	調査依頼文の作成	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
10	調査結果の集計	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
11	定量的データの分析	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
12	分析結果の考察	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
13	調査報告書の作成	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
14	研究報告会：調査結果の発表	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
15	学習内容の振り返り	【復習】授業内で扱った図書や論文の文献一覧を作成し、ノートにまとめておく。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 正岡　利朗(MASAOKA　Toshirou)

【授業の紹介】
　本演習Ⅱは、演習Ⅰに引き続き、演習Ⅲ、Ⅳやその後の卒業論文で必要となる、「調べて、その内容を要領よくまとめて報告する」という一連の能力を向上させるために、何回かに分けて調べるべきテーマを設定し、それぞれのテーマについてまとめた資料を、他の受講生の前で発表するというパターンで授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
1．プレゼンテーション用ソフトの効果的使用方法が理解できる。
2．プレゼンテーションの技法を確実に身につけることができる。
3．上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】
　プレゼン内容（100点満点）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のプレゼン内容は講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
　とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】
　プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション･トレーニング』実教出版、2015年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	プレゼンテーション５回目の準備（情報収集）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
3	プレゼンテーション５回目の準備（情報の整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
4	プレゼンテーション５回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
5	プレゼンテーション５回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
6	プレゼンテーション６回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
7	プレゼンテーション６回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
8	プレゼンテーション６回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
9	プレゼンテーション７回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
10	プレゼンテーション７回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
11	プレゼンテーション７回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
12	プレゼンテーション８回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
13	プレゼンテーション８回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
14	プレゼンテーション８回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（２時間）。また、毎回の授業毎にＡ４・１枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習II
担当教員： 藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke),平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
演習Ⅱでは、演習Ⅰまでの学習内容を基礎として、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）を読み解き、分析する能力を養います。

また、本講義では、演習Ⅰと同様に、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークの実施、および地域連携や高大連携など外部の様々な活動にも参加することを通して、実践的・体験的な学びを行い、その内容を他者に伝える力を養うことも視野に入れて進めていきます。講義実施に際して、オンデマンドやオンラインの手法で開催する場合もあります。

なお、関連科目として「演習Ⅰ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	4
		⑥　チーム活動能力	3

【到達目標】
１.貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、簡単な分析を行うことができる。
２.パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】
積極的な議論への参加などのゼミへの貢献（100%）により総合的に評価します。
なお、必要であれば授業時間内やオフィスアワーなどにおいてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】
大手町のランダムウォーカー（2022）『会計クイズを解くだけで財務３表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方 実践編』KADOKAWA

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務諸表分析の手法をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務３表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	財務３表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	財務３表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	時系列分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	時系列分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	時系列分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	競合比較分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	競合比較分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	競合比較分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	事例分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	事例分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	事例分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務諸表分析の手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
　学生の興味に応じて、人材育成、教育・訓練、人事管理等、あるいは、経営に関して企業や社会が抱える課題をいくつか取り上げ、グループ・ワークを通じて理解を深めるとともに、具体的な解決策の提案まで試みます。また、それらをスライドにまとめプレゼンテーションを行います。
（注）常にノートPCが必携です。スマホは指示あるいは許可がない限りは使用不可です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.人材育成、教育・訓練、人事管理等に関する課題を検討し、解決策を提案できる。
2.わかりやすいスライドを作ることができる。
3.説得力のあるプレゼンテーションができる。

【成績の評価】
グループへの貢献（60%）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
中間発表（10%）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価が返却されます。
最終発表（20%）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価が返却されます。
最終スライド（10%）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

グループ・ワークが中心のため、全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業への貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合は大きく評価をさげることになります。

【使用テキスト】
山崎 康司　（2016）　『考える技術・書く技術【スライド編】』　ダイヤモンド社

【参考文献】
TED（YouTube）等で良い発表を学んでください。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	働きたい会社を見つけよう。 - 夏休みインターンシップを目指して -企業の調べ方	予習：会社を探す（2時間） 復習：インターンシップ対象会社の決定（2時間）	４、５月に就職説明会と社会人基礎力を測定する合同ゼミが、それぞれ1回ずつあります。
2	エントリーシートを書いてみる。	予習：エントリーシートの作成（2時間） 復習：エントリーシートの修正（2時間）	
3	自己分析ドリル	予習：自己分析ドリルの作成（2時間） 復習：自己分析ドリルの修正（2時間）	
4	自分史を振り返る。	予習：自分史の作成（2時間） 復習：自分史の修正(2時間）	
5	人生グラフを書いてみよう。	予習：人生グラフの準備（2時間） 復習：人生グラフの修正（2時間）	
6	自己改造計画	予習：自己改造計画の作成（2時間） 復習：自己改造計画の修正（2時間）	
7	模擬面接 1 - 聞き出す側の経験	予習：質問項目の作成（2時間） 復習：質問項目の修正（2時間）	
8	模擬面接 2 - 聞かれる側の経験	予習：回答の準備（2時間） 復習：回答の反省(2時間）	
9	インタビューの方法を学ぶ 1 - 構造的インタビュー	予習：インタビュー項目の抽出（2時間） 復習：インタビュー項目の改善　(2時間）	
10	インタビューの方法を学ぶ 2 - 録音の仕方	予習：インタビューの手法の学習（2時間） 復習：録音機器の操作　(2時間）	
11	インタビューの方法を学ぶ 3 - テープ起こしの方法	予習：テープ起こしの準備（2時間） 復習：テープ越しの完成　(2時間）	
12	インターンシップ計画作成 1	予習：第１候補を探る（2時間） 復習：第１候補の決定（2時間）	
13	インターンシップ計画作成 2	予習：第２公募を探る（2時間） 復習：第２候補の決定（2時間）	
14	面接練習　1	予習: 面接の準備（2時間） 復習：面性の反省（2時間）	
15	面接練習　2	予習：面接の準備（2時間） 復習：面性の反省（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
皆さんが考える「より良いゼミ」とは何でしょうか？本演習の担当者は、様々な考えを持つ者が集まり、主体性をもち能動的にコミュニケーションを図りながら相互の意見を尊重し、より深く学び合うことで何らかの成果を創出していく場でありたいと考えています。そのためには、自他の学習権や人権を尊重しながら、学修を継続できる好ましい学習環境を、学生と教員がともに創り出すことが前提です。ゼミは、馴れ合いの仲良しクラブではありません。学生と教員がともに切磋琢磨し創り上げる「学びの場」「成長の場」であることを認識してください。
さて、本演習では特定のプロジェクトやオープンキャンパス(OC)の企画を遂行します。他者との関係を築きつつ、自己の意見を他者に伝わるように表現する力、すなわち実社会に通じるコミュニケーション能力の向上につながるとともに、卒業論文執筆に向けた学修準備の機会となるでしょう。また、来るべき就職活動に向けた準備も行います。非認知能力の可視化ツールであるAi GROWを用いて、自分自身の能力と魅力を冷静に自己分析する機会を設けています。今のうちから自己分析を始めることは、採用スケジュールから逆算すると、早すぎるとは言えません。さらに本演習では、「主体性を育む」「地域社会への関心を高める」「地域社会の一員としての自覚を促す」の3つの観点から、学内外における学生主体のプロジェクトの実施や、地域・社会貢献活動などへの自主的な判断にもとづく積極的な参加を推奨します。これらの活動は、強制ではなく自らの成長を促すと思われる活動を学生が主体的に行うものであり、必ずしも授業時間内に実施するものではありません。
また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「ebunrfh」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．自分自身の能力と魅力を冷静に自己分析し、自己成長のための研鑽を積むことができる。
2．統計データを正しく読み解き、論理的に思考・吟味し、自分の考えをまとめることができる。
3．プレゼンテーションやディスカッションを通じて、口頭でわかりやすく説明したり、質疑応答したりすることができる。

【成績の評価】
評価項目は、受講態度（10%）、プロジェクトへの貢献度・積極性・学習成果物（45%）、OC企画への貢献度・積極性・学習成果物（35%）、レポート等の学習成果物（10%）とする。学習成果物等は、学内外へ向けて公表する場合がある。本演習がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をする。
ゼミ活動では、計画をたて自らの役割は責任をもって全うすること。作業の進捗状況によっては、授業時間外に活動が必要になる場合がある。学生には、他の学生に迷惑をかけず良好な受講態度が求められる。自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけること。遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに教員に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
保本正芳編著『はじめの一歩　基礎からはじめるデータサイエンス』ワークアカデミー、2022年.
ｎｏａ出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年.
竹田茂生他著『ゼロからの統計学　－使えるシーンが見える－』くろしお出版、2010年.
戸田山 和久著『最新版　論文の教室－レポートから卒論まで－』ＮＨＫブックス、2022年.
桑田てるみ他著『学生のレポート・論文作成トレーニング　改訂版－スキルを学ぶ21のワーク－』実教出版株式会、2015年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード ebunrfh） 高大ドリルについて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
2	特定のプロジェクトの実践① 計画策定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
3	特定のプロジェクトの実践② 役割分担・準備	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
4	特定のプロジェクトの実践③ 計画の実践	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
5	特定のプロジェクトの実践④　振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
6	オープンキャンパスの企画実践① 企画案及び計画策定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
7	オープンキャンパスの企画実践② 計画の実践・振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
8	就職活動に向けた準備① 社会人基礎力診断、学修ポートフォリオの入力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
9	就職活動に向けた準備② リテラシー（論理的思考力）とコンピテンシー（実践的な行動特性）の診断・振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
10	就職活動に向けた準備③ Ai GROWの実施・振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
11	就職活動に向けた準備④ マイナビ、リクナビ登録	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
12	就職活動に向けた準備⑤ 就活スタートアップ講座	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
13	就職活動に向けた準備⑥ 履歴書・エントリーシートの書き方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
14	就職活動に向けた準備⑦ 自己紹介書作成に向けて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　「失われた30年」を経た日本、そして地方の衰退は加速度的に進んでいる。「人手不足」に代表される地方における経営資源の不足は、地方の企業だけではなく、地方の経済・社会システムまでを脅かしている。
　本演習においては、地方衰退の現状を確認し、その解決策を発見するために、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、土曜日に実施する可能性があることに留意されたし。

　※2024年度はフィールドワークとして、9月11日に大阪成蹊大学経営学部のゼミと合同で、徳島県上勝町の見学を実施した。その際には、木質バイオマスチップによる発電の見学、「ゼロ・ウェイスト・センター」の見学を行った。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
地方衰退に関連したテーマについて、自分なりの考えを持ち、それを他者に説明できる。

【成績の評価】
　報告(100%)で成績の評価を行う。報告の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　指定しない。

【参考文献】
　饗庭 伸 [2015]，『都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画』 花伝社/本体\1,700+税/ISBN-13:978-4763407627。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、イントロダクション、個別面談の実施①など	【予習】：2024年4月から同年9月の間に高松市周辺で行われるイベントを調べ、その概要についてノートやメモ帳(電子媒体を含む)などにまとめておくこと(1時間)。 ※作成物は第1回の講義に必ず持参すること。 【復習】：第1回の講義で学習ポートフォリオについて説明を行うので、指示した項目を埋めておくこと(1時間)。	
2	個別面談の実施②とグループ決め、フィールドワークの説明	【予習】：第1回の講義で学習ポートフォリオについて説明を行うので、指示した項目を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの所定の項目を埋めておくこと(1時間)。	
3	フィールドワークの準備①：文献調査	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの所定の項目を埋めておくこと(30分)。 【復習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、指定した文献を図書館などで借りてくること(1時間)。	
4	フィールドワークの準備②：インターネット資料の調査	【予習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、指定した文献を図書館などで借りてくること(1時間)。 【復習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、この回で調べきることができなかったインターネットの資料を用意しておくこと(1時間)。	
5	フィールドワーク①：マップの作成	【予習】：第5回のフィールドワークの準備として、第4回の講義で配布したマップに目を通し、可能であればインターネットを活用して、マップ内の施設について調べておくこと(1時間)。 【復習】：第6回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
6	フィールドワーク②：現地状況を把握	【予習】：第6回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第7回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
7	フィールドワーク③：インタビュー	【予習】：第7回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第8回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
8	フィールドワーク④：まとめ	【予習】：第8回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第8回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。	
9	フィールドワークの振り返り	【予習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第8回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。	
10	フィールドワークの準備	【予習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
11	フィールドワーク①：マップの作成	【予習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
12	フィールドワーク②：現地状況を把握	【予習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
13	フィールドワーク③：インタビュー	【予習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
14	フィールドワーク④：まとめ	【予習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第13回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。	
15	前期のまとめ、振り返り、期末課題の説明	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。 【復習】：期末課題を説明するので、期末課題を作成し、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian),藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
実際にビジネスアイデアを考え、それをプランに仕上げていくというプロセスを通じて、企業や事業の立ち上げやマネジメントに関する基礎的な概念・知識を理解し、疑似体験をしながら身に着けていく。
また学生は学外で行われるイベント・企画などにも積極的に参加することが求められる。そのような実践的・体験的な学びを通じて、社会人になって必要となる意識・姿勢・スキルを学び、その能力を高めることも本演習の目的である。

＜クラスルーム＞
名称：2025時・藤原ゼミ（3年）
コード：hvuh7vm

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①社会現象に対して自分なりの観察眼をもつことができる。
②不思議な現象を抽出し、課題設定ができる。
③自分が設定した課題に対する解決策を考えることができる。

【成績の評価】
各回の講義で作成するレジュメの内容および講義の中での貢献を総合的に判断して評価を行う。

【使用テキスト】
なし。

【参考文献】
田所雅之『起業の科学』日経BP

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
企業におけるビジネスの立ち上げやビジネスプランの作成経験に基づき、実際の実例なども交えて講義を行う。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、本講義で行う全体像を自分なりに把握する。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）	
2	社会で困っていることの抽出	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
3	課題の絞り込み	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
4	課題の解決方法のアイデアだし	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
5	インタビュー調査の実施	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
6	インタビュー調査の内容の分析	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
7	事業概要の検討	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
8	ミッション・ビジョン・バリューの検討	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
9	市場規模の見極め	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
10	ビジネスモデルの検討	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
11	ターゲット顧客へのインタビュー調査	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
12	事業内容の精緻化	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
13	マーケティングプランの検討	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
14	数値計画の作成	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認し、アクションプランを考える。（2時間）	
15	ビジネスプラン作成	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
本演習の目的は、経営学に関する基本的な知識を使って、企業経営について考察する能力を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、知識として知っているだけでは不十分です。それらを使いこなし、実際の企業やビジネスを分析できるようになることが求められます。
そこで本演習では、ビジネスプランを検討する活動に取り組み、その中で経営戦略や経営組織、マーケティング、資金繰りなど、多様な側面から企業経営について考える能力を養っていきます。特に、身の回りの困り事や成功した事例を踏まえながら、事業アイデアを生み出すための考え方を重点的に学んでいきます。予定変更の可能性もありますが、ビジネスプランコンテストへの参加を想定しています。参加がかなわなかった場合でも、アウトプットの場を他に設定する予定です。

「ビジネスプランを考える」と聞くと、起業に興味がないといけないのではないかと考える人がいるかもしれません。ですが、起業に興味がなくても全く問題ありません。新しいビジネスをゼロから検討するためには、経営学部で学んできた知識や経験を総動員することが必要です。その意味で、ビジネスプランを検討する経験は、起業に興味がない人にとっても、経営学に関する知識を使って考える良い練習になります。

本演習では、Google Classroom(クラスコード：a6kt5lq)を通じて諸連絡や資料の共有などを行う予定です。受講を希望する場合には必ず登録してください。

なお、ビジネスプランコンテストに参加する場合などには、通常の時間帯の講義を休講し、通常の時間帯以外の時間に活動を行う可能性があるので、注意してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．事業アイデアを発想する時に検討すべき論点を考えることができる。
2．経営学に関する基本的な知識を使って、自分なりに企業経営を考察できる。
3．他者と円滑にコミュニケーションをとり、協働することができる。

【成績の評価】
演習内の活動への取り組み(80%)、発表資料(20%)を総合して評価します。

―演習内の活動への取り組みでは、毎回の活動への取り組み方や、議論への貢献度などを評価します。
ゼミナール形式の授業では、講義形式の授業以上に学生の積極的参加が求められます。
したがって、無断での遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

―発表資料では、活動の過程で作成した発表資料の内容等を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
秦充浩（2015）．『プロ直伝！成功する事業計画書のつくり方』ナツメ社．
その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(1時間)。	本演習の時間内に、就職関連のガイダンスが行われることがあります。また、ビジネスプランコンテストに参加する場合には、コンテストに関する説明会などが行われる可能性があります。 それらの場合などには、学生の到達状況等も加味しながら、内容を適切に変更します。
2	ビジネスプラン検討の全体像① ビジネスプランの良し悪しを考える	予習：事業計画書について調べ、事業計画書を書く目的をノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、良いビジネスプランの条件を考え、ノート等にまとめる(1時間)。	
3	ビジネスプラン検討の全体像② ビジネスプラン完成までの道筋を考える	予習：良いビジネスプランを完成させるために考えるべきポイントを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、ビジネスプランを完成するまでに考えるべきポイントを整理し、ノート等にまとめる(1時間)。	
4	事業コンセプトを考える① 社会の様々な変化に目を向ける	予習：以前と比べて社会が変化したと思うポイントを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、社会の変化を示すデータを探索し、ノート等にまとめる(1時間)。	
5	事業コンセプトを考える② 成功したビジネスに目を向ける 身の回りの困り事に目を向ける	予習：成功したスタートアップについて調べ、その企業の事業がどんな困り事を解決しているのかをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、自分の身の回りの困り事とその解決策を考え、ノート等にまとめる(1時間)。	
6	事業コンセプトを考える③ アイデアの発想法を身につける	予習：ブレインストーミングについて調べ、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、好きなテーマでアイデアの発想法を練習し、ノート等にまとめる(1時間)。	
7	事業コンセプトを考える④ 事業アイデアを発想する	予習：第6回で学んだアイデアの発想法を使いつつ、自分の身の回りの困り事とその解決策をできるだけ多く考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、事業アイデアを発想する時に注意する点をノート等にまとめる(1時間)。	
8	事業コンセプトを考える⑤ 事業アイデアを絞り込む	予習：事業アイデアを絞り込む時に重要になりそうな評価軸を考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、事業アイデアを絞り込む時に注意する点をノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめる(1時間)。	
9	顧客への提供価値を考える① 市場に関するデータを集めてまとめる	予習：好きな製品・サービスを選び、その市場規模を示すデータを探す方法を考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、第8回で絞り込んだ事業アイデアの市場規模を検討し、ノート等にまとめる(1時間)。	
10	顧客への提供価値を考える② 市場の全体像を理解する	予習：第8回で絞り込んだ事業アイデアの市場にどんな顧客がいそうなのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、セグメンテーションの時に注意する点をノート等にまとめる(1時間)。	
11	顧客への提供価値を考える③ ターゲット顧客を絞り込む	予習：第10回で考えた各セグメントの特徴について考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、ターゲット顧客を選ぶ時に注意する点をノート等にまとめる(1時間)。	
12	顧客への提供価値を考える④ ターゲット顧客を深く理解する	予習：第11回で選んだターゲット顧客がどんな人物で、どんな生活を送っているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、ターゲット顧客を選んだ後に注意する点をノート等にまとめる(1時間)。	
13	顧客への提供価値を考える⑤ 提供価値を明確化する	予習：これまで考えてきた事業アイデアとターゲット顧客を基礎に、どのような価値を提供できるのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、提供価値を考える時に注意する点をノート等にまとめる(1時間)。	
14	顧客への提供価値を考える⑥ 競合ビジネスとの差別化を検討する	予習：これまで考えてきた事業アイデアと類似している製品・サービスや、同じターゲット顧客を狙っている製品・サービスを調べ、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、競合との差別化を考える時に注意する点をノート等にまとめる(1時間)。	
15	本演習のまとめ 重要事項の振り返りと今後に向けた説明	予習：これまでの演習で取り組んできた活動を振り返り、ビジネスプランを考える際に重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：これまでの演習で検討してきたビジネスプランを振り返り、そのプランを実現するために必要だと思う点をノート等にまとめる(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
演習Ⅲ、Ⅳを通じて卒業論文のために必要となる考え方を学修します。そのために卒業論文の要約を書くことを目的としています。要約とは論文を短くまとめたものであり、論文のあらまし等の説明を行うものです。
演習Ⅲでは、論文のテーマ、タイトル、目次を完成させることを目標とします。
また、テーマを決めるために地域との繋がりを重視し、フィールドワーク等も実施したいと思います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)　卒業論文のテーマを決定できる
(2)　卒業論文のタイトルを決定できる
(3)　卒業論文の目次を完成できる
以上を到達目標とします。

【成績の評価】
授業への取組　70%　授業の成果物30%で評価します。
成果物については、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
この１冊できちんと書ける！【新版】論文・レポートの基本　石黒 圭 (著)
日本実業出版社　2024年　￥1,760 税込　ISBN-13　:　978-4534060808

【参考文献】
適宜指示する

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 自己紹介や今後のゼミ運営について説明する	予習として「学術論文」の調査　0.5時間 これまでの全履修科目の振返り　0.5時間	
2	テーマを決める（1） 興味・関心のあることを探す	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
3	テーマを決める（2） 興味・関心のあることを絞り込む	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
4	テーマを決める（3） 興味・関心を論理的に整理する	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
5	テーマを決める（4） 論文の主張を決める	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
6	テーマとタイトルの決定 テーマとタイトルを決定し、プレゼンテーションの準備を行う	復習として授業内容の振返りと考察　0.5時間 予習として次回テーマについての調査　0.5時間	
7	テーマの発表とレビュー テーマのプレゼンを行い、意見交換をする	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
8	ロジックツリーの作成 テーマに沿ったロジックツリーを考える	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
9	目次の作成（1） 章題を中心に目次を決める	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
10	目次の作成（2） 節題を中心に目次を決める	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
11	目次の作成(4) 目次の全体を決める	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
12	主題文（1） 各章の主題文を考える	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
13	主題文（2） 各節の主題文を考える	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	
14	目次の作成とレビュー 作成した目次と主題文のプレゼンを行い、意見交換をする	復習として授業内容を振返り、授業の成果物を再考すること　0.5時間 予習として次回テーマを調査し、ノートにまとめること　0.5時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	全体のまとめと後期の向けて	復習として、作成した目次を振返り、再考すること　1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　本演習は、卒業論文のための準備として、情報システムを図解し記述するための方法論を学ぶことを目標としています。題材としては、情報化社会の現状について勉強するとともに、「身近な情報システムについて考察する」「情報システムを組み合わせて便利で快適な機能を提供する」「情報システムにとって、どのようなことが危険か」ということなどテーマに繋がるものを扱います。また、本演習での実践的、体験的な学びを通して経営や社会に対する理解を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．ネットワークの専門用語について独力で調べ、概念を把握することができる。
2．情報システムの構成を図解し記述する方法を理解し、小規模のシステムについて実際に作図できる。
3．情報システムの企画につながるアイデアを出すことができる。

【成績の評価】
授業において提示した課題への取組み（100%）
個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜資料を配布する。

【参考文献】
荒井玲子「上流工程で成功する人、つまずく人」(技術評論社)ISBN978-4-7741-3746-9
そのほか、適宜指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	就職関連のガイダンスが行われることがあります。 また、学生の到達状況に応じて、内容を適切に変更します。 さらに、情報関連の時事的なトピックがある場合は言及します。
2	オブジェクト指向の基本概念	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
3	UML(1)：ユースケース図	課題：ユースケース図に関する課題(1時間)	
4	UML(2)：クラス図	課題：クラス図に関する課題(1時間)	
5	UML(3)：シーケンス図	課題：シーケンス図に関する課題(1時間)	
6	UML(4)：コミュニケーション図	課題：コミュニケーション図に関する課題(1時間)	
7	UML(5)：ステートマシン図	課題：ステートマシン図に関する課題(1時間)	
8	UML(6)：アクティビティ図	課題：アクティビティ図に関する課題(1時間)	
9	UML(7)：コンポーネント図	課題：コンポーネント図に関する課題(1時間)	
10	UML(8)：配置図	課題：配置図に関する課題(1時間)	
11	要求定義モデリング	課題：要求定義モデリングに関する課題(1時間)	
12	構造モデリング	課題：構造モデリングに関する課題(1時間)	
13	振る舞いモデリング	課題：振る舞いモデリングに関する課題(1時間)	
14	実装モデリング	課題：実装モデリングに関する課題(1時間)	
15	総括：今後の学習活動と夏季休業中の取組みについて	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
現在公開されている公的統計データおよびICTに関する記事などを概観しながら、そこで発生している問題を回避、解決するための思考力・判断力を身につけることで、卒業論文作成に向けての準備とする。さらには対象に応じたどのような指導プログラムへの作成可能かについても検討する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)メディアの中の情報を正確にとらえ、的確に伝えることができる。
(2)自分自身がICT問題解決力を身に付けることができる。
(3)ICT問題解決力の必要性を他者に伝えることができるようになる。

【成績の評価】
授業において提示した課題への取組み（100%）
リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィールドバックは次回授業にて行う。授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。
オフィスアワーを設定しているので、研究室に質問に来れば対応する。

【使用テキスト】
資料を授業中に配布する。

【参考文献】
総務省　令和6年度　情報通信白書　2024年
問題解決力を鍛える!アルゴリズムとデータ構造　大槻兼資　講談社　2020年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス　ICT分野の基本データの確認	予習として、GoogleClassroomからダウンロードした配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
2	情報通信業基本調査の実際	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
3	通信利用動向調査の実際	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
4	ICT産業の市場規模について	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
5	ICTサービスの利用動向	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
6	電気通信事業におけるICT政策の最新動向	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
7	電波および放送におけるICT利活用	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
8	移動通信システムの進展	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
9	通信市場の構造変化	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行う	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
10	世界のIoTデバイス数の推移及び予測	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
11	ICTを導入・利活用することによる雇用や生活の質の変化について	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
12	ICTを活用した社会課題解決の取組	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
13	5Gがもたらす社会全体のデジタル化	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
14	5G/IoT/AI等のイノベーション	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
15	総括：今後の学習活動に向けてのアドバイス	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
本演習の受講生には，情報技術を使って，自らが関わる地域や組織,自分自身などの課題(問題と感じている，もしくは改善したほうが良いと考えている事柄)や関心を持っている物事に自らタックルするプロジェクトを企画・推進してもらいます。プロジェクトはこの演習Ⅲと後期に開講される演習Ⅳを通して行うものとします。プロジェクトを卒論の予行演習として定義してもよいですし，まったくの別物としてもよいです。取り組むプロジェクトは壮大なものである必要はなく，自分の生活に密接した小規模なものを選んでみることをお勧めします。プロジェクトにおいて取り得る課題へのアプローチは，課題や当事者の状況次第であり多様です。演習Ⅲでは，自らのプロジェクトをスタートさせ，調査やデータ収集を実際に始めてみることを目標と設定します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1. 自ら企画したプロジェクトにおいて用いる情報技術について仕組みを理解し実際に運用することができる。
2. 自ら企画したプロジェクトについて，動機,用いる手法,期待される成果について説明することができる

【成績の評価】
演習において設定された課題への取組み（30%）
演習において自ら設定したプロジェクトへの取組み（70%）
各回においての前回の議論の要約を共有することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
書名：退屈なことはPythonにやらせよう 第2版，著者：Al Sweigart，翻訳：相川 愛三，ISBN：978-4873119274
書名：Pythonで理解する統計解析の基礎，著者名：谷合 廣紀，監修：辻 真吾，ISBN：978-4297100490

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	復習：ゼミで紹介されたキーワードの内容の理解を深める(1時間)	授業計画は目安であり，内容や進行は，クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	教員による地域・組織・個人における課題解決事例の紹介	復習：次週の事例紹介の準備（1時間）	
3	受講生による地域・組織・個人における課題解決事例の紹介	復習：他の受講者の発表内容にかかわる情報の収集（1時間）	
4	受講生や教員にかかわる地域・組織・個人の課題の頭出し	復習：話題に出た課題へのタックルの仕方を考えてみる（1時間）	
5	課題に寄与し得る情報技術についての調査	復習：話題に出た情報技術について調べてみる(1時間)	
6	課題に寄与し得る既存のデータやシステムの実地試験	復習：他の受講生が紹介したデータやシステムを自分で動かしてみる(1時間)	
7	受講生各々が取り組むプロジェクト構想と内容のブラッシュアップ	復習：プロジェクト構想のブラッシュアップ(1時間)	
8	各プロジェクトの紹介(プレゼン)	復習：自分や他の発表者のプロジェクトの改善点の整理(1時間)	
9	各プロジェクトの修正点や改善点についての議論	復習：自分や他の発表者のプロジェクトの改善点の整理(1時間)	
10	各プロジェクトの現地調査計画の立案	復習：現地調査の準備(データ入力フォーマットや調査手順書の作成)（1時間）	
11	現地調査またはデータ収集の実施(前半)	復習：調査データの整理・チェック(1時間)	
12	現地調査またはデータ収集の実施(中盤)	復習：調査データの整理・チェック(1時間)	
13	現地調査またはデータ収集の実施(後半)	復習：調査データの整理・チェック(1時間)	
14	現地調査およびデータ収集結果の取りまとめ	予習：調査データの整理・チェック(1時間)	
15	プロジェクトの中間報告(プレゼン)	予習：中間報告の準備とリハーサル（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
近年、健康・スポーツ科学における様々な分野の中で、調査的研究手法が数多く利用されている。この演習では、健康・スポーツ科学に関するデータを用いて、分析・評価・検討を行うことで、実際に起こっている事象を明らかにしていく。そのために、まず、健康・スポーツ科学に関するデータを用いた図書を参考にして実際の事例を学び、分析・評価がどのように行われているのかを学ぶ。その後、実際に用意したデータを用いての分析・評価・検討、最終的にはデータの収集から検討に至る一連の流れを経験することで、調査的研究手法の基礎を学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①図書や論文を読み、その内容を理解し、説明できる。
②データの集め方や集計方法を理解し、説明できる。
③データ分析の代表的な手法について理解し、実践できる。
④分析結果を論文にふさわしい文章で表現できる。

【成績の評価】
小テスト40%、最終レポート60%で評価する。
小テスト、レポートの結果および内容については授業時に公表してフィードバックを行い、質問点や疑問点については、オフィスアワーの際に解説を行う。

※60点以上を合格とする。

【使用テキスト】
・西内 啓 著「遠藤保仁がいればチームの勝ち点は117%になる～データが見せるサッカーの新しい魅力～」（ソフトバンク新書，2012）730円
※適宜資料も配布する。

【参考文献】
・P.G.ホーエル 著「初等統計学」（培風館，1981）
・中西 達夫 著「悩めるみんなの統計学入門」（技術評論社，2010）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ競技のデータについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
2	健康・スポーツ科学のデータ基礎	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
3	健康・スポーツ科学のデータ分析事例	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
4	健康・スポーツ科学のデータのまとめ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
5	データの集計と表現の基礎知識	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
6	分散と標準偏差	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
7	様々な確率分布	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
8	独立性の検定：カイ二乗検定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（30分）	
9	2つの平均の差の検定：t検定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	3つ以上の平均の差の検定：分散分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
11	小テスト（カイ二乗検定、t検定、分散分析）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として小テストでできなかったところを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
12	データの収集	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
13	データの分析と評価	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
14	分析結果および評価の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習III
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　有価証券報告書は、様式が統一され、監査によって信頼性が守られているため、企業を比較検討しやすいという特徴があり、業界研究や企業分析など様々な場面において役立ちます。しかし、有価証券報告書は、財務情報（会計情報）に加え、非財務情報（経営者による説明など）の記載もあり、100ページを超えるものが普通であるため、どこをどう読み進めれば良いのかというポイントを掴むことが必要になります。本講義では、こうした能力を養います。さらに、自分の意見を文章や図表で表現する練習をすることで卒業論文の執筆に備えます。
　また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を定量的かつ定性的に分析する力を養います。さらに、次年度の卒業論文の執筆に向け、仮説の立て方や検証方法についての基礎を学んでいきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.有価証券報告書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2.パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】
報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
なし（受講者と相談の上、文献を適宜指示します）。

【参考文献】
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社 ※最新版を参考文献にします。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「実証会計学」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	有価証券報告書の概要と探し方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表分析の視点と方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	財務諸表分析（収益性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	収益性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	収益性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 　復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
前半：演習Ⅲで行なったプレゼンテーションの内容をさらに掘り下げます。最終的には報告書にまとめます。この過程で、スライドとプレゼンテーションの技術を身につけます。
後半：レポートの書き方を修得します。章立て、引用、脚注、参考文献の書き方について学び、卒業論文に備えます。
（注）常にノートPCが必携です。スマホは指示あるいは許可がない限りは使用不可です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．社会的課題や学術的課題を発見し解決策を提案できる。
2．学術的な文章を書くことができる。
3．知的なプレゼンテーションができる。

【成績の評価】
スライド等提出物（60%）・・・日々の積み重ねを重視します。
中間発表（10%）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価がフィードバックされます。
最終スライドと発表（10%）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
レポート（20%）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業への貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合や提出が遅れた場合は大きく評価をさげることになります。

ノートPCは必携です。スマホは特別な指示ある場合や許可された場合以外は使用不可です。

【使用テキスト】
適宜、文献や資料を紹介する。

【参考文献】
山崎 康司　（2011）『入門 考える技術・書く技術――日本人のロジカルシンキング実践法』　ダイヤモンド社
安宅和人(2010)『イシューからはじめよ――知的生産の「シンプルな本質」』 英治出版
TED（YouTube）等で良い発表を学んでください。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	スライド作成法　1 - スライド作成ソフトについて - パワーポイントに触る。	予習：スライド作成ソフトを開く（2時間） 復習：スライド作成ソフトの使い方を復習（2時間）	
2	スライド作成法　2 - スライド作成の基本 - ワンスライド、ワンメッセージ - 色調	予習：スライド2枚作成（2時間） 復習：スライドの改善（2時間）	
3	スライド作成法　3 - 図表の作成 - 図表の貼り付け	予習：スライド2枚作成（2時間） 復習：スライドの改善（2時間）	
4	スライド作成法　4 - 図表の貼り付け1	予習：スライド2枚作成（2時間） 復習：スライドの改善（2時間）	
5	スライド作成法　5 - リハーサル	予習：スライド2枚作成（2時間） 復習：スライドの改善（2時間）	
6	最終プレゼンテーション	予習（2時間） - プレゼン準備と練習 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
7	論文の書き方 1 - 研究テーマを選ぶ - リサーチ・クエスチョン	予習（2時間） - プレゼン準備と練習 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
8	論文の書き方 2 - 仮説 - 検証・証明	予習（2時間） - プレゼン準備と練習 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
9	論文の書き方 3 - 章立て - 目次	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
10	論文の書き方 4 - 直接引用 - 関節引用 - ブロック引用	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
11	論文の書き方 5 - 表の作成 　表タイトル、出典	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	論文の書き方 6 - 図の作成 　図タイトル、出典	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
13	論文の書き方 7 - 参考文献リスト	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
14	論文の書き方 8 - 謝辞 - 注の付け方	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
15	論文の書き方 9 - 完成	予習（2時間） - 関連資料の理解 - 課題の準備 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
ゼミは、自他の学習権や人権を尊重しながら、学修を継続できる好ましい学習環境を、学生と教員がともに創り出すことが前提です。ゼミは、馴れ合いの仲良しクラブではありません。学生と教員がともに切磋琢磨し創り上げる「学びの場」「成長の場」であることを認識しましょう。
本演習では演習Ⅲで学んだ内容をベースとして、来るべき卒業論文執筆に向けた学修準備および就職活動に向けた準備（進路を見据えたキャリア形成）などを行います。具体的には、卒業論文執筆の意義について理解を深めたうえで、各自が関心のある社会事象をピックアップしレポートにまとめるとともに、卒業論文中間報告会にも参加します。また、就職活動に向けて、演習Ⅲに引き続き高大ドリルやAi GROWを実施します。さらに、学生が希望する場合は大学祭にも出店します。大学祭催し物の企画立案・準備・実践は、協調性や責任感を養うきっかけとなるでしょう。さらにまた、演習Ⅲに引き続き「主体性を育む」「地域社会への関心を高める」「地域社会の一員としての自覚を促す」の3つの観点から、学内外における学生主体のプロジェクトの実施や、地域・社会貢献活動などへの自主的な判断にもとづく積極的な参加を推奨します。これらの活動は、強制ではなく自らの成長を促すと思われる活動を学生が主体的に行うものであり、必ずしも授業時間内に実施するものではありません。なお、就職活動に向けた準備として、授業時間外に本学キャリア支援課がガイダンス等を行う場合がありますが、それらには積極的に参加してください。地域の発展や持続可能性を追求し、多様な主体と連携・協働できる職業人に近づけるよう日々研鑽に励みましょう。
また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「ebunrfh」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．統計データの正しい表現方法を身につけるとともに、データを正しく読み解き、論理的に思考・吟味し、自分の考えをまとめることができる。
２．自分の将来のキャリアを真剣に考え、自己分析や企業分析を入念に行ったうえで、就職活動に臨むことができる。
３．企業経営を考察し、生きた経営感覚を身につけるとともに、供給者の視点で新しいアイデアを具現化することができる。

【成績の評価】
評価項目は、受講態度（10%）、プロジェクトへの貢献度・積極性・学習成果物（60%）、履歴書・レポート等の学習成果物（30%）とする。学習成果物等は、学内外へ向けて公表する場合がある。本演習がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をする。
ゼミ活動では、計画をたて自らに課せられた役割は責任をもって全うすること。作業の進捗状況によっては、授業時間外に活動が必要になる場合がある。学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう良好な受講態度が求められる。普段から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに教員に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】
なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】
保本正芳編著『はじめの一歩　基礎からはじめるデータサイエンス』ワークアカデミー、2022年.
ｎｏａ出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年.
戸田山 和久著『最新版　論文の教室－レポートから卒論まで－』ＮＨＫブックス、2022年.
桑田てるみ他著『学生のレポート・論文作成トレーニング　改訂版－スキルを学ぶ21のワーク－』実教出版株式会、2015年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google　Classroomへの参加 （クラスコード　ebunrfh） 高大ドリルについて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
2	特定のプロジェクトの実践① 計画策定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
3	特定のプロジェクトの実践② 役割分担・準備	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
4	特定のプロジェクトの実践③ 計画の実践・振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
5	就職活動に向けた準備① 社会人基礎力及び学修ポートフォリオ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
6	就職活動に向けた準備② Ai GROWの実施・振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
7	就職活動に向けた準備③ 履歴書の書き方（概要説明）・添削	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
8	就職活動に向けた準備④ ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
9	就職活動に向けた準備⑤ 就職活動報告会	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
10	卒業論文執筆に向けた準備① 卒業論文の意義と執筆要領	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
11	卒業論文執筆に向けた準備② 研究論文の探し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
12	卒業論文執筆に向けた準備③ 研究テーマの検討	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
13	卒業論文執筆に向けた準備④ テーマに沿った情報収集とレポート作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
14	卒業論文執筆に向けた準備⑤ レポート添削	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：１時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　「失われた30年」を経た日本、そして地方の衰退は加速度的に進んでいる。「人手不足」に代表される地方における経営資源の不足は、地方の企業だけではなく、地方の経済・社会システムまでを脅かしている。
　本演習においては、地方衰退の現状を確認し、その解決策を発見するために、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、土曜日などに実施する可能性があることに留意されたし。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
「地方衰退」、「地方再活性化」に関連するテーマに関して、批判的に検討を行い、自分の考えを他者に伝えることができる。

【成績の評価】
　パワーポイントでの報告内容(50%)とフィールドワークへの参加(40%)、授業への積極性と態度(10%)で評価を行う。報告内容及び資料の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　指定しない。

【参考文献】
　饗庭 伸 [2015], 『都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画』 花伝社 ISBN-13:978-4763407627。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、イントロダクション、個別面談	【予習】：「地方衰退」に関連する文献やインターネット資料を調べ、ノートなどにまとめておくこと(1時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。	
2	グループ決め、グループディスカッション	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。	
3	フィールドワークのための資料収集①	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第3回の講義で提示した資料を図書館などで借りてくること(1時間)。	
4	フィールドワークのための資料収集②	【予習】：第3回の講義で説明した資料を図書館などで用意すること(1時間)。 【復習】：第5回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
5	フィールドワーク①：現地の確認	【予習】：第5回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第6回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
6	フィールドワーク②：インタビュー	【予習】：第6回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第7回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
7	フィールドワーク③：まとめ	【予習】：第7回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
8	フィールドワークを踏まえた報告	【予習】：第8回の報告の準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第8回の報告を踏まえて、第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
9	ミニ・フィールドワーク①	【予習】：第8回の報告を踏まえて、第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第10回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
10	ミニ・フィールドワーク②	【予習】：第10回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第11回の報告の準備を行うこと(1時間)。	
11	フィールドワークを踏まえた報告	【予習】：第11回の報告の準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第11回の報告を踏まえて、第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
12	フィールドワーク①：現地の確認	【予習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
13	フィールドワーク②：インタビュー	【予習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
14	フィールドワーク③：まとめ	【予習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第14回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)	
15	これまでのまとめ、振り返り、フィードバック	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。 【復習】：期末課題を説明するので、期末課題を作成し、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 時　鍵(SHI　Jian),藤原　泰輔(FUJIHARA　Taisuke)

【授業の紹介】
本演習では、物事の考え方、面白い論点の設定の仕方とはどういうものか、筋の良い仮説とは何か、論文とは何かなどを一通り学ぶ。その後、論文のテーマになりうるような具体的な企業や産業の面白い現象を取り上げ、情報を収集・分析、実際に分析結果を資料に落とし込んで発表するなど、卒業論文の作成に必要な基礎的知識を修得する。
また学生は学外で行われるイベント・企画などにも積極的に参加することが求められる。そのような実践的・体験的な学びを通じて経営や社会に対する理解を深めるとともに、自ら学び、考え、判断する力を育成する。

＜クラスルーム＞
名称：2025時・藤原ゼミ（3年）
コード：hvuh7vm

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①物事の考え方を理解することができる。
②論文の書き方の基礎が理解できる。

【成績の評価】
各回の講義で作成するレジュメの内容および講義の中での貢献を総合的に判断して評価を行う。

【使用テキスト】
なし。

【参考文献】
伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣（2001年）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
企業経営の経験にもとづき、どのように現象をとらえるのかなどをビジネスの観点も交えながら講義を行う。

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、本講義で行う全体像を自分なりに把握する。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）	
2	研究とは？論文とは？	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
3	考え方と論理展開	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
4	不思議な現象のとらえ方	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
5	仮説と証拠	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
6	文章の書き方	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
7	論文を書く時の工夫	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
8	論文のテーマ探索	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
9	定性情報の収集	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
10	定量情報の収集	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
11	テーマの深堀り	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
12	関連情報の収集	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
13	アウトラインの作成	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
14	アウトラインの精緻化	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。また次に行うべきアクションを確認しする。（2時間）	
15	論文作成の活動計画発表	【予習】講義における発表内容を自分でくみ上げ、発表資料を作成する。（2時間） 【復習】講義で議論された内容を踏まえて資料を修正する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 村山　昂

【授業の紹介】
本演習の目的は、演習Ⅲで取り組んだ活動を基礎として、経営学に関する基本的な知識を使い、企業経営について考察する能力をさらに高めることにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、知識として知っているだけでは不十分です。それらを使いこなし、実際の企業やビジネスを分析できるようになることが求められます。
そこで本演習では、ビジネスプランを検討する活動に取り組み、その中で経営戦略や経営組織、マーケティング、資金繰りなど、多様な側面から企業経営について考える能力を養っていきます。特に、事業アイデアを実際の事業に落とし込んでいくための考え方を重点的に学んでいきます。予定変更の可能性もありますが、ビジネスプランコンテストへの参加を想定しています。参加がかなわなかった場合でも、アウトプットの場を他に設定する予定です。また、大学祭に模擬店・展示で参加する可能性もあります。

「ビジネスプランを考える」と聞くと、起業に興味がないといけないのではないかと考える人がいるかもしれません。ですが、起業に興味がなくても全く問題ありません。新しいビジネスをゼロから検討するためには、経営学部で学んできた知識や経験を総動員することが必要です。その意味で、ビジネスプランを検討する経験は、起業に興味がない人にとっても、経営学に関する知識を使って考える良い練習になります。

本演習では、Google Classroom(クラスコード：ar5ryye)を通じて諸連絡や資料の共有などを行う予定です。受講を希望する場合には必ず登録してください。

なお、ビジネスプランコンテストに参加する場合などには、通常の時間帯の講義を休講し、通常の時間帯以外の時間に活動を行う可能性があるので、注意してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．事業アイデアを実現するために検討すべき論点を考えることができる。
2．経営学に関する基本的な知識を使って、自分なりに企業経営を考察できる。
3．他者と円滑にコミュニケーションをとり、協働することができる。

【成績の評価】
演習内の活動への取り組み(80%)、発表資料(20%)を総合して評価します。

―演習内の活動への取り組みでは、毎回の活動への取り組み方や、議論への貢献度などを評価します。
ゼミナール形式の授業では、講義形式の授業以上に学生の積極的参加が求められます。
したがって、無断での遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

―発表資料では、活動の過程で作成した発表資料の内容等を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。

【使用テキスト】
テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】
秦充浩（2015）．『プロ直伝！成功する事業計画書のつくり方』ナツメ社．
その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 演習Ⅲでの活動の振り返り 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(1時間)。	本演習の時間内に、就職関連のガイダンスが行われることがあります。また、ビジネスプランコンテストに参加する場合には、コンテストに関する説明会などが行われる可能性があります。 それらの場合などには、学生の到達状況等も加味しながら、内容を適切に変更します。
2	バリューチェーンを考える① 企業の利益の生み方を考える	予習：身の回りの製品・サービスについて、どのように買ってもらっているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、利益を生み出すために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
3	バリューチェーンを考える② 価値提供プロセスの全体像を検討する	予習：身の回りの製品・サービスについて、どのような流れで生産されているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、提供したい価値を確実に届けるために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
4	バリューチェーンを考える③ オペレーションとプロモーションを検討する	予習：身の回りの製品・サービスについて、どのようにプロモーションされているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、提供したい価値を顧客に認知してもらうために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
5	バリューチェーンを考える④ 必要な経営資源とそれを活かす組織体制を検討する	予習：身の回りの製品・サービスについて、生産するためにはどのような経営資源が必要なのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、提供したい製品・サービスを効率的に生産するために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
6	バリューチェーンを考える⑤ バリューチェーンを洗練させる	予習：これまで検討してきたバリューチェーンを振り返り、改善点や懸念点を考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、バリューチェーンを洗練させるのに必要な対応を進める(1時間)。	
7	マネタイズモデルを考える① 課金対象者と利益モデルを検討する	予習：身の回りの製品・サービスについて、誰が使い、誰がお金を払っているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、利益モデルを考えるために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
8	マネタイズモデルを考える② 価格設定と対価の獲得方法を検討する	予習：身の回りの製品・サービスについて、どのタイミングで、どれくらいの価格を払っ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、価格設定と対価の獲得方法を考えるために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
9	キャッシュフローモデルを考える① 収支の見通しを検討する	予習：身の回りの製品・サービスについて、生産するためにどのような費用が掛かっているのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、収支の見通しを立てるために重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。	
10	キャッシュフローモデルを考える② 資金繰りとシナリオを検討する	予習：これまで検討してきたビジネスプランについて、実現する際にかかる費用と、ビジネスプランを進める中で入ってくる収益を考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、これまで検討してきたビジネスプランを実行に移した時に想定されるシナリオを複数考え、ノート等にまとめる(1時間)。	
11	ビジネスプラン発表の準備① 目的達成のための構成・内容の検討	予習：これまで検討してきたビジネスプランについて、最重要ポイントがどこにあるのかを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、目的を達成するために必要なポイントを考え、発表の準備を進める(1時間)。	
12	ビジネスプラン発表の準備② 目的達成のための伝え方の検討	予習：これまで検討してきたビジネスプランについて、聞き手に確実に伝えるために重要だと思うポイントを考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、目的を達成するために必要なポイントを考え、発表の準備を進める(1時間)。	
13	ビジネスプラン発表の準備③ 発表内容・方法を洗練させる	予習：これまで検討してきたビジネスプランの発表内容・方法について、改善点を考え、ノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、発表に向けた最終調整を行う(1時間)。	
14	ビジネスプラン発表	予習：発表に向けて、最終調整と発表の練習を行う(1時間)。 復習：発表を振り返り、良かった点や改善点をノート等にまとめる(1時間)。	
15	本演習のまとめ 企業経営を多面的に考える	予習：本演習全体を振り返り、企業経営について考える際に重要だと思うポイントをノート等にまとめる(1時間)。 復習：演習内で学んだ内容を基に、企業経営に関して疑問に思うポイントを挙げ、それについて考えた内容をノート等にまとめる(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
前期の演習Ⅲでは卒業論文の目次が完成しました。この演習では、自分の主張に必要となるデータ収集等を行い、要約の完成を目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
卒業論文の要約が作成できることを到達目標とします。

【成績の評価】
授業への取組み（10%）と成果物（90%）で総合的に判断する。
成果物については、添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
各自個別に指示する

【参考文献】
この１冊できちんと書ける！ 【新版】論文・レポートの基本　 石黒 圭（著）
日本実業出版社　2024年　￥1,760 税込　ISBN-13　：　978-4534060808

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
2	主題文をチェックする	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
3	必要となるデータを確認する	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
4	必要となるデータを決定する	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
5	必要となるデータを収集する	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
6	要約を書く①	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
7	要約を書く②	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
8	要約を書く③	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
9	ここまでの中間報告	予習として中間報告のための資料作成　0.5時間 復習として質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
10	要約を書く④	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
11	要約を書く⑤	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
12	要約を書く⑥	予習として図書館、インターネット等での調査　1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査　1時間	
13	ここまでの中間報告	予習として中間報告のための資料作成　0.5時間 復習として質疑応答に対しての再調査　0.5時間	
14	要約の完成とレビュー	予習として要約の作成　1時間 復習としてレビューの結果を要約に反映　1	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間	
15	卒業論文に向けて	予習として「卒業論文」の調査　0.5時間 復習として要約の再チェック　0.5時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　本演習では、卒業論文のための準備として、論文形式の文章に慣れることを目標としています。題材としては、情報化社会の現状について勉強するとともに、「身近な情報システムについて考察する」「情報システムを組み合わせて便利で快適な機能を提供する」「情報システムにとって、どのようなことが危険か」ということなどテーマに繋がるものを扱います。また、本演習での実践的、体験的な学びを通して経営や社会に対する理解を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．ネットワークの専門用語について独力で調べ、概念を把握することができる。
2．論文形式の文章の構成や記述の方法を理解し、与えられた文章をもとに要約を記述することができる。
3．卒業論文のための問題設定につながるアイデアを出すことができる。

【成績の評価】
授業において提示した課題への取組み（100%）
個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜資料を配布する。

【参考文献】
山内志朗「ぎりぎり合格への論文マニュアル」(平凡社)ISBN978-4-582-85103-8
そのほか、適宜指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	就職関連のガイダンスが行われることがあります。 また、学生の到達状況に応じて、内容を適切に変更します。 さらに、情報関連の時事的なトピックがある場合は言及します。
2	企画の立案(1)：ブレインストーミングとアイデアの整理、ドキュメントの整備	課題：アイデアを整理し、ドキュメントにまとめる(1時間)	
3	企画の立案(2)：WBS	課題：WBSをドキュメントにまとめる(1時間)	
4	企画の立案(3)：組織体制の設計と役割分担	課題：役割分担をドキュメントにまとめる(1時間)	
5	企画の立案(4)：スケジューリング	課題：スケジュールをドキュメントにまとめる(1時間)	
6	大学祭準備	課題：展示物や道具類、原材料を準備する(1時間)	
7	決算報告と評価点検	課題：決算報告をまとめる(1時間)	
8	自分の正しさを説明する	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
9	説明の欠陥を指摘する	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
10	文章を読む(1)：デジタルサイネージ	課題：要約をまとめる(1時間)	
11	文章を読む(2)：知的画像認識	課題：要約をまとめる(1時間)	
12	文章を読む(3)：チームスポーツ解析	課題：要約をまとめる(1時間)	
13	文章を読む(4)：緊急医療における情報通信システム	課題：要約をまとめる(1時間)	
14	文章を読む(5)：古文書の計量分析	課題：要約をまとめる(1時間)	
15	総括：卒業論文のテーマ設定に向けて	課題：研究ノートを整備する(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
　前期「演習Ⅲ」に引き続き、日々の情報に向き合う中、問題を回避、解決するための思考力・判断力を身につけることで、卒業論文作成に向けての準備とする。さらには対象に応じてどのような指導プログラム作成が可能かについても引き続き検討する。特に、論文形式の文章に慣れることで、卒業論文作成に向けての準備をする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)メディアの中の情報を正確にとらえ、的確に伝えることができる。
(2)自分自身がICT問題解決力を身につけることができる。
(3)ICT問題解決力の必要性を他者に伝えることができるようになる。

【成績の評価】
授業において提示した課題への取組み（100%）リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィールドバックは次回授業にて行う。授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】
資料を授業中に配布する

【参考文献】
経営情報学入門　木嶋恭一他著　　放送大学教育振興会　2019年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	問題解決力に関する論文検索	予習として、GoogleClassroomからダウンロードした配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
2	合同ゼミ	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
3	PDCAサイクルおよび目標設定過程	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
4	代替案発想過程	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
5	合理的判断過程	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
6	最適案導出過程	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
7	数値データの扱い	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
8	図解化の考え方、描き方	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
9	メタ認知	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
10	ブレークスルー	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
11	グループワーク活動とファシリテーター	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
12	システム思考とデザイン思考	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
13	ゲーミング教材の基礎技術	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
14	ゲーミング教材の開発	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
15	総括：今後の卒業論文作成に向けてのアドバイス	予習として、配布資料をしっかり読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分 ）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 三島　啓雄(MISHIMA　Yoshio)

【授業の紹介】
本演習の受講生には，情報技術を使って，自らが関わる地域や組織,自分自身などの課題(問題と感じている，もしくは改善したほうが良いと考えている事柄)や関心を持っている物事に自らタックルするプロジェクトを企画・推進してもらいます。プロジェクトは前期の演習IIIとこの演習IVを通して行うものとします。プロジェクトを卒論の予行演習として定義してもよいですし，まったくの別物としてもよいです。この演習においては演習IIIにおいてスタートさせたプロジェクトを，目標の達成・未達成にかかわらず一度自ら完結させることを目指します。その内容をまとめて何らかの形で公開することができれば，そのテーマにかかわらず卒論のよいトレーニングとなると考えています。演習の終盤では，プロジェクトの運用により得られた経験をもとに，メンバー各々が卒論の構想を練り，その内容をメンバー間で議論することで卒論執筆の準備を行うこととします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．自ら計画したプロジェクトを目標の達成・未達成にかかわらず完結させることができる。
2．自ら運用したプロジェクトについて，動機,用いた手法,得られた成果について説明することができる。
3．自ら運用したプロジェクトの経験を活かし具体性のある卒論の構想を示すことができる

【成績の評価】
演習において自ら設定したプロジェクトへの取組み(70%)
卒論構想の内容とその具体性(30%)
各回においての前回の議論の要約を共有することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】
適宜指示する

【参考文献】
書名：退屈なことはPythonにやらせよう 第2版，著者：Al Sweigart，翻訳：相川 愛三，ISBN：978-4873119274

書名：Pythonで理解する統計解析の基礎，著者名：谷合 廣紀，監修：辻 真吾，ISBN：978-4297100490

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションおよび 夏季休業中におけるプロジェクトの進捗報告	予習：プロジェクトの進捗報告準備（1時間）	授業計画は目安であり，内容や進行は，クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	各プロジェクトの現地調査計画の立案	復習：現地調査の準備(データ入力フォーマットや調査手順書の作成)（1時間）	
3	現地調査またはデータ収集の実施(前半)	復習：調査データの整理・チェック(1時間)	
4	現地調査またはデータ収集の実施(中盤)	復習：調査データの整理・チェック(1時間)	
5	現地調査またはデータ収集の実施(後半)	復習：調査データの整理・チェック(1時間)	
6	現地調査およびデータ収集結果の取りまとめ	予習：調査データの整理・チェック(1時間)	
7	現地調査およびデータ収集結果の取りまとめ	予習：調査データの取りまとめに必要な手法の調査（1時間）	
8	調査データの解釈	予習：調査データの解釈に必要な文献の調査と読み込み(1時間)	
9	プロジェクトの最終報告の準備	復習：プロジェクト最終報告に向けたプレゼン資料の作成（1時間）	
10	最終報告プレゼンの枠組み作成	復習：プロジェクト最終報告に向けたプレゼンのリハーサル（1時間）	
11	プロジェクトの最終報告プレゼン実施	復習：プレゼン実施時に出た質問や意見の整理（1時間）	
12	自分(グループ)のプロジェクトの報告書の作成	復習：報告書のブラッシュアップ（1時間）	
13	卒論企画書の枠組み作成	復習：卒論の企画立案に必要な文献の調査と読み込み（1時間）	
14	卒論企画書の作成	復習：卒論の企画立案に必要な文献の調査と読み込み（1時間）	
15	卒論企画の発表	予習：卒論企画の発表準備（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　この演習の目的は、学術論文の要件と研究の進め方を理解し、卒業研究の計画書を作成することである。そのため、この演習では、まず、テキストから学術研究の意味や進め方を学習していく。次に、担当教員から提示された学術論文の要件に沿って、研究の背景と方法を検討し、自らの問題意識を表現していく。第15回には、研究計画の報告会を実施する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．図書や論文を読み、その内容を理解できる。
2．卒業研究の計画書を論文に相応しい文章表現で他者に説明できる。
3．3つ以上の先行研究から、それらの学術的・実践的な貢献と課題を説明できる。
4．他者の研究内容や文章表現上の問題を指摘できる。

【成績の評価】
・小テスト　20%（特に到達目標１に対応）
・研究計画書　80%（特に到達目標２、３、４に対応）

《フィードバックの方法》
　研究の進捗に応じて、その都度、フィードバックをおこないます。

【使用テキスト】
上野千鶴子 著『情報生産者になる』（筑摩書房，2018年）920円
※その他にも、スポーツ経営学（3年前期）で利用する教科書『テキスト 体育・スポーツ経営学』を利用します。

【参考文献】
ハワード・S・ベッカー著『論文の技法』講談社 1996年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ関連の論文について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
2	学術論文の要件	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
3	研究の進め方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
4	研究計画書の要件、小テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容、また、小テストでできなかったところを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
5	問題意識の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
6	問題意識の設定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
7	問題意識の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
8	先行研究の収集・読解	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
9	先行研究の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	先行研究の整理と批判的検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
11	先行研究の課題の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
12	研究目的の設定・表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
13	調査手法の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
14	調査手法の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
15	研究計画の報告	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 演習IV
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　演習IVでは、演習IIIまでの学習内容を基礎として、有価証券報告書をより深く分析する能力の修得を目指します。演習IIIと同じく、自分の意見を文章や図表で表現する練習をすることで卒業論文の執筆に備えます。
　学習成果をレポートの形式でまとめることにより、卒業論文の練習を行います。また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を定量的かつ定性的に分析する力を養います。さらに、次年度の卒業論文の執筆に向け、仮説の立て方や検証方法についての基礎を学んでいきます。
　関連科目として「演習III」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.有価証券報告書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2.文章によって、自分の意見を正しく他者に伝えることができる。

【成績の評価】
報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
なし（受講者と相談の上、文献を適宜指示します）。

【参考文献】
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社 ※最新版を参考文献にします。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務３表の分析手法をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表分析（生産性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	生産性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	生産性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	財務諸表分析（安全性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	安全性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	安全性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	財務諸表分析（不確実性によるリスク）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	不確実性によるリスクの分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	不確実性によるリスクの分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	財務諸表分析（成長性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	成長性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	成長性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務３表の分析手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 松繁　寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】
卒業論文を完成させることで、ものごとを分析するにあたって必要な作業を学ぶ。
1．研究課題の設定
2．先行研究レビュー
3．仮説の構築
4．アウトラインの作成
5．関連するデータの収集分析
5．本論の作成
6．結語
（注）常にノートPCが必携です。スマホは指示あるいは許可がない限りは使用不可です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3．卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
②研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行することができる。
③適切な研究方法を選択し、研究倫理を踏まえたうえで分析結果を深く考察し、研究論文の様式に従って論述できる。
④研究成果をまとめ、他者に論理的に明確に伝えることができる。
⑤自主的探求活動に意欲的に取り組むことができる。

【成績の評価】
準備段階での提出物（30%)、発表内容（30%）、卒業論文の内容（40%）で評価する。

【使用テキスト】
山崎 康司（2011）「入門 考える技術・書く技術――日本人のロジカルシンキング実践法』　ダイヤモンド社

【参考文献】
適宜指示

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	(04月）資料No.1の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
2	資料No.2,3の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
3	資料No.4-5の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
4	(05月）資料No.6-8の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
5	資料No.9-10の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
6	資料No.11-14の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
7	(06月）資料No.1-No.14の整理	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
8	テーマ案 目次の作成 1	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
9	目次の作成 2	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
10	「本論（前半）」の執筆（仮説、方法、データと資料の説明）	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
11	(07月）「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）1	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
12	「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）2	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
13	「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）3	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
14	「結語」の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
15	(08月）参考文献の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
16	(9,10月）「先行研究と論文の課題」の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
17	「序論」の執筆 1	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
18	「序論」の執筆2	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
19	「結語」の執筆（第１稿　完成）	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
20	(11月）論文校正（追加資料の作成）1	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
21	論文校正（追加資料の作成）2	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	
22	プレゼンテーション・スライドの作成1	予習：授業の準備（2時間） 復習: 作成資料の改善（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
23	プレゼンテーション・スライドの作成2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
24	（12月）論文校正1 （追加資料の作成）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
25	論文校正2 （追加資料の作成）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
26	要約作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
27	論文　第1稿完了	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
28	論文　第2稿完了	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
29	論文　校了	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）間）	
30	論文　提出	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 蓮井　明博(HASUI　Akihiro)

【授業の紹介】
　ものの考え方、現象のとらえ方、論文とはどういうものかなど、演習Ⅲ及びⅣで学んだことを背景に卒業論文を作成する。不思議な現象の発見とそれに基づく研究課題の設定、仮説の構築、アウトラインの作成、関連するデータの収集分析、および本論の作成と関連する論文のレビューなどを行い、卒業論文として完成させる。
　なお、卒業論文のテーマ設定・見直し等に資するべく、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、別の日程で実施する可能性があることに留意されたい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
　①世の中の面白い現象とはどういうものかを把握できる。
　②データ収集及び分析のスキルを獲得し、論理的に文章を書くことができる。

【成績の評価】
　各回の発表内容（20%）および卒業論文の内容（80%）で評価します。
　評価に関するフィードバックを希望する人は、個別に研究室で行います。

【使用テキスト】
　なし。

【参考文献】
　伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣（2001年）

【実務経験】
　有り

【実務経験と授業科目の関係性】
　この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や民間金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】
　無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	【予習】論文とは何か、論文の全体はどのような要素で構成されているか。事前に渡される資料を見て理解をする。（2時間） 【復習】講義で説明されたことを再度振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）	
2	テーマ検討：探索	【予習】テーマを検討し、論文の問題設定につながる現実の事象を抽出する。それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジュメに反映させる。（2時間）	
3	テーマ検討：深堀り	【予習】前回の指摘事項を踏まえ、不思議な現象と思える事象に関する事実やデータを収集し、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジュメに反映させる。（2時間）	
4	テーマ検討：決定	【予習】論文で分析する事象・問題設定・当該時点での仮説を具体化し、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジュメに反映させる。（2時間）	
5	アウトラインの作成：章立ての検討	【予習】論文全体のアウトラインを作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、アウトライン全体を再度検討する。（2時間）	
6	アウトラインの作成：各章の内容検討	【予習】全体の流れを踏まえ、各章でどのようなことを書くのか、箇条書きでまとめたレジュメを作成する。また当初仮説を進化させていく。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジュメに反映させる。（2時間）	
7	アウトラインの作成：全体の流れのチェック	【予習】各章の内容を踏まえて、全体として追加しなければならない内容はないのかなどを検討し、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジュメに反映させる。（2時間）	
8	アウトラインの作成：完成	【予習】確度の高い仮説を構築し、詳細なアウトラインを作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、アウトラインを完成させる。（2時間）	
9	第1回中間報告	【予習】現状までに進めたことを発表資料に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、修正が必要なところは修正する。（2時間）	
10	データ収集：ウェブ・雑誌・新聞など各種メディア	【予習】仮説を検証していくための事実や定性的なデータを集め、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
11	データ収集：政府統計など定量データ	【予習】仮説を検証していくための定量データを収集し、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
12	データ収集：インタビューなどその他の方法	【予習】必要なインタビューやフィールドワークを実施し、そこで明らかになったことをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
13	データ分析：初期分析	【予習】収集した定性的・定量的データを分析し、仮説の確からしさを評価する。それらをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
14	データ分析：深堀り	【予習】初期分析に基づき、さらに深く分析をすすめ、その結果をレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
15	フィールドワークの実施① 現地の確認、活動内容の資料収集	【予習】：フィールドワークの現地確認、資料収集などの準備を行う。(2時間) 【復習】：予習した内容の検証と確認などフィールドワークの準備を行う。(2時間)	
16	フィールドワークの実施② 活動内容の企画と実践	【予習】：フィールドワークの実施計画の確認などの準備を行う。(2時間) 【復習】：現地での活動内容の振り返りと具体的な成果をノート等にまとめる。（2時間）	
17	論文の執筆：仮説パート	【予習】自分が設定している仮説について文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	論文の執筆：レビューパート	【予習】関連する既存研究の資料・論文を読み、それを取りまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
19	論文の執筆：論証パート	【予習】これまでに行った分析や論証を文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
20	論文の執筆：結論パート	【予習】結論パートを文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
21	第2回中間報告	【予習】中間発表資料を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
22	中間報告をうけての修正：仮説論証パート	【予習】仮説論証パートの文章修正を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
23	中間報告をうけての修正：結論パートの修正	【予習】結論部分の文章の修正を進める。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
24	論文の目的・目次の作成	【予習】論文全体の内容を踏まえて目次は「はじめに」のパートを作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
25	最終報告準備	【予習】最終報告に向けて論文の記載内容を再度見直す。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
26	最終報告	【予習】論文の最終化を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
27	論文の校正：本文	【予習】誤字脱字のチェックなど、作成原稿を指定された様式に修正していく。（2時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
28	論文の校正：図表	【予習】図表のナンバリング・出所の確認などを行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
29	要約の作成	【予習】作成した本編に基づき要約を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
30	論文提出	【予習】修正箇所がないか再度確認し提出の準備を行う。（2時間） 【復習】論文作成プロセスの全体を通して自分が学んだことを整理する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 髙塚　順子(TAKATSUKA　Junko)

【授業の紹介】
本演習の目的は、これまでのゼミや授業等で身につけた知識や思考力を活用し、大学4年間の集大成である卒業論文を各自で書き上げ、要約をまとめ、その成果を発表することです。各々が、最も興味関心のあるテーマについて、背景の整理から独自の着眼点での分析・考察を行い、発表まで行います。具体的には、研究テーマの設定、研究計画の作成、研究背景や先行研究のレビュー（テーマに関する従来の専門的学術研究の情報を収集したうえで、そこから課題を見出したうえでそれを解決する仮説や研究方法等を見出す）、論文執筆要領を遵守しながら研究論文の形式に従って論文を執筆、プレゼンテーション資料の作成と発表（研究成果を他者に論理的に明確に伝える）などを行います。1年間にわたる長丁場の自主的探究活動であるため、卒業論文の完成という大きな目標達成に向けて、常に複数の小さな達成目標を設定し、それを一つひとつ乗り越えていくことが重要です。そのため、定期的に報告と質疑応答を行うとともに、全員参加のゼミ活動と個別指導を併用した授業スタイルとします。卒業論文の執筆という知的トレーニングを通じて、問題発見・分析・解決能力を高め、忍耐力、発想力、自主性、独自性、創造性を育みましょう。また、学生相互にコメントし合うピア・レビューを通じて、各自の論文をブラッシュアップしていきましょう。
なお、研究テーマは自由ですが、あまり担当者の専門とかけ離れている場合は十分に指導できない可能性があります。地域の現状を把握し、直面する社会課題をどのように解決するか、その方策を多様な視点（例えば、皆さんがこれまでに学んだ経営学、経済学、統計学等の専門領域の視野）から考察し、何らかの解決策を見出すような内容（地域の持続可能性を探求し、地域社会の課題解決に貢献する内容）が望ましいです。
また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。
Google　Classroomのクラスコードは「ihoidds」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4．自己管理力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①地域における課題に興味関心をもち、その課題を抽出し明文化できる。
②研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行することができる。
③適切な研究方法を選択し、研究倫理を踏まえたうえで分析結果を深く考察し、研究論文の様式に従って論述できる。
④研究成果をまとめ、他者に論理的に明確に伝えることができる。
⑤自主的探求活動に意欲的に取り組むことができる。

【成績の評価】
評価項目は、授業態度（20%）、報告・発表（30%）、卒業論文およびその要約の完成度と内容（50%）とする。なお、卒業論文の結果については審査し、フィードバックを行う。
学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度や研究への姿勢が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本授業がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。研究の進捗状況によっては、上述した授業計画に加えて授業時間外に、必要な時間をさらに確保する必要がある。
なお、評価に関する詳細は、第１回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】
なし。適宜、必要資料を配布する。

【参考文献】
戸田山 和久著『最新版　論文の教室－レポートから卒論まで－』ＮＨＫブックス、2022年.
石井 一成著『ゼロからわかる　大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2011年.
新田 誠吾著『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！レポート・論文のまとめ方』すばる舎、2019年.
白谷 秀一他著『実践　はじめての社会調査―テーマ選びから報告まで―』自治体研究社、2009年.
ｎｏａ出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年.

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前期ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード ihoidds）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
2	執筆要領の確認、学問的誠実性について	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
3	問題意識の検討・明確化	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
4	おおまかな研究テーマの決定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
5	研究計画の作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
6	先行研究のレビューと論点整理①（文献・資料1本目）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
7	先行研究のレビューと論点整理②（文献・資料2本目）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
8	先行研究のレビューと論点整理③（文献・資料3本目）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
9	先行研究のとりまとめ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
10	先行研究の検討と主要論点の抽出	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
11	研究課題の抽出、仮説設定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
12	分析の方向性の確認、タイトル（仮題）の決定、章構成の検討①	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
13	章構成の検討②　キーワードの列挙	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
14	中間報告書の提出および発表（論文タイトル、研究背景（動機）、研究目的、先行研究のレビュー、章構成）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
15	これまでのまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答、夏季休業中に取り組むべき課題の周知	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
16	後期ガイダンス 夏季休業中の進捗状況確認	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
17	論文執筆（個別指導）①　第1章に必要な資料の収集・吟味・執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
18	論文執筆（個別指導）②　第2章に必要な資料の収集・吟味・執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
19	論文執筆（個別指導）③　第3章に必要な資料の収集・吟味・執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
20	論文執筆（個別指導）④　参考文献のリストアップ・整理・執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
21	論文執筆（個別指導）⑤　全体の整合性確認・修正・研究上の限界と課題の明示	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
22	卒業論文中間報告会の概要説明	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
23	卒業論文中間報告会の準備（PPT資料の作成）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
24	卒業論文中間報告会の準備（PPT資料に基づく発表練習）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
25	卒業論文中間報告会	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
26	中間報告に基づく修正箇所の見直し	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
27	本論の完成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
28	要約の執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
29	要約の完成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに概要等を書き進めること（2時間）。	
30	卒業論文最終報告（プレゼンテーション）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 岡本　丈彦(OKAMOTO　Takehiko)

【授業の紹介】
　卒業論文の作成に際しては、まず学生自身が、これまでの3年間の履修で修得した経営学に関する専門知識を用いて、「国際・グローバル経営」、「倫理」、「地域の衰退」、「地域活性化」そして「生産性向上」に関連したテーマを選択する。その上で、自ら調査・研究を行い、その成果をゼミナールでにおいて報告を行い、質疑応答を繰り返して理解を深める。そして、11月下旬から12月上旬頃に開催が予定されている「卒論中間報告会」において報告と質疑応答をした後、そこでの討議・議論を踏まえた上で、必要な場合には修正を加え、最終的に卒業論文としてまとめることを目標としている。※2020年度より、経営に関連したボードゲームを作成し、その作成過程及びルールの説明、実際にプレーした際に分かったこと、そして改善点をまとめたものを論文形式で執筆し、それを卒業論文とすることを認める。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
①研究・調査・議論したことをもとに、卒業論文とその要約を完成させることができる。
②企業や経営に関する部分的・理論的な知識を、具体的・実践的・総合的な知識にまとめ上げることができる。

【成績の評価】
卒業論文の中間報告会での報告(41%)および、提出された卒業論文(59%)で評価を行う。
※卒業論文の中間報告会で報告を行うか、その代替となる報告を行わない学生には単位を認定することができない。また、中間報告会での報告および卒業論文の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】
　適宜指示を行う。

【参考文献】
　アンドレアス・ズーハネク著/柴田明・岡本丈彦訳 [2017], 『企業倫理：信頼に投資する』 同文舘出版 ISBN-13 : 978-4495388010。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション、個別面談①	【予習】：卒業論文のテーマについて考え、そのテーマを選択した理由をノートあるいはワードでA4・1枚程度にまとめておくこと(2時間)。 ※個別面談の際に使用するため、ノートあるいはワードを印刷した資料を持参の上、授業に臨むこと。 【復習】：予習で作成した内容と個別面談での指摘を踏まえて、第1回の講義で配布したワークシートに記入を行うこと(2時間)。	
2	個別面談②と卒業論文のテーマについての検討・グループでのディスカッション①：AグループとBグループ	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 ※個別面談の際に使用するため、第1回の予習で作成したノートあるいは、ワードを印刷した資料を持参の上、授業に臨むこと。 【復習】：グループでのディスカッションの際に出た指摘を踏まえて、予習で作成したワークシートのブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
3	卒業論文のテーマについての検討・グループでのディスカッション②：CグループとDグループ	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：グループでのディスカッションでの指摘を踏まえて、予習で作成したワークシートのブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
4	卒業論文のテーマについての報告会①：Aグループ	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会①」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
5	卒業論文のテーマについての報告会②：Bグループ	【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会②」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
6	卒業論文のテーマについての報告会③：CグループとDグループ	【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会③」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
7	テーマについての関係資料の調査報告①と面談：AグループとBグループ	【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「テーマについての関係資料の調査報告①」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
8	テーマについての関係資料の調査報告②と面談：CグループとDグループ	【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「テーマについての関係資料の調査報告②」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	これまでの報告の振り返り	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「これまでの報告の振り返り」の感想と今後の卒業論文の作成計画についてワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
10	論文の章立てについての説明と作業	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回に配布したワークシートに、現在の卒業論文の章立ての構想をめとめておくこと(2時間)。	
11	論文の章立てについての報告会①	【予習】：第11回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
12	論文の章立てについての報告会②	【予習】：第12回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
13	論文の章立てについての報告会③	【予習】：第13回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
14	講評	【予習】：卒業論文の作成に向けた資料を図書館で探し、可能であれば借りてくること(2時間)。 【復習】：第14回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	前期のまとめと今後の相談	【予習】：第14回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第15回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
16	卒業論文の完成に向けたスケジュールの確認、個別面談	【予習】：卒業論文の執筆のスケジュールを作成してくること(2時間)。 【復習】：第16回の講義を踏まえて、作成したスケジュールをブラッシュアップすること(2時間)。	
17	論文の第1章についての報告会①	【予習】：第17回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第18回の報告会の準備を行うこと(2時間)。	
18	論文の第1章についての報告会②	【予習】：第18回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第19回の報告会の準備を行うこと(2時間)。	
19	論文の第1章についての報告会③	【予習】：第19回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第17回から第19回の報告回を踏まえて、執筆中の卒業論文のブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
20	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル①	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
21	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル②	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
22	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル③	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
23	卒業論文の中間報告会①	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
24	卒業論文の中間報告会②	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：中間報告回での質疑応答を踏まえて、執筆中の卒業論文をブラッシュアップすること(2時間)。	
25	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第25回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
26	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿修正	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第26回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
27	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿確認	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第27回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
28	卒論要約・卒論黒表紙・中表紙3枚・目次・本文・参考文献/参考サイトの提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第28回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
29	卒論要約・卒論黒表紙・中表紙3枚・目次・本文・参考文献/参考サイトの確認	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第28回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
30	卒業論文の確認と提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(20時間)。 【復習】：提出後、卒業論文の執筆を通じて考えたことをメールで指導教員まで提出すること(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 日笠　倫周(HIKASA　Michinori)

【授業の紹介】
　本演習の目的は、卒業論文の作成です。そのために、各自でマーケティングや消費者行動論に関連した問題を設定し、文献レビューや調査を進めていきます。加えて、論文の質向上と進捗管理のために、定期的に、報告と質疑応答を行います。論文執筆を目的としたゼミ活動と個別指導を行う中で、柔軟な思考を養って欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	２．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1.マーケティングや消費者行動論に関連した問題を設定できる。
2.文献レビューや調査を通じ、問題解決のための手順を身に付けることができる。

【成績の評価】
成績はゼミ報告（10%）、中間報告（40%）、卒業論文の内容（50%）で評価します。
報告は講義の度に問題点などを指摘し、随時フィードバックを行います。
卒業論文の内容に関する評価は、提出後、個別にフィードバックを行います。

【使用テキスト】
適宜指示します。

【参考文献】
酒井聡樹著『これから論文を書く若者のために 大改訂増補版』（共立出版,2006年）
田村正紀著『リサーチ・デザイン―経営知識創造の基本技術 』（白桃書房,2006年）
盛山和夫著『社会調査法入門』（有斐閣,2004年）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション①（年間予定の確認）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
2	問いの設定と資料整理①（問題意識と関係した資料収集）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
3	問いの設定と資料整理②（関連資料の収集整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
4	問いの設定と資料整理③（調査資料から図表の作成）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
5	問いの設定と資料整理④（資料の追加収集）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
6	問いの設定と資料整理⑤（問いの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
7	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成①（アウトラインの意義と作り方）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
8	文献レビューの作成①（問題意識と関係した文献渉猟）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
9	文献レビューの作成②（関連領域の文献渉猟）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
10	文献レビューの作成③（調査した先行研究の整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
11	文献レビューの作成④（理論の整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
12	文献レビューの作成⑤（位置付けの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
13	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成②（アウトラインの修正）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
14	進捗状況の報告①（前半グループの１回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
15	進捗状況の報告②（後半グループの１回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
16	オリエンテーション②（後期ゼミ運営方針の確認）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
17	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成③（アウトラインの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
18	個別指導①（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
19	個別指導②（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
20	個別指導③（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
21	進捗状況の報告③（前半グループの２回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
22	進捗状況の報告④（後半グループの２回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
23	中間報告会準備①（資料作成）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
24	中間報告会準備②（報告練習）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
25	中間報告会	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
26	個別指導④（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
27	個別指導⑤（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
28	個別指導⑥（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
29	最終校正と要旨作成	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
30	成果報告と講評	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（３時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki)

【授業の紹介】
演習Ⅲ，Ⅳの経験を生かして、卒業論文を期日内に完成させましょう。
卒業論文を書くということは、4年間で自分がどれだけ成長できたかを確認する良い機会です。4年間で学んだ問題発見・解決能力、経営、情報、会計に関する知識をフルに使って頑張りましょう！

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
資料収集や文章表現能力を身に付け、卒業論文を完成させることができる

【成績の評価】
卒業論文１００％で評価する。
論文は資料として保管します。
製本等を希望する人は申し出てください。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】
論文の内容に合わせ適宜指示する

【参考文献】
適宜指示する

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として演習Ⅲ，Ⅳの振返り　2時間 復習として論文例の調査　2時間	
2	卒業論文のテーマ探し　その1	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
3	卒業論文のテーマ探し　その2	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
4	卒業論文のテーマ探し　その3	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
5	テーマの報告会	予習として発表資料作成　2時間 復習として発表後の質疑応答に対しての再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
6	卒業論文の作成　その１	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
7	卒業論文の作成　その2	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
8	卒業論文の作成　その3	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
9	卒業論文の作成　その4	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
10	卒業論文の作成　その5	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
11	進捗状況の報告　その1	予習として発表資料作成　2時間 復習として発表後の質疑応答に対しての再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
12	卒業論文の作成　その6	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
13	卒業論文の作成　その7	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
14	卒業論文の作成　その8	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
15	卒業論文の作成　その9	予習として、各自で図書館、インターネット	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
16	卒業論文の作成　その10	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
17	進捗状況の報告　その2	予習として発表資料作成　2時間 復習として発表後の質疑応答に対しての再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
18	卒業論文の作成　その11	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
19	卒業論文の作成　その12	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
20	卒業論文の作成　その13	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
21	卒業論文の作成　その14	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
22	卒業論文の作成　その15	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
23	身長状況の報告　その3	予習として発表資料作成　2時間 復習として発表後の質疑応答に対しての再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
24	卒業論文の作成　その16	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
25	卒業論文の作成　その17	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
26	卒業論文の作成　その18	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
27	卒業論文の作成　その19	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	
28	卒業論文の作成　その20	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること　2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
29	卒業論文の発表会　その1	予習として発表資料作成　2時間 復習として発表後の質疑応答に対しての再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
30	卒業論文の発表会　その2	予習として発表資料作成　2時間 復習として発表後の質疑応答に対しての再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 浮穴　学慈(UKENA　Satoshige)

【授業の紹介】
　卒業論文の提出に向けて取組みます。各自の取組みとして、様々な社会状況に関心を持ち、解決や解明が必要とされている事柄に着目し、その問題を明文化された形で設定することからスタートします。情報システムを使えば解決する問題や、データの分析により解明できることが、必ずあるはずです。それを見つけ出してください。また、その問題に対する自分なりの意見を出すこと、そしてその意見の正当性・妥当性を文章を用いて、とことん説明し切ることが、各自に求められる課題です。そのためには、作業工数の見積もりや、スケジュール管理が重要になります。これまでの学問の積重ねや総合的な人間力が求められる最終ボス戦ですので、すべてを総動員し気合を入れて頑張り抜きましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1. 様々な社会状況に興味関心を持ち、問題を抽出し明文化することができる。
2. 論文形式の文章の構成や記述のしかたを理解し、文章を書くことができる。
3. 研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行していくことができる。

【成績の評価】
提出された卒業論文の内容（100%）により評価を行う。これには、合同で行う中間報告会における説明や質疑応答の内容、その後の授業において実施する口頭試問における内容も含んでいる。
評価の内訳は、問題設定の妥当性（30%）、結論とそれを支える論拠の妥当性（40%）、文章が一義的で論理展開が正確であること（30%）を目安とするが、必ずしもこのとおりでない場合もある。
卒業論文の内容に関しては、原稿の完成に至るまでの各段階、および、原稿完成後の提出前の時点において、着眼点や論証方法、文体について批評・評価を行うことでフィードバックを行う。

【使用テキスト】
花井等ほか「論文の書き方マニュアル―ステップ式リサーチ戦略のすすめ」（有斐閣）ISBN978-4641120457

【参考文献】
適宜、指示する。自分で必要な文献を探すこと。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前期ガイダンス	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
2	問題設定と背景	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
3	問題の精選	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
4	研究計画	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
5	全体連絡(1)：問題設定に関する報告資料の作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
6	進捗報告(1)：問題設定の絞り込み状況	課題：報告資料を作成する(4時間)	
7	進捗報告(2)：問題設定の文章表現	課題：報告資料を作成する(4時間)	
8	デッドライン(1)：問題設定完了	課題：報告資料を作成する(4時間)	
9	全体連絡(2)：章構成とWBSに関する報告資料の作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
10	進捗報告(3)：構成要素の洗い出し	課題：報告資料を作成する(4時間)	
11	進捗報告(4)：構成要素の取捨選択と順序	課題：報告資料を作成する(4時間)	
12	デッドライン(2)：章構成の決定・WBS作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
13	全体連絡(3)：原稿執筆のマイルストーンについて	課題：報告資料を作成する(4時間)	
14	デッドライン(3)：原稿作成(背景・問題設定・仮説・章構成)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
15	前期総括：各自の取組みについての講評、および、夏季休業中に取組むべき課題	課題：報告資料を作成する(4時間)	
16	後期ガイダンス	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
17	原稿校正(1)：文体	課題：原稿を作成する(4時間)	
18	原稿校正(2)：各章の説明内容とアイデア	課題：原稿を作成する(4時間)	
19	全体連絡(4)：中間報告資料の作成について	課題：原稿を作成する(4時間)	
20	原稿校正(3)：根拠・論拠・裏付けの確認	課題：原稿を作成する(4時間)	
21	原稿校正(4)：論理構成要素の過不足	課題：原稿を作成する(4時間)	
22	中間報告練習(1)	課題：報告資料を作成する(4時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
23	中間報告練習(2)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
24	中間報告練習(3)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
25	中間報告会	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
26	原稿校正(5)：指摘事項の検討と取捨選択	課題：原稿を作成する(4時間)	
27	原稿校正(6)：図表番号の確認	課題：原稿を作成する(4時間)	
28	口頭試問	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
29	デッドライン(4)：最終原稿提出	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
30	総括：各自の卒業論文についての講評	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 神部　順子(KANBE　Junko)

【授業の紹介】
　卒業論文の作成に取り組む。この作業を通して、ICT問題解決力を身に付けることを重要視する。そのために、問題意識の明確にした上で、各自設定した研究テーマに関する先行研究の収集、整理、検討をすることで、研究課題を設定し、論文骨子を固める。その後は各自、論文執筆作業に取り組むこととなる。執筆に際しては、随時個別指導を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)経営情報における研究対象となるテーマを選び、そのテーマに沿った方法で論文を執筆することができる。
(2)データを分析し、考察し、文章化していく工程を修得することができる。
(3)自主的に学ぶことでこれまでの学びを整理、発展させていくことでICT問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】
毎回提示した課題への取組み（100%）
提出した課題に付けられたコメントや質問に対するフィールドバックは次回授業にて行う。
授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】
資料等を作成し、配布する。

【参考文献】
新装版「分かりやすい表現」の技術 意図を正しく伝えるための16のルール　藤沢 晃治　文響社　2020年
各学生の研究テーマによるため、適宜指示する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／卒業論文とは	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
2	論文の種類①（経営情報関係の論文を読む）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
3	論文の種類②（学会発行の論文を検索、先行研究の調べ方を確認する）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
4	テーマの選定	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
5	問題意識を記述する	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
6	研究方法の決定	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
7	論文の構成（仮目次の提出）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
8	先行研究の収集、整理	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
9	トピックを選ぶこととアウトラインの作成	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
10	先行研究の検討	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
11	研究課題の抽出、設定①分野等の検討	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
12	研究課題の抽出、設定②方法論の検討	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデー	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		タの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
13	章構成の検討①前半部分	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
14	章構成の検討②後半部分	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
15	前期の作業と後期の作成スケジュール確認と夏季休業中の課題	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
16	後期オリエンテーション／進捗状況報告	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
17	執筆（目次の完成）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
18	執筆（体裁を整えることの確認）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
19	執筆（研究テーマの最終決定）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
20	執筆（各章）①前半部分	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
21	執筆（各章）②後半部分	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
22	執筆（タイトルと「はじめに」）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
23	中間発表会に向けての資料作成	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		う（1.5時間）。	
24	執筆（考察）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
25	執筆（結論）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
26	執筆（引用の仕方）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
27	執筆（参考文献の列挙）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
28	校正と要旨作成	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
29	執筆（各自論文の発表資料作成）	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
30	論文の完成	予習として、授業計画に示す内容について必要な文献や資料の収集、検討、分析するデータの準備を行う（1.5時間）。復習として、毎回の報告資料の作成を行い、整理作業を行う（1.5時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 石田　裕明(ISHIDA　Hiroaki)

【授業の紹介】
　本演習では、演習Ⅲ、Ⅳで学修したことを踏まえて、会計学をはじめとする卒業論文を執筆します。卒業論文の執筆には、研究テーマに関する先行研究を調査し、その内容を踏まえた仮説を構築し、仮説をデータ（もしくは文献）によって適切に検証を行い、研究成果を文章として表現することが求められます。
　そのため、卒業論文を執筆することで、こうした能力を養うことができます。
　関連科目として「演習Ⅲ」、「演習Ⅳ」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	１．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１.研究テーマに関する先行研究を適切に検討することができる。
２.仮説を構築し、仮説をデータや文献によって適切に検証することができる。
３.研究成果を文章として適切な形式で表現することができる。

【成績の評価】
提出論文（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】
なし（受講者と相談の上、文献を適宜指示します）。

【参考文献】
伊丹敬之（2001）『創造的論文の書き方』有斐閣

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として興味関心のあるテーマについて調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、検討予定の文献について調査してください（2時間）	
2	研究テーマの検討	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
3	研究テーマの設定	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
4	研究方法の検討	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
5	研究方法の設定	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
6	先行研究の調査	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
7	先行研究の検討	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
8	中間報告①（研究テーマと先行研究の報告）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
9	先行研究の調査（中間報告を踏まえて行う）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（2時間）	
10	先行研究の検討（中間報告を踏まえて行う）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
11	仮説の検討	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
12	仮説の検討（前回の内容を踏まえて行う）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
13	仮説の構築	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
14	仮説の構築（前回の内容を踏まえて行う）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
15	中間報告②（仮説と収集するデータの報告）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
16	データの収集・分析	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
17	データの収集・分析（前回の内容を踏まえて行う）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
18	データの分析・解釈	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してくだ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		さい（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
19	データの分析・解釈（前回の内容を踏まえて行う）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
20	中間報告③（データの分析・解釈についての報告）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
21	目次の検討	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
22	目次の設定	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
23	論文執筆①（序章～１章の執筆）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
24	論文執筆②（１章～２章の執筆）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
25	論文執筆③（２章～３章の執筆）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
26	論文執筆④（３章～結章の執筆）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 　復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
27	論文執筆⑤（執筆した論文の推敲）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
28	最終報告の準備①（最終報告資料の作成）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
29	最終報告の準備②（最終報告の練習）	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
30	最終報告	予習として事前に提示する文献やデータについて検討を行い、報告資料を作成してください（2時間） 復習として授業での議論内容をまとめ、報告資料をブラッシュアップし、関連する文献やデータについて調査・検討してください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori)

【授業の紹介】
　この授業の目的は、スポーツ経営現象を対象とした社会科学的な研究をおこない、その学術研究の成果を卒業論文として提出することである。そのため、この授業では、まず、自分の問題意識に応じた先行研究の検討をおこない、先行研究の課題を指摘していく。そして、その先行研究の課題に応じたリサーチクエスチョンを導出し、研究の目的を設定する（この課題は演習Ⅳで完了しているが、再検討をおこなう）。次に、自分の研究目的に応じた調査手法を学び、具体的な調査を計画する。この計画にしたがって、データの収集をおこなう。続いて、調査結果を記述し、リサーチクエスチョンに対して考察を加える。最後に、研究上の限界や課題について説明する。これら一連の課題を、論文を執筆していくかたちで進めていく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．先行研究の検討から学術的に意義のあるリサーチクエスチョンが導出できる。
2．研究課題に応じた調査技法を用いてデータを収集できる。
3．適切な推論によって調査結果を考察できる。
4．論文に相応しい文章表現を用い、研究成果を他者に説明できる。

【成績の評価】
卒業論文として提出された論文の質　100%

《フィードバックの方法》
研究の進捗に応じて、その都度フィードバックをおこなう。

【使用テキスト】
新堀　聰著『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』同文舘出版 2010年

【参考文献】
ハワード・S・ベッカー著 『論文の技法』講談社 1999年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ関連の論文について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
2	研究目的の再検討：問題意識の吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
3	研究目的の再検討：先行研究の吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
4	研究目的の再検討：リサーチクエスチョンの吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
5	研究手法の検討：主要概念の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
6	研究手法の検討：主要概念の定義	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
7	研究手法の検討：調査手法の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
8	研究手法の検討：調査対象の選定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
9	研究手法の検討：調査の計画	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	調査実施依頼	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
11	調査実施①	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
12	調査実施②	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
13	再調査①	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
14	再調査②	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
15	データの整理	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
16	データの分析①	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
17	データの分析②	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
18	調査結果の記述①	予習として配布資料やノートなどに目を通	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
19	調査結果の記述②	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
20	結果の考察①	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
21	結果の考察②	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
22	研究成果の要約	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
23	学術的・実践的含意の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
24	学術的・実践的含意の説明	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
25	研究上の限界と課題の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
26	研究上の限界と課題の説明	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（30分）	
27	参考文献表の確認	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
28	要約の作成	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
29	文章表現の確認	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
30	卒業論文として提出	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。さらに、提出する予定の卒業論文の様式を再度確認する（30分） 復習として再度提出した卒業論文の内容を確認し、今後の課題をノートにまとめておくこと（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 卒業論文
担当教員： 奥田　直希(OKUDA　Naoki)

【授業の紹介】
　この授業では、主にスポーツ経営現象を対象とした社会科学的な研究をおこない、その成果を卒業論文としてまとめて提出することで、科学的思考法や批判的思考力を修得することを目的としている。そのため、まず自分の問題意識に基づいて先行研究を収集し、それらの批判的検討によって先行研究の課題を指摘する。そして指摘した課題に応じたリサーチクエスチョンを導出し、研究目的を設定する。次に、自分の研究目的に応じた調査手法を学び、具体的な調査を計画する。この計画にしたがって、データの収集をおこなう。続いて、調査結果を記述し、リサーチクエスチョンに対して考察を加える。最後に、研究上の限界や課題について説明する。これら一連の課題を、論文を執筆していくかたちで進めていく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202504	経営学部	1．経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
1．先行研究の検討から学術的に意義のあるリサーチクエスチョンが導出できる。
2．研究課題に応じた調査技法を用いてデータを収集できる。
3．適切な推論によって調査結果を考察できる。
4．論文に相応しい文章表現を用い、研究成果を他者に説明できる。

【成績の評価】
口述試験（中間報告会）　50%
論文審査　50%
（口述試験ならびに論文審査では、上記の到達目標に基づいた評価シートを用いて研究内容を評価する）

《フィードバックの方法》
　研究の進捗に応じて、その都度フィードバックをおこなう。

【使用テキスト】
なし（研究課題に応じて参考文献を指示する）

【参考文献】
小熊　英二著　『基礎からわかる論文の書き方』講談社 2022年
戸田山　和久著　『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版 2022年
柳沢和雄ほか 編著『テキスト 体育・スポーツ経営学』大修館書店 2017年

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】研究テーマに関する現在の興味・関心をまとめ、Wordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】研究テーマに関する疑問点をまとめ、Wordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
2	研究目的の検討：問題意識の吟味	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
3	研究目的の検討：先行研究の吟味	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
4	研究目的の検討：リサーチクエスチョンの吟味	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	対面により実施
5	研究手法の検討：主要概念の検討	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
6	研究手法の検討：主要概念の定義	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
7	研究手法の検討：調査手法の検討	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
8	研究手法の検討：調査対象の選定	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	対面により実施
9	研究手法の検討：調査の計画	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
10	調査実施依頼	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめてお	オンラインにより実施

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。（２時間）	
11	調査実施①	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
12	調査実施②	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	対面により実施
13	再調査①	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
14	再調査②	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
15	データの整理	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	対面により実施
16	データの分析①	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
17	データの分析②	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
18	調査結果の記述①	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
19	調査結果の記述②	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
20	結果の考察①	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間）	対面により実施

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	
21	結果の考察②	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	対面により実施
22	研究成果の要約	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
23	学術的・実践的含意の検討	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
24	学術的・実践的含意の説明	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
25	研究上の限界と課題の検討	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインもしくは対面により実施
26	研究上の限界と課題の説明	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインもしくは対面により実施
27	参考文献表の確認	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
28	要約の作成	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
29	文章表現の確認	【予習】授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	オンラインにより実施
30	卒業論文として提出	【予習】授業時間内に提示された疑問点につ	対面により実施

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		いて調べ、その結果をWordファイルにまとめておく。（２時間） 【復習】授業内で検討した疑問点に対する回答と新たな疑問をWordファイルにまとめておく。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP211
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教師論【卒業要件外】
担当教員： 藤本　駿(FUJIMOTO　Syun)

【授業の紹介】
教職や保育職は、皆さんにとって最も身近な職業の一つです。幼稚園や小学校でお世話になった先生に憧れて、この大学に入学した人も多いのではないでしょうか。では、先生の仕事はどのようなものなのか知っていますか。先生の仕事の実際は、保育や教育を受ける立場からは見えづらいものです。教職や保育職を目指すならば、教師や保育者としての視点を持つことが必要です。
　そこで本授業では、教職や保育職にかかわる歴史、制度、理論など様々な視点から検討し、その理解を深めていきます。また、現代社会における教職や保育職の重要性や課題を通して、教職への意欲を高め、各自の教職の在り方を考えることを目指します。
　この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：ef3z6c6)を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．公教育の担い手である教職・保育職の社会的意義やその役割について理解できる。
２．教師観や保育者観の変遷を通して、今日に求められる資質能力を理解できる。
３．教師・保育者の職務内容や、服務上・身分上の義務を理解できる。
４．教職・保育職が学校内外の専門家等と連携・分担し、チームとして諸課題に対応する重要性を理解できる。
５．教職・保育職についての自分の考えを深め、自分の適性や意欲を確かめることができる。

【成績の評価】
毎回授業後に配布する振り返りシートの提出（30%）、4回行う小レポートの作成（20%）、定期試験の結果（50%）から総合的に評価する。
　定期試験のフィードバックは、試験終了後に解答例を配付する。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
・佐々木司・三山緑編著『これからの学校教育と教師－「失敗」から学ぶ教師論入門－』ミネルヴァ書房、2014年。
・大豆生田啓友他編著『アクティベート保育学②　保育者論』ミネルヴァ書房、2019年。
・佐久間亜紀・佐伯胖編著『アクティベート教育学②　現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、教師・保育者とは何か	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
2	教師観・保育者観の歴史（１）江戸時代の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
3	教師観・保育者観の歴史（２）戦前の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
4	教師観・保育者観の歴史（３）戦後の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師観・保育者観の歴史に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
5	教師・保育者の役割（１）保育者の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
6	教師・保育者の役割（２）教師の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
7	教師・保育者の役割（３）教師・保育者の職業的特徴	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の役割に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
8	教師・保育者の専門性（１）授業づくり	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
9	教師・保育者の専門性（２）子ども理解	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
10	教師・保育者の専門性（３）学級経営	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めること（2時間）。	
11	教師・保育者の職務内容（１）服務上・身分上の義務	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
12	教師・保育者の職務内容（２）教員研修	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
13	教師・保育者の職務内容（３）勤務条件	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
14	教師・保育者の職務内容（４）チーム学校運営への対応	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の職務内容に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
15	全体のまとめ、これからの教師・保育者を取り巻く課題	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP111
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教育学原論【卒業要件外】
担当教員： 松原　勝敏(MATSUBARA　Katsutoshi)

【授業の紹介】
Google　Classroom　クラスコード：k3gez4m

教育学原論では、教育課程編成・実施の方針に基づき、教育に関係する領域を広範囲に、かつ、多角的に追求することをとおして、この領域の基礎的な知識を獲得するための科目として位置づけられます。
今日、人々の教育に関する意見や要望、そして批判には、いろんな立場から多様な意見が噴出して、答えを出すのが非常に難しい状況にあります。教育学原論では、教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得します。そして、自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力を形成します。
なお、「教育」と言うと幼児の段階からの教育を意識するかもしれませんが、保育においては養護と教育を一体的に実現するところに特色があります。そこで、０歳児からの教育の可能性や目的および目標についても検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3
		⑤　多文化理解能力	3

【到達目標】
１．教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得することができる。
２．教育の基本的概念や教育の理念の基礎を理解することができる。
３．教育の歴史や思想の学習をとおして、今日の教育の基本理念の形成過程を理解することができる。
４．自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力の獲得することができる。
５．上の４つの到達目標を達成することで、卒業認定・学位授与の方針に示す、教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解することができる。

【成績の評価】
毎回の授業終了時に課するミニレポート（約３０%）、レポート（約２０%）、定期試験（約５０%）の３つを以て、総合的に評価します。
・ミニレポートについては、次の授業の冒頭の部分で内容についてコメントします。
・主たるレポート課題については、１５回目の授業でフィードバックします。
・定期試験の内容については、学内ネットを通じてフィードバックします。

【使用テキスト】
新初等教育原理（平成２６年　佐々木正治編著、福村出版）

【参考文献】
授業時に、適宜、紹介します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・教育の意味と本質	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育の目的と目標	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	人間社会における教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	家族や社会における教育の思想と教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	主要な教育思想	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	近代学校制度の成立と展開	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	日本の学校教育の歴史	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	義務教育の概要	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	今日の我が国における学校制度と主要国の学校制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
10	教育課程の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
11	学習指導の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	家庭教育	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	生涯学習	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	教員養成	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	今日の教育課題	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP212
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教育心理学【卒業要件外】
担当教員： 横川　和章(YOKOGAWA　Kazuaki)

【授業の紹介】
　教師は、幼児・児童・生徒の発達や学習状態を適切にとらえ、それに応じて指導することが求められています。本講義では、幼児・児童・生徒の発達、性格、知的能力（記憶、思考、学習）、やる気、学習指導と評価、学級集団などについての基本的知識を扱います。心理学に基づく教育の充実を目標として、学校や幼稚園・保育所で直接に子どもの教育・保育に関わる際に有用となる理論を紹介し、受講した学生が理論と教育実践を結びつけられることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．学生が子どもの教育・保育にあたるための幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、理論を含めた基礎的な知識を身に付けることができる。
２．学生が各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。
３．学生がそのような知識をどのようにして子どもの教育・保育の実践に生かせるのか考える態度を身に付けることができる。

【成績の評価】
・定期試験（80%）、授業時に出される課題（20%）。
・定期試験及び課題については、オフィスアワーにてフィードバックします。

【使用テキスト】
富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子（2016）『教職をめざすひとのための発達と教育の心理学』（ナカニシヤ出版）

【参考文献】
鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2019）『やさしい教育心理学』（有斐閣）
武田明典（2020）『教師と学生が知っておくべき教育心理学』（北樹出版）
藤原和政・谷口弘一（2021）『学校現場で役立つ教育心理学』（北大路書房）
髙櫻綾子（2021）『子どもの育ちを考える教育心理学』（朝倉書店）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育心理学の内容・方法	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
2	学習と記憶	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
3	動機づけ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
4	知能・創造性と学力	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
5	自己理解とパーソナリティ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
6	心理検査	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
7	測定と評価	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
8	幼児児童生徒の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
9	発達の原理	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
10	発達段階の特徴	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
11	社会化と個性化	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
12	学校不適応行動の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておく	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		こと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
13	学級経営	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
14	学級集団	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
15	発達障害と支援	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（２時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（２時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP121
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 特別支援教育【卒業要件外】
担当教員： 湯浅　恭正(YUASA　Takamasa)

【授業の紹介】
特別な支援を必要とする子ども理解を進めるための基本を講義し、学校における教育内容・教育方法について学ぶ。そのために特別な支援を必要とする子どもの心理特性・発達特性、学級づくり・授業づくりの指導方法と教育課程の概要を講義する。これらを通して教師の資質・能力として必要な知識・技術・教育観について学ぶ。さらにインクルーシブ教育の理念・国際的動向・制度の基本を押さえ、「通級による指導」や「自立活動」の意義に触れるとともに、特別支援学校・学級で求められる個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義、関係機関との連携等、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の現代的課題を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
1.特別な支援を必要とする子どもの生活・発達・学習における困難さとニーズを把握するための基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。
2.特別な支援を必要とする子どもが授業や学級活動に参加するための支援に必要な知識・支援方法・関係機関との連携の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。
3.特別な支援を必要とする子どもとともに生きるインクルーシブな共生社会の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。

【成績の評価】
①授業の各回をいくつかにまとめたテーマごとに特別支援教育の基本的な知識と指導技術の理解、さらに教育観について各自が総括した報告を評価する(８０%)-総括の視点は授業において適宜説明し、学生からの質問等を受けて質の高い総括報告を求める。
②授業の毎回において小報告を提出し、それをトータルに評価する(20%)-毎回の小報告について特に重要だと思われる学生からの指摘や質問を取り上げて、次回の授業でフィードバックする。

【使用テキスト】
『よくわかる特別支援教育 第2版』(湯浅恭正編、ミネルヴァ書房、2018)

【参考文献】
授業において適宜資料を配布する。また参考文献として、渡部昭男『障害のある子の就学・進学ガイドブック　改訂版』日本標準、2022。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別支援教育を学ぶために-授業のガイダンス	予習内容:指定したテキストの内容の目次を含めて特別支援教育の内容を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援教育を学ぶためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
2	インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の理念と制度	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援教育とインクルーシブ教育の関連についてメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育と特別支援教育の理念・制度の関連のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
3	特別なニーズのある子どもの発達特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの発達特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの発達特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
4	特別なニーズのある子どもの心理特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの心理特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの心理特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
5	特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習。発達における困難さを理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
6	特別な支援を必要とする幼児の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別な支援を必要とする幼児の支援方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別な支援を必要とする幼児の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
7	特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、通常学級における特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法の事例を読み、口頭発表に備える(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、通常学級における特別な支援を必要とする児童・制度の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
8	教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」「自立活動」の教育課程における位置づけを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、教育課程におけれる「通級による指導」「自立活動」の位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
9	「通級による指導」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」の内容と方法を概観し、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「通級による指導」の内容と方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
10	「自立活動」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「自立活動」の内容と指導方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「自立活動」の内容と指導方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
11	個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義と教育課程	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程における位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
12	個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成する方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法を概観し、メモして講義に備える(2時)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
13	関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義	予習内容:指定したテキストの内容のうち、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
14	外国につながりのある子ども・貧困等により困難な課題のある子どもへの支援	予習内容:指定したテキストの内容のうち、外国につながりのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、外国につながりのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
15	インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向	予習内容:講義の全体を振り返り、総括報告のための準備をする(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて最終の総括報告に備えるとともに、講義の全体を振り返り、教職における特別支援教育の意義を確かめる。(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP311
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教育制度論【卒業要件外】
担当教員： 松原　勝敏(MATSUBARA　Katsutoshi)

【授業の紹介】
Google　Classroom　クラスコード：ker4b6t

「教育制度」という言葉は、やや「お堅い」言葉に聞こえるかもしれません。また、制度や法規に関連することがらは難しいのでできれば避けて通りたい･･･と思う人も少なくないと思います。
しかし、学校は、今日、私たちの暮らしを支える制度の１つとして機能しています。それ故に、学校には、その目的や制度のあり方、保育内容について様々な規定が設けられるとともに、多くの税金やその他の財貨が投入され、そこに教員をはじめとしてたくさんの人々が関わって、子どもたちの生活を支えているのです。それゆえに、教員に対する社会的使命や期待には大きなものがあると同時に厳しいものがあります。
本講義は、そのような点を考慮して、責任を果たせる教員としての意識づくりを図りたいと思います。また、採用試験も考慮して、法制面からのアプローチによって教育制度の理解を目指します。できるだけ、丁寧にわかりやすく講義することに努めますので、肩肘張らず受講して下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
・教育現場での１つ１つの行為が、社会的な制度の枠の中で運営されていることを理解し、自らの教育実践に取り組む姿勢を形成することができる。
・この授業では、教育制度の基本的な枠組みを理解すると共に、制度構築の理念を理解して、教育制度に関する問題に自分なりの意見表明ができる。

【成績の評価】
毎回の授業時におけるミニレポートへのコメント(約30%)、レポート(約20%)及び定期試験(約50%)の合計点によって成績を評価し、単位を認定します。
毎回の授業時に、各学生の学びを点検し、学習成果の改善のためのフィードバックを行います。また、最終的な学習の成果については、私の学内HPを通じて学生に以後の学びへの示唆をフィードバックします。

【使用テキスト】
河野和清編著『現代教育の制度と行政　改訂版』福村出版　2017

【参考文献】
文部科学省「幼稚園教育要領」2017
文部科学省「小学校学習指導要領」2017

その他、授業時に、適宜紹介します。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション＆教育制度を学ぶ意義	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育法規の全体像	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	学校制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	教育行政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	教育財政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	教育課程行政	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	学校経営の理論と実際	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	学校経営における地域や保護者との連携	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	幼児・児童の管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
10	学校における安全管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
11	教員養成制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	特別支援教育制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	学校を巡る社会状況の変化と学校の課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	生涯学習社会に向けた教育制度の在り方	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	我が国及び諸外国における教育事情と教育改革	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP231
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教育課程論【卒業要件外】
担当教員： 山岸　知幸(YAMAGISHI Tomoyuki)

【授業の紹介】
　教育課程とは、学校教育を行っていく上での根幹をなすものです。子どもの「資質・能力」を確実に育成するために、様々なレベルでの計画が示されているものと言ってもよいでしょう。
　この授業では、教育課程・カリキュラムに関する歴史、意義や編成原理、現在の学習指導要領の重要なポイントについて学んでいきます。教育課程についての具体的な事例にも基づいて考察していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
１．教育課程・カリキュラムに関わる歴史や理論を理解することができる。
２．学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成方法を体系的に理解することができる。
３．各学校の実情にあわせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。

【成績の評価】
　レポート試験（６０％）、毎回の授業後に提出する小レポート（４０％）
　レポートについては、採点基準を説明する。
　毎回の授業後に提出する小レポートについては、次の授業時間にコメントを添えて返却する。

【使用テキスト】
　高等学校学習指導要領解説　総則編（平成３０年７月　文部科学省）

【参考文献】
　授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】
　無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
　有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション－教育課程とは－	シラバスを読み、また教科書に目を通し、考えたことや疑問点についてノートにまとめておくこと（２時間）。 本授業のねらいについて、Ａ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
2	我が国の戦後の教育課程の変遷	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
3	カリキュラム改革の歴史（１）－児童中心主義思想を中心に－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
4	カリキュラム改革の歴史（２）－教育内容の現代化を中心に－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
5	教育課程の編成原理と類型	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
6	教育課程の編成・実施・評価・改善	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
7	学習指導要領を学ぶ（１）－総則を中心に－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
8	学習指導要領を学ぶ（２）－カリキュラム・マネジメントの視点から－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
9	学習指導要領を学ぶ（３）－学校間連携の視点から－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
10	教育課程の実際（１）－年間行事計画－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	教育課程の実際（２）－時間割の作成－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
12	教育課程の実際（３）－日課・週時程の編成－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
13	教育課程の実際（４）－教科年間指導計画－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
14	教育課程の実際（５）－特色ある学校づくりと学校評価－	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
15	まとめ－これからの教育課程・カリキュラムの課題－	これまでに配布された資料及びテキストを復習し、質問項目をノートにまとめておくこと（２時間）。 これまで学んだことを整理し、Ａ４一枚程度にまとめること（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 総合的な探究の時間の指導法【卒業要件外】
担当教員： 野村　一夫(NOMURA　Kazuo)

【授業の紹介】
学習指導要領に示された目標、内容及び内容の取扱い等の分析を通して、小・中学校の総合的な学習の時間及び高等学校の総合的な探究の時間の趣旨やねらい、カリキュラム上の位置付けなどの理解を図ります。
　また、現代的な課題から探究課題を設定し探究活動を行い、ディスカッションを通して、自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を発見し、解決していくための学習指導の意義を考えます。
　これらの学修を通して授業設計や指導法、評価、環境整備、外部との連携などについての基礎的な理解と実践力の育成を図り、高等学校教員としての資質・能力の基礎を培うことを目指します。
　この授業ではClassroom(クラスコード：xswwewq) を使用し資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。
この授業科目は教職に関する科目であり、卒業要件外となります。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．総合的な学習の時間創設の経緯を知り、カリキュラム論に基づく位置付けを説明することができる。
２．総合的な探究の時間へ移行した背景と趣旨を踏まえ、自己の生き方在り方と一体的で不可分な課題を探究する指導計画を作成することができる。

【成績の評価】
学修内容の理解はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。
「私の考える探究課題」の提出(40%)、「授業リフレクション」の提出(10%)、定期試験(50%)とします。
「授業リフレクション」は、Classroomで提出し、返却時にコメントします。
定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】
高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説　総合的な探究の時間編　平成30年　文部科学省
課題研究メソッド 2nd edition ～よりよい探究活動のために～（啓林館）

【参考文献】
随時紹介する。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育行政と小学校教員の経験を活かし、社会科指導のポイント及び留意事項等について解説します。

香川県教育委員会指導主事として、平成９年・１０年に総合的な学習指導の創設に係る実践研究を行う研究開発学校を担当し、助言・指導を行いました。
香川県小学校教育研究会総合的な学習部会会長として、指導改善及び各学校における実践の充実を図りました。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）のイメージ）	予習として、小学校から高等学校における総合的な学習の時間の学習経験（テーマ、特に記憶に残っている学習活動、学習を通じていたことなど）を振り返り、ノート等にまとめておくこと。（１時間） 復習として、総合的な学習の時間の現状と課題を整理し、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
2	総合的な学習の時間の経緯と背景 ＜課題探究メソッド①＞ 研究テーマの設定	予習として、総合的な学習の時間を学習することの必要性について考え、ノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、総合的な学習の時間創設の経緯を踏まえて、その意義授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
3	総合的な学習の時間の教育課程上の位置付けとカリキュラム論 ＜課題探究メソッド②＞ リサーチクエスチョンの検討	予習として、小・中学校における現行の教育課程（カリキュラム構成）を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間） 復習として、総合的な学習の時間を教育課程に位置付けられていることに関する自らの考え授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
4	総合的な探究の時間への移行による学習指導要領における目標、内容及び内容の取扱いの変化 ＜課題探究メソッド③＞ 先行研究・事例を踏まえた現状把握	予習として、総合的な学習の時間と各教科との目標、内容及び内容の取扱いの異同について調べ、ノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、各教科と総合的な学習の時間の違いから考えたことを授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
5	総合的な探究の時間で育成することを目指す資質・能力 ＜課題探究メソッド④＞ 課題研究の意義の検討	予習として、総合的な学習の時間で身に付けたい力を具体的に考えノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、総合的な学習の時間で育成する資質・能力をどのように活かすのかを授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
6	総合的な探究の時間における四つの課題の取扱い ＜課題探究メソッド⑤＞ 仮説に基づく調査方法の検討	予習として、総合的な学習の時間における四つの課題を調べノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、四つの課題に関する自らの考えを授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
7	各学校において目標及び内容等を定める際の留意事項 ＜課題探究メソッド⑥＞ 調査方法の整理	予習として、出身校又は実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（１時間） 復習として、各学校において目標と内容等を定めることの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
8	総合的な探究の時間の全体計画の作成＜課題探究メソッド⑦＞ 研究計画の作成	予習として、全体計画作成の意義を考え、整理しておくこと。（１時間） 復習として、全体計画を作成することの意義を授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
9	総合的な探究の時間の年間指導計画の作成 ＜課題探究メソッド⑧＞ 調査結果の整理・まとめ	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の年間指導計画を収集しておくこと。（１時間）復習として、総合的な学習の時間において年間指導計画を作成することの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
10	総合的な探究の時間の単元計画の作成＜課題探究メソッド⑨＞	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の学習指導案等を収集しておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	調査結果の考察	（１時間） 復習として、総合的な学習の時間の学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること 。（１時間）	
11	探究的な学習の過程における「主体的・対話的で深い学び」の視点 ＜課題探究メソッド⑩＞ 表現方法の選択	予習として、探究的な学習を中核とする単元計画を考えノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、最適な学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
12	探究的な学習の指導のポイント ＜課題探究メソッド⑪＞ 発表スライドの作成ポイント	予習として、探究的な学習を指導する際の留意事項を考えノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、探究的な学習における指導上留意したいことを考え、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
13	総合的な探究の時間の評価の在り方 ＜課題探究メソッド⑫＞ ポスター発表のポイント	予習として、各教科における評価上の留意点を整理しノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、総合的な学習の時間における評価方法を振り返り、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
14	総合的な探究の時間の指導体制と時間の弾力的運用の在り方 ＜課題探究メソッド⑬＞ 発表準備	予習として、各教科等における学習形態と指導体制等の工夫を調べノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、時間の弾力的運用の工夫を考え、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
15	総合的な探究の時間に係る環境整備と地域との連携・協働の在り方 ＜課題探究メソッド⑭＞ 探究成果の発表	予習として、学校と地域との連携・協働の在り方について調べ、ノート等に整理しておくこと。（１時間） 復習として、これからの学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（１時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP332
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報科教育法Ⅰ【卒業要件外】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi)

【授業の紹介】
高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
　高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】
評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
高等学校学習指導要領（平成３０年告示）解説　情報編

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代情報化社会の概要と普通教科「情報」、専門教科「情報」の内容概説	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
2	普通教科「情報」設置の経緯と趣旨および科目編成。高等学校学習指導要領改訂について	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
3	普通教科「情報」の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
4	普通教科「情報」「情報Ｉ」の目標と内容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
5	普通教科教科「情報」「情報Ⅱ」の目標と内容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
6	普通教科「情報」各科目における授業計画の立案法	授業計画の立案法について復習する（４時間）	
7	学習題材やテーマの選定法	学習課題やテーマの選定法について指示された課題を解く（４時間）	
8	学習指導案の作成法	学習指導案の作成法について指示された課題を解く（４時間）	
9	学習指導法	学習指導案を作成する（４時間）	
10	学習の評価と測定の方法	学習の評価と測定の方法の復習（４時間）	
11	専門教科「情報」設置の趣旨	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
12	専門教科「情報」の目標と科目編成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
13	教育課程の編成と指導計画の作成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
14	関係法規の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
15	進路指導	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP333
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報科教育法II【卒業要件外】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi)

【授業の紹介】
高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。なお、高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】
評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　情報編

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	専門教科「情報」基礎的科目の目標と内容 情報産業と社会」「情報の表現と管理」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
2	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容１ 「アルゴリズムとプログラム」「情報と問題解決」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
3	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容２ 「情報テクノロジー」「ネットワークシステム」「データベース」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
4	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容３ 「情報メディア」、「情報デザイン」、「表現メディアの編集と表現」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
5	専門教科「情報」総合的科目の目標と内容 「課題研究」「情報システム実習」「情報コンテンツ実習」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
6	学習指導を行う上で必要な情報活用技能１ 情報の収集・処理・発信の技能とツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
7	学習指導を行う上で必要な情報活用技能２ シミュレーション、問題解決のツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
8	学習指導を行う上で必要な情報活用技能３ デジタル化、ネットワークコミュニケーション技能	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
9	グループによる教育指導の実際１ グループ分けとテーマ設定	テーマについての調査（４時間）	
10	グループによる教育指導の実際２ 設定したテーマについての調査、情報収集	テーマについての調査（４時間）	
11	グループによる教育指導の実際３ 調査結果のまとめと授業計画の作	テーマについての調査（４時間）	
12	グループによる教育指導の実際４ 学習指導案の作成	学習指導案の作成作業（４時間）	
13	グループによる教育指導の実際５ 模擬授業及び相互批判、検討	模擬授業の準備（４時間）	
14	グループによる教育指導の実際６ 授業計画、指導案等の手直し、改良、評価、検討	指導案の修正（４時間）	
15	高等学校学習指導要領まとめ	学習指導要領に書かれた内容を復習する（４時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP334
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 商業科教育法Ⅰ【卒業要件外】
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　教科「商業」に関する知識や商業（ビジネス）教育の理念と内容について体系的に学び、その指導方法を考察し商業科の教員としての資質能力を身に付けます。
　「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
　高等学校教員一種免許状「商業」の取得を希望する者以外の履修はできません。
　また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション、３分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：hn2vuyz）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4

【到達目標】
１．学習指導要領に示された目標や内容を理解することができる。
２．商業（ビジネス）教育の基本理念を理解することができる。
３．教科「商業」に関する教育内容を体系的に把握することができる。
４．基礎的・基本的知識と指導法を身に付けることができる。

【成績の評価】
授業への取り組み（３分間スピーチを含む。３０%）、発表（模擬授業を含む。４５%）、提出物（２５%）。
発表はその場で講評し、提出物は後日返却します。
３０分以上の遅刻は欠席と見なします。

【使用テキスト】
日本商業教育学会編『商業科教育論』（2019年）実教出版
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（平成31年）実教出版…文部科学省のＨＰからダウンロードしたものでもかまいません。

【参考文献】
文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成31年）東山書房
他、その都度指示します。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと教員としての心構え	予習として、「教職ポートフォリオ」の必要範囲を記入・整理しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
2	商業教育の意義・必要性	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
3	高等学校学習指導要領と商業教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
4	商業科の教育課程の編成と実施	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
5	商業科の学習指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
6	各分野の学習指導（１）基礎的科目、マーケティング・マネジメント分野	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
7	各分野の学習指導（２）会計・ビジネス情報分野、総合的科目	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
8	指導計画の理念と作成	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	学習指導案の研究（１）作成(ICT機器、教材の活用を含む)	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
10	学習指導案の研究（２）模擬授業	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成すること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
11	学習指導案の研究（３）振返り	予習として、前回の模擬授業の反省点等を洗い出し、ノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
12	プレゼンテーションの基本(ICT機器、教材の活用を含む)	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
13	教育課程編成の事例研究	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
14	学習評価の理念と実際	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
15	これからの商業教育のあり方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP335
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 商業科教育法Ⅱ【卒業要件外】
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　先修科目「商業科教育法Ⅰ」で修得した知識や技術を活用することで教育課程編成についての理解を深めるとともに、様々な分野において修得した知識を総合的に活用することで授業を組み立てる力や学習指導案の作成から模擬授業の実施にいたるＰＤＣＡサイクルを回すことで授業を改善する力を身に付けます。
　「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
　高等学校教員一種免許状「商業」の取得を希望する者以外の履修はできません。
　また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワーク、３分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：ebpflt3）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4

【到達目標】
１．学習指導要領に示された教科「商業」に関する各科目を体系的に把握することができる。
２．基礎的な学習指導や指導計画の考え方を理解することができる。
３．具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることができる。

【成績の評価】
授業への取り組み（３０%）、発表（模擬授業など）（４５%）、提出物（レポート、学習指導案など）（２５%）。
発表はその場で講評し、提出物は後日返却する。

【使用テキスト】
日本商業教育学会編『商業科教育論』（2019年）実教出版
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（平成31年）実教出版…文部科学省のＨＰからダウンロードしたものでもかまわない

【参考文献】
文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成31年）東山書房
他、その都度指示する。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと高等学校における商業教育の現状	予習として、「教職ポートフォリオ」の必要範囲を記入・整理しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
2	教育課程と学習指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
3	指導計画と授業展開（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
4	プレゼンテーションと授業（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成すること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
5	授業の振り返りと効果的な授業（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、前回の模擬授業の反省点等を洗い出し、ノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
6	学習指導案とその事例研究	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
7	授業研究（１）高校へ出向き授業を見学（授業見学）	予習として、見学予定の高等学校について調べ、その特徴や教諭等への質問事項を整理しノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
8	授業研究（２）高校へ出向き授業を見学（授業見学、質疑応答、振り返り）	予習として、見学予定の高等学校について調べ、その特徴や教諭等への質問事項を整理しノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
9	学習指導案の作成	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように学習指導案等を作成する準備をすること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
10	授業研究（教材の作成、板書の整理、振り返り等）	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成する準備をすること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
11	模擬授業（１）（板書等利用）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
12	模擬授業（２）（ ICT等利用）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
13	模擬授業（３）（「ビジネス基礎」）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
14	模擬授業（４）（基礎的・基本的な科目）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
15	これからの商業教育および「商業科教育法Ⅱ」のまとめと質疑応答	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP232
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 特別活動論【卒業要件外】
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　学校における多様な集団活動による課題の発見や解決を通してよりよい集団の形成や学校での生活を目指す特別活動の意義を理解するとともに、取り上げた問題やトピックを様々な視点から考察することで、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けます。
　「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
　高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。
　発達科学部の学生も受講します。
　また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、３分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：pmivl3l）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	4

【到達目標】
１．学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解することができる。
２．教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解することができる。
３．ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質を理解することができる。
４．教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解することができる。
５．特別活動における取り組みの評価・改善活動の重要性を理解することができる。
６．合意形成に向けた話合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。
７．特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解することができる。

【成績の評価】
授業への取り組み（３０％）提出物（４０％）、模擬授業体験（３０％）。
提出物は後日返却し、模擬授業体験はその都度コメントするとともに評価のコメントはオフィスアワーで行う。

【使用テキスト】
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成30年）東洋館出版社…文部科学省のＨＰからダウンロードしたものでもかまわない

【参考文献】
その都度指示する。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別活動の意義・目標・内容と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
2	特別活動の歴史的変遷	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
3	特別活動と生徒指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
4	特別活動とホームルーム経営	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
5	ホームルーム活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
6	生徒会活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
7	部活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
8	学校行事	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	特別活動の今	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
10	特別活動の指導の在り方Ⅰ（模擬体験授業の解説）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
11	特別活動の指導の在り方Ⅱ（模擬体験授業の内容検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
12	特別活動の指導の在り方Ⅲ（模擬体験授業の構成検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
13	模擬体験Ⅰ（グループ発表）と振返り	予習として、これまでの授業を振返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
14	模擬体験Ⅱ（グループ発表）と振返り	予習として、これまでの授業を振返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
15	これからの特別活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP233
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教育の方法及び技術【卒業要件外】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),真鍋　康秀(YASUHIDE Manabe)

【授業の紹介】
現代は高度情報通信社会と言われるように、スマホやタブレット等に代表される各種の情報メディアが開発され、より大量の情報生成、蓄積、流通等が可能になりました。このような社会で求められる能力とは、インターネットや新しいICTを活用でき、必要とする情報の選択、加工、創造、伝達等に関わる新しいコミュニケーション能力です。なおこの授業過程では、「学習者の新たな学びという、主体的で対話的な深い学び」を目標にアクティブラーニング(以下、ALと称する)の手法を取り入れた新しい教育改革の一端を経験するができます。
　この科目では、学習者の豊かな発想や興味・関心に対応できる学習形態の中で、経験、観察や調査、情報検索、映像やCGなどが活用できる自由度の高いメディアの選択と活用を可能にする教育の方法と技術の修得を目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
１．教育実践に必要な教育の方法に関する基礎的・基本的な知識の理解、技術の習得ができる。
２．新しい学力観に対応した教授学習システムを設計することができる。
３．情報ネットワークや情報メディアなど、ICTを活用した教育技術の習得ができる。
４．ALを体験することで、新しい教育方法・技術の活用方法が習得でき、教育者としての資質・力量の向上が養われる。

【成績の評価】
　予習レポート（15%）、復習レポート（15%）、研究レポート（70%）、なお、予習レポートとは、主として授業前に予習した内容を、復習レポートとは、授業後に行った復習の結果をまとめて提出するもので、後日採点したものは返却します。研究レポートとは、最終試験に代わるものとして、当該科目に関するいくつかの課題から、いくつかを選択して報告書としてまとめて提出するものを指します。

【使用テキスト】
なし

【参考文献】
授業の中で適宜印刷物（資料）を配布します。
新しく教員となったみなさんへ（https://www.kagawa-edu.jp/educ01/file/6839）

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	これからの子どもたちに育みたい資質・能力 探究的な学習 情報活用能力の育成	予習（１時間）：これからの子どもたちに育みたい資質・能力探究的な学習、情報活用能力の育成習 復習（３時間）これからの子どもたちに育みたい資質・能力探究的な学習、情報活用能力の育成	
2	教員に求められる授業力（板書、発問）	予習（1時間）教員に求められる授業力（板書、発問） 復習（３時間）教員に求められる授業力（板書、発問）	
3	授業をつくるということ・教材研究の仕方	予習（1時間）授業をつくるということ・教材研究の仕方 復習（３時間）授業をつくるということ・教材研究の仕方習	
4	学習環境を設定する/デジタル化の教育現場の現状	予習（1時間）学習環境を設定する/デジタル化の脅威禹現場の現状 復習（３時間）学習環境を設定する/デジタル化の脅威禹現場の現状	
5	学習環境を設定する/デジタル化を活用した事例	予習（1時間）学習環境を設定する/デジタル化を活用した事例 復習（３時間）学習環境を設定する/デジタル化を活用した事例	
6	評価をするということを理解する	予習（1時間）評価をするということを理解する 復習（３時間）評価をするということを理解する	
7	授業を支える指導技術を行う（小学校は算数、幼稚園は保育内容）	予習（1時間）授業を支える指導技術を行う（小学校は算数、幼稚園は保育内容） 復習（３時間）授業を支える指導技術を行う（小学校は算数、幼稚園は保育内容）	
8	授業を支える指導技術（小学校は国語、幼稚園は保育内容）	予習（1時間）授業を支える指導技術（小学校は国語、幼稚園は保育内容） 復習（３時間）I授業を支える指導技術（小学校は国語、幼稚園は保育内容）	
9	学び合う集団をつくる（学び合い、ICT） 学びを引き出す指導技術（主体性）	予習（1時間）学び合う集団をつくる（学び合い、ICT） 学びを引き出す指導技術（主体性）予習（３時間）学び合う集団をつくる（学び合い、ICT） 学びを引き出す指導技術（主体性）	
10	ICTを活用した学習活動の総合実習を2回に渡って行う	予習（4時間）ICTを活用した学習活動の総合実習の準備	
11	ICTを活用した学習活動の総合実習を2回に渡って行う	復習（4時間）ICTを活用した学習活動の総合実習のの復習	
12	ＬＭＳやeラーニングの最新状況	予習（1時間）ＬＭＳやeラーニングの最新状況 復習（3時間）ＬＭＳやeラーニングの最新状況	
13	ALによる教育の円滑な実施（１）指導内容・方法の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（１）指導内容・方法の検討の予習 復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（１）指導内容・方法の検討の復習	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	教育の方法と技術を振り返る 何ができるようになったかをグループで確認し、報告する	予習（1時間）教育の方法と技術を振り返るの準備 復習（3時間）教育の方法と技術を振り返りのまとめ	
15	教育の方法及び技術のまとめと展望	復習（4時間）教育の方法及び技術のまとめ	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP336
授業形態： 演習
単位数： 1
科目名： 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【卒業要件外】
担当教員： 松田　圭司

【授業の紹介】
この授業では、現代のICTの現状を知り、教育現場や校務でのICT（情報通信技術）活用状況等を学ぶ。講義および視聴覚資料による解説・事例紹介と、学生自身が各種ICT機器、環境を活用し、体験的に学修する機会を設けながら、授業における児童生徒および教員によるICT活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、校務における活用や教育データの活用を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
授業のテーマ及び到達目標
１．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。
２．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。
３．児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身につける。

【成績の評価】
学生に対する評価
授業への取組みとレポート課題（50%）、小テストなど（50%）
提出されたレポートを返却することにより、フィードバックを行います。
オフィスアワーを設定しているので、利用すること。
定期試験（期末試験）は実施しない。

【使用テキスト】
テキスト
教室へのICT活用入門（藤本　かおる　著、国書刊行会、2019）ISBN-13 ： 978-4336063397
授業中の配布資料など

【参考文献】
参考書・参考資料等
【図解】AI時代の教師が知っておきたいIT・情報リテラシー（小林、郡司、安井著、インプレス、2024）ISBN-13: 978-4295020648
情報通信技術を活用した教育の理論および方法（西野和典　著、実教出版、2023）ISBN-13:978-4407358414
無理なくできる 学校のICT活用―（長谷川　元洋　著、学事出版、2016）ISBN-13: 978-4761921903

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション 試用教材、教科書、講義の進め方、評価方法、LMSの活用について ☆リーディング課題第1回目分	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題およびリーディング課題内容をまとめておく。（１時間）	
2	ICTの教育現場および校務での活用状況（現在学校で導入されているICT技術の具体例を学ぶ） ICTにおける通信の役割 データ通信について ☆リーディング課題第2回目分	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題およびリーディング課題内容をまとめておく。（１時間）	
3	教育現場でのICTの重要性および生かし方（教育現場で必要とされているICTの要素を学ぶ） ICT教育活用のあり方 ☆リーディング課題第3回目分 ◎　第１回目レポート課題	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題およびリーディング課題内容をまとめておく。（１時間）	
4	児童、生徒のためのICTの活用（ICT適用の可能性の判断方法を学ぶ） 教育の情報化とは、①情報教育とは ②教科指導におけるICT活用③公務の情報化 ☆リーディング課題第4回目分	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題およびリーディング課題内容をまとめておく。（１時間）	
5	【グループディスカッション】 テーマ：求心力のあるICTを用いた授業の実施について、 第１回目レポート課題に基づいて実施 ◎第２回目レポート課題	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
6	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の作成方法】（実際に教材を作る際に有効なツールについて学ぶ。 情報活用能力３観点について	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
7	児童のICT活用の指導方法 教育のためのアプリケーションの紹介 教材開発と指導方法 ①一斉学習②個別学習③協働学習 ☆リーディング課題5回目分	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題およびリーディング課題内容をまとめておく。（１時間）	
8	教育データの採取、保管による指導、評価の実践（教務パッケージシステムやLMSの現状について学ぶ。クラウドストレージの有効活用について学ぶ）	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
9	教育データの活用による評価 教育データの処理（学習者、教員、保護者の観点から） ◎第３回目レポート課題	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
10	教育現場でのセキュリティの重要性 セキュリティの目的定義 教育現場での心構え 情報セキュリティマネジメントとは	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
11	サイバー攻撃の脅威とは 脆弱性とは リスク、不正、犯罪予防の方法	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得２（指導案策定訓練、レポートの作成及び提出） ☆リーディング課題6回目分 ◎第４回目レポート課題	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題およびリーディング課題内容をまとめておく。（１時間）	
13	サイバー攻撃の種類、手法 スクリプトキディ、ボットハーダー	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
14	各種攻撃の動機、方法、DOS攻撃、SQLインジェクション、各種マルウェア	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題（１時間）	
15	教育現場でのサイバーセキュリティのまとめ 小テスト（理解度チェック）	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（１時間）小テストの対策として、今学期の講義のまとめおよびリーディング課題を復習しておく（１時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP234
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 生徒・進路指導論【卒業要件外】
担当教員： 平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
　生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育のあり方についての様々な問題やトピックを取り上げ、生徒が抱える課題などを見つけ解決する手法を身に付けます。
　「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
　高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。
　発達科学部の学生も受講します。
　また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、３分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
　この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：xtyzpxo）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	②　コミュニケーション能力	3
		④　多面的思考能力	3
		⑥　チーム活動能力	4

【到達目標】
１．生徒指導、進路指導・キャリア教育の理論と方法について理解することができる。
２．生徒指導、進路指導・キャリア教育を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることができる。

【成績の評価】
授業への取り組み（３分間スピーチを含む。３０％）、提出物及び小レポート（３０％）、学年末の最終レポート（４０％）。
小レポートは後日返却し、最終レポートはオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】
文部科学省『生徒指導提要（改訂版）』（令和４年）。… 文部科学省のＨＰからダウンロードしたものでもかまわない

【参考文献】
その都度指示する。

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	生徒指導の基礎	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
2	生徒指導の方法原理	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
3	生徒指導の組織的な取組みと学校内外の連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
4	こども基本法	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
5	進路指導の進め方 - ほめ方と叱り方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
6	生徒指導の諸問題（１）- インターネットと携帯電話	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
7	生徒指導の諸問題（２）- 校則	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
8	生徒指導の諸問題（３）- いじめ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
9	生徒指導の諸問題（４）- 不登校	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
10	生徒指導の諸問題（５）- 懲戒と体罰	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
11	生徒指導の諸問題（６）- 暴力行為と少年非行	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
12	進路指導・キャリア教育の意義と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
13	進路指導・キャリア教育の組織的な推進体制と連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
14	職業に関する体験活動とキャリア教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
15	生涯を通じたキャリア形成とキャリア・カウンセリング	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、３分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（２時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP331
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 教育相談【卒業要件外】
担当教員： 織田　幸美(ODA　Yukimi)

【授業の紹介】
　教育相談は、生徒の心理的発達を支援するための日常的な教育活動であり、教育の専門家としての教師にとって、教育相談に関する基礎的習得は不可欠です。幼児・児童・生徒の発達上直面する問題について柔軟に対応し、援助するためのスキルについて、体験的な活動も取り入れながら心理的成長を支える予防的援助について学習します。
　この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：ewr2rta)を使用し，ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	③　専門知識活用能力	5
		④　多面的思考能力	5

【到達目標】
到達目標は以下の４点である。
１.学校における教育相談の意義と理論を理解することができる。
２.教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解することができる。
３.教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解することができる。
４.学校での予防的心理教育の方法について理解し、実践力を高めることができる。

【成績の評価】
学期末試験（60%）と小レポート（40%）
小レポートについては，その都度、授業時に講評する。定期試験については教務課窓口及び教員研究室において模範解答を閲覧できるようにする。

【使用テキスト】
教師のための教育相談(2018年　西本絹子　萌文書林)

【参考文献】
絶対役立つ教育相談（2017年　藤田哲也監修　ミネルヴァ書房）
生徒指導提要（改訂版）デジタルバージョン（2022年　文部科学省）

【実務経験】
有り

【実務経験と授業科目の関係性】
この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小・中学校の現場での教育相談担当教員やスクールカウンセラーとしての経験を活かし、具体的な事例を示しながら受講者が実感を持って授業内容を理解できるように工夫して授業を行います。

【科目等履修生の受入】
有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代の子どもと子育てをめぐる状況と教師に求められる役割	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
2	教育相談とは何かー教師のおこなう教育相談の役割・特徴	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
3	相談援助の理論ーカウンセリングとカウンセリングマインドの考え方を理解する。	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
4	相談援助の技術1ーカウンセリングマインドを活かす聴き方	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
5	相談援助の技術2ーカウンセリングマインドを活かす保護者との関係づくり	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
6	子ども理解1ー発達の視点から子どもを理解する	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
7	子ども理解2ー問題のアセスメント	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
8	子ども理解３ー問題行動のとら	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
9	いじめ問題への対応	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
10	不登校への対応	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて提出すること。（2時間）	
11	特別な支援を要する子どもへの対応１ー理解と支援の考え方	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
12	特別な支援を要する子どもへの対応２ー支援の実際の基礎	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
13	障害のある子ども・気になる子どもへの保護者への対応	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
14	「困った保護者」・不適切な養育環境への対応	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
15	子ども支援と学級経営	予習として，授業で指定する範囲の教科書を事前に読み，そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP351
授業形態： 講義
単位数： 1
科目名： 教育実習事前事後指導【卒業要件外】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
高等学校で教育実習を行うための準備学習を行います。
実習後は振り返りと総括を行い、別に教育実習の報告会も実施します。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。
また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
この授業では Google Classroom（クラスコード：o5huekw）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		③　専門知識活用能力	4
		④　多面的思考能力	3

【到達目標】
(1)高等学校教諭の業務や職業倫理について理解し、教師としての使命感や倫理観を培うことができる。
(2)自己評価および自己課題の明確化を通して豊かな人間性を育むことができる。
(3)学校教育活動に必要な知識や判断力を習得することができる。
(4)学習指導計画の作成・実践・記録・評価等を体験する中で、教師として必要な技能、実践力を習得することができる。

【成績の評価】
授業への興味関心及び授業に積極的に参加する態度（20%）、提出物（30%）、発表（50%）
提出物はオフィスアワーで、発表はその都度コメントします。

【使用テキスト】
高等学校学習指導要領（平成３０年告示）解説　情報編（文部科学省　開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領（平成３０年告示）解説 商業編（文部科学省　実教出版）

【参考文献】
必要に応じてその都度指定する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育実習の意義・目的・内容等について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（２時間）	
2	実習校の研究と実習上の留意点	予習として、実習予定の高等学校について調べその特徴などを整理し、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（２時間）	
3	小論文の書き方と教材研究について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（２時間）	
4	学習指導と生活指導の方法	予習として、予定されている授業内容を確認し、これまでに受けた講義のテキスト、資料等から要点を整理し、ノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（２時間）	
5	学習指導案の作成	予習として、教育実習において担当が予想される項目について指導案が書けるように、項目等をノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（２時間）	
6	模擬授業の実施と批評	予習として、模擬授業ができるように準備すること。（２時間） 復習として、批評された内容から模擬授業を構成し直し、学習指導要領を修正しておくこと。（２時間）	
7	教育実習事前学習の振り返り	予習として、これまでの授業を振返り、教育実習への心構えなどをノート等にまとめておくこと。（２時間） 復習として、授業中にあった教員からの最後のアドバイスをノート等にまとめ、教育実習に備えること。（２時間）	
8	教育実習体験後の報告及び指導助言	予習として、教育実習の際に用いたノートを整理しておくこと。（２時間） 復習として、教育実習報告会に向けた資料を作成すること。（２時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP352
授業形態： 実習
単位数： 2
科目名： 高等学校教育実習【卒業要件外】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
関係する高等学校現場で２週間を過ごし、教員として実際に生徒の指導ができるようになるための実習を行います。「教職に関する科目」の中で総仕上げとも言える授業です。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4

【到達目標】
学校現場で教職員や生徒と接することを通して、高等学校の教員として教壇に立つために必要な知識や技能を身につけることができる。

【成績の評価】
実習中の様々な活動状況や成果（80%）、学習態度（20%）
提出物は添削し返却します。

【使用テキスト】
高等学校学習指導要領（平成３０年告示）解説　情報編（文部科学省　開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領解説（平成３０年告示）解説 商業編（文部科学省　実教出版）

【参考文献】
なし

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	学校の教育方針や特色ある教育について	教育実習、「学校の教育方針や特色ある教育についてのまとめ」（4時間）	
2	指導講話Ⅰ　学習指導について	教育実習、「指導講話Ⅰについて」のまとめ（4時間）	
3	指導講話Ⅱ　生活指導について	教育実習、「指導講話Ⅰについて」のまとめ（4時間）	
4	指導講話Ⅲ　実習全般について	教育実習、「指導講話Ⅲについて」のまとめ（4時間）	
5	学級の実態と学級経営について	教育実習、「学級の実態と学級経営について」のまとめ（4時間）	
6	学級事務についての考え方と実習について	教育実習、「学級事務についての考え方と実習について」のまとめ（4時間）	
7	学習指導案の立案・考え方について	教育実習、「学習指導案の立案・考え方について」のまとめ（4時間）	
8	示範授業の参観と研究	教育実習、「授業の参観と研究｝のまとめ（4時間）	
9	授業参観と授業記録の取り方について	教育実習、「授業参観と授業記録の取り方について」の復習（4時間）	
10	教材研究の仕方と学習指導案の書き方について	教育実習の指導案の作成（4時間）	
11	授業参観（学習過程、板書、発問等）	教育実習、観察参加の復習と指導案作成に（4時間）	
12	授業参観（生徒の反応、つぶやき、表情	教育実習、授業参観のまとめ（4時間）	
13	問題のある生徒の実態把握	教育実習全般のまとめ（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP353
授業形態： 演習
単位数： 2
科目名： 教職実践演習（高校）【卒業要件外】
担当教員： 佃　昌道(TSUKUDA　Masamichi),山口　直木(YAMAGUCHI　Naoki),花城　清紀(HANASHIRO　Kiyonori),平畑　博人(HIRAHATA　Hiroto)

【授業の紹介】
教職課程やそれ以外の授業科目、その他の種々の活動を通して学生が身につけた資質・能力が、教員として最小限必要なものとして形成され有機的に統合されたかについて個々の授業計画の中で確認し、１年次より記録してきた教職ポートフォリオを活用し振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレーイング、演習などを通して定着を図ります。
後期開講ですが、必要に応じて前期にも時間を調整して実施することがあります。
この授業では Google Classroom（クラスコード：ojpl2ie）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202504	経営学部	①　自己管理能力	3
		②　コミュニケーション能力	3
		③　専門知識活用能力	4

【到達目標】
（１）高等学校教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を身につけることができる
（２）高等学校教員としての社会性や対人関係能力を身につけることができる
（３）高校生についての理解や学級経営等に関する知識を身につけ、基礎的経験をすることができる
（４）高等学校の教育課程や指導についての知識と指導力を形成することができる
以上4点を目標とします。

【成績の評価】
毎回についてのまとめ、討議や発表における参加度３０％、提出物７０％で評価する。
フィードバックとして、提出物等は、添削し返却する。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】
文部科学省『高等学校学習指導要領』2019年。
ただし、他の文献でこれが掲載されているものでもよい。

【参考文献】
特に指定しない。資料を適宜配付する。

【実務経験】
無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】
無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション　佃　平畑、山口、花城 ①本演習の目的と進め方	復習：授業での課題作成（4時間）	
2	オリエンテーション　佃　平畑、山口、花城 ②教職を取り巻く現代的問題の考察（討議）	復習：授業での課題作成（4時間）	
3	履修全体の振り返りと検討課題の確認　平畑、山口、花城 ①履修内容の整理と成果及び問題点のまとめ（教職ポートフォリオの整理）	復習：授業での課題作成（4時間）	
4	履修全体の振り返りと検討課題の確認　平畑、山口、花城 ②発表	復習：授業での課題作成（4時間）	
5	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項　平畑 ①高等学校教員のあり方と実際	復習：授業での課題作成（4時間）	
6	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項　平畑 ②発表	復習：授業での課題作成（4時間）	
7	高等学校の現状と課題に関する事項　山口 ①県下高等学校の学校経営や教育行政の状況	復習：授業での課題作成（4時間）	
8	高等学校の現状と課題に関する事項　山口 ②討議	復習：授業での課題作成（4時間）	
9	社会性や対人関係能力に関する事項(2)　平畑、山口、花城 ①教員に求められるマナーや社会性の検討	復習：授業での課題作成（4時間）	
10	社会性や対人関係能力に関する事項(2)　平畑、山口、花城 ②演習	復習：授業での課題作成（4時間）	
11	社会性や対人関係能力に関する事項(3)　平畑、山口、花城 ①生徒への対応	復習：授業での課題作成（4時間）	
12	社会性や対人関係能力に関する事項(3)　平畑、山口、花城 ②保護者への対応	復習：授業での課題作成（4時間）	
13	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1)　平畑 ①生徒の理解について(講義)	復習：授業での課題作成（4時間）	
14	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1)　平畑 ②同（演習)	復習：授業での課題作成（4時間）	
15	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2)　平畑 ①生徒の理解について(講義)	復習：授業での課題作成（4時間）	
16	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2)　平畑 ②同（演習)	復習：授業での課題作成（4時間）	
17	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3)　平畑 ①生徒の理解について(講義)	復習：授業での課題作成（4時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) ②同（演習）	復習：授業での課題作成（4時間）	
19	教育内容の指導力に関する事項(1)　平畑 ①教育課程の編成原理等の理解（講義）	復習：授業での課題作成（4時間）	
20	教育内容の指導力に関する事項(1)　平畑 ②討議	復習：授業での課題作成（4時間）	
21	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3)　花城 ①保護者の声を聞く	復習：授業での課題作成（4時間）	
22	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3)　花城 ②討議	復習：授業での課題作成（4時間）	
23	教育方法の指導力に関する事項(3)　山口 ①新しい教育方法や技術の検討（講義）	復習：授業での課題作成（4時間）	
24	教育方法の指導力に関する事項(3)　山口 ②演習	復習：授業での課題作成（4時間）	
25	新しい高等学校教育　平畑 ①教育課程特例制度などの検討（現地調査）	復習：授業での課題作成（4時間）	
26	新しい高等学校教育　平畑 ② 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	復習：授業での課題作成（4時間）	
27	教員に求められる資質・能力のまとめ(1)　平畑、山口、花城 ①討議	復習：授業での課題作成（4時間）	
28	教員に求められる資質・能力のまとめ(1)　平畑、山口、花城 ②総括	復習：授業での課題作成（4時間）	
29	教員に求められる資質・能力のまとめ(2)佃、平畑、山口、花城 ①発表	復習：授業での課題作成（4時間）	
30	教員に求められる資質・能力のまとめ(2)　佃、平畑、山口、花城 ②発表と総括	復習：授業での課題作成（4時間）	
	定期試験(実施しない)		